

令和2年度 飯田市公民館活動記録



育MEN学級（山本公民館）



松尾地区還暦の会
3回目の成人式（松尾公民館）



第31回東野区民運動会
コロナ対策工夫して（東野公民館）



小学校お助け隊 おやす作り（龍江公民館）



上久堅を知る
神之峰にて現地学習（上久堅公民館）



学校人形劇発表交流会2020
（飯田市公民館・主事会）

飯田市公民館

目 次

令和2年度飯田市公民館基本方針	1
令和2年度飯田市公民館の事業計画	3
飯田市公民館のあゆみ・運営組織	5
飯田市公民館の活動・事業	6
飯田市公民館の運営組織図	7
地区公民館の専門委員会設置状況	8
飯田市の分館	9
公民館の予算及び施設の現状一覧表	10
飯田市各地区公民館利用状況	11
学級・講座実施状況一覧表	12
専門委員会等事業一覧表	16
各公民館事業報告	20

飯田市公民館	20	川路公民館	130
橋北公民館	31	三穂公民館	135
橋南公民館	38	山本公民館	142
羽場公民館	48	伊賀良公民館	149
丸山公民館	58	鼎公民館	157
東野公民館	67	上郷公民館	168
座光寺公民館	77	上村公民館	177
松尾公民館	86	南信濃公民館	184
下久堅公民館	93	Aブロック事業	192
上久堅公民館	99	Bブロック事業	194
千代公民館	108	Cブロック事業	194
龍江公民館	116	Dブロック事業	195
竜丘公民館	124		

飯田市の公民館略年表	196
飯田市公民館大会の経過	203

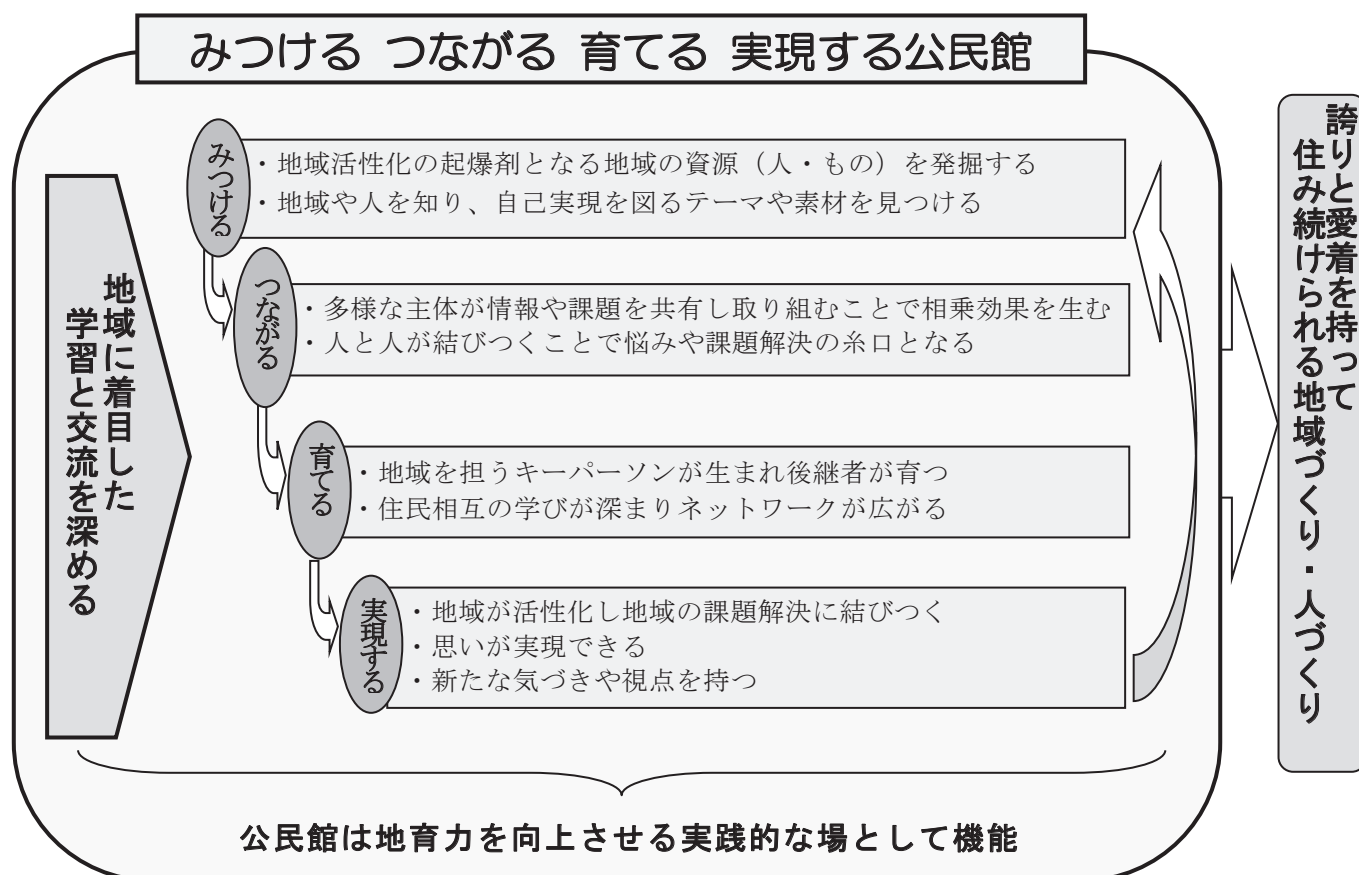
令和2年度 飯田市の公民館活動 基本方針

1 「くらし豊かなまち」の実現に向けて公民館が果たすべきこと

飯田市では、人口減少、少子・高齢化が進行し、地域活力の維持・向上が持続的な地域づくりにおける大きな課題となっています。また、近い将来には、リニア中央新幹線の開通や三遠南信自動車道の全通の時代を迎え、地域の大きな変貌が予想されます。こうした状況をとらえて、飯田市では、「いいだ未来デザイン 2028」を、教育委員会では「第2次飯田市教育振興基本計画」に基づき、各施策を展開しています。

戦後まもなく発足した公民館は、地域に密着して市民の自由で主体的な文化学習活動を支援し、地域づくりの基盤である人づくりに大きな役割を果たしてきました。地域を取り巻く状況が大きく変容してきている今日、地域住民が学び合いを通して、地域の課題と向き合い、「私たちの地域は私たちの手でつくる」という住民自治の意識を高め合い、「結の心」でつながって、心豊かに暮らせる地域をつくっていくことがますます重要となっています。

飯田市の公民館は、社会教育法に基づく教育機関であるとともに、地域の自治組織の構成団体であるという2面性を持ち、地域の諸団体と連携協力を図りつつ、住民の自由で主体的な学習活動の支援を通して、地域づくりを担う人材を育む役割を果たします。今後も、公民館は、「みつける つながる 育てる 実現する場」として、地域に着目した学習と交流を深めていきます。



2 公民館の具体的な役割

公民館は、地域の特色ある自然や文化を基底として、地域の課題解決に向けた学習と交流を通して、自治意識の醸成を図り、地域づくりの担い手を育みます。また、地域で活動する各種団体と連携し、学習活動を充実させていきます。具体的な役割は次のとおりです。

- (1) だれもが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- (2) 参加者の自主性・創造性を活かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- (3) 先人が築いた歴史・文化を大切に今に活かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- (4) 生涯にわたる学習や地域の課題に対応できる「学習の場」
- (5) 人が人として認め合い暮らせる「人間尊重の精神を学ぶ場」
- (6) 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- (7) 子どもたちが健やかに育つとともに故郷に誇りと愛着を持てる「地域の良さを再発見する場」
- (8) 地域のさまざまな出来事を記録し情報や地域の課題を提供・発信する「情報収集と発信の場」

3 飯田市の公民館活動の基本理念「4つの運営原則」

昭和48年、飯田市は文部省の委嘱を受けて、「管理運営に関する事項および運営の指針に関する事項」をまとめました。昭和46年から2年間かけて実施したこの公民館運営基準の研究の中で、次に掲げる「公民館運営の4原則」が確認されました。時代は変化してもこの理念を尊重しつつ、公民館が果たすべき役割を担っていきます。

(1) 地域中心の原則

まちづくりを考えると、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。

(2) 並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は20地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。

(3) 住民参画の原則

公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。このような組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。

(4) 機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主体的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

4 「4つの運営原則」に基づく主体的な公民館活動の展開に向けて

地域の自治組織の中において、地区公民館は、引き続き学習と交流を起点に地域内の連携協力を図り、住民自治の充実に必要な地域の社会教育機関として地育力向上の拠点を担います。

- (1) 各地区の公民館が設置する専門委員会は、「住民参画の原則」に基づいて地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- (2) 分館は、最も身近なコミュニティ形成の場であり、日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど住民同士のふれあいを大切にしながら主体的な活動を展開します。

令和2年度 飯田市の公民館活動 重点目標

- 1 次世代の地域づくりの担い手を育むために、幼保・小・中・高校生・若者と地域の大人を結び、相互に学び合う場をつくります。
 - (1) リニア時代を迎え、今後、大きく変貌することが予想される地域にあって、地域の独自性や価値を見出し、魅力を再認識できる人を育むための学習活動をL G飯田教育の視点で進めます。※注1
 - (2) 地域の将来を考え、社会を切り拓いていく人を育むために、自治の意識を醸成します。
- 2 学校運営協議会といいだCS協働活動の取組みを通して、地域と学校と家庭が協働して子どもを育てていく意識を高めます。
- 3 地域課題をとらえた多様な学習に取り組むことで自治の意識と力を高めます。

※1「L G(地域・地球)飯田教育」とは… Local(地域)とGlobal(地球)を一体的、系統的に学ぶ、飯田市独自の教育実践。Think Global, Act Local. Think Local, Act Global「地球規模で考え地域で実践し、地域を想い地球規模で活躍」できる人材を育む。

令和2年度 飯田市の公民館活動 事業計画

令和2年度飯田市の公民館活動基本方針及び重点目標に基づいて、主な事業を次のとおり計画します。

- 1 地区公民館と市公民館は合同により以下の事業を展開します。
 - (1) 第58回飯田市民館大会
公民館関係者や広く市民を対象に、1年間の公民館活動を振り返り、今後の活動に生かしていく機会として、令和3年2月21日(日)に開催します。
 - (2) いいだ人形劇フェスタ2020
人との繋がりや地域資源の保存継承など、様々な可能性を持つ場として捉え、8月6日(木)～8月10日(月・祝)に開催します。地区実行委員会の活動を充実させ、地区からフェスタを盛り上げます。
 - (3) 飯田市成人式
 - ①新成人の居住地・出身地域を単位として令和3年1月10日(日)に全市一斉で開催します。各地区では、新成人を含めた成人式実行委員会を組織し、新成人が多様な活動を通じて地域を知り、地域との関わりを持てる学習を深めることで、地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。
 - ②成年年齢引き下げに伴う成人式(成年学習)のあり方について、検討していきます。
 - (4) いいだCS協働活動
飯田コミュニティスクールを地域から支えるとともに、地域における子どもの活動を充実させ、学校や家庭と連携した「いいだCS協働活動」に取り組みます。
 - (5) 高校生と地域を結ぶ事業
 - ①地域に誇りと愛着を持ち、自身の将来を切り拓くことのできる人材の育成を、飯田OIDE長姫高等学校、飯田女子高等学校ほか飯田下伊那の高校との連携により実施します。
 - ②地域での高校生の豊かな学びを支えるためのコーディネートについて、飯田下伊那の高校との情報交換等を通して研究します。

2 各地区では、公民館の役割や重点目標を認識しつつ、地域の実情や課題を捉え、専門委員会が主体的に事業を企画するほか、多様な分野の学級講座に取り組みます。

- (1) 親子を対象に仲間づくりを図るとともに、子どもを安心して育てていくための継続的な学習
- (2) 高齢者の経験や力を次世代育成や地域づくりに繋げる学習
- (3) 平和を尊び、多様性への理解を深める学習
- (4) 芸術文化に触れることで、地域独自の文化の保存・継承・創造に繋げる学習
- (5) 郷土への関心を高め、愛着と誇りを育む学習
- (6) 心身の健康について関心を高める相互の学習
- (7) 身近な自然環境や世界規模の地球温暖化防止等について考える学習

3 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

(1) 高校生講座

海外との比較の中でふるさと飯田の魅力を再認識することを通して、地域に誇りと愛着を持ち、グローバルな視点で地域の将来ビジョンをデザインし、自身の将来を切り拓くことのできる人材を育成します。

(2) 第44回飯田市民大学講座

「伊那谷の自然と文化」をテーマに、市民による運営委員会で企画運営します。

(3) 第39回飯田市女性バレーボール大会

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により11月15日（日）に開催します。

(4) 第45回公民館コーラスグループ発表会

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、令和3年2月28日（日）に開催します。

(5) 人権平和・多文化共生事業

平和学習を通じた人権・平和の意識向上を図るとともに、外国人住民への日本語教育を柱とした多文化共生事業を展開します。

(6) 子育てサークル支援事業

子育てリーダーグループ「トライアングル」の支援を軸として、子育てネットワークの充実を図り、地域の子育てサークルの主体的な活動を支援します。

4 その他

(1) 第68回天龍峡夏期大学講座

地域課題や社会課題を考える契機とするとともに、地域への誇りと愛着を醸成することを目的として、川路公民館が主管します。

(2) ブロック公民館事業

20地区の公民館を4つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

(3) 館長会・主事会

地域住民の学習活動を支える職員が、定期的な情報交換や研修会を開催して連携を深めるとともに、その力量の向上に努めます。

(4) 主事会プロジェクト事業

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。

飯田市公民館のあゆみ

この地域は、大正期の自由画教育や青年運動から生まれた伊那自由大学などに代表される歴史的・風土的な教育の土壌や、戦後直後からの青年会や婦人会の自主的な学習活動などを背景に、全国に先駆けて公民館が設置されました。

飯田市は、昭和12年に飯田町と上飯田町が合併し誕生しました。以来6回にわたり町村合併が行われましたが、そのつど旧町村単位に独立公民館（以下「地区公民館」）と職員を配置してきました。旧飯田地区（橋北・橋南・羽場・丸山・東野）は、昭和43年に1館制から5館に分離し、それぞれ地区公民館として位置づけられました。その後も平成5年7月1日に上郷町、平成17年10月1日に上村、南信濃村と合併し、現在は中央館の役割を担う飯田市公民館（以下「市公民館」）と、20の地区公民館が独立、並列方式により配置されています。

市公民館は、全市民を対象とした事業や地区公民館相互の連絡調整を図る機関として、また地区公民館は住民の身近な公民館として、地域課題や生活課題に対する学習や交流などを通じて住民の主体的な活動を支援し、地域の特色を生かした個性豊かで魅力ある地域づくりの一端を担ってきました。

昭和48年に文部省の委嘱を受け、公民館の運営基準について自ら研究し導き出した4つの運営原則「地域中心」「住民参画」「並列配置」「機関自立」の考え方は、飯田市の地域づくりに対する公民館の姿勢を反映したものであり、今も活動の基本方針となっています。

なお飯田市は、平成19年4月に新たな住民自治の仕組みとして「地域自治組織」を導入しました。これにより公民館は、社会教育法に基づき市が設置する社会教育機関であるとともに、地域自治組織を構成するまちづくり委員会の1委員会に位置付けられました。

飯田市公民館の運営組織

市公民館には、館長会の互選で選出された市公民館長（非常勤特別職）、市公民館長を補佐する副館長（課長職）、学習支援係（係長、主事、社会教育コーディネーター）、管理係（係長、管理係）が職員として配置されています。また、市内全ての地区公民館の館長・主事で構成される館長会及び主事会が置かれ、公民館職員の相互研鑽の場になっています。

地区公民館には、非常勤特別職の館長と常勤専任の公民館主事が配置されています。また、人口規模の大きな地区である松尾・竜丘・伊賀良・鼎・上郷公民館、自治振興センターが併設されていない旧市5地区の公民館及び南信濃公民館には、管理係が配置されています。

地区公民館には、飯田市の公民館活動の4つの運営原則の一つである住民参画の原則を保障し、住民主体の公民館活動を展開するため「専門委員会」が設置されています。専門委員会の設置状況は地区によって異なりますが、主に文化委員会、体育委員会、広報委員会、青少年育成委員会などが組織されています。専門委員会の名称、人数、役職、任期は公民館長が定めることとなっており、町内あるいは分館からの推薦や地区内全域から適任者を選び、公民館長が委嘱します。（詳細は、P8「専門委員会の設置状況」を参照）

多くの地区公民館のもとに、集落単位を基本とする「分館」が組織されています。現在飯田市には103の分館（休館を除く）があり、住民に最も身近な公民館として、住民の手によって主体的に運営されています。

また地区公民館は、隣接する地域や中学校区などつながりの強い地域同士で「ブロック」を組織しています。現在は20の地区公民館で4つのブロックを組織し、ブロック内で連携しながら事業を展開しています。

飯田市公民館の活動

飯田市の公民館は、地域住民の学習、交流の場として、住民自らが自由闊達な学習活動やグループ活動を展開しています。

公民館が実施する学級や講座は、乳幼児やその保護者を対象としたものから高齢者の生き甲斐づくりまで全ての世代を対象にしたものであり、学習内容も個人的な教養を高めるものから地域課題や生活課題を捉えた組織的な学習活動まで、幅広い学習を展開しています。実施にあたっては、公民館職員が中心となって開催するものや、運営委員会や実行委員会などを組織し市民参画のもと開催するものなど形態は様々ですが、学習や交流の機会を通じて主体的な人材の育成に寄与しています。

専門委員会の活動は、住民自らがアイデアを出し合い、それぞれの地域の特色を活かした様々な事業を展開しています。専門委員会は公民館運営の母体であり、住民が事業の企画段階から主体的に関わることにより地域を知り、地域を担う人材育成の場として機能しています。

(詳細は、P 16「専門委員会等事業一覧表」を参照)

分館は、住民の生活に一番身近な公民館であり、子どもから高齢者まで日常的な学習や交流の場になっています。分館では、なによりも住民同士のふれあいや交流を大切に、分館独自の事業を主体的に展開しています。また、地区公民館と密接につながり、一体となって公民館の活動を支えています。

飯田市公民館の事業

市公民館事業

- ・全市民を対象とした事業
- ・新たな地域課題、生活課題に対応し、地区公民館に波及することをねらったモデル的な事業の実施やそのための指導者の育成
- ・地区公民館活動が円滑に展開されるためのネットワーク事業

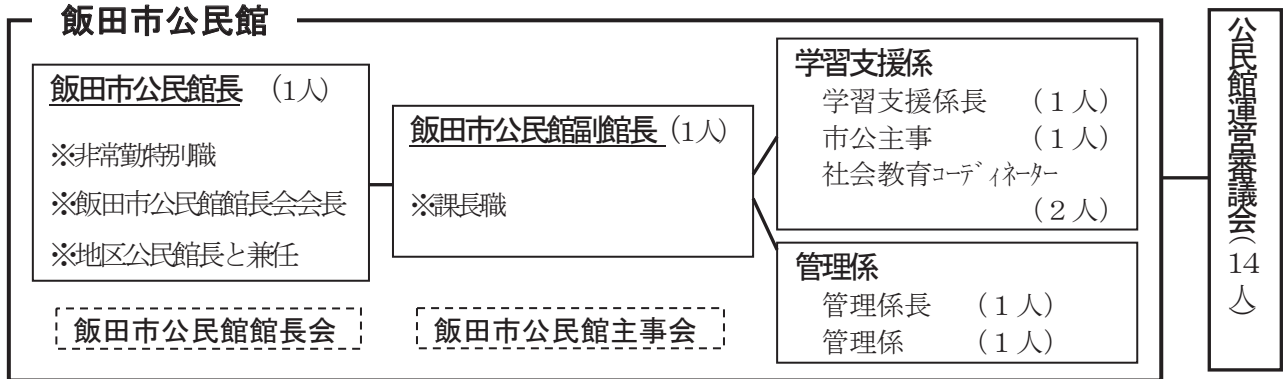
ブロック事業

- ・地区公民館単独では実施困難な事業
- ・地区公民館事業の継続発展した事業
- ・ブロック内での情報交換、相互研鑽

地区公民館事業

- ・住民要望に基づく学級講座
- ・専門委員会が企画する地区独自の事業
- ・コミュニティを醸成する各種の事業
- ・学習相談、学習情報の提供及び施設設備の提供

飯田市公民館の運営組織図



地区公民館

(人口は令和2年9月末現在)

公民館名	ブロック体制	人口 (人)	職員体制 (人)			
			公民館長※1	副館長補※2	公民館主事※3	管理係
橋北公民館	A ブロック	2,910	1	—	1	1
橋南公民館		2,643	1	—	1	1
羽場公民館		4,697	1	—	1	1
丸山公民館		3,394	1	—	1	1
東野公民館		2,823	1	—	1	1
座光寺公民館	B ブロック	4,322	1	1	1	—
山本公民館		4,668	1	1	1	—
伊賀良公民館		14,350	1	1	1	1
鼎公民館		13,150	1	1	1	2 ※4
上郷公民館		13,592	1	1	1	1
松尾公民館	C ブロック	12,957	1	1	1	1
下久堅公民館		2,785	1	1	1	—
竜丘公民館		6,796	1	1	1	1
上村公民館		384	1	1	1	—
南信濃公民館		1,282	1	1	1	1
上久堅公民館	D ブロック	1,248	1	1	1	—
千代公民館		1,628	1	1	1	—
龍江公民館		2,718	1	1	1	—
川路公民館		1,984	1	1	1	—
三穂公民館		1,370	1	1	1	—
計		99,701	20人	15人	20人	12人

専門委員会の設置

※委員は館長が委嘱。名称、委員数、役職及び任期は館長が定める。
～住民参加による主体的な企画・運営～ (20館共通)

- ※1 公民館長は地域協議会が推薦し教育委員会が任命する。(非常勤特別職)
 ※2 副館長補佐は自治振興センター所長が任命され、センター業務と公民館業務の連携調整を図る役割を担っている。(旧市5地区は除く)
 ※3 公民館主事は常勤専任。自治振興センター職員の兼務辞令を受けている。
 ※4 うち1名は社会教育コーディネーター。

分館

現在、102の分館が、市民の手によって自主的に運営されている。

地区公民館の専門委員会設置状況

公民館名	名 称	人数	任期 (年)
橋北公民館	文化部	10	2
	体育部	10	2
	広報部	10	2
	育成部	10	2
橋南公民館	文化委員会	8	2
	体育委員会	12	2
	館報委員会	5	2
羽場公民館	文化委員会	11	2
	体育委員会	13	2
	広報委員会	10	2
	育成委員会	12	2
丸山公民館	文化部会	11	2
	体育部会	13	2
	広報部会	5	2
	青少年健全育成部会	14	2
東野公民館	文化部	7	2
	体育部	15	2
	広報部	6	2
	育成部	10	2
座光寺公民館	文化部	19	2
	体育部	14	2
	広報部	11	2
	健全育成部	17	2
松尾公民館	文化委員会	20	2
	スポーツ委員会	21	2
	広報委員会	19	2
	総務企画委員会	8	2
下久堅公民館	文化部	15	2
	体育部	18	2
	広報部	9	2
	育成部	15	2
上久堅公民館	文化委員会	11	2
	体育委員会	12	2
	広報委員会	10	2
千代公民館	文化委員会	10	2
	体育委員会	10	2
	広報委員会	8	2
	青少年育成委員会	8	2

公民館名	名 称	人数	任期 (年)
龍江公民館	文化部	7	2
	体育部	8	2
	青少年健全育成部	6	2
	新聞部	12	2
	ホームページ運営委員会	4	2
竜丘公民館	文化委員会	15	2
	体育委員会	24	2
	広報委員会	10	2
	民俗資料保存委員会	9	2
川路公民館	文化部会	10	2
	体育部会	14	2
	広報部会	9	2
	育成委員会	7	2
三穂公民館	文化委員会	14	2
	体育委員会	15	2
	女性委員会	14	2
	広報委員会	8	2
山本公民館	文化委員会	18	2
	体育委員会	20	2
伊賀良公民館	文化部	23	2
	体育部	27	2
	広報部	21	2
鼎公民館	文化委員会	13	2
	体育委員会	15	2
	広報委員会	12	2
上郷公民館	文化部会	12	2
	スポーツ部会	13	2
	広報部会	10	2
	青少年健全育成部会	10	2
上村公民館	企画委員会	8	2
	広報委員会	5	2
	地域を育む委員会	10	2
南信濃公民館	文化委員会	8	2
	体育委員会	11	2
	広報委員会	6	2
計		893	

飯田市の分館

地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数
橋北	★江戸浜	119	千代	法山	77	東	★東鼎	172
橋南	なし			大郡	57		★西鼎	132
羽場	なし			米峰	27		★下茶屋	210
丸山	なし			毛呂窪	67		★中平	644
東野	吾妻町南	50	龍江	八ノ倉	22		★上茶屋	156
	東新町1	84		下村	81		★切石	914
	錦町	休館		第一	255		★上山	1000
	高羽町東	243		第二	303		★一色	564
	宮ノ上	264		第三	258		★名古屋	777
	諏訪町	58	竜丘	第四	155	上郷	★上黒田	659
	鈴加東新	41		駄科	979		★下黒田北	1014
座光寺	なし			長野原	494		★下黒田南	820
松尾	上溝	343		★時又	388		★下黒田東	684
	久井	182	川路	桐林	594		★丹保	354
	★水城	350		上川路	127		★北条	386
	★新井	472		2	52		★飯沼南	347
	寺所	230		3	57		★南条	308
	★明	590		4	110		★別府上	371
	★清水	228		5	44		★別府下	607
	城	538		6	111	上村	上町	64
	八幡町	387		7	116		中郷	33
	代田	746		8	189		程野	52
下久堅	毛賀	691	三穂	なし			下栗	40
	常盤台	334	山本	東平	269	南信濃	和田橋北	241
	知久平	238		大明神	80		和田橋南	213
	★虎岩	135		北平	155		八重河内	66
	柿野沢	88		中平	62		木沢	87
	稲葉	12		西平	35		南和田	61
	小林	46		南湯川	114	以下102分館（休館を除く） ※うち条例分館は27館（★の印） ※世帯数は、令和2年度分館世帯数（令和2年9月末時点）		
	南原	159		竹佐	148			
上久堅	下虎岩	295		箱川	65			
	1	104		久米	83			
	2	74		二ツ山	休館			
	3	102	伊賀良	下殿岡	402			
	4	85		上殿岡	491			
	5	77		三日市場	389			
	6	48		北方	2032			
千代	北部	44	龍江	大瀬木	1420			
	野池	92		中村	159			
	※手平区と野池区 の合区（2018.4）			三尋石	663			
	米川	116	鼎	★下山	810			

公民館の予算及び施設の現状一覧表

公民館名	令和2年度当初予算 (単位:円)				施設の現状		
	公 費		地区費	総 計	面積 (㎡)	建設年月	構造
	管理費	事業費					
橋北公民館	84,000	262,000	2,232,000	2,578,000	594.6	S55. 3	鉄骨3
橋南公民館	206,000	397,000	2,023,000	2,626,000	550.9	S59. 3	鉄骨3
羽場公民館	554,000	291,000	2,592,400	3,437,400	937.2	S54. 3	鉄骨2
丸山公民館	282,000	258,000	1,813,000	2,353,000	896.0	S55. 3	鉄骨2
東野公民館	132,000	250,000	1,850,000	2,232,000	644.9	S60. 3	鉄骨2
座光寺公民館	370,000	267,000	4,921,000	5,558,000	901.6	S61. 4	鉄骨2
松尾公民館	546,000	523,000	7,627,000	8,696,000	2114.7	H 2. 3	鉄骨2
下久堅公民館	104,000	227,000	1,875,000	2,206,000	993.1	H26.12	鉄骨2
上久堅公民館	111,000	188,000	1,976,000	2,275,000	952.2	S56. 3	鉄骨2
千代公民館	47,000	197,000	2,330,000	2,574,000	797.1	H26.7	木造2
龍江公民館	164,000	226,000	6,554,000	6,944,000	912.7	S59. 3	鉄骨2
竜丘公民館	185,000	329,000	6,714,000	7,228,000	1699.1	H13. 5	鉄骨2
川路公民館	144,000	206,000	3,043,000	3,393,000	777.0	S57. 3	鉄骨2
三穂公民館	184,000	191,000	2,749,000	3,124,000	731.7	S59. 1	鉄骨2
山本公民館	261,000	302,000	3,397,000	3,960,000	1263.6	H 6. 3	鉄骨2
伊賀良公民館	375,000	576,000	8,115,000	9,066,000	1697.4	S63. 3	鉄骨2
鼎公民館	2,748,000	516,000	3,836,000	7,100,000	3678.7	S55. 2	鉄筋4
上郷公民館	172,000	547,000	9,929,000	10,648,000	2217.8	H31. 3	鉄骨2
上村公民館	0	241,000	820,000	1,061,000	582.95	H1.12 H29.3改修	鉄筋2 鉄骨2
南信濃公民館	38,000	151,000	1,706,000	1,895,000	1,548.4	H19.11	鉄筋2
小計	6,707,000	6,145,000	76,102,400	88,954,400	24491.7		
飯田市公民館			—	0	3,059.80	S51.11	鉄筋4
合計	6,707,000	6,145,000	76,102,400	88,954,400	27551.5		

〔説明〕

- ・ブロック事業分の予算はブロック幹事の館へ配分している
- ・「公費」は地区へ配分している金額のみで飯田市公民館で一括管理の予算(人件費、修繕費等)は含まれない
- ・「地区費」は地区内における振興交付金からの配分額等であるため地区毎に積算根拠が異なる

飯田市各地区公民館利用状況

(令和元年度)

	有 料 団 体			減 免 団 体			無 料 団 体			合 計		
	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員
飯田市公民館	104	155	10,886	37	101	19,700	732	1,365	33,211	873	1,621	63,797
ホール	32	44	6,930	24	66	13,350	86	133	16,298	142	243	36,578
会議室	72	111	3,956	13	35	6,350	646	1,232	16,913	731	1,378	27,219
橋北公民館	162	187	2,222	177	182	3,451	1451	1,470	12,285	1,790	1,839	17,958
橋南公民館	9	9	329	97	98	1,737	572	604	6,375	678	711	8,441
羽場公民館	143	148	1,838	354	365	5,963	1936	2,127	24,942	2,433	2,640	32,743
丸山公民館	62	62	935	414	741	10,065	1098	1,154	8,657	1,574	1,957	19,657
東野公民館	28	30	382	176	197	2,476	1426	1,508	16,641	1,630	1,735	19,499
座光寺公民館	37	41	815	598	612	7,349	622	1,322	14,637	1,257	1,975	22,801
松尾公民館	112	144	1,701	433	515	11,237	2202	2,361	31,036	2,747	3,020	43,974
下久堅公民館	27	27	611	657	667	11,701	179	352	6,324	863	1,046	18,636
上久堅公民館	3	3	55	123	217	2,975	261	268	3,567	387	488	6,597
千代公民館	11	11	155	128	128	2,815	375	382	4,895	514	521	7,865
龍江公民館	20	20	567	476	598	5,643	886	1,455	16,869	1,382	2,073	23,079
竜丘公民館	40	51	1,075	317	392	8,081	1347	1,619	26,800	1,704	2,062	35,956
川路公民館	9	19	335	368	457	6,149	289	358	3,509	666	834	9,993
三穂公民館	18	18	549	189	250	3,349	431	560	11,555	638	828	15,453
山本公民館	25	25	763	172	203	6,508	482	929	10,573	679	1,157	17,844
伊賀良公民館	171	194	10,471	297	388	9,601	301	1,822	26,265	769	2,404	46,337
鼎公民館	166	222	5,516	162	226	18,928	2,272	2,320	33,929	2,600	2,768	58,373
ホール	13	18	2,398	68	124	16,678	61	84	5,060	142	226	24,136
会議室	153	204	3,118	94	102	2,250	2211	2,236	28,869	2,458	2,542	34,237
上郷公民館	274	358	8,184	585	726	11,363	2249	2,681	33,071	3,108	3,765	52,618
上村公民館	0	0	0	18	136	1,703	5	51	442	23	187	2,145
南信濃公民館	5	5	160	110	110	1,688	191	191	4,966	306	306	6,814
南信濃学習 交流センター	4	4	85	63	63	936	115	148	4,679	182	215	5,700
地区館計	1,326	1,578	36,748	5,914	7,271	133,718	18,690	23,682	302,017	25,930	32,531	472,483
合計	1,430	1,733	47,634	5,951	7,372	153,418	19,422	25,047	335,228	26,803	34,152	536,280

令和2年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業	学習交流推進事業
飯田市公民館 (P20～30参照)	○子育てネットワークライアングルの活動支援 ーフリーマーケット ー子育て情報誌編集、発行 ー妊婦さん向け講座 ○子育てサークル交流会	○日本語教室わいわいサロン ○わいわいサロン鼎教室 ○わいわいサロン松尾教室 ○「やさしい日本語」講演会 ○学習成果発表会 ○外国人高校生キャリア支援事業		○第58回飯田市公民館大会 ○第44回市民大学講座 ○交流と学びの会
橋北公民館 (P31～37参照)	○2歳児学級「りんご」 (橋北・橋南・東野地区合同)		○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○いっだ人形劇フェスタ2020橋北地区公演 ○文化研修旅行 ○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同) ○橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト(橋北屋台囃子保存会支援事業)	○北斗のまち・さわやか講座 ○橋北地区文化祭 ○工作・実験教室 ○しめ飾り講習会・もちつき交流会
橋南公民館 (P38～47参照)	○1歳児学級「いちご」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○人権講演会	○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○いっだ人形劇フェスタ2020橋南地区公演 ○第25回橋南文化祭 ○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同) ○伝統文化教室 ー天龍太鼓子ども教室ー ー松一獅子舞教室ー	○伝統・文化継承講座「手の芸の会」 ○おひまち ○しめ縄づくり講習会 ○もちつき大会 ○飯ごう炊さん ○追手町小学校科学実験教室 ○親子体験教室 ○放課後子ども教室 ○夏休み子ども教室
羽場公民館 (P48～57参照)	○0～1歳児学級 ○2～3歳児学級 (羽場・丸山地区合同)	○羽場日本語講座		○生け花講座「お正月のお花を生けよう」 ○書初め大会 ○図書分館お楽しみ会
丸山公民館 (P58～66参照)	○0～1歳児学級 ○2～3歳児学級 (羽場・丸山地区合同)			○夏休み子ども寺子屋 ○未来の自分と地域を考える会(羽場・丸山地区合同)
東野公民館 (P67～76参照)	○3歳児学級「めろん」 ○0歳児学級「さくらんぼ」 (橋北・橋南・東野地区合同)		○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同)	○女性学級「めだかの学校」 ○高齢者学級「五福の会」 ○若草の里東野講座(中止) ○書初め書道教室
座光寺公民館 (P77～85参照)	○びよびよ教室(0・1歳児) ○たんぽぽ学級(2・3歳児)			○麻績いきいき大学 ○地域学習会 ○科学実験教室 ○新春書初め会
松尾公民館 (P86～92参照)	乳幼児学級(0～3歳児)	○多文化交流会(中止)	○探勝会(中止)	○松尾サイエンス ○男踊り教室 ○地域いきいきセミナー ○公民館役員研修会(中止) ○分館役員研修会(中止)
下久堅公民館 (P93～98参照)	○乳幼児学級ぽっかぽかいちご ○乳幼児学級ぽっかぽかあひる		○ふるさとコンサート(中止) ○いっだ人形劇フェスタ2020(中止) 下久堅地区文化祭(中止)	○ひさかた村塾 ○ひさかた未来塾
上久堅公民館 (P99～107参照)	○乳幼児学級「わくわくキッズ」		○人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」(中止)	

令和2年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業	CS推進事業 (家庭教育)	CS推進事業 (協働事業)
○高校生講座 ○地域人教育	○高校生講座カンボジア・スタ ディツアー ○地域人教育			
○橋北再発見ウォーキング「すた てくさっさ」 ○橋北まるごと博物館研究会事業	○マレットゴルフ教室 ○ワンバウンドふらば〜るバ レーボール大会 ○橋北市民運動会 ○橋北地区スポーツ大会 ○ボウリング大会		○新春書き初め大会 ○浜井場小学校科学実験教室	
○橋南史跡めぐり ○橋南史跡ウォーキング ○第35回橋南ウォークラリー大会 ○おひまち	○橋南ソフトボール大会 ○囲碁ボール講座 ○橋南連合大運動会 ○第35回橋南ウォークラリー大 会 ○橋南史跡ウォーキング	○環境講座 ○ラベンダー関連講座	○親子体験教室 ○人権講演会 ○放課後子ども教室 ○夏休み子ども教室 ○飯ごう炊さん	○追手町小学校の思い 出を写真や文章で残そう プロジェクト ○追手町小学校150周年 記念事業
○食育体験講座「そばを作ってみ よう」 ○曙の里講座 郷土学習	○感染症対策講座	○探鳥会(羽場・丸山 地区合同)	○丸山小PTA・公民館共催講演会 (羽場・丸山・東野地区合同) ○夏休み子ども寺子屋	
○丸山くらす ○おとなのサロン ○お正月飾り講習会	○健康講座(中止)	○探鳥会(羽場・丸山 地区合同)	○丸山小PTA・公民館共催講演会 (羽場・丸山・東野地区合同)	
		○みんなで歩かまい目 指せ1万歩	○子ども寺子屋東野(春・夏) ○家庭教育講演会(PTA講演会) (羽場・丸山・東野地区合同) ○明るいいざこしの子らを育てる会 (羽場・丸山・東野地区合同)	
○麻績の里体験学校			○子育て応援講座	
○松尾地区学習会(中止)	健康教室(中止)		○水引教室(中止) ○親子パン作り教室	○緑ヶ丘中学校結い未 来プロジェクト
○ひさかたウォーキング(中止) ○ひさかた和紙講座	○からだケア教室 ○ヨガ・ストレッチ教室 ○分館対抗ソフトボール大会 (中止) ○常会対抗盆野球大会(中 止) ○ひさかたふれあいフェスティ バル ○冬季スポーツ大会(中止)		○親子体験学習 ○親子書き初め教室	○緑ヶ丘中学校結い未 来プロジェクト(松尾公民 館の事業報告を参照)
○上久堅を学ぶ会 ○ふるさと自然体験2020(中止) ○南信州狼煙リレー ○小学生への方言人形劇指導 (中止) ○民俗と村誌を読み語る会	○男性料理教室「男子厨房に 入る」(中止) ○十三の郷ウォーキング事業 (中止)	リサイクル業者の見学・ 学習会	○上久堅小学校・PTA・公民館共 催講演会(中止) ○冬のお楽しみ会(図書分館・公民 館共催かるた会)(中止)	

令和2年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業	学習交流推進事業
千代公民館 (P108～115参照)	○乳幼児学級「ちよっ子クラブ」	○人権学習講演会(中止)	○新春書き初め教室	○地域づくり講演会(中止)
龍江公民館 (P116～123参照)	○乳幼児学級・未就園児交流「さくらんぼ」		○いいだ人形劇フェスタ2020龍江地区公演 ○人形劇フェスタ観劇バスツアー ○龍江地区文化祭・芸能祭 ○龍江地区文化作品展	○ベタンク大会 ○龍江地区市民運動会 ○龍江絆駅伝 ○ストレッチ体操教室(のびのび元気体操) ○シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操)
竜丘公民館 (P124～129参照)	○0歳児学校 ○1歳児学級 ○2歳・3歳児学級	○中国帰国者支援事業「好会友」(日本語教室)		○大人の学校 ○青年学級
川路公民館 (P130～134参照)	○乳幼児学級「すくすく学級」			○川路かるた会(中止) ○小学生走り方講習会
三穂公民館 (P135～141参照)	○乳幼児学級		○伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ) ○ふるさとコンサートin三穂(中止) ○いいだ人形劇フェスタ2020三穂地区公演(中止)	○高齢者学級 ○ほっとけない楽習会(中止) ○文化セミナー(中止) ○ふれあい夏祭り(中止) ○三穂文化祭(中止) ○三穂お試し駄菓子屋
山本公民館 (P142～148参照)	○乳幼児学級(おたまこ学級) ○育MEN学級	○二ツ山国際サロン ○国際ふれあい交流会 ○花の木オープンスクール	○いいだ人形劇フェスタ2020 ○山本地区文化祭	○高齢者学級 ○メンズクッキング ○分館対抗スポーツ大会 ○山本地区市民大運動会 ○軽スポーツフェスティバル ○山本地区夏祭り ○武田信玄狼煙リレー ○山本地区成人式 ○伊賀良公民館との交流会 ○軽スポーツ体験会
伊賀良公民館 (P149～156参照)	○乳幼児学級(0歳児、1歳児)			
鼎公民館 (P157～167参照)	○つくし学級(3歳児学級) ○たんぼ学級(2歳児学級) ○いちご学級・りんご学級(1歳児学級) ○さくらんぼ学級(0歳児学級)		○鼎の景観写真コンテスト ○ふるさと鼎コマーシャル ○ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 ○鼎地区文化活動ロビー展示 ○いいだ人形劇フェスタ2020鼎地区公演	○華甲大学(高齢者学級) ○鼎小中PTA公民館合同講演会 ○世代間交流事業 ○鼎公民館役員研究集会 ○あんじゃない会
上郷公民館 (P168～176参照)	○乳幼児学級			○高齢者学級 ○子ども料理教室
上村公民館 (P177～183参照)	○乳幼児学級「ひよこちゃん」 ○子育てクラブ チロル		○人形劇フェスタ・観劇バスツアー(中止) ○しゃくなげ祭(文化祭)(中止) ○上村地区作品展覧会	○若い衆で地域を語らまいか(上村青年会議、まいか娘) ○遠山郷しぜんとあそぼうプロジェクト ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾 ○遠山郷フォーラム
南信濃公民館 (P184～191参照)	○乳幼児学級「すこやか学級」		○第23回南信濃地区芸術祭	○女性学級 ○図書分館との合同事業 ○クリスマス会 ○書き初めの宿題をやる会

令和2年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業	CS推進事業 (家庭教育)	CS推進事業 (協働事業)
			○親子料理教室(中止)	
○ふるさと探検 ○百人一首大会・龍江かるた会 ○郷土を学ぶ講演会		○水辺の楽校魚釣りつかみ取り大会 ○アップルキッズの森	○食育体験教室(季節の野菜づくり) ○食育体験教室(大豆・豆腐づくり体験) ○和紙作り ○親子人形劇の会 ○小学校お助け隊 ○図書館お楽しみ会 ○地域クラブ活動	
○竜丘市民大学講座 ○竜丘自由画保存顕彰委員会 ○竜丘古墳の会 ○民俗資料保存事業				○緑ヶ丘中学校結い未来プロジェクト(松尾公民館の事業報告を参照)
○第67回天龍峡夏期大学(中止)	○歴史文化セミナー ○世代間交流事業(正月飾りづくり)	○さわやか健康教室	○川路通学合宿(中止) ○火起こし&かまどご飯体験	
○ふるさとめぐり三穂(中止)	○ワンバウンドふらばるバレー大会(中止) ○お盆ソフトボール大会(中止) ○女性交流スポーツ大会(中止) ○三穂市民運動会(中止) ○ニューススポーツ大会(中止) ○体育施設整備作業(中止)			
○山本学講座 ○ふるさとクッキング ○山本地区ウォーキング ○満蒙開拓平和記念館見学&マレットゴルフ大会	○体力促進会	○杵原広場整備作業 ○公民館清掃 ○親子de自然体験	○親子deクッキング ○キッズ山本コミュニティスクール音楽フェスタ	
○かさまつ大学	○伊賀良を学ぼう～歴史・文化・自然～	○男性の料理教室		
○ふるさと再発見ワンデーマーチ ○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」	○料理教室 ○鼎地区体育祭(ベタンク大会) ○鼎地区縦断駅伝大会 ○鼎地区女性バレーボール大会 ○冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらばるバレーボール) ○ニューススポーツ講習会 ○体育委員・役員向けニューススポーツ講習会 ○ふるさと再発見ワンデーマーチ	○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」 ○鼎打ち水大作戦	○家庭教育講座(かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」) ○かなえっこ どっきどきスクール ○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」	○鼎小中PTA公民館合同講演会○保育園・小学校との連携による子育て支援事業 ○鼎の子どもを語る会
○郷土料理教室(中止) ○女子高校調理クラブとの交流会		○農作業体験教室	○子どもそば打ち教室(中止)	
○小学生霜月祭横笛教室 ○世代間交流事業	○マレットゴルフ大会 ○かみむら大運動会(中止) ○第27回小学生・公民館卓球大会 ○春季スポーツ大会、健康講座	○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾(自然体験学習)	○小学校PTA共催講演会(中止)	○KGC(かみっこグリーンクラブ)自然体験
○夏休み子ども見守り事業自磨の時間 ○春休み子ども見守り事業自磨の時間 ○霜月祭プロジェクト(郁文館グローバル高等学校交流) ○おやす・しめ縄づくり	○南信濃地区運動の集い	○ブッポウソウの保護活動 ○夏休み子ども見守り事業自磨の時間～遠山郷ESD塾～(自然体験学習ほか)	○夏休み子ども見守り事業自磨の時間(再掲) ○春休み子ども見守り事業自磨の時間(再掲)	○ウェルカムティープロジェクト～オール和田で「お茶を通して」人々を呼び込もう～

令和2年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専 門 委 員 会 事 業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
橋北公民館 (P31～37参照)	・橋北地区文化祭(中止) ・いっだん人形劇フェスタ2020 橋北地区公演(中止) ・文化研修旅行(中止)	・ワンバウンドふらば～るバレーボール大会(中止) ・第43回橋北市民運動会(中止) ・橋北地区スポーツ大会 ・ボウリング大会(中止)	・館報橋北発行	・工作・実験教室(中止) ・第6回橋北再発見ウォークキング「すたてくさつさ」 ・しめ飾り講習会もちつき交流会(中止) ・新春書き初め大会(中止)	・橋北・橋南・東野地区成人式(延期) ・ふるさとコンサート(中止) ・(橋北・橋南・東野3館合同) ・三館合同文化講演会(橋北・橋南・東野合同)
橋南公民館 (P38～47参照)	・いっだん人形劇フェスタ2020 橋南地区公演(中止) ・第25回橋南文化祭(中止) ・橋南史跡めぐり(中止) ・橋南史跡ウォークキング	・第35回橋南ウォークラリー大会(中止) ・橋南ソフトボール大会 ・第33回橋南連合大運動会(中止)	・館報橋南発行 ・コロナに負けるな！言葉を飾ろうプロジェクト		
羽場公民館 (P48～57参照)	・いっだん人形劇フェスタ2020羽場地区公演(中止) ・羽場地区文化祭(中止) ・飯田西中学校吹奏楽コンサート ・学校作品等展示会 ・夜の講座 ・かざこしふれあいコンサート(羽場・丸山地区合同)(中止)	・ソフトボール大会(中止) ・ふれあいスポーツ祭(中止) ・ペタンク大会 ・囲碁ボール大会(中止)	・広報「あけぼの」の発行		
丸山公民館 (P58～66参照)	・丸山地区文化祭 ・おとなのサロン ・丸山くらす ・かざこしふれあいコンサート(羽場・丸山合同)(中止)	・ソフトボール大会 ・ワンバウンドふらば～るバレー大会 ・クイズ大会 ・丸山地区運動会(中止) ・囲碁ボール大会(中止)	・広報まるやまの編集	・スポーツ文化教室保護者研修会 ・お正月飾り教室 ・親子交流体験事業 ・ウォーク大会 ・正月遊び・もちつき体験(中止)	・羽場丸山地区成人式(羽場・丸山合同)(延期) ・風越山麓公園で遊ぶ(中止)
東野公民館 (P67～76参照)	・しめ縄づくり ・第48回東野区民文化祭(展示発表会は中止) ・いっだん人形劇フェスタ2020東野地区公演(中止) ・シトラスリボン・エールのさくらプロジェクト ・お正月行事(中止)	・クラブ大会 ・第31回東野区民大運動会 ・ペタンク大会 ・囲碁ボール大会(中止)	・まちづくり会報東野の発行	・小学校、中学校卒業生へ記念品の贈呈 ・親子のスポーツ交流会(中止) ・キッズチャレンジ手作り体験	・飯田OIDE長姫高校地域教育 ・図書館お楽しみ会 ・明日の東野をつくる集い ・橋北・橋南・東野地区成人式(延期) ・ふるさとコンサート(中止) ・(橋北・橋南・東野地区合同) ・丸山小学校放課後子ども教室(羽場・丸山・東野地区合同)

令和2年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専 門 委 員 会 事 業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
座光寺公民館 (P77～85参照)	・座光寺人形劇まつり(中止) ・いっぴだ人形劇フェスタ座光寺保育園公演(中止) ・座光寺地域文化祭(中止) ・麻績の里種まき大賞(中止) ・座光寺地域成人式(延期)	・春季・冬季スポーツ大会(中止) ・座光寺地域市民運動会(中止) ・ニュースポーツ体験会in座光寺地区交流月間 ・座おうちdeストレッチ ・高陵地区ニュースポーツ交流会(合同)(中止)	・広報座光寺発行 ・広報座光寺お知らせ版発行	・子ども桜ガイド(中止) ・お茶摘み体験学習(中止) ・ホタルを見る会(中止) ・水辺の広場で遊ぼう(中止) ・星空観察会 ・ふるさと体験 ・子ども科学教室 ・体験学校まとめの会(中止)	・地域づくりフォーラム(中止) ・座光寺の子どもを語る会 ・座光寺の子どもを語る会推進委員会 ・公民館女性委員交流会 ・総合的な学習の支援 ・麻績っ子クラブ(小学校クラブ活動)支援
松尾公民館 (P86～92参照)	・親子映画鑑賞会(中止) ・いっぴだ人形劇フェスタ2020松尾地区公演(中止) ・第18回松尾踊ってみよう会(中止) ・松尾地区文化祭(中止) ・松尾地区成人式(延期)	・松尾地区市民運動会(中止) ・ニュースポーツ講習会(中止) ・分館交流ニュースポーツ大会(中止) ・分館交流ふらば～るバレー大会(中止) ・ウォーキング教室(中止)	・「まつお新聞」の発行		・松尾地区学習会(中止) ・公民館役員研修会(中止) ・分館役員研修会(中止) ・松尾地区還暦の会
下久堅公民館 (P93～98参照)	・ふるさとコンサート(中止) ・いっぴだ人形劇フェスタ2020(中止) ・ひさかたウォーキング(中止) ・下久堅地区成人式(延期) ・下久堅地区文化祭(中止)	・ひさかたふれあいフェスティバル ・分館対抗ソフトボール大会(中止) ・常会対抗盆野球大会(中止) ・下久堅地区市民運動会(中止) ・冬季スポーツ大会(中止)	・「ひさかた」の発行	・魚つかみどり体験(中止) ・ひさかたふれあいフェスティバル ・書き初め教室(中止)	・下久堅放課後子ども教室
上久堅公民館 (P99～107参照)	・いっぴだ人形劇フェスタに向けた学習会(中止) ・人形劇フェスタ2020上久堅地区公演(中止) ・上久堅地区文化展 ・上久堅うたの祭典(中止) ・上久堅を知る	・分館対抗女性スポーツ大会(中止) ・分館対抗ソフトボール大会(中止) ・上久堅地区運動会(中止) ・冬季スポーツ大会(中止) ・囲碁ボールリーグ戦(中止)	・館報「かみひさかた」発行 ・館報編集学習会 ・館報発送サービス事業 ・上久堅写真展		・【合同事業】竜東中学校地区交流スポーツ大会 ・分館自主活動(中止) ・世代交流しめ縄飾り講習会 ・第28回ひさかたの水まつり(中止) ・上久堅地区成人式(延期) ・小学校クラブ活動・総合学習の支援
千代公民館 (P108～115参照)	・いっぴだ人形劇フェスタ2020千代地区公演(中止) ・人形劇フェスタかんげきバスツアー(中止) ・千代峠交流会 ・千代峠(旧千速線)整備事業 ・千代地区文化祭 ・千代地区成人式(延期)	・第11回ワノンふらバレー大会(中止) ・千代地区市民運動会(中止) ・第7回囲碁ボール大会(中止) ・千代マレットゴルフ大会(中止)	・館報千代の発行(6回) ・ふるさとの便り発送事業	・万古溪谷筋の木ツアー ・第22回ワオーンクラリー大会 ・創作教室	・【合同事業】竜東中学校地区交流スポーツ大会
龍江公民館 (P116～123参照)	・いっぴだ人形劇フェスタ2020龍江地区公演(中止) ・人形劇フェスタ観劇バスツアー(中止) ・龍江地区文化祭・芸能祭(中止) ・龍江地区文化作品展	・ベタンク大会(中止) ・龍江地区市民運動会(中止) ・龍江絆駅伝	・龍江新聞発行 ・龍江ホームページ運営	・ふるさと探検(中止) ・水辺の楽校魚釣りつかみ取り大会(中止) ・百人一首大会・龍江かるた会(中止) ・アップルキッズの森	・武田信玄狼煙リレー ・龍江地区成人式(延期) ・【合同事業】竜東中学校地区交流スポーツ大会

令和2年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専 門 委 員 会 事 業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
竜丘公民館 (P124～129参照)	・ふるさとコンサート(中止) ・いっぴだ人形劇フェスタ2020 竜丘地区公演(中止) ・ニューイヤークコンサート2021online ・竜丘地区文化作品展 ・竜丘市民大学講座 ・成人式(延期)	・夏季スポーツ大会(中止) ・冬季スポーツフェスティバル ・竜丘市民運動会(中止)	・館報たつおか発行	・水辺の楽校整備作業 ・川で遊ぶ(中止) ・竜丘あいさつ運動 ・古墳まつり(中止)	・専門委員会 ・民俗資料保存委員会 ・特別委員会 ・竜丘古墳の会 ・竜丘児童自由画保存顕彰委員会
川路公民館 (P130～134参照)	・いっぴだ人形劇フェスタ2020 川路地区公演(中止) ・第68回天龍峡夏期大学(中止) ・川路地区文化祭(中止)	・分館対抗ソフトボール大会(中止) ・分館対抗バレーボール大会(中止) ・川路ワンふら大会(中止)	・館報かわじ発行 ・館報かわじ縮刷版第2号発刊 ・南信州新聞社視察研修	・川路地区成人式	
三穂公民館 (P135～141参照)	・ふるさとコンサートin三穂(中止) ・いっぴだ人形劇フェスタ2020 三穂地区公演(中止) ・ふれあい夏祭り(中止) ・三穂地区打ち上げ花火 ・三穂文化祭(中止) ・文化セミナー(中止) ・ふるさとめぐり三穂(中止)	・ワンバウンドふらば〜るバレー大会(中止) ・お盆ソフトボール大会(中止) ・三穂市民運動会(中止) ・ニュースポーツ大会(中止) ・体育施設整備作業(中止)	・館報「みほ」の発行 ・新春放談会(中止)	・ほっとけない楽習会(中止) ・女性交流スポーツ大会(中止) ・三穂地区成人式(延期)	
山本公民館 (P142～148参照)	・山本地区ウォークキング(中止) ・人形劇フェスタ2020 山本地区公演(中止) ・山本地区文化祭(中止) ・国際ふれあい交流会(中止) ・いっぴだ人形劇フェスタ2020 伊賀良地区講演(中止) ・ふるさとゲームウォーク〜中村の春〜(中止) ・伊賀良地区文化祭 ・伊賀良地区成人式(延期) ・人形劇公演	・分館対抗スポーツ大会(中止) ・体力促進会(中止) ・山本地区市民大運動会(中止) ・軽スポーツフェスティバル(中止) ・軽スポーツ体聯合 ・分館対抗夏季スポーツ交流会(中止) ・山本地区との交流会(中止) ・伊賀良地区大運動会(中止) ・分館対抗冬季スポーツ交流会(中止)	・広報いがら発行 ・米寿記念写真撮影、贈呈	・山本地区夏祭り(中止) ・武田信玄狼煙リレー ・山本地区成人式(延期)	
伊賀良公民館 (P149～156参照)	・いっぴだ人形劇フェスタ2020 伊賀良地区講演(中止) ・ふるさとゲームウォーク〜中村の春〜(中止) ・伊賀良地区文化祭 ・伊賀良地区成人式(延期) ・人形劇公演	・分館対抗夏季スポーツ交流会(中止) ・山本地区との交流会(中止) ・伊賀良地区大運動会(中止) ・分館対抗冬季スポーツ交流会(中止)	・広報いがら発行 ・米寿記念写真撮影、贈呈	・学校体育施設運営委員会、調整会議 ・展示コーナー運営委員会 ・飯田OIDE長姫高校地域人教育	
鼎公民館 (P157～167参照)	・ふるさと再発見ワンデンマーチ(中止) ・いっぴだ人形劇フェスタ2020(中止) ・鼎打ち水大作戦(中止) ・ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭(中止) ・鼎地区文化活動ロビー展示 ・鼎の景観写真コンテスト ・鼎地区成人式(延期) ・ふるさと鼎コミュニケーション	・鼎地区体育祭(ベタング大会)(中止) ・鼎地区縦断駅伝大会(中止) ・鼎地区女性バレーボール大会(中止) ・鼎公民館長杯冬季スポーツ大会(中止) ・ニュースポーツ講習会(中止) ・体育委員・役員向けニュースポーツ講習会	・「公民館報かなえ」の発行	・高校生の学習活動支援 ・鼎の子どもを語る会(中止) ・鼎小中PTA公民館合同講演会 ・鼎公民館役員研究会 ・あんじやあない会	

令和2年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専 門 委 員 会 事 業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
上郷公民館 (P168～176参照)	・上郷地区文化祭	・春季スポーツ交流会(中止) ・夏季スポーツ交流会 ・上郷地区大運動会(中止) ・冬季スポーツ交流会 ・高陵地区ニュースポーツ交流会(中止)	・「広報かみむら」発刊事業	・あいさつ運動 ・文化祭 工作教室	・高校の丘音楽会(中止) ・小学校音楽鑑賞教室(中止) ・今年限りの夏の音楽フェスタ ・上郷まちろう会 ・いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演(中止) ・地域を知る会 ・分館役員研修会 ・シトラスリボン運動の取り組み ・上郷地区成人式(延期) ・地域づくりフォーラム
上村公民館 (P177～183参照)	・いいだ人形劇フェスタ2020上村地区講演(中止) ・しゃぐなげ祭(文化祭)(中止) ・遠山地区成人式 ・食レポ！遠山郷3種の神ギス	・マレットゴルフ大会 ・かみむら大運動会(中止) ・第27回小学生、公民館卓球大会 ・春季スポーツ大会、健康講座	・「館報かみむら」発行		
南信濃公民館 (P184～191参照)	・ふるさとコンサートinかぐらの湯(中止) ・いいだ人形劇フェスタ2020南信濃地区公演(中止) ・親子映画の夕べ(中止) ・生活改善 ・天体観測会 ・食レポ！遠山郷3種の神ギス ・遠山地区成人式(延期)	・南信濃地区野球大会(盆野球)(中止) ・南信濃ソフトボール大会(御射山ゾフト)(中止) ・ニュースポーツ交流会 ・みなみしなの健康まつり(中止) ・毎週月曜日はみなみしなの健康の日(ウォーキングほか)(中止) ・南信濃地区運動の集い ・リラックスヨガ2020 ・保・小・公民館合同運動会のあり方検討協議会	・館報やまなみの発刊		
Aブロック公民館 (P192～193参照)	・旧市5地区芸能祭(延期)	・旧市5地区野球大会(中止) ・丘の上5地区クラブ大会	・Aブロック広報・館報研修会(中止)		・Aブロックユニア・レディーズソフトボール大会(中止) ・Aブロック女性バレーボール大会(中止)
Bブロック公民館 (P194参照)					Bブロック館長・主事学習会
Cブロック公民館 (P194参照)					Cブロック情報交換会(中止)
Dブロック公民館 (P195参照)	・Dブロック文化部情報交換会	・Dブロックバドミントン大会(中止) ・Dブロック交流スポーツ大会(延期)		・Dブロック小学生交流会(中止)	

飯田市公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	トライアングルフリーマーケット	市費	継続	1	6	—	—	5月(中止)10月(中止)	三日市場 運動公園
	主に子育てに関するアイテム(衣料・靴・おもちゃ等)のリユース・リサイクルをはかる。	【成果と課題】 子育てネットワークトライアングルが毎年春・秋の2回行うフリーマーケット。子育て世代のリサイクル・リユースを推進するとともに、交流の場となることを目的としている。公民館では、出店申し込みの受付、当日の会場準備等をサポートしている。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 ✓縮小 子育てネットワークトライアングルの活動停止に伴い来年度は実施しない。しかし子育て世代の交流の場として要望の高い授業であることから、開催するか要検討。							
学級・講座	トライアングル妊婦さん向け講座	市費	継続	8	47	5	461	初夏(中止)・初秋(9月)・初冬(11月)	羽場中央公会堂
	出産や育児等の不安を解消し、飯田で安心して出産・育児に向かっているような妊婦期を過ごしてもらう。	【成果と課題】 今年度から3回開催予定であったが、コロナ禍で【初秋】の講座は中止。【初秋】を開催するにあたり、病院での学級などもなくなっている。コロナ禍でいつもよりも不安が大いではないかという事で感染予防をし開催をした。参加者は少なかつたが、コロナで生活と妊娠に不安な事があったが赤ちゃんに会えるのが楽しみになった。つわりで予定より早くに産休に入り孤独を感じることがあったがとても心地の良い時間だった。産後相談しやすい場所や人のつながりができた。困った時に支援があると思うと心が楽になった。講座のその後 受講生の中でも予定日の早い方が後の方に情報を伝えたいと連絡先を聞いてこれられ、講座の後も繋がりが出来た。今年、飯田に引っ越して来た方もおられ、里帰り出産も出来ず、自分の親を呼ぶことも難しく、友達もいないくて、飯田での出産に不安があったが色々な支援があることがわかって少し不安が和らいだとの感想もあった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ✓現状維持 □縮小 子育てネットワークトライアングルが活動休止となったが、トライアングルのメンバーが関わる、NPO法人おしゃべりサラダと連携をして妊婦さん講座を続けていく予定である。							
学級・講座	子育て講座	市費	継続	—	—	—	—	(中止)	飯田市公民館
	未就学児を持つ親を対象に、日々の子育ての中で、親子が生き生きと自分らしくいれる為に大切なことを学ぶ機会とする。	乳幼児を持つ親に向けて3回連続講座を開催。心からだをリフレッシュし、明日からの子育てをもっと楽しく、やりがいを感じてもらう機会とする。 【コロナ禍の防災講座】 防災食・防災グッズ・避難所等の連続講座 評価 【成果と課題】 子育てネットワークトライアングルのメンバーの減少に伴い、今年度から飯田市民公民館で開催予定であった。実施できなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ✓現状維持 □縮小 今までは子育てネットワークトライアングルと共催していたため、未就学児の親を対象としたものが多かったが、小学生のタブレットや中学生の部活に關わる話など色々な年代の子供に關する課題にも取り組んでいく事が必要である。							

飯田市公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	子育てサークルリーダー交流会		市費	—	—	—	8サークル	(中止)	—
学級・講座	自主子育てサークルのリーダーが一同に会し、交流や情報交換をする事で、各サークルの活動を活性化し、市全体の子育て環境の改善を図る。	実施内容	コロナ禍で開催できるか不透明であったため、市内で自主的に運営している子育てサークルの活動、各サークルでの工夫、悩みについて情報を共有する事で今後の子育てサークルに活かしてもらう事を目的にアンケートを実施し、とりまとめた情報を共有する事で今後の子育てサークルに活かしてもらう。また今後の子育て講座の計画に向けた現状把握を行った。 【成果と課題】 アンケートにて交流会への参加希望をとったがコロナが落ち着けばとの回答がほとんどであったためアンケートをまとめ、知りたい事への回答もつけ各サークルに送付。子育てサークルも減少し参加も少なくなっているが、アンケートを実施したことでコロナ禍で他のサークル活動を参考にしたいとの意見もあった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ✓現状維持 □縮小 今までにないコロナ禍でのサークル活動で他のサークルの活動にも関心が向いていることから、次年度交流会を行いお互いの活動についての意見・情報交換する場が必要。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育て情報誌「おひさま」の編集・発行	市費	継続	9	24	1,100部発行	2,887	年4回発行	飯田市・羽場公民館
	子育てに関する情報を発信する。	実施内容	“子育て中だからこそできること”をキーワードに、子育てネットワークトライアングルのメンバーが2ヶ月に1回手書きで編集・発行している。今年度は113～115号を発行。毎回1100部印刷し、市内の公共施設や病院、つどいの広場などへ設置している。 113号特集「おうち時間を楽しもう!!」 114号特集「私の周りの小さなNews!!」 115号特集「子供のお祝いごと」 【成果と課題】 平成9年の創刊から休むことなく発行している毎号メンバーがしっかりと取材した情報を載せており、子育て中の方々が楽しみにしておられたが、近年その場では読むのが持ち帰る人が減少。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 ✓縮小 子育てネットワークトライアングルの休止に伴い発行終了。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	日本語教室わいわいサロン	0円	継続	32	160	5	2,218	6月1日～3月31日	飯田市公民館
	地域在住の外国人に日本語学習の機会と生活情報を提供し、地域住民との交流を図る。	実施内容	通年で実施することにより、地域在住の外国人が気軽に訪れ、日本語学習を軸に地域で暮らすための生活情報、防災などについて情報を得たり、日本語学習支援のボランティアスタッフとの交流も目的としている。今年度は新型コロナウイルスの感染対策や、感染拡大状況に関連する日本語、給付金などの生活支援策について情報共有も行った。。また来日したばかり、あるいはこの土地へ転入してきたばかりの外国人の地域コミュニティへの連結や、子供の就学や就職をはじめとする生活相談も行った。 【成果と課題】 4月～5月と1月～2月公民館が休館となったため休講となったが、開館中は教室を開き継続的な学習を進めることができた。しかし学習者が仕事を始めることで学習を休止せざるを得ず、せっかく積み上げてきた日本語力が減退してしまうという心配もある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ✓現状維持 □縮小 今年度できなかったエスニック料理での交流や地域散策も実施できればと思う。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	わいわい情報交換会	他会計	継続	2	25	12	13	6月6日、11月28日	市公/飯田市役所
	多文化共生事業全体を推進するための企画会議	実施内容	飯田市公民館や飯田市が取り組んでいる日本語教育事業や多文化共生事業について説明し、市内の日本語教室の代表者からは、各団体の近況報告をしてもらった。また講師として第1回は長野県多文化共生相談センター長、第2回は長野県国際課担当職員を招き国政、県の取組について情報共有してもらった。 年度始め、下半期始め、年度末と定期的に開催し、地域の日本語教育や国際交流団体の代表者が集い情報交換はじめ、多文化共生における課題を共有し、解決に向けた話し合いを行う貴重な機会となっている。 【成果と課題】 飯田市の取組について知ってもらい、各日本語教室の活動状況を知ったり、講師から国政や県政について情報を得ることができ、課題共有や対策について話し合う良い機会となっている。コロナで年度末の会議が出来ず残念だった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ✓現状維持 □縮小 3回実施し、県内外の有識者を講師として招き、地域の代表者とともに地域の多文化共生推進のための中心的会議の役割を果たしていきたい。						

飯田市公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	「やさしい日本語」講習会	他会計	継続	1	15	15	99,701	10月18日	飯田市公民館
学級・講座	目的 「やさしい日本語」について学び、より実践的な演習を行い、「やさしい日本語」のさらなる普及を目指す 実施内容 昨年に引き続き、専門の講師を招き、「やさしい日本語」の目的や果たす役割について説明。その後グループに分かれて、現場でのやりとりに近い実践的な演習を数多く行った。グループ学習を通じて、地域の日本語教室の関係者が、コミュニケーションの悩みを分かち合ったり、活動を紹介しあう良い機会となった。						【成果と課題】 地域内の日本語教室の支援ボランティアの参加が多かったが、介護施設などで外国人と仕事をしている人がコミュニケーションを学びに来た人もいた。継続的に講習会を行うことで「やさしい日本語」が支援者だけでなく市民にも受け入れられてきた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☐縮小 2. 3回実施し、「やさしい日本語」のさらなる普及を目指す。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	日本語教室わいわいサロンII(県教室)	他会計	継続	8	100	13	2,218	6月29日～8月24日	県公民館
学級・講座	目的 日本語学習を通じて、地域住民と外国人を対象に、互いに学びあうことで異文化理解を促進させ、多文化共生社会を醸成させる。 実施内容 ①新しいコロナウィルスについて(三密・ソーシャルディスタンスなどの用語理解) ②ストレッチ体操(大雨のため中止し、③と合体させた) ③体の不調を訴える(体操講師を招き、レクリエーション体操も行った) ④世界の学校を知ろう(外国人ファシリテーターが中心となって実施) ⑤もし家族が年を取ったら?(特養や介護用品の経営者を講師として招き、介護保険や介護施設について説明していただいた) ⑥七夕(新たなファシリテーターが講師となって七夕の由来や短冊に日本語で願い事を書いたり、折り紙で飾りを作った) ⑦盆踊り(現代舞踊の会の方による演技を鑑賞し、講師になっていただき“りんごん”“竜峡小唄”を教わった) ⑧好きな本や映画について(外国人ファシリテーターが中心となって実施)						【成果と課題】 日本語学習を軸に体操講師、特別養護老人ホームの経営者、日本舞踊グループといった地域で活躍する人を講師に招き、この地域で健康に暮らすヒントとなる講座を実施した。長年日本語支援をしているサポーターにも講座を運営するファシリテーターを務めてもらったり、また学ぶ側であった外国人にも講座の企画運営に入ってもらうなど、人材育成にも力を入れることができた。コロナ対策で会場を二部屋取り三密を避けたり、消毒、飲食禁止などコロナ対策を行って実施したが、参加者は前年の半分くらいであった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☐縮小 コーディネーターとして育ててきた支援者や教える側になった外国人に、来年度も講座の企画運営にしっかりと携わってもらい、日本語学習の高まるニーズに応えるため、日本語教室の拡充につなげたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	日本語教室わいわいサロンII(松尾教室)	他会計	継続	8	80名	10名	2,218	10月5日～11月30日	松尾公民館
学級・講座	目的 日本語学習を通じて、地域住民と外国人を対象に、互いに学びあうことで異文化理解を促進させ、多文化共生社会を醸成させる。 実施内容 日本語教室わいわいサロンII松尾教室 「いいだのことをしようかいよう」をテーマに、グループに分かれて飯田市のPRビデオを製作した。外国人23名、日本人サポーター23名のグループに分かれ、取材旅行、写真や動画の編集、日本語による原稿作成、ナレーションを収録し、5分ほどのPR動画にした。 グループ①「開善寺と飯田動物園」 グループ②「丘の上の街飯田」 グループ③「天竜峡さらさんぽ」						【成果と課題】 外国人が中心となって作品のテーマや取材する場所を決め、市内の各地に取材にかけた。地元住民とは違った視点でのPR作品ができた。学習成果発表会で作品を上映する予定だったが、開催できなかったため学習者全員にDVDを配布した。 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☐縮小 来年度も学習者が積極的に地域と関わる事業を展開するとともに、地域住民が外国人ともしっかり関わられるような講座を実施したい。		

飯田市公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	日本語教室わいわいサロンⅡ 学習成果発表会	他会計	継続	1	—	—	99,701	2月7日(中止)	飯田市役所
学級・講座	日本語教室の活動を広く市民に公開し、外国人と地域住民との交流を行うことで、地域の多文化共生の意識を醸成させる。						【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 日本語教室の活動が地域社会に認知され、日本語支援ボランティアの獲得や学習者の獲得につなげるため、次年度は開催したい。		飯田市役所
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	外国人高校生キャリア支援事業	他会計	新規	4	60	15	2,218	通年	飯田市公民館他
学級・講座	外国人中高生に自己のルーツを学び、多様性を活かしたキャリア形成ができるための支援を行う						【現状調査】 地域内の高校に現状把握するためのアンケートを実施 高校や中学へ母語支援を行っている教諭に聞き取り 国際交流団体の関係者、外国人リーダーから聞き取り(各事業) ①日系ブラジル人3世による講演会(8月13日) ブラジル移民の歴史や日系ブラジル人社会について ②中国帰国者2世による講演会(9月13日) 中国から来日した時の戸惑いとその克服、現在に至るまでの思いについて ③若者へ応援メッセージビデオ制作 日系ブラジル人の20代の若者と大学受験を目指す高校生から応援メッセージを話してもらいビデオに収録 ④日系ブラジル人3世の職場見学と講演会(12月6日) 外国人親子を対象に日系ブラジル人が工場長を務める工場の見学と講演会	評価	
学級・講座	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会やカンボジアでの学びを通じて、社会の親方についての視点を持つ、また、社会の一員としての自身のあり方を考える時間をつくる。						【成果と課題】 海外やふるさとについて、どのように地域を観るか、という視点や意識を持つ契機になるとともに、ふるさと飯田への理解を深め、自身の生き方について考える機会を持つことができた。コロナ収束の際には海外に学んでみたいという意欲を改めて抱いた生徒もいた。また、現地に行けなかったからこそ、なぜ自分が海外に行きたのか、なぜ故郷を見つめる必要があるのかをしつかり考えることができたという生徒もいた。一方、カンボジア現地に行けないことが重くのしかかり、動機を見つけれないまま学習を終えた生徒もあり、進行為非常に困難であった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 現地研修実施の見通しは未だ立たないが、地域を観る目を養い、地域社会をデザインできるような学習会を実施したい。	評価	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高校生講座「カンボジア・スタディツアー」	市費	継続	5	73	17	—	4月～8月	飯田市公民館他
学級・講座	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会やカンボジアでの学びを通じて、社会の親方についての視点を持つ、また、社会の一員としての自身のあり方を考える時間をつくる。						【成果と課題】 令和2年3月に予定したカンボジア・スタディツアーはコロナ禍により実施できなかった。代替として8月に東北スタディツアーを検討したが、東北での感染拡大も踏まえた結果、実施できなかった。 受講者の希望もあり、8月10日に最終の学習会を開催し、飯田での事前学習のまとめ、カンボジア現地の動画視聴、スタディツアーを手掛ける地元出身者の講演を実施した。 ・グループ有志による飯田学習の深化も行った。	評価	

飯田市公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第44回飯田市民大学講座		市費	4	280	125	99,701	10月～11月	飯田市公民館
学級・講座	目的 市民を対象に、郷土の歴史や自然・風土を始め幅広く学習すること、で、教養を得るとともに、ふるさと飯田のすばらしさを再認識し、この地域の将来展望について考える機会とする。 実施内容 第1講 10/10 疫病流行と民俗 -人々は病魔といかに向き合ってきたか- 柳田國男記念伊那民俗学研究所 会員 櫻井弘人 氏 第2講 10/24 感染症と下伊那の人々 -狂犬病からスペイン・インフルエンザ- 高森北小学校 教諭 前澤 健 氏 第3講 11/7 江戸時代飯田町の火災復興と消防体制 松川町資料館 学芸員 伊坪達郎 氏 第4講 11/21 コロナ時代の学び直し昭和史 飯田市美術博物館 専門研究員 青木陸幸 氏		市費	4	280	125	99,701	10月～11月	飯田市公民館
	第58回飯田市民公民館大会		市費	27	186	-	99,701	2月21日(中止)	市公・県公・上郷公・市役所
学級・講座	目的 公民館関係者や市民一般を対象に、一年間の活動を総括するとともに、公民館が担う役割を確認する機会とする 実施内容 第1分科会打合せ: 10/20、11/12、11/26、11/30、12/2、1/13、2/3(計7回、48人) 第2分科会打合せ: 10/27、11/13、12/4、1/6、1/18、1/29(計6回、34人) 第3分科会打合せ: 10/29、11/18、12/4、1/6(計4回、28人) 第4分科会打合せ: 10/28、11/10、11/18、12/2、2/8(計5回、36人) 第5分科会打合せ: 11/10、11/26、12/2、12/21、1/25(計5回、40人)		市費	27	186	-	99,701	2月21日(中止)	市公・県公・上郷公・市役所

・昭和52年に開講して以来44回目を迎えた令和2年度は、感染症や災害に先人たちはどのような対処をしてきたのか、このコロナ禍をどう生きるのかを考える機会として開催した。

テーマ:伊那谷の自然と文化VOL.36 ～郷土の先人に学ぶ～
第1講 10/10 疫病流行と民俗 -人々は病魔といかに向き合ってきたか- 柳田國男記念伊那民俗学研究所 会員 櫻井弘人 氏
第2講 10/24 感染症と下伊那の人々 -狂犬病からスペイン・インフルエンザ- 高森北小学校 教諭 前澤 健 氏

第3講 11/7 江戸時代飯田町の火災復興と消防体制 松川町資料館 学芸員 伊坪達郎 氏
第4講 11/21 コロナ時代の学び直し昭和史 飯田市美術博物館 専門研究員 青木陸幸 氏

【成果と課題】

・新型コロナウイルスへの不安があったが、市民有志で組織する実行委員会の学級・新年度は例年と同様であった。これは訴求力のある内容や講師を選定したことによると思われる。

・土曜日午後の時間帯を初めて設定したが、参加者には概ね好評であった。新たな参加者を獲得することもできた。

・今年度はコロナ禍のことがあり、内容が感染症に偏ってしまっただが、来年度は例年同様、幅広い分野の学びをしていきたい。また、青壮年が聴講するよう働きかけを行っていきたい。

【次年度の方向性との取り組み】

□拡充 □現状維持 □縮小
・リニアなどの社会資本の整備やコロナによる社会環境の変化など、時代の変化は必然となってきた。新たな時代に向けて、残すもの・変わるものを学ぶ機会としていきたい。

【成果と課題】

・新型コロナウイルスの影響により十分な活動ができなかった専門委員会をはじめとする諸活動。各地区が悩みながらも取り組みだ今年一年の活動や課題を皆で共有し次年度につなげていきたかったが、コロナの感染拡大が懸念され開催を断念。

・zoom等によるオンライン会議が会議の主流となる中で、公民館のネット環境整備の遅れがあり、細分化した参集も不可能であった。次年度に向けた検討事項と考える。

・分科会で話し合っていた内容、伝えなかったメッセージを資料として整備し、委員改選となる次年度の各公民館総会で活用することとした。

・市公大会は開催できなかったが主事の方量形成として、基調講演講師の石井山竜平先生とのオンライン研修を主事会が企画し実施した。

【次年度の方向性との取り組み】

□拡充 □現状維持 □縮小
コロナ禍での開催方法を検討し実施する。

飯田市公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	交流と学びの会	他会計	継続	9	57	40	—	通年	飯田市公民館 他
	目的 JICAから委託された草の根技術協力事業によって進める途上国の住民自治の仕組みづくりを支援する取組を通じて、飯田の地域づくりに共通する課題と解決の方策を学ぶ	【交流と学びの会への支援】 ・総会⇒書面決議 ・三役会の開催 9回 ・学習会の開催⇒延期 ・JICA PLSD 飯田研修受入れ⇒中止 ・文化祭への参加(竜丘・上久堅・駄科)⇒中止 ・国際交流のタベ参加⇒中止 学習会⇒延期 これからの世界・時代と「地域づくり」 第一部 パネルディスカッション「新たな時代における地域づくりのあり方」 長谷部 三弘氏 他「交流と学びの会」会員 講演会 『新たな時代を拓く「地域づくり」』 ～飯田の地域自治と「参加型地域社会開発(PLSD)」の出会いから～ 講師 大濱 裕 氏 JICA PLSD 研修コースリーダー 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 任意団体「地域づくりの学び舎」理事	評価	【成果と課題】 地区文化祭、国際交流のタベは中止。 JICAの研修受入やフイリピン・レガスピ市との交流を通して、飯田の地域自治の価値を確認・発信してきたが、地域や社会の在り方、そしてコロナの状況などで、価値観も確実に変化した。日々のくらしや地域での様々な活動を通して、飯田の地域自治の基盤にあるものが薄れてきてしまっているのではないかと。そうした「変化」についてどう考え、どうしていけばいいのを考えている時間としたいと、学習会を計画した。補助金申請も通り、開催の準備を進めていたが、コロナの状況と講師の事情により延期することとした。 【次年度の方向性と取組】 □拡充 □現状維持 □縮小 JICAの研修がリモートの講座のみになり、今年の研修生は来年度以降の飯田研修の研修員と共に来飯予定。学習会については今年度末ギリギリの開催も検討したが来年度は地区の分館役員改選、地区の公民館長も改選の時期にあたることから、新役員になった来年度早々に開催できるように今年度中に準備を進めておく。 昨年度作成した記念誌の映像化、学習会も今年度は開くことができなかったが、準備だけは進めており、映像化については、実施地区での模擬研修を開催し録画したものを残していければと準備を進めている。					
その他	飯田市成人式	市・地	継続	—	—	—	1,251	1月10日(中止)	飯田市公民館 他
	目的 成人式を新成人たちの「学習の機会」として捉え、実行委員会の活動を通じて地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とする。	居住地区、出身地区を基本単位に全市一斉に開催する。開催単位ごとに成人式実行委員会を組織し、地域を挙げて新成人を祝福するとともに、新成人自らが成人式の企画運営に関わることで、一生の思い出に残るような成人式となるように取り組む。新成人が実行委員会の活動を通じて地域を知り、地域とのかかわりを持つといった「学習の機会」と位置づけ、各公民館で様々な地域学習の機会をつくり、その内容を成人式記念誌「Wish」に「地域の魅力再発見」として掲載する。 ・コロナ禍を踏まえ、主事会において飯田保健所長を講師として学習会を開き、各会場での感染対策を徹底するとともに、新型コロナウイルスの抗原定量検査費用の補助制度を設け、新成人が安心して参加できる環境を整えた。 ・806名が出席予定であったが、飯田市の専門家会議の要請も踏まえ、やむを得ず令和3年8月以降に延期とした。	評価	【成果と課題】 感染症対策についての理解が深まり、各会場でも安心して成人式を運営できる素地をつくった。一方、成人式開催への地域の理解が課題となっている。 【次年度の方向性と取組】 □拡充 □現状維持 □縮小 延期先において、感染状況により式典が開催できなくなった場合でも、成人の節目を祝うという対応が必要になる。各地区実行委員会の取組みを共有しながら、様々な状況を想定して対応していくこととする。					

飯田市公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第45回コーラスグループ発表会		市費	3	54	—	18グループ	2月28日(延期)	飯田市公民館
	目的	各地区公民館で活動しているコーラスグループが一堂に会し、日頃の練習の成果を発表する機会。参加グループで実行委員会を組織し、計画段階から当日の運営まで実行委員会の主体性を大切にしながら実施する。							
	実施内容	【成果と課題】 コロナ禍を踏まえ、早期に代表者会を開催し、発表会の参加意思を確認し、後日、参加希望のグループによる実行委員会を組織し、運営検討を行った。感染拡大により1月下旬から公民館施設が休館となり、多くのグループが練習をできていない状況を踏まえ、令和3年7月から8月への延期を決定した。 評価 【次年度の方向性】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 改めて実行委員会を開き、感染対策を徹底しながら、開催を模索する。							
体育事業	第39回飯田女子バレーボール大会		市費	1	13	13	20地区	11月15日(中止)	上郷体育館 他
	目的	飯伊ママさんバレーボール連盟に協力いただき、参加チームの主体性を大切にしながら実施する。							
	実施内容	【成果と課題】 地域の事業が様々に心理的影響を及ぼしていることを把握した。 評価 【次年度の方向性】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 早期に代表者会を開き、開催について検討する。							
その他	定例主事会及び幹事会		市費	24	336	336	21	幹事会、定例主事会ともに毎月1回	飯田市公民館 他
その他	飯田市公民館事業の企画・運営・調整を図る	○幹事会 …主事会を活性化し、事前の組み立てを行う場 ○定例主事会 …午前 事務連絡と全体的な事業の企画・運営・調整等 午後 研修(以下参照)と情報共有 5月 …「他地区の育成活動に学び、自館のよりよい育成活動につなげよう」 担当:幹事会 6月 …「成人式の学習への理解を深めよう ～地域学習へようこそ～」 担当:永田、片岡、熊谷(健)、岩下、小澤、亀井 7月 …「コロナ禍における取組みと今後の可能性について」 (郡市合同主事研修会) 8月 …プロジェクト中間報告 9月 …「学芸員と研究員と公民館主事 知りあって、語り合って、学びをつくらう」 10月 …「コロナ禍における公民館活動について ～住民に寄り添うとは～」 担当:Aブロック 11月 …「コロナと上手につき合う公民館」 担当:Cブロック 12月 …「『地域課題』とは何か」 担当:Dブロック 1月 …「公民館主事の引継書～実践から語リスト～」 担当:熊谷(隆)、三船、片岡、山口、青山 2月 …プロジェクト総括に向けた意見交換							
	目的	【成果と課題】 ＜幹事会＞ 定例主事会の協議事項をまず幹事会で検討し、その後それぞれのブロック主事会で話し合い、各々が意見を持った上で主事会に臨むという流れが少なからずできた。 ＜定例主事会＞ 全主事が毎月順番で自館の事業を報告する「1館1事業報告」では、自館の取り組みを自分の言葉で整理する機会として、またお互いの実践をもとに主事の役割や考えを話し合う機会となった。 また主事会研修は主に自分たちで企画から組み立てまで行い、考えを深めるような研修を行った。さらに7月は下伊那郡の他町村の主事と、9月は美博・歴研の職員とまた11月には飯田保健所長の松岡さんを講師に行い、外部の知見にふれる時間も設けた。 今年度はコロナ禍でこれまで通りに行かない中、他地区や他町村の活動、考え方を共有したり、外部の知見にふれ、自館の活動のありかたをあらためて考える機会となった。 【次年度の方向性】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 【次年度の方向性】 引き続き実践をもとに自分たちが課題に感じる内容を議論しあう場であることを意識していきたい。今年度でできた部分は自信を持って継続しながら、次年度は地域で学びを広げる主事たち自身がさらに学び続ける姿勢を持ちたい。							
	実施内容	○幹事会 …主事会を活性化し、事前の組み立てを行う場 ○定例主事会 …午前 事務連絡と全体的な事業の企画・運営・調整等 午後 研修(以下参照)と情報共有 5月 …「他地区の育成活動に学び、自館のよりよい育成活動につなげよう」 担当:幹事会 6月 …「成人式の学習への理解を深めよう ～地域学習へようこそ～」 担当:永田、片岡、熊谷(健)、岩下、小澤、亀井 7月 …「コロナ禍における取組みと今後の可能性について」 (郡市合同主事研修会) 8月 …プロジェクト中間報告 9月 …「学芸員と研究員と公民館主事 知りあって、語り合って、学びをつくらう」 10月 …「コロナ禍における公民館活動について ～住民に寄り添うとは～」 担当:Aブロック 11月 …「コロナと上手につき合う公民館」 担当:Cブロック 12月 …「『地域課題』とは何か」 担当:Dブロック 1月 …「公民館主事の引継書～実践から語リスト～」 担当:熊谷(隆)、三船、片岡、山口、青山 2月 …プロジェクト総括に向けた意見交換							

飯田市公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	定例館長会及び幹事会	他会計	継続	24	360	22	22	館長会、幹事会共に毎月1回	飯田市公民館他
その他	20地区公民館の館長が、飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を図る ＜定例館長会＞ ①公民館の役割、館長の職責について議論し整理する ②全市共同事業の組立てや情報共有を図る ③地区館事業の情報交換を行う ＜幹事会＞ ①定例館長会の議題を協議、整理し方向付けを行う	【成果と課題】 ・新型コロナウイルスの影響により中止となる事業が多かったが、その中でも「できるところをやる」とする公民館の方向性を館長会において確認することができた。 ・成人式については、結果的には延期となったが、実施に向けては感染対策や会場設営・運営方法の検討など、例をみない様々な課題に対してしっかりと議論を行い、館長会として対応することができた。 ・幹事会を館長会とは別日の1週間程度前に開催することにしたことにより、論点が明確化するとともにしっかりとした準備が行えるようになった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 引き続き全市共同事業の企画・運営・調整の場とともに、地区館事業の情報交換の場としていく。							
	地域人教育	市費	継続	23	1,840	80	80	6月～2月	飯田市公民館他
その他	高校生のふるさと意識や社会貢献意識の醸成を図る取り組みを研究する	【成果と課題】 コロナ禍により活動が制限される中、全10グループが、各自で設定した研究テーマをもとに、地域との信頼関係を築きながら活動を実施することができた。これにより、課題に対して最適なサービス供給の実体験、地域への理解と望ましい社会の姿、そこに生きる一員である私の生き方について考えることができた。 また、高校生の学びを鑑として、関わった地域の大人にとっても学ぶ機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 高校生の学びについては、各グループが設定した研究テーマを深掘りすることを大事にしよう。年度末の推進委員会で確認している。また、高校生の学びの充実を図ることで、関わる地域の人たちにとても、自身の活動や暮らしを見直したり、高校生を対象とした教育活動を地域で興していく契機としたい。							
	地域人教育	市費	継続	23	1,840	80	80	6月～2月	飯田市公民館他

飯田市公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
高校生×地域共育プロジェクト		市費	継続	20	200	10	10			各公民館 他
	地域と高校生が共に学び、育ち、より良い地域を創造していくために、公民館ができることを、地域人教育を中心に研究する。	実施内容	【成果と課題】 高校生や若者との取り組みは、そこに関わる地域の大人も共に育つことができるのではないかとこの思いを持って活動してきており、「地域で学ぶ」学習を展開するための足がかりとして受け入れられる土壌（環境）を作る為には、地域に高校生をばじめとした若者を受け入れ、共に学び育つ意識を持った人々が多くのいる事が必要と考えた。そのために、大人も高校生も地域で学ぶ土壌が育まれていくことを具体的に整理したいという想いの基、地域人教育をモデルに取り組んだ。 (1) 高校生の取り組みから 共に育つことを整理するために、まずは高校生の学びの充実をはかった。高校生の学びとは、飯田の特徴である「自治」に触れることで、地域社会への理解を深め、自身の在り方を考えることと整理している。抛り所の作成などから、取り組みを推進する立場である主事が意識すべき点を整理し、学びを充実したものにするように心がけた。その中でも特に、「振り返り」の段階で課題を認識し、振り返りの視点や振り返り方を考える事が出来た。活動をした満足感で終わらせることなく、自分たちが考えた課題に対してどうだったのか、そこからどんなことに気づいたのか、これからの自分自身にできる、または活かせることはないかという段階に分けた深い学びに繋げる糸口ができたと考えている。 (2) 関わった地域の方への取り組みから 地域の方への関わり方も意識して取り組んだ。主事の地域の方との関わり方の変化や、振り返りの会での地域の方が高校生との活動で感じた事、自身の気づきや変化をお聞きする中で、高校生が学びながら取り組み姿から刺激を受け、高校生へのまなざしの変化と、それを鏡にした自分自身の変化があったことを具体的に聞くことができ、またそれが関わった方の中で共通している視点が数多くあることがわかってきた。 (3) 高校生と大人が共に学ぶ土壌とは 今年度の活動から、これまでのPJで整理してきた高校生の学びを深めていくこの取り組みが、関わった地域の方の学びや気づきに影響を及ぼしたり繋がったりしている事が具体的に垣間見ることができ、高校生に関わる意義に繋がると考えた。このことから、高校生を中心とした地域人教育から、大人も含めたみんなの地域人教育という意識を持てるようになっていったことが今回の成果であり、それが地域の土壌づくりそのものに繋がっていきと考えられる。高校生や若者と共に取り組み、共に学び育つ意識を持った人々が多くのいる地域は、高校生や若者と活動できる土壌が育まれていく。高校生や若者と地域が共に育つ活動を引き続き取り組んでいく事で、どの地区でも土壌（環境）作りが実現できる可能性を感じることができた。							
その他									評価	

飯田市公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人形劇プロジェクト	他会計	継続	23	184	8	8	通年	地区公民館
その他	人形劇プロジェクト	左記の目的を達成すべく、下記の目標を設定した。 ○活動目標(1)「人形劇のまち いいだ」の土壌を知る・学ぶ ○活動目標(2)「人形劇のまち いいだ」の土壌について、各地区で共有する ○活動目標(3) フェスタ中止を受けての支援を検討、実施する 上記の目標を達成すべく下記の活動を行った。 (1)「人形劇のまち いいだ」の土壌を知るための聞き取り ・今田人形保存会長 吉澤 健さん(7/7) ・今田人形座 木下 文子さん(8/19) ・黒田人形保存会相談役 高田 正男さん(9/10) ・飯田市美術博物館 櫻井 弘人さん(7/15) ・いいだ人形劇センター理事長 高松 和子さん(12/10) (2)学校人形劇発表交流会「学人祭」の開催(11/1) ・会場：上郷公民館 ・講師：獅子を舞う男 後藤 渉 ・参加校6校(鼎中学校、伊賀良小学校、旭ヶ丘中学校、追手町小学校、飯田西中学校、竜東中学校) (3)コロナ禍における人形劇フェスタの運営方法について検討 ・地区公演運営ガイドラインの策定 ・主事向けの地区公演試験公演開催(10/6) ・地区企画の内容検討(オリジナル企画助成金、電車バスツアー助成金、スダンブラリー、会場調査票の修正など) (4)主事会オリジナルポロシャツの作製							
	来年度以降の人形劇フェスタに向けて、「人形劇のまち いいだ」の持つ意味を改めて考え、関わる方が主体性を持って取り組めるフェスタを目指す	【成果と課題】 (1)「人形劇のまち いいだ」の土壌について「人形劇のまち いいだ」の土壌とは伝統人形劇、人形劇フェスタに関わる方に共通して言えるのは「取り組む中で徐々に自分のものになっている」ということだった。元々好きだったという方達とは別に、役として取り組む中で前向きな気持ちや責任感が育まれ、どうしても喜んでもらえるのかといった思いも強くなってくる。それは、まずはやってみるという環境がそのような思いを育む要因であると想定される。地域の実行委員の皆さんとも「まずはやってみよう」という思いが共有できるような、資料の検討を次年度以降行いたい。 (2)学校人形劇発表交流会「学人祭」を開催して分かったこと 児童生徒は発表を通じて達成感を感じ、保護者・教員は児童生徒の頑張りを認める機会となった。学校人形劇の取り組みが来年度以降に一つ一つの機会ともなった。また、アンケートや講評で劇の改善点が指摘されたことで、人形劇の質を上げることにもつながった。劇が評価されることで、児童生徒が「もっと良くなりたい」という思いを持つきっかけとなり、学校人形劇を見合うことが児童生徒の意欲を高めることも分かった。 (3)コロナ禍においても地区の委員さんや学校の先生と相談しながら進め、思いを共有したことで、委員さんや先生の人形劇への思いをつなぐことができた。 (4)コロナ禍における人形劇フェスタについて コロナについて次々と新しい情報がもたらされる中、現時点での対策を施したガイドラインを作成。地区実行委員の方の不安を取り除く一つの材料となり、次年度のフェスタについて話すきっかけを作ることができた。							

飯田市公民館の事業報告

No.11

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	次世代育成プロジェクト	市・地	新規	30	128	7	7	通年	各地区公民館
その他	これからの地域を担っていく公民館にかかわりある世代が、同じような活動をしている人同士地域を超えて話し合うなどして、それぞれの活動がより主体的で前向きな活動になるよう支援する。	活動内容							
		(1)「運動会」及び「公民館報」情報交換会の実施 専門委員同士の情報交換会による問題意識などの相互理解の経験から、特にコロナ禍において、自館事業の目的や在り方を捉え直すなど、同じ悩みを持つ者同士が集い、地区を超えた学習機会を通じて、既存事業の活性化と委員さん一人ひとりの意欲向上を図る。 OR2.7.1 運動会情報交換会(70名) OR2.9.17 公民館情報交換会(67名) (2)文献調査及び研修 専門家の知見や歴史を読み解きながら、今地域に必要な公民館や社会教育の役割を学びあい、専門委員会活動のこれからを考える。 ア 上田幸夫氏(日本公民館学会会長)、石井山竜平氏(日本公民館学会副会長)著書より イ 文部科学省事業 共に学び、生きる共生社会コンファレンス 東北ブロック 参加 ウ 飯田市公民館の歴史調査 エ 飯田市公民館主事会研修 石井山氏との研修 「専門委員会の可能性を考える」 2.20(土) (3)年刊専門委員会の発行 (1)及び(2)を踏まえて、専門委員会活動の可能性を可視化し、主事会或いは公民館専門委員会の研修等で活用できる資料を作成する。							
		評価							
		【成果と課題】							
		(1)情報交換会を通じて分かったこと 運動会及び公民館情報交換会ともに、コロナ禍にあって、悩みの種が共通していたこともあり、委員さん一人ひとりが自地区でどんな活動をすればよいか考える契機になった。飯田市公民館大会のように1年を振り返る情報交換会とは異なり、「今」を悩む委員の皆さんのリアルな声を捉えたことで活動目的の再考の機会にもなった。 (2)文献調査と主事会研修「専門委員会活動の可能性を考える」 情報交換会を踏まえうえて、現在の専門委員会活動は既存事業をどう行うかに終始してしまいがちで、目指す人物像に向けた活動にはどんな場になればいいのか考えた。文献調査から、「その地域に暮らす自分たちの生活」に即した課題をテーマにしていた元来の専門委員会の役割を確認し、これからの専門委員会の可能性とそれに対する主事の向き合い方を考え合い、できることを見出す機会として研修を開催した。講師からは「学習」とは自分の固定観念や当たり前を疑い、新しい価値観を獲得していく経験の積み重ねであり、自身の成長の可能性を見出し、自己を肯定していくことができること。であると示され、こうした視点を主事や委員さんが持つことで専門委員会という組織で仲間づくりと学び合いを通じた学習の展開が図れるのではないかと感じた。 (3)年刊専門委員会 来年度、公民館に関わる委員の皆さんが、他地区の活動や思い、専門委員会の歴史から、自分たちに何ができるかを考えるきっかけとなる資料を作成した。さらに、石井山先生との主事会研修で得た新たな視点である「学習」のためのきっかけとなる要素を意識して作成した。 (4)専門委員会の可能性 ①過去から学び今を知る②今を考える③未来をつくるといったサイクルのなかで、「より良い暮らしを目指して、今を見つめ、未来を考える場。そして、その活動を楽しむ場」を創りあげたい。そこに暮らす様々な職種、性別、年代を超えた人々が集うからこそ、身近な話題や課題を捉えた活動を興せることを意識しながら、地域の							

橋北公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(2歳児)学級	市・地	継続	16	90	12	84	実施内容参照	橋北公民館ほか
学級・講座	2歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合いの場、親同士の交流の場を作り、子どもの健全な成長を図る	実施内容	【成果と課題】 保育士、保健師、公民館の運営側3者で、講座の目的や意義を共有し、開講式で受講者親子とも一緒に約束事を確認して始めたことは良かった。3地区合同の開催にもかかわらず、参加者が減少していることは課題ではあるが、一方で参加者同士のつながりは強くなり、運営側も個々の成長に目を向けることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者数が年々減っていることから、土日の講座開催で保育園に通っていても参加できるように工夫や、父親を対象とした親子講座なども検討していきたい。						
		評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	北斗のまち・さわやか講座	市・地	継続	10	212	34	2,910	実施内容参照	橋北公民館ほか
学級・講座	月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、身近な内容について学習した。 ①4/24 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止】 ②5/22 会員へ橋北地区の歴史に関する資料を郵送 ③6/26 夏に向かって身体と心を整えよう ④7/31 夏に響きあうハンドベルの音色／ハンドベルサークル Liebe Choir ⑤8/28 囲碁ボールを楽しむ！ ⑥9/25 イースに座ってらくらく運動！身体動かし元気はつらつ！／健康運動指導士 赤羽美恵子氏 ⑦10/23 教育会館に行ってみよう！知ってみよう！ ⑧11/27 人を結ぶ 心を結ぶ シトラスリボンプロジェクト／飯田市男女共同参画課職員 ⑨12/25 ストレッチ体操で身体ぽかぽか／岡本文氏 ⑩1/22 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止】 ⑪2/26 会員へ季節の食に関する資料を郵送 ⑫3/26 みんなで読むのもっと楽しい！日本語を味わおう	実施内容	【成果と課題】 コロナ禍により、これまで通り人と人が直接会って話をすることが難しい時期もあったため、今年度は「受講者同士や講師との交流」に主眼を置いた講座を多く開催した。受講者の高齢化が進む中で、月1回のこの講座を楽しみにしている方も多く、まちづくり委員会健康推進部と連携した健康講座は、今年度も好評であった。引き続き、高齢者が地域でいきいきと暮らししていくための一助となるような講座が開催できるように、まちづくり委員会の各委員会とも連携していきたい。一方で、受講者が固定化されており、新たな受講者を増やすような工夫も必要である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 受講者同士や講師との交流に重点を置きながら、地区住民が地域のヒト・モノ・コトを知る講座となるように、内容を検討していきたい。また、新たな受講者を増やすために、夜の時間帯での開催や親子で参加できる講座についても、検討する必要がある。						
		地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場づくりを目指す	評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	マレットゴルフ教室	0円	継続	11	194	38	2,910	実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	主に高齢者を対象に、マレットゴルフを通じた交流と健康増進を目指す。	実施内容	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症により4・5月は中止したが、それ以降は、運営委員会が中心となって定例会、大会を自主運営した。会員同士が交流を深める懇親会は実施できなかったが、月1回、会員が集まってマレットゴルフを行うこの教室は、会員にとって交流の場、健康増進の場として大事であり、次年度以降も継続していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度に向けて新たな運営委員で運営を始めっており、自主運営の流れができているため、その雰囲気や大事にして、会員の健康増進を図り、交流を深める活動として継続していきたい。						
		評価							

橋北公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	文化研修旅行	地区費	継続	3	24	－	2,910	5月21日、23日(中止)	伊勢
	実施内容	【事前学習会】 5月21日（中止） 【初夏の伊勢の旅】 5月23日（中止） 地域住民を対象に、他地区の文化について、現地で学ぶ機会の創出を図る 文化部員が企画運営し、参加者が事前学習会で先行の歴史・文化等を学んだ上で実施する研修旅行として実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。							
	目的	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた時期に募集したため、申込者も少なく、感染状況を鑑みて中止を決めた。地区住民の交流の場、他地区を知る機会としての文化研修旅行であるが、コロナ禍での実施方法として、行先を長野県内、飯田・下伊那地域として、身近な地域を知ること重点をおくなど、文化部員と検討して次年度につなげていきたい。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 行先や内容について文化部員と検討しながら、コロナ禍での新しい文化研修旅行の形を考えて、実施できるようにしたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	橋北地区文化祭	市・地	継続	1	8	－	2,910	6月20日、21日(中止)	浜井場小学校
	実施内容	地区住民による地区住民のための文化祭として、「橋北人がくる！」をテーマに計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討過程】 4/9 文化部会							
	目的	橋北地区住民を対象に、各種団体の展示・発表を通じて住民相互の交流を目指す 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 感染症対策をしながらの文化祭開催に向けて、今年度、他地区で開催された文化祭を参考にしながら、様々な団体の取り組みを知り、お互いに交流できる機会となるように検討していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020橋北地区公演	他会計	継続	1	10	－	2,910	8月6日～8月10日(中止)	橋北公民館ほか
	実施内容	橋北地区内5会場での地区公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討過程】 4/9 フェスタ地区実行委員会							
	目的	地区内外の観劇者を対象に、地区内ボランティアがフェスタを盛り上げ、人形劇の楽しさを味わうことを目指す 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 感染症対策を行った上での地区公演が運営できるように、地区実行委員会でしっかり話し合いながら、準備を進めたい。							

橋北公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ワンバウンドふらばーボール大会	地区費	継続	2	18	—	2,910	7月12日(中止)	浜井場小学校
体 育 事 業	目的 地域住民を対象に、日頃の運動不足解消と交流を図る 実施内容 【検討過程】 4/8 体育部会 6/23 体育部会 子どもから大人までが地区町内単位で混合チームをつくり、交流を主とする事業として計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。					評価 【成果と課題】 昨年度実施しなかった事業のため、今年度を楽しみにしていた地区の方たちもいたが、コロナ禍により中止した。しっかりと体を動かすニュースポーツで小学生親子を中心に30代・40代の若い世代の参加が多い事業のため、次年度以降も地区内の交流を主としながら、実施の方向で検討したい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 若い世代の公民館事業参加の入り口という点もふまえながら、開催の方向で検討したい。			
区 分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北市民運動会	地区費	継続	3	30	—	2,910	10月11日(中止)	浜井場小学校校庭
体 育 事 業	目的 地域住民を対象に、住民の総参加、総運営で地域の連帯意識の向上、住民相互の交流促進を図る 実施内容 第43回を迎えた橋北市民運動会であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討過程】 6/11 公民館企画会議で検討 6/15 まちづくり委員会と協議 6/23 体育部会で運動会の中止、代替事業のスポーツ大会実施を決定					評価 【成果と課題】 運動会開催に向けた検討においては、運動会とは地区にとつてどういうものかを、公民館部員、まちづくり委員会役員が改めて考える機会となった。中止したこと、これまでの運動会からの規模縮小を求める声も高まっており、地区としてどういう形での運動会を実施し、どういう機会とするのかも含めて、次年度の開催に向けて検討を進めたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 規模縮小の声もある中で、地区としてどういう形での運動会を実施し、どういう機会とするのかをしっかりと検討し、運動会の合言葉である地域住民の総参加・総運営を活かし、様々な年齢層が参加し、交流できる事業として開催したい。			
区 分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北地区スポーツ大会	地区費	新規	11	154	76	2,910	11月8日	浜井場小学校
体 育 事 業	目的 地区住民を対象に、ニュースポーツを通じた地域の連帯意識の向上と、多世代交流の促進を図る。 実施内容 中止した橋北市民運動会の代替事業として実施。参加者は自由参加とし、気軽に楽しめる囲碁ボール、ペタンクのニュースポーツと、橋北再発見の一環として浜井場小学校円筒校舎の見学等を組み合わせた内容で行った。					評価 【成果と課題】 橋北市民運動会の中止を決める際に、「地域での活動が行われなくなること、地域に活気もなくなるのでは……」という声から、体育部が中心となって住民の自由参加でのスポーツ大会を計画し、公民館の他の3部も運営に協力して実施した。1日で2種類のニュースポーツができたこと、小学生が案内して浜井場小学校円筒校舎を住民が見学できたことなど、参加者からはおおむね好評であった。参加者からの好評の声により、「来年度は運動会をやりたい」という部員の次年度に向けた思いにもつながった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 来年度は運動会を行う方向で検討を進めているため、スポーツ大会としては実施しない。しかし、1日に複数のスポーツを体験できる事業を楽しみにする参加者の声もあり、今年度のスポーツ大会を参考にした新たな体育事業の実施について、体育部で検討予定である。			

橋北公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区	ボウリング大会	地区費	継続	2	18	—	2,910	1月31日(中止)	アストロボウル
	目的 地域住民を対象に、冬場の運動不足と住民間の親睦交流を図る。		実施内容 運動不足になりがちな冬季のスポーツ事業として、橋北地区に近いアストロボウルで行うように計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討過程】 11/17 体育部会 1/13 体育部会				評価 【成果と課題】 コロナ禍ではあったものの、申込者は大人・子ども合わせて30名ほどあり、冬の恒例行事として地区住民が楽しみにしている状況が掴めた。しかし、年齢の大きい方の申込は少なく、世代間交流の場に感染症の影響が大きく及んでいることも感じた。冬季の運動の機会、地区内の世代間交流の機会として、どのように実施するかを検討して、次年度につなげたい。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 幅広い世代の地区住民に参加してもらえよう、感染症対策をとった上での実施である旨の周知も含めて、実施に向けて検討していきたい。		
	広報事業	館報橋北	地区費	継続	17	105	9	2,910	通年
区	目的 地域住民を対象に、館報発行を通じて情報発信と地域を考えるきっかけ作りを目指す。		実施内容 年間4回、各回1,500部を発行。 258号(6月30日)、259号(9月15日)、260号(12月15日)、261号(2月9日) 公民館事業だけでなく、地区の様々な事業・会議等に広報部員が積極的に参加して情報収集し、館報橋北を通じてその発信を行った。1号発行につき、広報部会を原則3回開催。				評価 【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための公民館休館により、発行時期が例年より遅くなる号もあり、今年度は年4回発行となった。事業の中止が相次ぐ中でも充実した紙面となるように、浜井場小学校、飯田東中学校の記事や「橋北クイズ」など、部員たちが工夫を凝らした内容での発行に努めた。地域に根差した情報発信を続ける中で、コロナ禍でみえてきた地域課題を取り上げるような館報も検討していきたい。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 今年度と同じ年5回の発行予定。地域に根差した情報発信を続けるとともに、地域を考えるきっかけとなるような館報づくりを心がけていきたい。		
	育成事業	工作・実験教室	市・地	継続	1	8	—	2,910	6月20日(中止)
区	目的 地域住民の親子(子どもと大人)を対象に、親子や世代間の触れ合いの機会創出を図る		実施内容 橋北地区文化祭の中で実施予定であったが、文化祭が新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止になったことに伴い、中止。 【検討過程】 4/6 育成部会				評価 【成果と課題】 今年度は、キッチンペーパーでのマスクづくりや簡単手縫いマスクなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止にちなんだ工作も含めて、内容を検討した。例年、文化祭の1コーナーとして育成部が工作・実験教室を実施しているが、次年度からは育成部が文化育成部と体育育成部となるため、この教室をどのように開催するかについて検討する必要がある。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 次年度は公民館の部会体制の変更から、工作・実験教室の開催をどういう形にするかの検討が必要である。その際、子どもと大人が工作や実験の楽しさやおもしろさを共有することを大事にしながら、今後のあり方を考えたい。		

橋北公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」	市・地	継続	4	97	76	2,910	11月8日	浜井場小学校
育成事業	地域住民を対象に、地域内のウォーキングを通して、健康促進と地域資源の再発見を目指す	当初は寺社や歴史的建造物、公園などの橋北地区の魅力を改めて知ってもらう機会として、ウォーキングをしながら地区内を巡る企画として計画していたが、運動会の代替事業である橋北地区スポーツ大会の休憩時間を使い、浜井場小学校円筒校舎を見学する内容に変更して実施。 【成果と課題】 地区のシンボリック的存在でもある浜井場小学校円筒校舎ではあるが、地区住民が見学する機会は少なく、建築物としても円筒校舎の様子はもちろん、現在の小学校の様子を知ってもらう良い機会となった。また、小学生から高齢者まで参加するスポーツ大会の中に取り入れたことで、小学生が大人たちに小学校の案内・説明をする場面も見られ、円筒校舎を通じた多世代交流の場にもなった。次年度も、地区住民が地域の身近な資源に目を向け、交流できる機会として、検討していきたい。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 次年度は公民館の都会体制の変更から、どういう形での実施するかを検討が必要である。今年度を参考にしながら、地区の身近にあるものの魅力を改めて知り、資源として活かしていくための機会として、小学生から大人までが参加・交流できる内容を検討していきたい。							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	しめ飾り講習会・もちつき交流会	市・地	継続	3	24	—	2,910	12月	浜井場小学校
育成事業	地元住民を講師に招き、地域住民を対象に、伝統行事の継承と多世代交流の場づくりを目指す	以下の内容を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【しめ飾り講習会】 地区住民2名を講師とする講習会。 講師：宮崎 栄治氏、上原 伸彦氏 【もちつき交流会】 各家庭で行うことが珍しくなった杵と臼を使った餅つき体験。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 浜井場小学校との連携も視野に入れながら、感染症対策を行った上で実施できるように検討を進める。							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	新春書初め大会・正月遊びの会	市・地	継続	2	28	—	2,910	1月5日(中止)	橋北公民館
育成事業	小学生から一般を対象に、書初めを通じて世代間交流をし、正月行事の大切さに触れることを目指す	地区住民を講師に招き、書初め指導や筆の使い方などを習うとともに、正月行事の意味を話し、伝統的な遊びを体験することで、世代間交流の促進を図る事業として計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 講師：田中美智子さん、三浦真弓さん(南信書道会) 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 小・中学生が参加しやすい日程も考慮しながら、感染症対策を行って実施できるように検討したい。							
	実施内容								

橋北公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)		市・地	継続	—	—	8,376	7月18日(中止)	橋南地区
合同事業	目的 地域住民を対象に、身近な場所でプロの演奏家による音楽を楽しめる機会の創出を図る。 実施内容 橋北・橋南・東野地区の3公民館が共催し、各公民館の文化委員を中心とした専門委員が協力して実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 演奏予定者：Florescer(フローレルセール)		市・地	継続	—	—	8,376	7月18日(中止)	橋南地区
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北・橋南・東野地区成人式		市・地	継続	83	—	105	1月10日(延期)	飯田市公民館
合同事業	目的 新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とする。 実施内容 橋北・橋南・東野地区成人式は令和3年8月以降に延期したが、新成人有志、公民館委員等で組織する実行委員会体制で次の内容を実施。 ・成人式実行委員会を開催し、成人式の企画、準備 ・成人式実行委員会による地域学習の実施(学習テーマ「お練りまつりを学ぼう」) 【実行委員会】9月～3月までに計11回開催し、延べ83人参加		市・地	継続	83	—	105	1月10日(延期)	飯田市公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会		地区費	3	82	62	8,376	3月14日	飯田市公民館
合同事業	目的 地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。 実施内容 東中学校区三館合同事業として実施。2019年にアフガニスタンで銃撃されて死去した中村哲さんの活動や、私たちに伝えようとしていたメッセージについての講演会を行った。 演題：「追悼 中村哲医師が遺したもの」 講師：青木隆幸氏(飯田市美術博物館専門研究員) 【検討経過】12/16 3館正副委員長打合せ		地区費	3	82	62	8,376	3月14日	飯田市公民館

【成果と課題】
例年、高しベルの生演奏の音楽を身近な場所で楽しむ機会として、地区の方々に親しまれていたが、感染症の拡大防止のため、今年度は中止となった。プロの音楽家による演奏を聴く機会の提供は、地区公民館にとって貴重な機会であったため、次年度も3公民館で相談しながら進めていきたい。

評価
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 ☒現状維持 □縮小
地区住民にプロの音楽家の演奏を身近な場所で聴く貴重な機会として、3公民館で相談しながら、前向きに取り組んでいきたい。

評価
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 ☒現状維持 □縮小
令和3年8月以降に延期された成人式に向けて、新成人実行委員のモチベーションを維持しながら、開催に向けた企画・準備を進める。

評価
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 ☒現状維持 □縮小
3館文化部で話し合い、地域について学び直す機会や、新しい物を得られる機会となるように企画していく。丘の上5館で取り組むことも視野に入れていきたい。

橋北公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト	0円	継続	16	480	60	2,910	通年	飯田市公民館ほか
		【成果と課題】 昨年度に引き続き、橋北屋台囃子が地区内で文化として根付き、地区住民が誇れるものとなるように、活動を行ってきた。浜井場小学校での演奏も、その一環である。なかなか地区住民の参加者が増えない中で、来年度末のお練りまつりへの参加に向けて、地区住民がよりお囃子に親しみ、参加できるような働きかけを検討する必要がある。							
	実施内容 地域住民を対象に、横笛等を練習し、お練り祭りでのお囃子復活を目指す。	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 お練りまつりへの参加に向けて、浜井場小学校体育館で毎週練習を行うように計画している。地区住民、特に子どもたちが参加できるように、浜井場小学校と連携した活動も検討したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	橋北まるごと博物館研究会事業	0円	継続	15	300	23	2,910	実施内容参照	橋北地区区内
		【成果と課題】 地区内のあまり知られていない資源を光らせて、地域住民が誇りを持って語れるように学習やイベントを開催する。それらを通じて、研究会に所属する会員はもちろん、地区住民への地域資源に対する更なる意識啓発を図る。 4月16日：大雄寺見学(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止) 6月～2月：浜井場小学校6年生の地域学習に講師として参加							
	実施内容 地域住民を対象に、知ること、残すこと、賑わうことを目的に地域資源の活用を目指す。	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度は春草通りのアピールや地区内の寺社見学などが計画されており、公民館も地域の学びを進めるなかで、連携した活動に取り組みたい。							

橋南公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	1歳児学級「いちご」(橋南・橋北・東野地区合同)	市・地	継続	12	386	50	110	原則第2、第4火曜日	保健センター 他
学級・講座	1歳児とその親を対象とした 目 的 な成長をはかるための 遊び、活動を行うほか、 親の知識習得、親同士の 交流の場とする	【開催概要】 東中学校区3館合同で、橋南地区は1歳児を担当。内容については、お母さん方の学習と交流を重点に保育士、保健師、主事で話し合いを行い決定。 ①6/30開講式 仲良しゲーム②7/14助産師さんに聞いてみよう(コロナウイルスの影響で中止)③7/28離乳食についてお話ししよう(48/25みんなでお話をしよう(コロナウイルスの影響で中止)④9/29子どもの言葉育てよう⑤10/13ミニ運動会(8/10/27みんなでお話をしよう⑥11/10わらわらで触れ合おう⑦11/24親子で一緒にリトミック⑧12/8クリスマス準備(簡単なおもちゃ作り)⑨12/16クリスマス会⑩1/25絵本で子どもの心を育てよう(コロナウイルスの影響で中止)⑪2/24記念品作り(1年の成長記録を残そう)、足形をとろう⑫3/9親子でリトミック、みんなでお話をしよう⑬3/23閉講式 評 価 【成果と課題】 保育士、保健師、主事で1歳児学級の目的や学んでほしい事などの思いを共有しながら学級の組み立てを行った。その結果、成長段階に応じた知識を学ぶ機会や、親同士の交流や情報交換をする機会を設けることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 土日の講座開催で保育園に通っていても参加できるような工夫や、父親を対象とした親子講座なども検討していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伝統・文化継承講座「手の芸の会」	地区費	継続	16	288	18	2,643	原則毎月第1、第3木曜日	橋南公民館
学級・講座	地域住民を対象に地域の 目 的 伝統、文化の継承と、 それらを通じた仲間づく りの場を設ける	地域の伝統工芸である水引を使った「ものづくり」と、それを通じた「仲間づくり」の場とする。また、学級で作成した水引ストラップの人形劇フェスタ橋南地区公演での配布や、水引ブローチの追手町小学校の新入生や卒業生へ贈呈を行った。加えて、夏休み子供教室への講師、小学校のクラブ活動への講師として参画した。 【開催概要】 ①水引で小物を作ろう(コロナウイルスの影響で中止)②かわいいうちの小物を作ろう(コロナウイルスの影響で中止)③かわいいうちの小物を作ろう(コロナウイルスの影響で中止)④水引でふくろうの「根付」を作ろう⑤水引で「ひょうたん」を作ろう⑥水引で「ひょうたん」を作ろう⑦水引で色々なトンボを作ろう⑧水引でシトラスリボンを作ろう⑨水引で干支を作ろう⑩水引で春の花を作ろう(コロナウイルスの影響で中止)⑪水引で花のブローチを作ろう⑫水引でいろいろな花を作ろう 評 価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ただ作品を作るだけでなく、小学校の入学式と卒業式で児童と両親に贈るブローチの作成をしたり、小学校のクラブ活動の講師として地域と学校をつなぐ役割も担っており、やりがいにつながっているだけでなく、地区行事への参加意識も高くなっていると感じることができた。次年度以降も、継続して活動を行っていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ラベンダー関連講座	市費	継続	1	27	-	2,643	6月10日(中止)	橋南公民館
学級・講座	地域住民を対象に、環境に 目 的 関する意識の向上、知識の習得を図る	橋南地区内で取り組んでいる生ごみの分別回収と、生ごみをもとに作った堆肥を使用したラベンダー植栽事業についての関連講座として例年実施。ごみの廃棄処理方法が変わった現在では、当初の目的とは違ったものになっているが、参加者からの希望もあり、昨年に引き続き計画をした。 ①「ラベンダースティックを作ろう」 講師 松下 啓子氏 利用したラベンダースティックを作る講座を計画した。 【検討過程】 4/24(金) 評 価 【成果と課題】 親子で参加しやすい内容も追加して計画したが、コロナウイルスの影響で中止 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度は、まちづくり委員会の環境委員会と協力し、新しい環境講座などにもつなげていきたい。							

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	環境講座		市・地 新規	1	30	30	2,643	9月28日	グリーンバレー千代 他
学級・講座		【成果と課題】 地元の方からのゴミについての疑問から、環境委員会と協力して実施。参加者から、説明する職員に積極的に質問する場面もあり、関心の高さを伺えた。							
	地域住民を対象に、環境に関する意識の向上、知識の習得を図る	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ゴミの問題は、たびたび地区でも課題になっている。次年度以降も該当する委員会と協力しながら身近な課題をテーマにして実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子体験教室		市・地 継続	1	20	20	145	11月8日	エンゼルパン
	親子を対象に共同作業を行うことで、親子間のコミュニケーションを図る機会とする	【成果と課題】 家庭での実践を意識し、全ての行程を体験していただいた。親子で話しながら楽しく工作ができ、参加者の満足度も高かった。親子でゆっくりと話し合いながらの共同作業を行える良い機会になったと思う。加えて、親同士、子供同士、親子間の交流の場にもなっていた。							
学級・講座		【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 親子が会話をしながら集中して一緒に活動する良い機会なので、地元企業の協力を頂ながら実施していきたい。							
	食文化連続講座		市・地 新規	3	45	15	2,643	9月12日、11月8日、3月21日	かざこし 他
学級・講座		【成果と課題】 家庭での実践を意識し、全ての行程を体験していただいた。また、その食品が持つ歴史や特徴、雑学なども併せて教えていただき、料理教室とは違った内容も追加し学びを深めようとした。講座後の参加者が、実際に自宅で行ったとの感想もいただいた。より良い生活に繋がったと感じている。							
	地域住民を対象に、日常生活に関する意識の向上、知識の習得を図る	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区には食のプロが多くいる。特徴を活かして来年度も実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	人権講演会		市費 継続	1	150	150	2,643	11月17日	追手町小学校
	小学校児童、PTAと地域住民を対象に、インターネットやSNSを通じて、人権侵害について考える機会とする。	【成果と課題】 子どもはゲーム機器などで当たり前に使っている機能も、親御さんの中にはその能力や内容を知らない方も多かった。やはりこのような講演会で「知る」、その後家庭で「話し合ってもらおう」ことが非常に重要だと感じた。そのようなきっかけになる講演会(学習の場)でありたい。							
学級・講座		【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容についても他のテーマ(例えばば多文化や社会的弱者(高齢者や障がい者など))に関する学習会も検討していきたい							
	地域住民を対象に、インターネットやSNSを通じて、人権侵害について考える機会とする。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容についても他のテーマ(例えばば多文化や社会的弱者(高齢者や障がい者など))に関する学習会も検討していきたい							

橋南公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	シトラスリボンプロジェクト		市・地	新規	1	18	18	2,643	11月19日	橋南公民館
学級・講座	目的	地区住民を対象に地域の伝統、文化の継承と、それらを通じた仲間づくりの場を設ける		【成果と課題】 水引によるシトラスリボン作成に共感し、学級講座にて実施。シトラスリボンを作る意味と、新型コロナウイルス罹患者に対する差別をなくす意識を醸成することができた。作成したシトラスリボンは、成人式にて成人該当者に配布予定。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒拡充 ☒現状維持 ☐縮小 新型コロナウイルスの感染状況について、全国的に落ち着くまでもう少し時間がかかる事が見込まれる。今後必要に応じてできることをしていきたい。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋南史跡めぐり		市・地	継続	1	27	-	2,643	7月5日(中止)	開催会場
学級・講座	目的	地域住民を対象に、飯田とつながりのある史跡、街並みを見学し、その文化や歴史について学ぶ		【成果と課題】 講師の分かりやすい解説と現地研修が好評で、例年リピーターを含む多くの参加がある。委員会や講師との打ち合わせにて訪問地を決定する際は、飯田下伊那との繋がりを重視し、単に観光するだけでなく自分たちが住んでいる地域の歴史と併せて説明してもらうことで、参加者がイメージしやすい学習機会となるように心がけて計画したが、コロナウイルスの影響で中止。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒拡充 ☒現状維持 ☐縮小 来年度も現地で学んだものを自分の地域に生かせるような学習題材を提案しつつ、継続して実施していきたい。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	囲基ボール講座		地区費	継続	9	54	6	2,643	原則第4木曜日	橋南公民館
学級・講座	目的	地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る。また、ニュースボールに親しんでもらう場を作る。		【成果と課題】 昨年度から少しずつ参加人数も増えてきており、和気あいあいとした雰囲気での活動を行っている。日頃、運動をする機会がない参加もあり、健康の増進に寄与していると感じている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒拡充 ☒現状維持 ☐縮小 来年度は、さらに参加人数を増やしながら、ニュースボールを通じた仲間づくりを行っていききたい。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ2020橋南地区公演		市・地	継続	2	28	-	2,643	8月6日～8月10日(中止)	橋南公民館
文化事業	目的	市民を対象に、人形劇に親しむ、参加する、支える機会とする		【成果と課題】 橋南地区内2会場での地区公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 講演場所： 8/7 仏教保育園プレイルーム 8/8 追手町小学校講堂 【検討過程】 4/6(月)、4/24(金)						

橋南公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第25回橋南文化祭		市・地 継続	1	200	200	2,643	11月28日～12月4日	りんご庁舎
	地区住民を対象に、公民館活動の学習成果の発表と地域学習の場を提供することを目的とする								
	実施内容	例年であれば、地区内の多くの団体に協力をいただきながら盛大に実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、団体また個人の作品展示のみでの実施とした。 例年は2日間の開催だが、密を避けての見学を実施するためにりんご庁舎3階を借りて1週間連続して展示を行った。 【成果と課題】 コロナ対策のため、今年度は展示のみ実施した。来場者からは、自分の時間ができた時にゆっくり見ることができてよかったなどの感想をいただいた。ただし、展示のみになったことで寂しさを言葉にした方もいた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 次年度は、コロナの状況も見ながら例年通りの催し物や展示を実施したい。参加者の意見を取り入れながら企画していきたい。							
文化事業	橋南史跡ウォーキング		市・地 継続	1	20	20	2,643	3月28日	橋南地区内
	地区住民を対象に、飯田街の街の作りや史跡を実際に歩いて見学し、先人達がまちづくりに込めた考え方や知恵を学ぶ								
	実施内容	橋南地区区内に残る桜の銘木について、周辺史跡などの見学、解説を交えてウォーキングを行った。 「橋南桜ウォーキング」ガイド:伊丹 和香 氏 【成果と課題】 今年度は、橋南だけに焦点を絞り、その分一つの場所を丁寧に説明するように講師と打ち合わせを行って実施した。桜だけでなく、周辺の史跡や歴史も同時に説明してもらい学ぶことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 次年度も講師と相談しながら実施していきたい。また、これまで参加していない層にも参加してもらうために、事業内容も講師と相談しながら実施していきたい。							
体育事業	第35回橋南ウォークラリー大会		地区費 継続	1	28	-	2,643	5月24日(中止)	橋南公民館
	地区住民を対象に、ウォーキングでの体力増進および、橋南地区の街並み・歴史・文化を再発見する機会とする								
	実施内容	設定されたコースを、交差点の略図のみが書かれた地図を頼りに、コース上の各所に地域の歴史や文化に因んだ問題を設定し、解きながら歩くよう意識して計画。 スタート・ゴール地点の追手町小学校講堂では、橋南まちづくり委員会育成部、日赤奉仕団、商店などの協力も得て、お楽しみ企画を実施するべく計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討過程】 4/6(月)、4/24(金) 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 親子で地域を学ぶ貴重な機会となっているため、継続して実施したい。コース作りや問題作りを行う際に、公民館委員で下見や打ち合わせなどを重ねて制作することが学習の機会にもなっていると感じているので、今後も大切にしていきたい。							
体育事業	橋南ソフトボール大会		地区費 継続	1	60	60	2,643	11月15日	飯田東中学校
	地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る								
	実施内容	地区内で募集したチームによるソフトボール大会。 参加チーム:公民館&消防団&シニアソフトボールチーム、地元有志チーム、近隣地区チーム、地元企業チーム の4チーム参加 【成果と課題】 企業や地元有志など多くのチームが参加してくれたこともあり、賑やかに大会を開催することができた。日頃あまり公民館と関りがない若い世代も声かけによって参加をしてくれ、公民館委員との良い交流の機会になった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 日頃、公民館に関わりが薄い方も多く集まり交流する良い機会となっているため、来年度も継続して実施していきたい。							

橋南公民館の事業報告

No.5

区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第33回橋南連合大運動会			地区費	継続	3	101	-	2,643	10月11日(中止)	橋南公民館
	地区住民を対象に、各町総参加で健康の増進と住民相互の交流を図り、もって当地区の活性化を推進することを目的とする	実施内容	橋南地区全体で取り組む年一度の一大事業として計画。単独町内、または近隣町内でチームを組み、41ある全町内が参加する。子どもからお年寄りまで参加できる各種競技、いくつかの町内で組んだチーム対抗の競技を計画。まちづくり委員会が主催し、公民館が主管する。体育委員が主導し、公民館、育成部、各町内選出の運営委員が運営にあたる計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討過程】 6/24(水)、7/22(水)、7/21(火)、8/27(木)	評価	【成果と課題】 感染症対策をしながらの運動会の実施について、公民館委員と検討。高齢な方が多い事、運営に不安があり実施できる状況ではないとの判断から中止。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区として、感染症対策をしたうえでの運動会の実施を検討していく。競技の変更などの開催内容を地区全体で検討していきたい。						
区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報橋南の編集			地区費	継続	16	96	6	2,643	実施内容参照	橋南公民館 他
	地区住民を対象に、地域を知り、考えるきっかけ作りを目指す	実施内容	公民館館報委員を中心に企画や編集作業を実施。単なる広報でなく、地域の課題に目を向けた紙面作りを心掛けて発行。1号発行につき、館報委員会を原則3回開催。 【発行日】 17号(6/30)、18号(9/10)、19号(10/27)、20号(2/22)	評価	【成果と課題】 コロナ禍で例年と同じ誌面が難しいからこそ、委員全員で話し合いが生まれ、これまでになかった記事がいくつも生まれた。これにより、委員全員で作りに上げる意識が高まったと感じる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 誌面をモノクロからカラーに変更し、住民の方に見やすい誌面としたい。また、日常の生活から地域課題を掘り起こせるような館報づくりを意識していきたい。						
区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	コロナに負けるな！言葉を飾ろうプロジェクト			地区費	新規	22	32	32	2,643	9月28日～2月28日	橋南公民館
	地区住民を対象に、コロナ禍でも負けない機運の醸成を図り、もって当地区の活性化を推進することを目的とする	実施内容	コロナ禍における館報の誌面づくりから発展した取り組み。 コロナ禍で地区全体に閉塞感を感じるとい意見から、同じくつらい思いをしている追手町小学校の6年生に協力を依頼し、コロナ禍でもお互いに頑張れる言葉を募集した。標語は公民館の掲示板に1週間ごと掲示した。 6年生参加人数:20名	評価	【成果と課題】 子ども達が地域にかけける言葉はとても評判がよく、公民館の前の交差点を通るたびに「頑張ろう」という気持ちになるとの声をいただいた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 日頃の公民館活動から生まれた事業であるため今回で区切りとなるが、掲示板にメッセージを掲示する事は有効だと感じているので、これからも活用していきたい。						
区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)			市・地	継続	-	-	-	8,376	7月18日(中止)	橋南地区
	地域住民を対象に、身近な場所での演奏会による音楽を楽しむ機会を創出を図る。	実施内容	橋北・橋南・東野地区の3公民館が共催し、各公民館の文化委員を中心とした専門委員が協力して実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 演奏予定者:Flourescer(フロールセール)	評価	【成果と課題】 例年、高レベルの生演奏の音楽を身近な場所で楽しむ機会として、地区の方々に親しまれていたが、感染症の拡大防止のため、今年度は中止となった。プロの音楽家による演奏を聴く機会の提供は、地区公民館にとって貴重な機会であるため、次年度も3公民館で相談しながら進めていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区住民にプロの音楽家の演奏を身近な場所で聴く貴重な機会として、3公民館で相談しながら、前向きに取り組んでいきたい。						

橋南公民館の事業報告

No.6

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式		市・地	継続	11	83	-	105	1月10日(延期)	飯田市公民館
	目的	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とする。	【成果と課題】 橋北・橋南・東野地区成人式は令和3年8月以降に延期したが、新成人有志、公民館委員等で組織する実行委員会体制で次の内容を実施。 ・成人式実行委員会を開催し、成人式の企画、準備 ・成人実行委員による地域学習の実施(学習テーマ「お嬢りまつりを学ぼう」) 【実行委員会開催】 9月～3月までに計11回開催し、延べ83人参加 評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会		地区費	継続	3	82	62	8,376	3月14日	飯田市公民館
	目的	地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。	【成果と課題】 東中学校区3館合同事業として実施。2019年にアフガニスタンで銃撃されて死去した中村哲さんの活動や、私たちに伝えようとしていたメッセージについての講演会を行った。 演題:「追悼 中村哲医師が遺したモノ」 講師:青木隆幸氏(飯田市美術館専門研究員) 【検討経過】 12/16 3館正副委員長打合せ 評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	放課後子ども教室		市・地	継続	11	220	30	145	原則第1、第3水曜日	追手町小学校
	目的	放課後の子どもたちを対象に、安全・安心な活動拠点をつくることと、異世代との活動の中で社会性、協調性を育む	放課後の子どもたちの居場所づくりを行い、あわせて、異世代との活動の中で、社会性、協調性を育むことができるさまざまな企画を行った。他の学校での教室とは異なり、登録制は取らず、毎回申込制としている。 【開催概要】 4月～9月(コロナウィルスの影響で中止)①10/7開講式 仲良しゲーム②11/4シールアートを楽しもう③11/25シールアートを楽しもう(2)、ボール遊び④12/9バドミントンを楽しもう⑤12/16ボール遊びを楽しもう⑥3/3バドミントンを楽しもう、開講式 運営体制:地域住民によるボランティアスタッフにより運営。定期的に運営委員会、スタッフ会を開催。(3/11、7/21、9/17、11/18、2/24) 評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	夏休み子ども教室		市・地	継続	1	20	-	145	夏休み期間の月曜、水曜、金曜(お盆は除く)	橋南公民館
	目的	夏休み中の子どもたちを対象に安全・安心な活動拠点をつくることと、異世代との活動の中で社会性、協調性を育む	夏休み中の子どもたちの居場所づくりを行い、あわせて、異年齢の子ども達が団結、協力して取り組むことのできるさまざまな企画を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ・開催予定日:夏休み期間中の10日間前後(お盆、休日などは除く) ・開催時間:9時から11時30分まで ・運営体制:放課後子ども教室スタッフ及びまちづくり委員会各部の委員。追手町小学校から毎日1名、先生が参加し子ども達の学習の補助を行う。 【検討過程】 7/21(火) 評価							

橋南公民館の事業報告

No.7

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	伝統文化教室「天龍太鼓子ども教室」		地区費	継続	-	-	-	145	原則第3金曜日(中止)	追手町小学校講堂
	目的	青少年を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目指すと共に、郷土への愛情を育み、健全育成を図る	【成果と課題】 文化継承という点からみると、中学生になると卒業してしまう子が多いので、長い目で見ていく必要がある。天龍太鼓の打ち手会の方も高齢化や人数の減少という課題を持っており、どのようなやり方が良いのか考えていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 実施について課題が多くあり、今後について検討を重ねていく。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	伝統文化教室「松一獅子舞教室」		地区費	継続	7	70	10	145	原則第2金曜	橋南公民館
	目的	地区住民を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目指すと共に、郷土への愛情を育む機会とする	【成果と課題】 舞いの練習とお囃子の練習をそれぞれ別の日に開催することで、練習量の増加を目指したが、新型コロナウイルスの影響で十分な練習を実施することができなかった。これまでの取り組みが地区内外で知られるようになり、声がかかることが多くなっている。子ども達の中では小学校や中学校を卒業しても続けてくれる子がおり、伝統文化継承に向けて少しずつ進んでいると思う。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 高齢化などにより伝統を伝える側の体制の不安定さは変わっておらず、今後長く活動を継続していくための方法を引き続き考えていく必要がある。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	おひま		地区費	継続	1	145	145	145	4月10日	橋南公民館
	目的	地区住民を対象に、飯田の大火を忘れず、日々の生活の中でも防火の意識を高める	【成果と課題】 例年、飯田大火が発生した4月下旬に地区内の各種団体が協力して、防火啓発活動を実施している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、防火に関する標語の募集のみ実施。 ・防火に関する標語の募集 追手町小学校児童を対象に防火標語を募集							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯ごう炊さん		地区費	継続	3	55	-	145	8月8日(中止)	橋南公民館
	目的	小学校児童を対象に、多様な体験活動を提供し、児童の協調性を育む	【成果と課題】 ポークスカウトの方に講師を依頼し、現在では小学校で行われなくなった飯ごう炊さんを実施するべく計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 講師：福澤勝氏(ポークスカウト飯田第一団 団員長) ポークスカウト飯田第一団の皆様 公民館委員だけでなく、放課後子ども教室のスタッフやまちづくり委員会の役員も運営に携わった。ポークスカウトに所属する中学生や高校生も各班のリーダーとして入ってもらい、小学生の指導を依頼した。 【検討過程】 6/24(水)、7/22(水)、8/5(水)							

橋南公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いもほり体験		地区費	新規	4	78	23	8月8日	橋南地区内
その他	小学校児童を対象に、多様な体験活動を提供し、児童の協調性を育む	実施内容	飯ごう炊さんに関連した事業として実施。飯ごう炊さんで使用する野菜を収穫から体験してもらうことを目的に、地元農家に協力を依頼し実施した。 【検討過程】 6/24(水)、7/22(水)、8/5(水)						
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 学校・家庭ではなかなかできない「体験」をさせてあげることが非常に重要だと感じている。夏休みに子供たちが楽しみにしている事業として、感染症対策をしながらの実施を検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	追手町小学校科学実験教室		地区費	継続	4	74	64	7月14日、11月30日	追手町小学校 他
その他	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学でなく地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きたる力を育む。	実施内容	子ども達に日頃できない体験することで、科学への興味の向上、リニア時代に向けた将来の希望を持ってもらうことを目的に実施。 7/14 小学5年生 「ホバークラフト制作」 小学4年生 「リニア実験と超低温の不思議な世界」 11/30 小学6年生 「モデルロケット制作と打上げ」 共催：追手町小学校、おもしろ科学工房 【検討過程】 7/13(月)、11/4(水)						
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 小学生にとって有意義な時間となるよう、各団体と連携をとっていく。感染症対策をしながらの実施を検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第16回橋南夏まつり		地区費	継続	3	74	-	7月18日(中止)	橋南公民館
その他	地区住民を対象に、地域に暮らす、全ての住民が幅広く参加し、夏の一夜を楽しむ、ふれあい、交流する機会とする。併せて橋南地域の活性化の一助とする。	実施内容	月1回行われている「りんご並木歩行者天国」の7月イベントとして計画。 公民館、自治委員会(各町自治会長)によるゲームコーナー、橋南連合青壮年会の屋台、ステージでは太鼓の演奏や子供向けの科学実験教室、りんご並木まちづくりネットワークによる各種販売ブース、仕掛け花火など、地域住民の交流の場とすると共に、中心市街地の活性化に向けた取り組みとして計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ・運営体制：まちづくり委員会主催、公民館は主管。飯田東中学校の生徒も運営スタッフとして参加している。 【検討過程】 4/24(金)、6/16(火)、6/24(水)						
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 感染症対策をしながらの夏祭りの実施について、まちづくり委員会、公民館委員と検討。オリンピックが延期となったこと、参加者が不特定多数となることから運営に不安があり実施できる状況ではないとの判断から中止。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	しめ縄づくり講習会		地区費	継続	1	26	26	12月6日	橋南公民館
その他	地区住民を対象に、伝統文化の継承と世代間の交流を図る	実施内容	地元の住民の方を講師に迎え、若い世代がほとんどでなくなっている伝統的な正月行事の一つである「しめ縄」を伝える機会として実施している。参加対象を幼児から高齢者までとすることで、地域の中での生活の技の伝承と、世代間交流の場とした。 講師 林 清貴 氏						
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 正月の伝統を子供達に伝えていくことは大切なことだと感じるので、育成部と相談をしながら実施していきたい。							

橋南公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	地域人教育		地区費	継続	26	208	8	2,643	実施内容参照	橋南地区内
その他	飯田OIDE長姫高校生と地域住民が、活動を通じて学び育ち合うことでよりよい地域を作る	実施内容	6月～8月 橋南地区を実際に歩いて、橋南地区を調べる。 9月～11月 橋南地区将来構想推進PJと共に、動物園を中心とした街中の回遊についてできないか検討 12月12日、12月13日 子ども祭り を2日間実施 この活動には、橋南まちづくり委員会、橋南地区将来構想推進PJ、飯田市立動物園、川本喜八郎人形美術館、飯田市美術館、信南交通㈱、長姫製印社などの協力を得て実施した。	評価	【成果と課題】 橋南地区の将来構想に掲載してある課題について解決したいという想いの基、様々な方の協力を得ながら活動を行った。高校生が地域の大人と関わりながら、大変ながらも楽しく活動していく中で、高校の日常生活では学ぶことのできない社会のリアルを経験をしていく姿を見ることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も、「関わる方全員で楽しく」「地域の方との繋がりを深く持ちながら」「振り返りを大切に、事業を実施していきたい。」					
		もちつき大会	事業区分	地区費	継続	4	146	82	2,643	12月13日
その他	地域住民、特に青少年を対象に、伝統的な行事であるもちつきを体験し異年齢間の交流、健全育成を図る	実施内容	家庭では行わなくなった臼と杵を使ってのもちつきを体験できるよう計画。例年小学生とその親を中心に多くの参加者があり、12月の地域行事として子供から大人まで家族みんなで楽しむことのできる行事となっている。 もち米も釜とセイロを使い薪の火で蒸すことで、昔ながらのもちつきを体験した。 新型コロナウイルスの感染防止のため、ついた餅をその場で食べる事はせず、正月のお供えもちのみを作り各家庭へ持ち帰った。 【検討過程】 10/30(金)、11/18(水)、11/26(木)	評価	【成果と課題】 コロナ禍での実施について、委員で話し合いを重ねて実施ができた。参加者も日頃できない体験ができるため日回の周りに集まり積極的に参加する姿が見られた。かがみ餅を家に飾り、家族の会話劇出にも繋がったという意見もあった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 橋南地区はその土地柄から、各家庭でもちつきを行わない世帯が多い。家庭で難しくなっている体験を地域が担うことは重要だと考える。					
		書き初め	事業区分	地区費	継続	3	71	34	2,643	1月4日
その他	地区住民を対象に、伝統文化の継承と世代間の交流を図る	実施内容	小学生から高齢者を対象に、正月行事である書き初めを実施。新型コロナウイルス感染対策のため、書き初めが終わった後のおしるこやお雑煮を食べることは取り止め、ビンゴゲームのみ実施し交流した。完成した書き初めは、1枚を公民館に展示し、地域の人の目に届いた。 講師：芙蓉の会（社会教育団体の書道グループ） 【検討過程】 11/18(水)、11/26(木)	評価	【成果と課題】 今年度はコロナ禍で外出を控えている事もあり、多くの小中学生の参加があった。子供達は張り詰めた空気の中で真剣に創作しており、普段は長時間の集中が難しい子も一生懸命に書いている姿が見られる。大勢が集まっても集中して行うことは非常に素晴らしい事だと、参加した大人も驚いている場面があった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者の親からも評判がよいので継続して実施する。「宿題を片づける場」としてだけでなく、年中行事としての意味も考える場として行えたと良い。					
		橋南公民館移転プロジェクト	事業区分	地区費	新規	6	135	27	2,643	実施内容参照
その他	地区住民を対象に、橋南公民館の移転を検討していく中で、今後の橋南地区と公民館活動を考えるきっかけを作る	実施内容	これまで多くの課題があった橋南公民館について、りんご庁舎への移転を目的に検討を実施。 【会議過程】 8/3、9/2、10/13、11/12、2/24 公民館利用者へ、アンケート用紙を配布し、広く意見を募集した。	評価	【成果と課題】 ハード面だけを考えるのではなく、移転後の活動について検討を行った。その結果、ランドデザインの内容に繋がり、基本的な方針を確認することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度の移転を目指し、具体的な検討に入っていく。今後の公民館の在り方も含めて、地区全体で検討できるよう意識していきたい。					

橋南公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	橋南地区将来構想推進プロジェクト	地区費	継続	5	75	15	2,643	実施内容参照	橋南地区区内
	実施内容	【成果と課題】 一昨年策定された「橋南地区将来構想」を基に、活動を推進していく取り組みとして実施。 地域人教育の高校生との「子ども祭」を合同で計画、実施した。 動物園や美術館、川本喜八郎形美術館との定期的な話し合いも実施。 【会議、活動過程】 10/23、11/9、12/12、12/13、12/14							
	目的	評価 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 小学生にとって有意義な時間となるよう、各団体と連携をとっていく。感染症対策をしたうえでの実施を検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	追手町小学校150周年記念事業	地区費	新規	6	120	20	2,643	実施内容参照	追手町小学校
	実施内容	再来年度、追手町小学校が150周年を迎えることに合わせて、記念事業を地域主導で実施していくことを目的に実施。 【会議過程】 4/22、8/6、9/28、10/22、11/30 記念事業の基本的な考え方の整理、大切にしたいことの整理、具体的な事業内容の検討などを議論した。							
	目的	評価 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 再来年度に向け、地域全体で関わっていきけるよう意識しながら取り組んでいく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	追手町小学校の思い出を写真や文章で残そうプロジェクト	市・地	新規	6	72	12	2,643	実施内容参照	追手町小学校 他
	実施内容	コロナウイルス感染拡大防止のため、学校と地域が密に触れ合いながら事業をすることが難しい今、まとめた思い出を通じて児童の地域住民のふれあいを創出していくことを目的に実施。 【会議過程】 10/27、11/16、12/7、1/14、2/26、3/29に会議を実施。 それぞれの追手町小学校の思い出を話す中で、活動内容を決定。 ①追手町小学校の歴史的な経過を調べながらまとめる ②追手町小学校に関わる方へ広く呼びかけ、「小学校の1番の思い出」を葉っぱの形の紙に書いて集め、それを大きな幹に貼り付けて1本の大きな木を作る。 ③小学校時代の「給食」や「修学旅行」などについてアンケートを記入してもらい、年代ごとの変化をまとめる							
	目的	評価 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加しているメンバーが楽しみながら、できる事を考え、実践や体験することを大切にしたいという思いの共有から、来年度も引き続き取り組みを進んでいく。また、活動後もメンバーの繋がりを大切にしたい。							

羽場公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
0-1歳児学級		市・地	継続	13	360	30	118	6/24～3/3	羽場中央公会堂
学級・講座	0-1歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	常任講師：松村由美子先生 【実施内容】①6/24始まりの会、図書分館の紹介 ②7/8栄養士さんの聞い てみよう(講師：保健課栄養士) ③7/22おんぶ紐の使い方講座(講師：ひよう どう人形店) ④9/30小児科医の先生に聞いてみよう(講師：和田浩氏) ⑤ 10/14文化祭の作品を作ろう ⑥10/30秋のお散歩へ出かけよう ⑦11/11マ メ企画(講師：羽場分署職員) ⑧11/27栄養士さんに聞いてみよう(講師：保 健課栄養士) ⑨12/6家族参加デイ(講師：宮澤恵子氏) ⑩12/9クリスマスマ ス会(講師：環境文化教育機構(株)) ⑪1/13ふれあい遊び ⑫3/3お別れ会・ 思い出カードづくり 【検討過程】 4/28 乳幼児学級講師・保健師打ち合わせ							
	目的	【成果と課題】 発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができる内容が実施できた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 乳幼児やその保護者にとって必要とされ学びとなる内容を検討しながら、引き続き 実施していきたい。							
2-3歳児学級		市・地	継続	10	324	36	234	6/16～3/9	羽場中央公会堂・丸山公民館
学級・講座	2-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	常任講師：上沼和子先生 【実施内容】①6/16始まりの会 ②6/30絵本を楽しもう(講師：下澤洋子氏) ③7/28栄養士さんに聞いてみよう(講師：保健課栄養士) ④9/15お散歩を 楽しもう ⑤10/13文化祭の作品作り ⑥11/17秋のお散歩を楽しもう ⑦ 12/15クリスマス会 ⑧2/16森っ子さんと手形・足形の作品作り(講師：環境 文化教育機構(株)) ⑨3/9お別れ会 【検討過程】 4/28 乳幼児学級講師・保健師打ち合わせ							
	目的	【成果と課題】 発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができる内容が実施できた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 乳幼児やその保護者にとって必要とされ学びとなる内容を検討しながら、引き続き 実施していきたい。							
感染症対策講座		市・地	新規	2	77	67	4,697	11月1日	羽場公民館
学級・講座	地区住民を対象に、新型コロナウイルス感染症の正しい知識を知り、予防策を学ぶ機会とする	文化祭の代替事業の一つとして、まちづくり委員会健康福祉部との共催で実 施。感染症現場の第一線で活躍する有識者を講師として招き、住民が感染 症を正しく恐れ効果的な対策について知る機会となった。 講師：飯田病院 感染管理認定看護師 永松さゆり氏 演題：冬季に流行する感染症対策講座～新型コロナウイルス感染症と冬季 流行感染症の対策を行うおう！～ 【検討過程】 9/4 文化委員会							
	目的	【成果と課題】 住民の感染予防に対する意識が高まった。またコロナウイルスに限らず、冬季に 流行が見込まれる感染症についての解説もあり、より効果的に感染予防する方法 を学ぶことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 文化祭代替事業であるため来年度は実施しないが、文化祭の中の一企画として 講座を実施することも検討していきたい。							
夏休み子ども寺子屋		市・地	継続	4	102	20	243	8月6日、8月7日	羽場公民館
学級・講座	丸山小学校児童を対象に、夏休みの規則正しい生活の支援と地域を学ぶ活動を通して誇りと愛着の醸成を図る	専門委員やまちづくり役員、民生委員がボランティアスタッフとして、参加した 小学生の勉強・遊びの肩守りを行った。また、地域の中で子どもに教えられ る特技を持っている方を講師として招き、遊びやそこに関わる心構えなどを 指導した。 講師：池戸通徳氏、片桐文夫氏、羽場軽スポーツクラブの皆さん 実施内容 1日目 学習、囲碁ボール、けん玉講座 2日目 学習、囲碁ボール、バレーンアート講座 【検討過程】 7/15、7/30 寺子屋スタッフ会							
	目的	【成果と課題】 普段の遊びや学校では体験できないことを地域の方から教わり、地域との結び つきや違う年代の方との交流ができた。より地域を学べる内容の検討が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 夏休みの規則正しい生活の支援と地域を学ぶ機会として、ボランティアスタッフと も内容の協議をしながら継続していきたい。							

羽場公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	生け花講座「お正月の花を生けよう」			市費	1	11	11	4,697	12月27日	羽場公民館
	地区住民を対象に、お正月の伝統文化に触れる機会を設けるとともに、社教団体や親子間の交流・ふれあいの時間とする	実施内容		【成果と課題】 参加者同士ののみならず、公民館で活動している社教団体との交流ができる機会となり、講座後に生け花に興味を持ち、教室に入会した参加者もいた。 【次年度の方向性】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 親子、参加者、講師が和気あいあいとした雰囲気です交流しながら伝統文化を学習できる講座として、継続していきたい。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	食育体験講座「そばを作ってみよう」			市・地	5	22	6	4,697	6/28～12/29	羽場公民館、地区内そば畑
	地区住民を対象に遊休農地を利用し、そば作り農地を利用し、そば作りの一連を体験し、育てる楽しさ、食の大切さを感じてもらおうとともに、共同作業を通して人とのつながりを図る	実施内容		【成果と課題】 食の大切さと育てる楽しさを感じることができた。天候により日程が変更になることが多く、参加できなかった方へのフォローについて検討が必要。 【次年度の方向性】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 そばを一から作り食べるという貴重な機会であるため、社教団体とも連携をしながら引き続き実施していく。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	図書館お楽しみ会			市・地	1	39	39	4,697	12月5日	羽場中央公会堂
	地区住民を対象に、図書館の利用促進を図るのと同時に、参加者同士の交流の場とする	実施内容		【成果と課題】 子どもを中心に住民が図書館により親しむことができた。また、地域の大人と子どもが交流を通して顔見知りになるきっかけとなった。 【次年度の方向性】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 図書館職員のみならず、地域の大人が活躍し、子どもとや親子と交流できる機会とするため継続する。。。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	羽場日本語講座			市・地	12	49	9	4,697	7/28～10/6	羽場公民館
	地区内の住民と外国籍住民を対象に日本語学習を通して、交流を図る機会とする	実施内容		【成果と課題】 外国籍住民と地域住民の関係づくりができ、日常生活において地域に知り合いがいるという安心感が生まれた。講座内で取り扱った獅子舞や、社教団体の活動に興味を持ってもらうなど、講座以外のつながりを作るきっかけとなった。外国籍住民への効果的な周知方法が課題である。 【次年度の方向性】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民同士の交流の場として、来年度も継続していきたい。また講座で作られたコミュニティを他事業へも生かしていきたい。						

羽場公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	曙の里講座 郷土講座		市・地	継続	1	20	20	4,697	3月25日	羽場公民館
	目的	地区住民を対象に、地域の史跡を知り、近隣の歴史の学習を図る	社教団体「羽場の昔を学ぶ会」と共催し地域の歴史・風土・地名などをテーマにした講座を実施した。講師と参加者がともに学びながら交流する機会としている。 講師：羽場の昔を学ぶ会 内容：日樹上人と墓所							
学級・講座	書初め大会		市・地	継続	1	18	18	4,697	1月3日	羽場公民館
	目的	地区住民を対象に、お正月の伝統文化を体験・学習しながら、地域の講師と交流する機会とする。	地域から書道の心得がある方を講師として招き、小中学校の宿題にもなっている書初めを皆でやりながら、住民同士が交流する機会として実施した。完成した作品は公民館に展示し、来館者に鑑賞してもらった。 講師：吉澤之榮氏、大霜睦男氏、河合美恵子氏							
文化事業	羽場地区文化祭		地区費	継続	2	19	-	4,697	10月31日、11月1日(中止)	羽場公民館
	目的	地区住民を対象に、文化・芸術をとおし、日頃の成果発表と多様な人との交流を図る	感染症対策を施したうえで、オープンニングセレモニー及び作品展示のみ実施する方向で検討を進めたが、委員会内で協議のうえ中止を決定した。 【検討過程】 9/4、10/17 文化委員会							
文化事業	飯田西中学校吹奏楽コンサート		地区費	新規	4	93	63	4,697	10月31日	飯田西中学校
	目的	地域住民を対象に、地域の楽団の生演奏を聴く機会とするとともに、中学生が練習の成果を発表することで、目標と達成感を得る	文化祭のオープンニングセレモニーで発表予定であった、飯田西中学校吹奏楽部の地域への発表の機会として実行委員会体制でコンサートを実施した。ゲストとして飯田市民吹奏楽団を招き、中学生の目標となるような演奏をしていただいた。 【検討過程】 10/17 文化委員会 10/23 学校・楽団との打ち合わせ 10/27 吹奏楽コンサート実行委員会							
文化事業							数量的成果 (項目名と数値)		来場者アンケート満足度 4.63/5	
							評価		【成果と課題】 文化祭が中止となった後も代替事業で発表の機会を設けたいという委員の気持ちの掘り起こしができた。発表した中学生にとっても、達成感を感じるとともに大人の楽団の演奏を聴くことで憧れや目標を持つことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 次年度 現状維持 ☐ 縮小 文化祭・かざこしふれあいコンサート内での発表ができるよう、調整を進めていく。	

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	学校作品等展示会			市・地 新規	2	694	-	4,697	10/30～11/7	羽場公民館
	目的	地域住民を対象に、学校作品等を館内に展示し、小中学生等の活動的身近に感じる機会とする	実施内容	文化祭で例年実施している作品展示のうち、小中学生の絵画・書道、いきいき健康教室、青空スクール、あいさつ運動等の作品を一定期間館内に展示し、公民館利用者に鑑賞してもらった。 【検討過程】 9/4、10/17 文化委員会						
	区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020羽場地区公演			市・地 継続	1	3	-	4,697	8月6日～8月10日(中止)	羽場公民館ほか
	目的	市民を対象に、人形劇のすばらしさを体験してもらい、演じる側、支える側としても楽しめるフェスタとする	実施内容	羽場地区内4会場5公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 【検討過程】 文化正副委員長打ち合わせ						
	区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	夜の講座			市・地 継続	3	54	34	4,697	3月22日	羽場中央公会堂
	目的	地域課題にアプローチする講座を通して地区住民の交流を図り、地域への関心を高める	実施内容	文化委員会で内容を協議し、コロナ禍の差別・誹謗中傷にアプローチした講座内容で実施。あわせて飯田の特産品である水引をつかったシトラスリボンを作成することで、人を思いやる気持ちを育む機会とすることを目指した。休館により1度は中止となってしまったが、文化委員会での実施要望があったため日程を変更して実施した。 講師：飯田人権擁護委員協議会 演題：新型コロナウイルスと私たちの向き合い方 ～シトラスリボンを作って考えてみよう～ 【検討過程】 12/14、2/22 文化委員会						
	区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ふれあいスポーツ祭			地区費 継続	2	60	-	4,697	10月11日(中止)	飯田西中学校
	目的	地区住民が一堂に集い、健康的に交流することを図る	実施内容	実行委員会を立ち上げスポーツ祭を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止を決定。 【検討過程】 7/10 体育委員会 7/17 まちづくり委員会議事会						
	区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場

羽場公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ソフトボール大会		地区費	1	3	-	4,697	6/14(中止)	押洞運動場
	地区住民を対象にスポーツ活動推進と親睦を図る		継続						
体育事業	実施内容		夜間ソフトボール運営委員会と羽場連合青壮年会と協力して、新しい層の開拓と地域が一丸となれる行事の促進のため実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止を決定。 【検討過程】 4/7 正副体育委員長打ち合わせ						
	目的		【成果と課題】 各町内から選手を集める方法について疑問の声がある。ソフトボールの競技性から、気軽に参加することが難しく感じる人も多い。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 運営を徐々に夜間ソフトボール運営委員会に移管していく事になっているが、公民館も主体的に関わりながらサポートをしていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	パタンク大会		地区費	4	58	28	4,697	11月22日	飯田西中学校
	地域住民を対象に、ニューススポーツに触れる機会を設け、住民同士の交流の場とする		継続						
体育事業	実施内容		中止となったふれあいスポーツ祭の代替事業として、羽場まちづくり委員会厚生部との共催で実施。各町内から参加者を集める方法ではなく、個人・チームで申し込みができる自由参加型の大会として開催した。9チーム28名が参加し、3コート内で順位を決めるゲームの他、全員参加のミニゲームを行った。 【検討過程】 7/27、8/19、9/23 体育委員会						
	目的		【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 スポーツ祭の代替事業であるため来年度は実施しない方向だが、住民が気軽にニューススポーツに触れる機会として好評であったため、今後も検討していきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲基ボール大会		地区費	1	12	-	4,697	2月7日(中止)	羽場公民館
	地域住民を対象に、ニューススポーツに触れる機会を設け、住民同士の交流の場とする		継続						
体育事業	実施内容		感染症対策を施したうえで自由参加型の囲基ボール大会の開催を検討していたが、市内感染者増加による休館のため中止。 【検討過程】 12/11 体育委員会						
	目的		【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 住民が気軽にニューススポーツに触れる機会として継続していきたいが、周知や参加者集めの方法については検討を要する。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報「あけぼの」の発行		地区費	18	180	18	4,697	通年	羽場公民館
	地域住民を対象に、身近な情報や課題を広報誌に掲載し、地区への興味や課題解決に向けた意識の高揚を図る		継続						
広報事業	実施内容		地区内の出来事やまちづくり委員会・公民館の活動報告、小中学校・保育園の取り組み、乳幼児の紹介、図書分館・社教団体の記事等を掲載した。発行1回につき、企画・編集・校正の3回会議を開催し、広報委員が内容の検討を行っている。 令和2年度は79号から84号まで、計6号発行した。						
	目的		【成果と課題】 依頼記事が紙面の大部分を占めており、委員が取材・企画する機会が少なくなっている。一方で1回の発行に3回の会議が必要な状況に負担を感じている委員も多いため、発行に至る会議の持ち方について検討が必要である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 広報委員の負担感と達成感のバランスに配慮しながら、読み手が楽しく読める紙面づくりを心掛けて継続していきたい。						

羽場公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	きのこ山保全活動	地区費	継続	3	40	28	375	5月24日～11月15日	きのこ山ほか
	子どもに菌打ちから収穫、伏せ込みを体験してもらい、山の保全の大切さを学び、自然を考慮する機会とする	羽場曙友会協力のもと、年間を通してきのこの保全活動と収穫を行い、また自然の中での芋煮会を行った。5月の菌打ちは休館期間中であつたため子どもの参加は叶わなかったが、有志委員協力のもとで実施した。11月のきのこ狩りと芋煮会では、県認定のきのこ鑑定士が参加し、きのこ山等について大人も学べる内容となつた。 ①5/24菌打ち ②11/8きのこの狩りと芋煮会 ③11/15菌木伏込み							
	実施内容	【成果と課題】 日常では体験しづらくなつている体験ができた。地域の自然に親しみながら、きのこを収穫する喜びを感じることができた。 【次年度の方向性】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今年度は子どもたちが体験できなかった菌駒打ちも含めて、自然の中で活動する楽しさを味わえる事業として引き続き実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	おやす・しめ縄作り交流会	市・地	継続	3	34	18	4,697	12月13日	羽場公民館
	地域の大人・小中学生を対象に、正月の伝統行事を伝えるとともに、世代間交流の場とする	【成果と課題】 育成事業への中学生関わりが薄いという課題から、スタッフとして参加してもらい、主体的な関わりの中で自己有用感を感じることができた。地域行事への関心も高まり、今後の事業にも参加したいという思いにつながつた。 【次年度の方向性】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 中学生が主体的に関われる事業展開は育成以外の他の事業にも応用しつつ、今後も継続していきたい。							
	実施内容	講師：栗林一彦氏、小林克郎氏 【検討過程】 11/25 育成委員会							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春お楽しみ会	地区費	継続	2	25	-	375	1月11日(中止)	羽場公民館
	小中学生を対象に、正月の伝統行事を伝えるとともに、世代間の交流の場とする	【成果と課題】 開催に向けて具体的な感染症対策を委員会の中で検討でき、次年度の開催にも活かすことができそうである。 【次年度の方向性】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 小中学生に伝統行事を体験させ、地域の大人との交流ができる機会として継続していきたい。							
	実施内容	11/25 育成委員会 12/22 3団体合同会議							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	魚のつかみ取り	地区費	継続	1	10	-	4,697	7月12日(中止)	円悟沢川
	中学生以下の子供を対象に、自然に触れ、命の大切さや自然への関心を持ってもらうきっかけとする	【成果と課題】 アンケートの結果から賛否両論ある事業であることが見えてきた。子どもたちが自然を感じしみながら、何かを学べる事業としていく必要がある。 【次年度の方向性】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度の育成委員会で事業の目的から話し合い、実施の方法や感染症対策について検討していきたい。							
	実施内容	【検討過程】 6/11 育成委員会							

羽場公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	公民館アンケート推進委員会	地区費	新規	5	50	10	4,697	8/24～3/9	羽場公民館
	実施内容	コロナ禍において専門委員会を含む公民館事業がなかなか実施できない状況の中、育学・公民館部会長の発案で羽場地区全戸を対象としたアンケートを実施した。専門委員会を含む有志10人で実行委員会を発足し、アンケートの内容作りからまとめ・考察、広報誌づくりまで行った。							
	目的	地区住民を対象に、公民館活動全般についてアンケートを実施し、公民館について考えるきっかけにするとともに、今後の事業の検討材料とする							
企画事業	公民館活動を考える会	市・地	継続	3	32	22	27	2月26日	羽場公民館
企画事業	実施内容	小中学校教頭、PTA会長、連合青壮年会長、まちづくり委員会代表者等を招き、専門委員会正副委員長と今後の公民館活動に求められること等について意見交換を行った。							
企画事業	目的	地域内の学校・PTA、各種団体の代表者から公民館活動について意見をもろう機会を設け、今後の事業展開に反映させる。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室	他会計	継続	27	1,701	53	477	通年	丸山小学校ほか
	実施内容	丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区合同事業。放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催し、運営や児童の様子について話し合っている。							
	目的	地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す							

羽場公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	明るいかざこしの子らを育てる会	地区費	継続	7	100	70	70	6月23日、2月17日(中止)	丸山小学校
	地区役員、教職員、PTA役員を対象に、目指す子ども像の共有を行い、3者の連携を深める	実施内容	【成果と課題】 地区役員、教職員、保護者が一堂に会し、顔を合わせて話をすることで、お互いを知る機会となっている。一方で、話し合いの中から共通の課題を見出し、具体的な活動につながるものが少なく、全体として言いづらくなってきているので、負担感を感じている参加者もいる。話し合われたことが具体化できるような工夫が必要。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 組織の見直しを行い、具体的な話ができる機会にしたい。学習支援やキャリア教育支援を行っている地域の方に「学習・キャリア教育部会」に入っていたけるように調整していく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	羽場・丸山地区成人式	市・地	継続	11	150	15	117	1月10日(延期)	丸山小学校
	新成人を対象に「地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる」機会とする	実施内容	【成果と課題】 コロナ禍での開催について、新成人、地区役員が何度も話をすることで、開催に向けて思いを高めることができた。地域学習においても、原さんの思いや山前焼肉の歴史を知る中で、地域の良さを知る機会となった。 延期先の成人式についてもコロナ禍であることが予想されるため、地域や家族の理解をどのように得るかが課題。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 役員改選期ではあるが、延期先の成人式についても今年度の「準備会」が中心となって進めていく。多くの新成人が参加し、思い出に残る良い式にすべく、検討していく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	未来の自分と地域を考える会	地区費	継続	4	100	80	80	2月18日	飯田西中学校
	中学3年生を対象に、成人式への理解を深め、自身の生き方考える機会	実施内容	【成果と課題】 中学生が成人式への理解を深めることができた。新成人からは、自身の経験を踏まえて「社会では自分から聞いたり行動しないといけない」「自分1人のミスが会社全体に影響する責任を感じる」「お酒が飲めるようになったことで様々な年代や職種の人と深い交流ができるようになった」といった話をしていた。新成人が自身を振り返る機会となった。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 身近な先輩からの話は中学生にとって良い刺激になっており、新成人にとっても良い機会となっているため、次年度も継続開催したい。時期も手紙を書く前の2月に開催したい。						

羽場公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	かざこしふれあいコンサート		市・地	3	21	-	8,091	9月5日(中止)	丸山小学校
	市民を対象に、地元で活躍されている音楽家による生の演奏を楽しむ機会を提供し、芸術文化の向上を図る	羽場・丸山地区の文化委員会(文化部会)が主体となり、感染症対策も含めた運営方法を検討したが、飯田保健所管内での感染例があり、参加団体とも協議のうえ中止を決定した。 【検討過程】 6/15、7/7 羽場・丸山地区文化正副長会議 7/29 代表者合同会議							
合同事業	目的	【成果と課題】 検討の過程で消毒・換気の方法や会場レイアウト等、感染症対策について十分協議したこと、今回の検討結果を以降の地区事業へ活かすことができた。開催時期と会場の関係から、猛暑対策が必要になると考える。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域住民が地元音楽家の演奏に触れ、また各楽団の地域住民への発表の機会とするため継続していきたい。							
	探鳥会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	中学生・地区住民を対象に、野鳥観察を通して風越山麓の自然に触れることにより、環境意識の高揚を図る	市費	継続	3	110	100	8,091	5月17日(中止)、11月28日	実施内容参照
	目的	羽場公民館・丸山公民館・飯田西中学校生徒会(愛鳥園芸委員会)共催事業。元々西中の事業であるが、平成16年から公民館も共催。講師：教員OBYなど10名程度 【春】5月17日(日)(中止) 場所：西中～滝の沢～石灯籠 【冬】11月28日(土) 場所：かざこし子どもの森公園～丸山公民館 【検討過程】 学校、公民館の打合せ 4/20、11/19							
合同事業	家庭教育講演会(PTA講演会)	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小中学生を持つ家庭を対象に、家庭教育の充実を図る	他会計	継続	3	116	94	120	11月16日	丸山小学校
合同事業	目的	PTA、小学校、公民館がそれぞれの関わりの中から見る子どもと取り巻く課題を共有し、三者が集まる会議の中で内容の検討、講師の選定を行い講演会を実施した。 例年、地域の一般参加者も対象としていたが、感染症対策のため保護者と教員のみを対象とした。 講師：飯田市教育長 代田昭久氏 演題：これからのAI時代を生きる子供たちに必要な力～一人一台パソコンをどう生かすか～ 【検討過程】 9/10、10/29 PTA講演会準備会							
	実施内容	【成果と課題】 「全児童に配布される情報機器について」という保護者や教員にとっても非常に関心が高いテーマで講演会が実施でき、教育長から直接、ICT教育の意義やそれによる弊害を学習することができた。当日の運営は教員が主体となっており、保護者があまり関わっていないという課題がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今後も三者にとって有益な情報を学習・共有する機会として継続していきたい。							

羽場公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田西中学校防災学習	他会計	新規	3	229	229	229	8月27日	飯田西中学校
その他	飯田西中学校生徒を対象に、学校・地域が連携した防災学習の機会を提供し、より実生活に即した自然災害への備えを学ぶ。 実施内容 ・飯田市危機管理室職員によるリモート講演会 ・地震避難訓練 ・居住町内のまちづくり役員から地域の危険箇所・避難所等を教わる 【当日実施内容】 ・事前準備の段階で公民館が両者の打ち合わせに入り、実施内容や地域側に指導してもらうことなどを検討した。 【成果と課題】 中学校の避難訓練に地域の大人の大人が参加することで、お互いに顔見知りになり、実際の災害時の連携・安心感につながった。また、まちづくり役員も中学生に指導することを通して、改めてハザードマップを見直して災害に備える意識が高まった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域にとっても学校にとっても意味のある事業となったため、今後も継続していきたい。 地域の防災訓練に中学生が出席することに両者の希望があるため、公民館がつなぎ役となり実現したい。	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		他会計	継続	4	81	81	81	10月16日	集会所・公民館等
その他	飯田西中学校生徒を対象に、地域への貢献活動を通して、自分たちができる事を考えたり、ふんだりする。 実施内容 ・事前準備の段階で公民館長・主事が学校へ行き、生徒と地域や各施設について意見交換を行い、活動場所や内容の検討を行った。 【検討過程】 学校、公民館の打合せ 7/13、8/6 生徒、公民館の打合せ 9/30	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		他会計	継続	4	81	81	81	10月16日	集会所・公民館等
その他	飯田西中学校生徒を対象に、地域への貢献活動を通して、自分たちができる事を考えたり、ふんだりする。 実施内容 ・事前準備の段階で公民館長・主事が学校へ行き、生徒と地域や各施設について意見交換を行い、活動場所や内容の検討を行った。 【検討過程】 学校、公民館の打合せ 7/13、8/6 生徒、公民館の打合せ 9/30	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		他会計	継続	4	81	81	81	10月16日	集会所・公民館等
その他	小学生、中学生、羽場・丸山地区住民を対象に、人と人をつながりづくりを推進し、4者の連携を深める 実施内容 ・事前準備の段階で公民館が両者の打ち合わせに入り、実施内容や地域側に指導してもらうことなどを検討した。 【当日実施内容】 ・事前準備の段階で公民館が両者の打ち合わせに入り、実施内容や地域側に指導してもらうことなどを検討した。 【成果と課題】 中学生の思いを実現するために、地域が協力することができた。生徒会役員にとっても、地区役員と話し合いながら一緒に作り上げていく経験をしたことで、自身の自信につながった。キャラクターを使った「あいさつ運動の旗」を4者で作成することもできた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 キャラクターの活用方法について引き続き検討を進める。特に中学生の思いを大切にしていける。ただ、中心となって進めてきた生徒会役員と先生が卒業してしまうため、思いをどう引き継ぐかが課題。	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		他会計	新規	11	90	10	8,091	実施内容参照	飯田西中学校 ほか

丸山公民館の事業報告

No.1

事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0・1歳児学級「すくすく学級」		市・地	継続	11	250	40	6月～3月(実施内容参照)	丸山公民館
	目的 0・1歳児とその親を対象にした交流の場、育 児学習を図る。	保健課との共催。5月より開始する予定であったが、コロナにより6月からの開講となった。 講師：松村由美子さん(保育士) ボランティアスタッフ：伊坪和代さん 6/18はじまりの会・図書分館紹介、7/2七夕飾りを作ろう、7/16ストレッチャ体操(宮澤助産師)、8/28みんなでおしゃべり、9/17こどもの安全と防災について考えよう、10/1秋のお散歩、10/15文化祭展示作品製作、11/5みんなでおしゃべり、11/19おやつと食事について(佐々木栄養士)、12/10クリスマス会(森っこ)、1/21からだを動かして遊ぼう【中止】、2/4ママ企画(子どもの散髪について)【中止】、2/18手形・足型をとろう、3/5終わりの会 【成果と課題】 コロナ禍で人と会う機会が減る中、ママ同士のつながりがづくりや不安解消につながる活動ができた。(おしゃべりの会を増やす、体を動かす機会を設けるなど)また、例年に比べ多くの方に参加いただくことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍に対応した内容を保育士さん、保健師さんと相談しながら検討していく。							
学級・講座	2-3歳児学級		市・地	継続	10	324	36	6/16～3/9	羽場中央公会堂・丸山公民館
	目的 2-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	感染症による休館のため、6月からのスタートとなった。今年度より羽場・丸山合同開催とした。 常任講師：上沼和子先生 【実施内容】①6/16始まりの会 ②6/30絵本を楽しむ(講師：下澤洋子氏) ③7/28栄養士さんへ聞いてみよう(講師：保健課栄養士) ④9/15お散歩を楽しむ ⑤10/13文化祭の作品作り ⑥11/17秋のお散歩を楽しむ ⑦12/15クリスマス会 ⑧2/16森っ子さんと手形・足形の作品作り(講師：環境文化教育機構(株)) ⑨3/9お別れ会 【検討過程】 4/28 乳幼児学級講師・保健師打ち合わせ 【成果と課題】 新型コロナウイルス感染防止のため、開始時期が遅れたことや休館による一時中断により開催回数は例年より減少となったが、講師や保健師と内容や感染症対策についてを検討し、発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができる内容が実施ができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 乳幼児やその保護者にとって必要とされ学びとなる内容を検討しながら、引き続き実施していきたい。							
学級・講座	夏休み子ども寺子屋		市・地	継続	4	45	18	8月6日、7日	丸山公民館
	目的 丸山小学校児童を対象に、夏休み期間の居場所づくりと学習支援をし、地域を学ぶことで誇りと愛着の醸成を図る	昨年度まで丸山小学校区(羽場・丸山・東野)で行っていたが、今年度よりそれらの地区での開催となった。当初、7月末の3日間を予定したが、コロナによる休校の影響で小学校の夏休みが短縮され、日程が確保できなくなったため2日間での開催となった。 8月6日(木) 液体窒素を使った実験(講師：おもしろ科学工房) ポッチャ体験(講師：スポーツ推進委員 嶺野英樹) 8月7日(金) ネイチャーゲーム(講師：飯田ネイチャーゲームの会) 水引でアマビエづくり(講師：田中宗吉商店 田中秀明) 参加児童：18名(1年2人、2年3名、3年3人、4年6人、5年2人、6年2人) スタッフ：27名(うち講師9名) 実行委員会 7/30、9/1 【成果と課題】 小学生が地域の資源を活用した体験学習を通じ、地域のヒト、モノ、コトを知る機会となった。スタッフも子どもたちの様子をすることができた。 主任児童委員と主事を中心となって内容を検討している状態から、スタッフ全体で内容を検討していけるように、話し合いの機会を増やしていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 春休みの開催について要望が出ているため、開催に向けて検討を進める。また、スタッフとして中学生にも参加してもらえようように検討を進める。							

丸山公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山くらす		地区費	継続	2	30	20	3,394	10月4日	飯田市美術館博物館
文化事業	目的	地域住民を対象に、自分たちの住む地域を体験を通して知り学ぶ	【成果と課題】 例年、食を通じた学習を行っているが、コロナ禍のため内容を変更。「郷土から地球まで、原点に触れる旅」として、昨年リニューアルされた美術館を見学した。 ①文化トピック展示「国学って何」についての解説 講師：青木隆幸さん(美術専門研究員) ②常設展見学(竜丘児童自由画100周年展など) ③プラネタリウム観賞 「feel the earth」「生きている大地～赤石山脈中央構造線～」 文化部会での内容検討 9/2							
	実施内容	実施内容	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 体験を通じた学習に主眼をおいた組み立てを行いたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	おとなのサロン		市・地	継続	3	50	40	3,394	3月21日	丸山公民館
文化事業	目的	地区住民を対象に、1つのことをじっくりと考える機会とする	【成果と課題】 「飯田」について「丸山」について知ることができた。地域に対する誇りと愛着をもつことができた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 丸山連合青壮年会と相談しながら内容は検討する。							
	実施内容	実施内容	【成果と課題】 来年度に延期するとメンバーが変わってしまう保育園児や小中学生のために、発表の機会を設けたいとの思いで企画・実施。文化祭が各団体の目標となることで、団体の活動を活性化し、意欲につなげることができた。また、例年参加していない団体からの展示参加もあり、新たな活動を知ることができた。 一方で、コロナ禍のため文化祭の大きな目的である「人と人の交流」が例年に比べて難しく、物足りなさを感じた。役員の一体感も生まれにくく、みんなで準備していくことができなかった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍ではあるが、発表の機会だけではなく、住民の交流が促進されるような内容も検討していく。役員が一丸となって取り組めるように話し合いを重ねていく。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山地区文化祭		地区費	継続	10	570	420	3,394	11月8日	丸山小学校体育館
文化事業	目的	地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る	【成果と課題】 主催：文化祭実行委員会(実行委員長：小澤まちづくり会長) 主管：公民館文化部 コロナ禍のため、会場を丸山小学校体育館に変更して日程を短縮。飲食が伴う催事を中止とし、各種団体による展示発表と保育園・小中学校関係団体による芸能発表のみとした オープニングセレモニーでは地区キャラクター「ふうくん」の紹介も行った。 【展示】 社教団体活動報告・作品展示、個人作品展示、まちづくり委員会各委員会活動報告展示など 21団体、2個人 【芸能発表】 丸山保育園(ダンス、人形劇)、丸山小学校クラブ(金管バンド、合唱、人形劇)、飯田西中学校(人形劇) 各種会議 6/26、7/16、7/20、9/2、9/7、9/18、10/5、10/9、11/25 前日準備 11/7							
	実施内容	実施内容	【成果と課題】 来年度に延期するとメンバーが変わってしまう保育園児や小中学生のために、発表の機会を設けたいとの思いで企画・実施。文化祭が各団体の目標となることで、団体の活動を活性化し、意欲につなげることができた。また、例年参加していない団体からの展示参加もあり、新たな活動を知ることができた。 一方で、コロナ禍のため文化祭の大きな目的である「人と人の交流」が例年に比べて難しく、物足りなさを感じた。役員の一体感も生まれにくく、みんなで準備していくことができなかった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍ではあるが、発表の機会だけではなく、住民の交流が促進されるような内容も検討していく。役員が一丸となって取り組めるように話し合いを重ねていく。							

丸山公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体 育 事 業	丸山地区ソフトボール大会			地区費	2	70	50	3,394	6月21日	押洞グラウンド
	目 的	実 施 内 容	【成果と課題】 コロナ対策を十分に引き、安全に大会を開催できたことで、地域活動の再開を後押しすることができた。参加者同士が楽しく話そうに話し合う様子もあり、直接会って交流することの大切さを改めて感じることができた。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加チームが減少しているため、自治会を超えた連携の中で参加チーム数を増やしていきたい。							
			評 価							
区 分	丸山地区市民大運動会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体 育 事 業	目 的	実 施 内 容	【成果と課題】 主催：運動会実行委員会（実行委員長：小澤まちづくり会長） 主管：まちづくり委員会厚生委員会 コロナにより中止となった。 【検討経過】 公民館体育部での検討 6/16、8/7 公民館正副部長会での検討 7/20 まちづくり委員会、公民館の打合せ 7/27							
			評 価							
	区 分	ワンバウンドふらばーるバレー大会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
体 育 事 業	目 的	実 施 内 容	【成果と課題】 ワンバウンドふらばーるバレーを6チームで実施。中学生・高校生・20代の参加もあった。 優勝：マルヨン排球部 2位：滝の沢 3位：丸4B 体育部での検討 10/6、11/17							
			評 価							
	区 分	クッパ大会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
体 育 事 業	目 的	実 施 内 容	【成果と課題】 運動会中止による代替事業。コロナ禍が今後も続くことを見据え、屋外で老若男女が楽しめるニュースポーツ「クッパ」の普及を狙って企画。 参加チーム：16 Aリーグ優勝：丸4Aチーム Bリーグ優勝：今2Bチーム 体育部での検討 8/7、9/10、10/6							
			評 価							
	区 分	丸山地区市民大運動会		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
体 育 事 業	目 的	実 施 内 容	【成果と課題】 初めての競技による大会であったが、小学生から年配の方まで多くの方が参加してくれた。クッパの普及にもつながった。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 好評であったため、来年度も開催する予定。							
			評 価							

丸山公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲基ボール大会		地区費	継続	3	15		3,394	2月28日	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、運動不足の解消、ニュースポーツの普及と健康増進を図る	【成果と課題】 年配の方が多く参加する大会であるため、コロナにより中止とした。 体育部での検討 11/17 正副部長との打合せ 1/18、2/6							
		実施内容	【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 まちづくり委員会へ移管する予定。							
広報事業	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	広報まるやまの編集		地区費	継続	12	40	5	3,394	通年	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、地区内の話題を伝え地域課題を提起していく	【成果と課題】 40号(6月)、41号(9月)、42号(12月)、43号(3月)。発行部数1500部 まちづくり委員会と合同で発行。コロナ禍で行事が減る中でも、計画通り4回発行することができた。 広報部会での検討 4/28、6/10、7/22、8/18、10/20、11/18、1/19、2/16 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍だからこそ、紙媒体による情報発信が重要になる。事業の紹介に限らず、必要な情報を発信していく。							
育成事業	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	スポーツ・文化教室支援事業		地区費	継続	3	40	30	3,394	実施内容参照	丸山公民館
	目的	子どものスポーツ・文化活動の充実を目的に各教室の連携を深めながら支援していく。	【成果と課題】 丸山公民館に登録のある小学生向けスポーツ教室の支援。「飯田ファイブスターズ」「丸山JFC」「丸山剣道教室」の3団体が登録している。 4/5閉校式(中止) 9/4指導者・保護者研修会「スポーツ食育講座」 講師：友竹浩之(飯田女子短期大学教授)、岩瀬彩香(飯田女子短期大学助教) 3/7閉校式(中止) ※上記以外に代表者会を年1回開催 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 子どもの数が減少しており、チームスポーツを行うことが難しくなってきた。め、引き続き保護者・指導者の意見を聞きながら必要な支援を行ってきたい。また、丘の上5地区でも情報を共有していきたい。							
育成事業	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	お正月飾り教室		市費	継続	2	35	25	3,394	12月13日	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、伝統行事の継承と地域交流と親子のふれあいを図る	【成果と課題】 お正月飾り、しめ縄づくりを講師の人から教えてもらい、自分で作成する。 講師：久保田浩史さん(丸山町3丁目、農家) 育成部での打合せ 10/27 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 伝統行事、わらに触れる貴重な機会として引き続き開催する。							

丸山公民館の事業報告

No.5

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	丸山地区ウォーキング大会		地区費	継続	3			3,394	3月21日(中止)	丸山公民館 ほか
	目的	地区住民を対象に、地域の自然・文化に触れながら健康増進を図る	昨年までは健康福祉委員会と共催であったが、今年度は公民館単独で開催。例年の豚汁無料配布を止め、地域の歴史を知ってもらえるように「史跡ウォークラリー」を行う。 雨天により中止となった。 講師：木下勝臣さん(白山社総代長)、伊藤晃さん(ネイチャージャーゲームの会) 参加賞：「ふうくん」缶バッジ 育成部での検討 1/12、2/9 現地下見 3/17							
	実施内容		【成果と課題】 親子の交流機会として実施しているが、年々参加者が減少している。文化的要素(地域を知る機会にしたい)、体育部的要素(健康づくりのためのウォーキング)など様々な意見が出ているので、何のために開催するのか目的を考えながら内容を検討していく。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 主管をどうするか公民館全体で検討していく。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	正月あそび・もちつき体験		市・地	継続	1	20		3,394	1月17日(中止)	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、伝統行事の継承と地域の交流と親子のふれあいを図る	公民館全館を利用してお正月遊びともつき体験会を行う。コロナ対策として、今年度に限り、おもちは既製品とする。 中学生が講師から事前に風の作り方を教わり、当日、参加者に講師として指導している。 今年度はコロナで中止となった。 育成部での検討 10/27、1/12							
	実施内容		【成果と課題】 子どもたちが伝統行事に触れる機会として大事にしていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 中学生がスタッフとして参加し、地域とつながる貴重な機会となっている。コロナ禍でも開催できる方法の検討が必要。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子交流体験事業「藍染め体験」		地区費	継続	8	70	20	3,394	7月26日	かざこし子どもの森公園
	目的	親子を対象に、体験を通じて家庭内での親子のつながりを深めることを図る	かざこし子どもの森公園と共催。 親子で同じ体験をし、会話しながら学ぶことで家庭内でのコミュニケーションをとってもらうために何ができるかを検討。昨年までは魚のつかみどりと飯盒炊爨をしていたが、今年度は藍染体験を実施。 事前に部員が専門家が染色を学び、前日に部員全員で勉強をしたうえで当日に臨んだ。 染色講師：田中洋江(飯田女子短期大学教授) 育成部での打合せ、準備 6/2、6/22、7/24、7/25 飯田女子短期大学での講習 6/11 子どもの森公園との打合せ 6/4、6/18							
	実施内容		【成果と課題】 コロナ禍で遠出できない子どもたちのために何かしてあげたいという思いで、育成部で検討を重ねて実施。当日の参加者は少なかったが、育成部員が自ら学んだことを子どもたちに教えることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 子どもたちに経験させてあげたいことを育成部で検討しながら内容を決めていく。 子どもの森公園を活用できると良い。							

丸山公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	かざこしふれあいコンサート		市・地 継続	3	21	-	8,091	9月5日(中止)	丸山小学校
	市民を対象に、地元で活躍されている音楽家による生の演奏を楽しむ機会を提供し、芸術文化の向上を図る	実施内容	羽場・丸山地区の文化委員会(文化部会)が主体となり、感染症対策も含めた運営方法を検討したが、飯田保健所管内での感染例があり、参加団体とも協議のうえ中止を決定した。	【検討過程】 6/15、7/7 羽場・丸山地区文化正副長会議 7/29 代表者合同会議	評価	【成果と課題】 今回は中止となってしまったが、検討の過程で両地区の文化正副委員長が中心となり、消毒・換気の方法や会場レイアウト等、感染症対策について十分協議したことで、今回の検討結果を以降の地区事業へ活かすことができた。開催時期と会場の関係から、猛暑対策が必要になると考える。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民が地元音楽家の演奏に触れ、また各楽団の地域住民への発表の機会とするため継続していきたい。		
	探鳥会	事業名	予算区分 市費	事業区分 継続	開催回数 3	のべ参加数 110	1回参加・登録数 100	対象数 8,091	開催期日 5月17日(中止)、11月28日
合同事業	中学生・地区住民を対象に、野鳥観察を通して風越山麓の自然に触れることにより、環境意識の高揚を図る	実施内容	講師：教員OBなど10名程度 【春】5月17日(日)(中止) 場所：西中～滝の沢～石灯籠 【冬】11月28日(土) 場所：かざこし子どもの森公園～丸山公民館 学校、公民館の打合せ 4/20、11/19	評価	【成果と課題】 地区住民、中学生が地元の自然に触れる機会となっている。西中教員の参加率も高く、地域を知る機会にもなっている。ただ、一般の参加者が少ないので、地域の方も気軽に参加できるような工夫が必要。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度は西中担当教諭、主事で組み立てを行ったが、来年度は中学生、地区役員、講師の意見も踏まえて内容を計画していきたい。			
	未来の自分と地域を考える会	事業名	予算区分 地区費	事業区分 継続	開催回数 4	のべ参加数 100	1回参加・登録数 80	対象数 80	開催期日 2月18日
合同事業	中学生3年生を対象に、成人式への理解を深め、自身の生き方考える機会	実施内容	平成28年度から始め、5年目の取り組み。今までは「成人式」の説明に終始していたが、今年度は中学生のキャリア教育の視点で実施。 ①成人式についての説明 伊藤文化部長(丸山)、小池主事(丸山) ②中学生と高校生の違いについて 宮嶋愛里さん(新成人) ③学生と社会人の違いについて 河手梨奈さん・本郷亜弥音さん(新成人) ④20歳の自分に向けた手紙、成人式連絡員について 平澤主事(羽場) ※手紙は5年後の成人式で本人に返却する ※成人式該当年度になった際、連絡員を通じて実行委員を募集する	評価	【成果と課題】 中学生が成人式への理解を深めることができた。新成人からは、自身の経験を踏まえて「社会では自分から聞いたり行動しないといけない」「自分1人のミスが会社全体に影響する責任を感じる」「お酒が飲めるようになったことで様々な年代や職種の人と深い交流ができるようになった」といった話をしていた。新成人が自身を振り返る機会となった。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 身近な先輩からの話は中学生にとって良い刺激になっており、新成人にとっても良い機会となっているため、次年度も継続開催したい。時期も手紙を書く前の2月に開催したい。			

丸山公民館の事業報告

No. 7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	羽場・丸山地区成人式		市・地	継続	11	150	117	1月10日(延期)	丸山小学校
	新成人を対象に「地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる」機会とする		市・地	継続	11	150	15	【成果と課題】 コロナ禍での開催について、新成人、地区役員が何度も話をすることで、開催に向けて思いを高めることができた。地域学習においても、原さんの思いや出前焼肉の歴史を知る中で、地域の良さを知る機会となった。 延期先の成人式についてもコロナ禍であることが予想されるため、地域や家族の理解をどのように得るかが課題。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 役員改選期ではあるが、延期先の成人式についても今年度の「準備会」が中心となっており、進めていく。多くの新成人が参加し、思い出に残る良い式にすべく、検討していく。	
	成人式準備会 9/5、9/27、10/14、10/25、12/10、12/21、3/4 成人式実行委員会 10/28 新成人と主事の打合せ 11/12、12/7		市・地	継続	27	1,701	53	通年	丸山小学校ほか
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室		他会計	継続	27	1,701	70	【成果と課題】 活動を通じて、地域の大人と子どもが顔見知りになり、学校外で出会ってもあいさつし合える関係作りができた。また、異学年との活動により、学年を越えたつながりができ、普段学校や家庭で見えない一面が見えた児童もいた。 お楽しみ会では、保護者と懇談の時間をとり、地域の人、保護者が感じていることを意見交換することができた。保護者から聞かれる感謝の言葉や子ども達が声をかけてくれることが、スタッフのやりがいにつながっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の大人が子供の成長を見守る大切な事業であるため、安全に実施できるように、学校や家庭と連携しながら継続していく。	
	地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す		市・地	継続	7	100	70	【成果と課題】 地区役員、教職員、保護者が一堂に会し、顔を合わせて話をする中で、お互いを知る機会となっている。一方で、話し合いの中から共通の課題を抽出し、具体的な活動につながるものが少なく、全体として言いっぱなしになっているので、負担感を感じている参加者もいる。話し合われたことが具体化できるよう工夫が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 組織の見直しを行い、具体的な話ができる機会にしたい。学習支援やキャリア教育支援を行っている地域の方に「学習・キャリア教育部会」に入ってもらっていただけるように調整していく。	
	当初5月に第1回目を予定していたが、コロナにより6月に延期して開催。各教室をつないでゾリモート開催となった。 第2回目はコロナにより中止となったが、代わりにアンケートを実施。 教頭先生、主事による打合せ 4/16、6/9、7/10、1/13、2/4、2/26		市・地	継続	7	100	70	6月23日、2月17日(中止)	丸山小学校
合同事業	明るいかざこしの子らを育てる会		地区費	継続	7	100	70	【成果と課題】 学校運営協議会で確認した「めざす子ども像」の実現に向けて話し合う会。 平成29年より始まり、今年で4年目。羽場・丸山・東野地区役員と丸山小・西中の教職員、丸山小・西中のPTA役員が参加している。「安心安全部会」「学習キャリア教育部会」「地域連携部会」の3つの部会がある。 当初5月に第1回目を予定していたが、コロナにより6月に延期して開催。各教室をつないでゾリモート開催となった。 第2回目はコロナにより中止となったが、代わりにアンケートを実施。 教頭先生、主事による打合せ 4/16、6/9、7/10、1/13、2/4、2/26	
	地区役員、教職員、PTA役員を対象に、目指す子ども像の共有を行い、3者の連携を深める		市・地	継続	7	100	70	6月23日、2月17日(中止)	丸山小学校
	当初5月に第1回目を予定していたが、コロナにより6月に延期して開催。各教室をつないでゾリモート開催となった。 第2回目はコロナにより中止となったが、代わりにアンケートを実施。 教頭先生、主事による打合せ 4/16、6/9、7/10、1/13、2/4、2/26		市・地	継続	7	100	70	6月23日、2月17日(中止)	丸山小学校

丸山公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	家庭教育講演会(PTA講演会)		事業区分 他会計	継続	3	116	94	11月16日	丸山小学校
合同事業	小中学生を持つ家庭を 対象に、家庭教育の充 実を図る	目的	PTA、小学校、公民館がそれぞれの関わりの中から見る子どもと取り巻く課題を共有し、三者が集まる会議の中で内容の検討、講師の選定を行い講演会を実施した。 例年、地域の一般参加者も対象としていたが、感染症対策のため保護者と教員のみを対象とした。 講師：飯田市教育長 代田昭久氏 演題：これからのAI時代を生きる子供たちに必要な力～一人一台パソコンをどう生かすか～ 【検討過程】 9/10、10/29 PTA講演会準備会						
			【成果と課題】 「全児童に配布される情報機器について」という保護者や教員にとって非常に強いテーマで講演会が実施でき、教育長から直接、ICT教育の意義やそれによる弊害を学習することができた。当日の運営は教員が主体となっており、保護者があまり関わっていないという課題がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今後も三者にとって有益な情報を学習・共有する機会として継続していきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	観月の夕べ		地区費	継続	1	220	200	10月3日	かざこし子どもの森公園
その他	市民を対象に、月を眺めながらお茶や音楽などの芸術文化に親しむ	目的	コロナ対策のため、佐倉神社で開催していた抹茶の提供を中止。例年参加している「オカリナすみれ会」「中田岳蒼さん」から出演不可の連絡があったので、代わりに今年度初めて飯田高校弦楽班に出演いただいた。 主催：観月の夕べ実行委員会(風越山を愛する会・公民館・子どもの森公園) 参加団体：飯田女子高校邦楽クラブ、たんぼぼの会、飯田高校弦楽班、Men's Jazz、にこにこフレンズ 実行委員会 8/25、11/11						
			【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 早い段階から打合せを行い、広報に力をいれたい。また、それぞれの役割分担を明確にし、みんながでつくる事業にしていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	風越山を愛する会事務局		他会計	継続	10	100	100	通年	丸山公民館、風越山等
その他	飯田市のシンボル「風越山」の自然・歴史・文化にふれる機会をとおして、山の魅力を伝え自然保護の意識を高める。	目的	・風のたより発行 ・イラストマップの販売 ・各種登山の計画 ・運営委員会の開催 ・各種イベントへの協力(わくわくPJ、登山マラソン、文化祭、丸山小登山など)						
			【成果と課題】 各種事業を通じて風越山への愛着を高めることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 広報担当の方が交代するのでスムーズに引継ぎができるように支援していく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	まるやま石窯部		他会計	継続	1	20	30	通年	丸山公民館
その他	誰もが気軽に集えるスペース作りを通して、住民相互の学習・交流を深める	目的	組織を立ち上げて4年目。この組織は、石窯を活用しながら、「誰でも気軽に集まり、一緒に楽しく活動しながら、親睦を深められる場づくり」を目指している。公民館としては、石窯部の活動や関わる人の想いを広げられるように事業を援助していく。 今年度はコロナにより「食」による交流ができなかったため、思うような活動ができなかった。						
			【成果と課題】 食による交流をメインとしているため、コロナ禍ではなかなか活動できない。食以外での交流方法について検討していく。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 会員同士の交流を深めるとともに、石窯の有効活用について検討していく。						

丸山公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田西中学校防災学習	他会計	新規	3	229	229	229	8月27日	飯田西中学校
その他	飯田西中学校生徒を対象に、学校・地域が連携した防災学習の機会を提供し、より実生活に即した自然災害への備えを学ぶ。	羽場・丸山まちづくり委員会役員が飯田西中学校の防災訓練・防災学習に参加し、中学生の避難訓練の原学と、ハザードマップを用いて地域の危険箇所や避難する場所等の指導を行った。 事前準備の段階で公民館が両者の打ち合わせに入り、実施内容や地域側に指導してもらうことなどを検討した。 【当日実施内容】 ・飯田市危機管理室職員によるリモート講演会 ・地震避難訓練 ・居住町内のまちづくり役員から地域の危険箇所・避難所等を教わる まちづくり役員、学校、主事との打合せ 7/22 危機管理室、教頭、主事の打合せ 8/5							
	その他の	【成果と課題】 中学校の避難訓練に地域の大人が参加することで、お互いに顔見知りになり、実際の災害時の連携・安心感につながった。また、まちづくり役員も中学生に指導することを通して、改めてハザードマップを見直して災害に備える意識が高まった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域にとっても学校にとっても意味のある事業となったため、今後も継続していきたい。 地域の防災訓練に中学生が出席することに両者の希望があるため、公民館がつなぎ役となり実現したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田西中学校地域貢献学習	他会計	継続	4	81	81	81	10月16日	集会所・公民館等
その他	飯田西中学校生徒を対象に、地域への貢献活動を通して、自分たちができる事を考えたり、ふんだりする。	中学校3年生の生徒が、これまでの福祉体験などの学習を振り返り、その活動の一環として地域への貢献活動を実施した。羽場・丸山地区内の集会所、公園、神社等13か所に行き、その施設関係者と一緒に掃除や美化活動を行った。 事前準備の段階で公民館長・主事が学校へ行き、生徒と地域や各施設について意見交換を行い、活動場所や内容の検討を行った。 学校、公民館の打合せ 7/13、8/6 生徒、公民館の打合せ 9/30							
	その他の	【成果と課題】 美化活動等を通じて地域内の施設やそこに関わる人を改めて知ることができ、地域に対する愛着と誇りを高めることができた。地域側にとっても中学生を身近に感じる機会となり、学校での活動を知ることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域にとっても学校にとっても意味のある事業となったため、今後も継続していきたい。今年度は独居高齢者への訪問ができなかったため、双方の意見も聞きながら検討を進めたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	羽場・丸山地区キヤクター作成	地区費	新規	11	90	10	8,091	実施内容参照	飯田西中学校 ほか
その他	小学生、中学生、羽場・丸山地区住民を対象に、人と人のつながりづくりを推進し、4者の連携を深める	「コロナ禍で人と会う機会が減っている今だからこそ、コミュニケーションの基本である「あいさつ」を盛り上げたい」という西中生の思いを受け、西中生徒会（編集委員会）が中心となってキヤクター案を作成。西中生徒、丸山小児童、羽場地区・丸山地区住民の投票によりキヤクターを決定した。最終デザインは丸山地区在住のイラストレーター（近藤敏範さん）に依頼し、仕上げていただいた。 【生徒会役員の動き】 地区役員との打合せ（7/16、10/1）、羽場まちづくり委員会理事會参加（10/16）、丸山まちづくり委員会本部委員會参加（10/15）、羽場まちづくり座談會参加（10/31）、丸山地区文化祭参加（11/7） 地区役員、近藤さん、学校との打合せ 12/7、12/24、1/13、1/20、2/4							
	その他の	【成果と課題】 中学生の思いを実現するために、地域が協力することができた。生徒会役員にとっても、地区役員と話し合いながら一緒に作り上げていく経験をしたことで、自身の自信につながった。 キヤクターを使った「あいさつ運動の旗」を4者で作成することもできた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 キヤクターの活用方法について引き続き検討を進める。特に中学生の思いを大切にしていける。ただ、中心となって進めてきた生徒会役員と先生が卒業してしまうため、思いをどう引き継ぐかが課題。							

東野公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(3歳児)学級	市・地	継続	13	100	16	98	実施内容参照		東野公民館
学級・講座	3歳児とその保護者を対象に、子ども同士や親子の触れ合いの場、親子の交流の場をつくり、子どもの健全な成長を図る。	【成果と課題】 各回3～5組の少人数での活動であったため、運動会の競技を話し合って決めてもらうなど、お母さん同士話をしてもらう時間がゆとりとることができ、情報交換をしながらゆるいつながりを作ることができた。 3歳になると入園している子が多く、学級の人数も年齢が大きくなる度に減っていく。入園していても参加できる方法や、成長段階にあった地域ならではのコンテンツを考えていく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 丘の上は保育園・幼稚園が多く、いわゆる地元の保育園ではないので、保育園に行けば地元の友達ができるわけではない。学級を、地域でのつながりをつくる大切な機会と捉え、参加者のニーズを聞きながら継続していきたい。								
	実施内容	①6/24開講式、②7/22ごはんとおやつのお話、③9/23親子ヨガ、④10/14親子の歯のお話、⑤10/28ミニ運動会、⑥11/17絵本の読み聞かせ、⑦11/25リトミック、⑧12/9クリスマス会準備、⑨12/23クリスマス会、⑩2/10紙粘土遊び、⑪2/24運動遊び、⑫3/10お散歩、⑬3/19記念品づくり、開講式 保育士：稲垣奈保美先生								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(0歳児)学級	市・地	継続	10	246	32	46	実施内容参照		橋北・橋南・東野公民館
学級・講座	0歳児とその保護者を対象に、子ども同士や親子の触れ合いの場、親子の交流の場をつくり、子どもの健全な成長を図る。	【成果と課題】 コロナ禍での出産・育児で親子だけで過ごす時間が長くなってしまったため、毎回学級の初めの時間に子育ての不安や悩みを出し合う時間をとり、離乳食の食べ方や夜泣きに悩むお母さんが多いことが分かった。子供達も回数を重ねるごとに場に慣れてきて、子供同士が関わったり、長時間泣かずに過ごすことができるようになっていった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者のお母さんたちは、コロナ禍の中で、学級を人と関わられる大切な時間と捉えてくれた。次年度も地域に関わる最初の入り口として、親子の不安を取り除きながら、安心して参加できる場を参加者の声を取り入れながら作ってきたい。								
	実施内容	橋北・橋南・東野地区の3館合同事業で、東野は3歳・0歳児を担当した。親子ともに初めての地域デビューであり、いろんな公民館を知ってもらえるようにと月替わりで会場を変え、3館をまわった。内容は前年度の様子を踏まえ、保育士、保健師、主事が協議し決定した。 ①10/12開講式、②10/26産後ママのヨガ講座、③11/9産後ママの身体ケア、④11/30離乳食について、⑤12/7X'masの準備、⑥12/16X'masパーティー、⑦2/15おんぶ紐の正しい使い方、⑧3/1わらべ歌、⑨3/8記念品づくり、⑩3/14開講式 保育士：水谷幸子先生								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
	女性学級「めだかの学校」	市・地	継続	9	80	10	1,485	実施内容参照		東野公民館
学級・講座	地区内女性を対象に、主体的な学習・交流を図る	【成果と課題】 コロナにより急な変更もあったが、今年度は身近な産業や施設を学び直すことで、身近に意外と知らないことがあることを知り、もっと知りたいという意欲につながった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き地元を目を向けながら、参加者のやりたい、学びたいという意欲を大切に、集まるだけにならないよう、みんなが学ぶ時間を作っていく。								
	実施内容	毎月第2または第3火曜日に実施した。受講生の中から選出した学級長を中心に、参加者、館長、主事で話し合い内容を決めた。 ①6/9開講式、②7/21クイズ、③8/11囲碁ボール、④9/2上郷考古博物館、⑤10/3染物体験(スミツネ)、⑥10/27研修旅行(奈良井宿)、⑦11/17囲碁ボール、⑧12/1平和祈念館見学、⑨3/16開講式								

東野公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	独居高齢者学級「五福の会」		市・地	継続	17	140	200	実施内容参照	東野公民館
	実施内容	70歳以上の独居高齢者を対象に、健康づくりと交流の場づくりを図る							
	目的	毎月第1・3月曜日に実施した。講師を招くなど主事が企画したり、参加者が考えて自主活動したりした。毎回最初に童謡唱歌を行い、声を出すことを練習をした。 コロナによる公民館閉館中は、主事が会員の家を訪問して様子を聞いたり、交換日記を活用して会員同士近況を報告しあった。 ①5/25開講式、②6/1囲基ボール、③6/22囲基ボール、④7/6昼食会、⑤7/20S/ボード見学、⑥8/3手芸、⑦9/7手芸、⑧10/5手芸、⑨10/19手芸、⑩11/2音楽、⑪11/16ペタンク、⑫12/7健康運動(大島砂緒里氏)、⑬12/21ヒートショックのお話(浮舟里子保健師)、⑭1/18お正月行事【中止】、⑮2/1健康運動【中止】、⑯2/15シトラスリボン作り、⑰3/1食事会・閉講式					【成果と課題】 手芸では講師をメンバーのひとりにお願いした。他のメンバーは、教えてもらった作品を孫や子どもにも作ってあげると、学級で学んだことが楽しみのひとつになった様子。以降もメンバー同士、学級外でも行き来して教え合っている。 今年度は囲基ボールクラブや文化部と一緒に活動したことで、新しいつながりが生まれた。シトラスリボン運動への協力から得られたやりがいも、コロナ自粛中の励みになった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者にとって、仲間づくりの場、やりがい、生きがいを感じられる場になっているかを意識しながら、参加者がやりたいことや、生活の悩みを学級の内容に反映できるように、みんなで考えたり話したりする機会を継続して行っていく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	若草の里東野講座		市・地	継続	1	-	2,823	4月26日(中止)	長久寺
	実施内容	住民を対象に、地域の歴史や文化、健康福祉、環境等の生活に身近な課題をテーマにして共に学び共に成長を図る					【成果と課題】 コロナ禍の中人が集まるのか、集めていいのかわからない不安で、1度目の中止以降企画できなかった。一方コロナにより生活が変化し、身の回りのことを知りたい、考たいという気持ちができてきおりコロナ禍だからこそみんなで学び合えるよう機会が必要と感じる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 基本構想など関係する部門と連携をしながら、今必要なことを考え、組み立てをする。次年度は飯田東中学校のPTAと連携して一緒に考えられないか模索したい。また、東野地区にとどまらず、飯田市内の他地区から学ぶ機会も作りたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	書初め書道教室		市・地	継続	1	12	2,823	1月5日	東野公民館
	実施内容	小中学生を対象に、書道の上達を図る機会を設ける					【成果と課題】 宿題をするだけでなく、抱負を書く中で、子ども達が今考えていることを知ることができた。後日会報で取り上げ、地区内にも子どもたちの様子を知らせてもらうことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 せつかくの子どもが集まる機会なので、地域の大人に見守りながら活動できるよう、地域側にも声掛けをしていく。		

東野公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	しめ縄づくり		市・地	1	35	35	2,823	12月20日	東野公民館
文化事業	住民を対象に、高齢者の持つ知恵や技術を次世代に繋げる交流の機会を図る		継続	1	35	35	2,823	12月20日	東野公民館
	実施内容								
	目的								
	文化事業								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第48回東野区民文化祭 芸能発表会		地区費	2	100	100	2,823	10月25日	東野公民館
文化事業	地域住民を対象に、活動の成果発表の機会と住民の主体的文化活動の推進を図る		継続	2	100	100	2,823	10月25日	東野公民館
	実施内容								
	目的								
	文化事業								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第48回東野区民文化祭 展示発表会		地区費	1	-	-	2,823	11月7日・8日(中止)	東野公民館
文化事業	地域住民を対象に、活動の成果発表の機会と住民の主体的文化活動の推進を図る		継続	1	-	-	2,823	11月7日・8日(中止)	東野公民館
	実施内容								
	目的								
	文化事業								

【成果と課題】
 正月を迎える準備として、正月飾りを自分の手で作ることに挑戦する機会として開催した。躰すぐりから体験し、縄ない、飾りの作成を行った。
 講師：久保田浩史氏、大木島勇司氏

評価
 毎年参加し、自分で正月飾りを作ることを楽しみ、習慣にしている方もいる。長年やっている人に事前に協力をお願いするなど、教え合いながらできるよう、やり方を工夫していく。

【成果と課題】
 今年度は最後まで見てくれた方が多く、出演者同士がお互いの発表を楽しんで、蝶ネクタイに法被で盛り上げる司会や、会場が一体となって手拍子を送るなど、アットホームな雰囲気で行われ、今回初めて参加した団体もその雰囲気を気に入り来年もまた出たいと意気込んだ。参加者の喜ぶ姿が、計画した実行委員のやりがいにつながった。

【次年度の方向性と取り組み】
 評価
 今のアットホームな雰囲気を大切にしていけるよう、歌詞カードを配るなど、会場が一体となる工夫をしながら次年度も実行委員会と計画していく。
 実行委員会の中には、きちんとした発表の場だけでなく、芸能発表会を通して参加者が楽しみ繋がる場にしたいという思いもあるので、2部制にする等どちらも担保できるやり方を検討したい。

【成果と課題】
 中止により、各分館から出展される多才な才能を地域の方に見てもらい、人を知ってもらう機会が失われてしまった。中止を残念がる方の中には「人から見てもらい評価されることで張り合いが持てる」と、発表する機会を求める声が多くあり、改めて身近な場所での発表の機会の大切さを感じた。

代替展示では、個人からの直接の応募であったため、分館が無い地区からの申し込みもあり、新しいつながりができた。

【次年度の方向性と取り組み】
 評価
 次年度作品募集をする際には、今年度直接申し込みをしてくれた方も含め、もっと地区全体に募集が行き届くよう、配慮したい。
 芸能発表会同様、発表の場にとまらず、つながりを作る場、地区の秋祭りのような文化祭にしたいという構想があるので、実行委員会と検討していく。

東野公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ2020東野地区公演		市・地	継続	-	-	2,823	8月6日～8月10日(中止)	東野公民館
文化事業	地域住民を対象に、身近なところで人形劇を親しむ環境づくりと、住民の主体的文化活動の推進を図る		東野地区内4会場での地区公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。				【成果と課題】 地区公演実施の可否の話し合いの際に、地区公演の良さを再確認することができた。 東中学校人形劇部より大舞台を失い残念との声が聞かれたが、広報部で取材をし、会報を通じて地区内に人形劇部のがんばりを知ってもらったことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		
	目的		評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	シトラスリボン・エールのさくらプロジェクト		地区費	新規	1	50	2,823	2月1日～3月26日	東野公民館
文化事業	東野地区区住民を対象に、コロナウィルスに感染しても、「おかえり」たいまと言いたいを旨として、シトラスリボン運動を広める		東野地区区住民を対象に、コロナウィルスに感染しても、「おかえり」たいまと言いたいを旨として、シトラスリボン運動を広める				【成果と課題】 基本構想にもかかわらず人々にやさしいまち東野に向かって、口コミで人から人へ運動が広まり、多くの人が関心をもち、思いやりの心を広めることができた。作成を手伝った、五福の会会員の高齢者にとっても、やりがいとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		
	目的		評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	お正月行事		地区費	継続	1	6	2,823	1月17日(中止)	東野公民館
文化事業	子どもを対象に、昔の遊び・餅つきなどを体験を通して多世代交流と文化継承を図る		毎年育成部、文化部、図書分館の共催、健康福祉委員会の後援で行っているが、役員で検討し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【検討経過】 12/4 正副育成部長、文化部、図書分館長打合せ 【計画した内容】 ・シトラスリボン作り、福笑い作り、餅つき(持ち帰り)				【成果と課題】 検討過程で、子ども達に継承したいことやさせたい体験を再確認することができた。安心して実施できる方法を模索し、継続したい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		
	目的		評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	カップ大会		地区費	新規	2	180	150	9月8日、16日	飯田東中学校
体育事業	地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る		コロナ禍の中、屋外で楽しめる新競技に挑戦しよう計画。 男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行った。 用具は体育部長が自ら製作した。 優勝：高羽町東B 準優勝：鈴加東新B				【成果と課題】 寺子屋でカップを体験した子を含め、子どもも大人も一緒に楽しむことができた。 事前に分館で練習してきたチームもあり、町内が集まるきっかけを作れた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		
	目的		評価						

東野公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第31回東野区民大運動会		他会計	継続	5	700	600	2,823	9月27日
体育事業	地域住民を対象に、運動を通じて親睦を深め、交流し、地域の連帯意識を高める	実施内容	地区内20自治会を4チームに編成し、9種目の競技で実施した。各町内から人員を選出してもらい、実行委員会を組織し、各担当者が主体的に運営した。東中生徒に放送係を依頼した。 新型コロナウイルス対策として、例年1日実施している日程を半日に変更。競技内容も密を避けてできるように見直し、会場もトラックコースから直線コースへ変更した。 【検討経過】 6/3 体育部会 8/1 体育部会 8/28 実行委員会 10/3 反省会						
	目的	評価	【成果と課題】 コロナ禍で、どうしても例年並みでは、色んな世代が参加できるよう、実行委員が参加する住人のことを考えながら企画した。 参加者からは、「自粛が続く中で久しぶりに地域の人たちと会うことができた」、「集まることの良さを実感した」など、開催を喜ぶ声が寄せられ、実行委員の励みになった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 年に1度、地区住民が一同に会する大切な機会なので、コロナ対策をして安心して実施できるよう、今年度の経験を活かして各係連携しながら計画していく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ペタンク大会		地区費	継続	2	170	150	2,823	10月20日、21日
体育事業	地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る	実施内容	子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として今年度で3回目を迎える。 男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行った。 多くの人が参加しやすいように東野ルールを作成し、適用している。 コロナ対策として、マスクと手袋着用で競技した。 優勝：宮の前D 準優勝：東和町A						
	目的	評価	【成果と課題】 コロナ禍でも例年並みの参加があり、町内を越えてペタンクを通じて交流を楽しむことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施していきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	囲碁ボール大会		地区費	継続	1	6	-	2月7日(中止)	飯田東中学校
体育事業	地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る	実施内容	子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として計画。 男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。 【検討経過】 1/14 体育部会						
	目的	評価	【成果と課題】 体育事業の中で唯一の休日開催であり、子どもや高齢者が参加しやすい事業である。社会教育関係団体や公民館学級でもチームを作り、参加を楽しみにしている方が多かった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 町内を越えて顔見知りになる機会として、次年度以降も継続する。						

東野公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	まちづくり会報「ひがしの」発行		地区費 継続	15	135	7	2,823	通年	-
広報事業	年間発行回数：5回 各回発行部数：1300部 広報部員とまちづくり会議選出の1名が編集を行い、まちづくり会議が発行している。住民に問題提起をし、考えてもらうような、地域に密着した誌面作りを行う。 コロナ禍の中においては、「コロナに勝つ！東野」というカートを作成し、今必要な情報や、前向きになれる記事発信した。 各号発行日：第59号6/10、第60号9/16、第61号11/11、第62号1/27、第63号3/31						【成果と課題】 例年通りの行事を取り上げることができない中、紙面が足りないほどのアイデアを出し合いながら、今必要な情報を発信してきた。 特に、住民への問題提起という点を意識し、少子化に伴う小中学校統廃合問題など、住民と一緒に考えたいテーマを投げかけてきた。読み手の反応をキャッチする方法を考えたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		
	地域住民を対象に、地域の出来事を伝え、地域の問題を提起し考えるための機会を図る						【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	小学校、中学校卒業生へ記念品の贈呈		地区費 継続	1	39	39	39	3月	東野地区内
	小学生・中学生卒業生を対象に、地域に見守られて育つことを実感する機会とする						【成果と課題】 記念品贈呈の趣旨等を記載したのし紙を付け、地域の思いを伝えることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子のスポーツ交流会		市・地 継続	1	2	-	2,823	-	浜井場小学校
	親子(園児、小学生・中学生)を対象に、ニュースポーツを通じて交流を図る						【成果と課題】 毎年スポーツ交流会後に行う焼き肉懇親会が、重要な交流の機会となっていたが、今後もコロナが続くことを考えると、飲食を伴わない形で親睦を深める方法を考える必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	キッズチャレンジ手作り体験		市・地 継続	2	35	25	2,823	11月29日	東野公民館
	子どもを対象に、様々な体験をする機会を設ける						【成果と課題】 子ども達は、自然の素材の香りなどに感動しながらスタッフ見守られ作業をした。一緒に制作をする中で、地域子ども達の様子を知らない機会になった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小		

東野公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	東野文化の路探訪会・みんなで歩かまい目指せ1万歩	地区費	継続	3	60	50	2,823	11月15日	東野地区ほか
その他	飯田大火について、焼失範囲を實際に歩くことで、体感的に学べるようにと計画。 出発前に公民館で当時GHQが録画していた実際の映像を全員で鑑賞し、当時の体験談を聞いた後に、自分たちの足で實際に歩いた。 歩きながら今と昔の風景を見比べられるよう、Googleマップを活用し、現在の地図の中に焼失範囲とその当時の写真を落とし込んだ。また、子ども達にも大火について覚えてもらえるように設問を作り、全問正解者には飯田東中学校のりんごジャムをプレゼントした。	【成果と課題】 外部から講師を呼ぶのではなく、基本構想第2部会と文化部が中心に、自分たちで焼失範囲、当時の様子、体験談を調べたり、復習問題の内容を考えたりしたこと、参加者に知ってほしいという思いが増した。参加者からは、普段生活している場所を、大火という切り口で切り取って歩いてみたときに新しい発見があったとの感想をいただいた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度はみんなが歩いて計画する。文化の路探訪は、今年度のように、主催者が事前に学習し、当日参加者に教えるという形式で、三六災害をテーマに取り組みたい。計画にあたっては、文化の路と歩かまいの日程をずらし、希望者がどちらも参加できるように配慮する。							
	実施内容 地域住民をを対象に、地域を知り地域を見つめ直す機会を図る	評価 次年度はみんなが歩いて計画する。文化の路探訪は、今年度のように、主催者が事前に学習し、当日参加者に教えるという形式で、三六災害をテーマに取り組みたい。計画にあたっては、文化の路と歩かまいの日程をずらし、希望者がどちらも参加できるように配慮する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田OIDE長姫高校地域人教育	地区費	継続	30	305	9	2,823	通年	東野公民館ほか
その他	研究テーマ:「さあ飛び込もう地下道へ」 東野地区を歩いて街が暗いと感じた生徒たちが、飯田駅北側地下道へのイメージを変え、地下道からまちを明るくしたいと考え、地下道のデザインに取り組んだ。 ・自治会協力依頼(9/21)・・・まちづくり定例会にて説明、協力依頼 ・地下道の清掃(10/17)・・・高羽町の小学生、PTAと一緒に ・企業への協力依頼(10/20)・・・セイコーアドバンス様へ企画説明、協力依頼 ・地下道ペイント(10月～11月)・・・子どもも作業できるよう段ボールでスタンピングを作成 ・お披露目会(11月22日)・・・協力してくれた方へ感謝状贈呈、地区の方と意見交換 ・追加調査(12月～1月)・・・警察署への聞き取り、防犯カメラの映像チェック	【成果と課題】 高校生は最初は自分たちだけではできないと思っていたことを、たくさんの人巻き込みながらやり遂げられたことで、自信と達成感、熱意を持ってやることの大切さを学んだ。地域にとっては、なんとかしたいと思っていたけど手がつかなかったことが、高校生のおかげから動き出し、生活安全委員会、小学生など色んな人を巻き込み、地区としての取組になった。自分たちが関わったことで、単なる地下道だった道に愛着が生まれた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 高校生が地域の人がから学び、地域の人が高校生から学ぶことができるよう、先生との連絡を密に取り、目的を共有しながら一緒に取り組んでいく。							
	実施内容 飯田OIDE長姫高校生徒と地域住民を対象に、共に地域を課題に取り組みむことで、お互いに学び合い、よりよい地域を目指す	評価 次年度は高校生が地域の人から学び、地域の人が高校生から学ぶことができるよう、先生との連絡を密に取り、目的を共有しながら一緒に取り組んでいく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	夏休み子ども寺子屋ひがしの	市・地	継続	4	88	88	2,823	8月7日～9日	東野公民館
その他	夏休みの3日間、基本構想推進部会と公民館が中心となりコロナ対策をしながらプログラムを実施。 8/7飯田郵便局、水源を知らう、川遊び(清水可晴さん、井上基さん) 8/8英語で遊ぼう(ノエミ・ゲルドラさん)、アマビエ・日時計作り(米山照実さん) 8/9手話(大澤翔さん)、紙芝居(JAさくらの会)、紙ひこうき大会(育成部)、クップ(体育部) 【検討過程】 6/17・・・役員打合せ会 7/27・・・スタッフ会 8/30・・・スタッフ反省会	【成果と課題】 地域住民、専門委員が教えることを核にしたプログラムにより、地域内に新たに子どもに関わる人が増えた。外国人や障害者を講師に招いて実施してみたが、相手のことを考えどうやったら伝わるかを子ども達が真剣に考えていた。多様な人が一緒にいることが当たり前になるように、継続的に関わっていききたい。今回初めて、寺子屋出身の中学生が、スタッフとして参加してくれた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 寺子屋を卒業した児童が、引き継ぎ地域とつながりたいと思うよう、大人との信頼関係や地域への愛着を育めるよう関わっていく。そのために、企画に子ども達の声も反映されるような一緒に組み立てをするやり方を検討したい。							
	実施内容 東野地区内の小学生を対象に、夏休み中の居場所作つくりと学習支援をし、地域を学ぶ事で誇りと愛着の醸成を図る	評価 次年度は寺子屋出身の中学生が、スタッフとして参加してくれた。							

東野公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	春休み子ども寺子屋ひがしの		市・地	継続	3	80	2,823	3月24～26日	東野公民館ほか
その他	東野地区内の小学生を対象に、春休み中の居場所作つくりと学習支援をし、地域を学ぶ事で誇りと愛着の醸成を図る	実施内容	春休みの3日間、基本構想推進部会と公民館が中心となりコロナ対策をしながらプログラムを実施。 3/24大火の学習(日赤奉仕団)、手話ゲーム、外で遊ぶ 3/25環境に優しい扇風機作り(基本構想第5部会)、水引細工 3/26けん玉チャレンジ(アツブルけん玉クラブ)、消防署見学 【検討過程】 1/21・・・役員打合せ会 3/19・・・スタッフ会						
	その他の		【成果と課題】 スタッフの中で3日間の統括を一人が担当するのではなく、1日ずつ当番制にすることで色んな大人が主体的に関わり運営した。寺子屋を卒業した中学生がスタッフとして参加した。 企画にあたって、基本構想の部会と連携しながら、それぞれがめざすまの姿に向かつて子ども達とやりたいことを、一緒に取り組むことができた。 【次年度の方向性】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 寺子屋を卒業した児童が、引き継ぎ地域とつながりたいと思えるよう、大人との信頼関係や地域への愛着を育めるよう関わっていく。そのために、企画に子ども達の声も反映されるような一緒に組み立てをするやり方を検討したい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	図書館お楽しみ会		地区費	継続	1	15	2,823	10月25日	大宮諏訪神社境内
その他	地区住民を対象に、図書館の利用促進を図るとともに、参加者同士の交流の場とする	実施内容	図書分館との共催事業として実施。例年であれば年5回ほど計画するが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、屋外での読み聞かせ会を1度だけ実施した。						
	その他の		【成果と課題】 コロナ対策として、初めて屋外での実施を試みた。読んだことがある絵本も、神社で聞くとはまた違う印象で良かったという感想があり、読み聞かせ時の環境の大切さを実感した。せっかくいい環境での読み聞かせ会なので、普段参加のない子供にも参加してもらえよう、呼びかけ方を検討する必要がある。 【次年度の方向性】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度も桜の季節に屋外での読み聞かせを計画する。子ども向けの企画にとどまらず、読書会など大人が本を通じて学べるような企画も考えたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	明日の東野をつくる集い		地区費	継続	9	90	2,823	通年	東野公民館
その他	住民を対象に、地域の現状と課題について住民同士で話し合い、共に学び合う姿勢を育む	実施内容	東京大学・飯田市公民館共同調査・学習で行った「地域社会への参加に関するアンケート調査」の結果をもとに地区内で学習会を開催したことを契機に組織され、「合言葉は”なるほど”いつでもみんなが楽しい集い」という理念のもと月1回第4木曜日に集まり活動している。 今年度は、コミュニケーションで課題に繋がった、コロナで広がる子ども達の格差の問題から、子どもの居場所について取り上げ主に話をしてきた。						
	その他の		【成果と課題】 保護者も一緒に話し合いに参加してもらい、子どもの様子や困りごとなどを話していた。状況を聞くうちに、集いとして考えるべきことは、貧困に苦しむ子供へのポイントのアプローチよりは、誰でも来られる場所やつながり作りだとの結論に至り、次年度から気軽に来られて様々な体験ができる機会を、社会教育関係団体の協力を得ながら取り組んでみることにした。 【次年度の方向性】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 集いに参加する自分たちが楽しいと思えることをベースに、今回のPTAのように関係する人の実際の声も取り入れながら、東野にとっていいと思うことを探し、楽しみながら引き続き取り組んでいく。						

東野公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)		市・地	継続	—	—	8,376	7月18日(中止)	橋南地区
	地域住民を対象に、身近な場所でプロの演奏家による音楽を楽しむ機会の創出を図る。		実施内容	橋北・橋南・東野地区の3公民館が共催し、各公民館の文化委員を中心とした専門委員が協力して実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 演奏予定者：Florescer(フロールセール)				【成果と課題】 例年、高レベルの生演奏の音楽を身近な場所で開催する機会として、地区の方々に親しまれていたが、感染症の拡大防止のため、中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区住民がプロの音楽家の演奏を身近な場所でも聴く貴重な機会として、3公民館で相談しながら、前向きに取り組んでいきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室		他会計	継続	27	1,701	53	通年	丸山小学校ほか
	地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す		実施内容	丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区合同事業。放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催し、運営や児童の様子について話し合っている。 【通常の活動】 活動日：毎週水曜日(25回) 活動内容：バドミントン(体育館)・卓球(ブルールーム)・ミニサッカー(グラウンド)・制作(図工室) 【その他の活動】 ・各地区の文化祭での作品の展示 ・学期に1回の土曜日または日曜日に参観日を兼ねたお楽しみ会 8月 ながしろうめん大会(中止) 12/19お楽しみ会 3/7まとめの会			【成果と課題】 活動を通じて、地域の大人と子どもが顔見知りになり、学校外で出会ってもあいさつし合える関係作りができた。異学年との活動が普段学校や家庭では見えない成長につながっている。 お楽しみ会では、保護者と懇談の時間をとり、地域の人、保護者が感じていることを意見交換することができた。保護者から聞かれる感謝の言葉や子ども達が声をかけてくれることが、スタッフのやりがいにつながっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の大人が子供の成長を見守る大切な事業であるため、安全に実施できるように、学校や家庭と連携しながら継続していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	家庭教育講演会(PTA講演会)		他会計	継続	3	116	94	11月16日	丸山小学校
	小中学生を持つ家庭を対象に、家庭教育の充実を図る		実施内容	PTA、小学校、公民館がそれぞれの関わりの中から見る子どもと取り組む課題を共有し、三者が集まる会議の中で内容の検討、講師の選定を行い講演会を実施した。 例年、地域の一般参加者も対象としていたが、感染症対策のため保護者と教員のみを対象とした。 講師：飯田市教育長 代田昭久氏 演題：これからのAI時代を生きる子供たちに必要な力～一人一台パソコンをどう生かすか～			【成果と課題】 「全児童に配布される情報機器について」という保護者や教員にとっても非常に関心が高いテーマで講演会が実施でき、教育長から直接、ICT教育の意義やそれによる弊害を学習することができた。当日の運営は教員が主体となっており、保護者があまり関わっていないという課題がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後も三者にとって有益な情報を学習・共有する機会として継続していきたい。		

東野公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	明るいかざこしの子らを育てる会	地区費	継続	7	100	70	70	6月23日、2月17日(中止)	丸山小学校
合同事業	地区役員、教職員、PTA 役員を対象に、目指す 子ども像の共有を行い、 3者の連携を深める					【成果と課題】 学校運営協議会で確認した「めざす子ども像」の実現に向けて話し合う会。 平成29年より始まり、今年で4年目。羽場・丸山・東野地区役員と丸山小・西 中の教職員、丸山小・西中のPTA役員が参加している。「安心安全部会」「学 習キャリア教育部会」「地域連携部会」の3つの部会がある。 当初5月に第1回目を予定していたが、コロナにより6月に延期して開催。各教 室をつないだりモート開催となった。 第2回目はコロナにより中止となったが、代わりにアンケートを実施。 教頭先生、主事による打合せ 4/16、6/9、7/10、1/13、2/4、2/26	70		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北・橋南・東野地区成人式	市・地	継続	11	83	-	105	1月10日(延期)	飯田市公民館
合同事業	新成人を対象に、学習 の場をつくり、活動を通 じて地域への愛着、誇り を持てるような機会とす る。					【成果と課題】 橋北・橋南・東野地区成人式は令和3年8月以降に延期したが、新成人有 志、公民館委員等で組織する実行委員会体制で次の内容を実施。 ・成人式実行委員会を開催し、成人式の企画、準備 ・成人実行委員による地域学習の実施 (学習テーマ「お練りまつりを学ぼう」) 【実行委員会】 9月～3月までに計11回開催し、延べ83人参加	105		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会	地区費	継続	3	82	62	8,376	3月14日	飯田市公民館
合同事業	地域住民を対象に、地 域を知り愛着を深めるこ とを目指す。					【成果と課題】 東中学校区3館合同事業として実施。2019年にアフガニスタンで銃撃されて 死去した中村哲さんの活動や、私たちに伝えようとしていたメッセージについ ての講演会を行った。 演題：「追悼 中村哲医師が遺したもの」 講師：青木隆幸氏(飯田市美術博物館専門研究員) 【検討経過】 12/16 3館正副委員長打合せ	8,376		

告報事業の館公民光座

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	びよびよ学級(0-1歳学級)		市・地	継続	11	198	18	58	実施内容参照 座光寺公民館
	0～1歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。	保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 (実施内容)①6/29開校式②7/17つどいの広場訪問③8/28栄養士の話④9/18わらべ歌⑤10/19読み聞かせ(下沢先生)⑥11/6ミニ運動会⑦11/27歯科衛生士の話⑧12/15クリスマス会⑨2/5文化祭の作品作り(中止)⑩2/16新聞遊び⑪3/5手がた足がた	市・地	継続	11	198	18	【成果と課題】 保育士と保健師とともに幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや親子のふれあいを深める内容を企画し実施した。また、今年度は参加者に子どもの様子を毎回一言ずつ言ってもらい、子どもの成長を母親同士が共感し、交流を深める機会となった。 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもの成長を一番に考え、参加者同士、または地域とのつながりの機会になるように今後も実施していきたい。	
学級・講座	たんぽぼ学級(2-3歳学級)		市・地	継続	10	120	12	124	実施内容参照 座光寺公民館 他
	2～3歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。	保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 (実施内容)①6/19開校式、図書分館案内②8/21読み聞かせ(下沢先生)中止③9/17歯科衛生士の話④10/15消防署見学⑤11/12栄養士の話⑥11/19焼き芋(保育園合同)⑦12/18クリスマス会⑧1/21文化祭の作品作り(中止)⑨2/19親子体操⑩3/4手がた足がた	市・地	継続	10	120	12	【成果と課題】 保育士と保健師とともに幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや親子のふれあいを深める内容を企画し実施した。また、今年度は参加者に子どもの様子を毎回一言ずつ言ってもらい、子どもの成長を母親同士が共感し、交流を深める機会となった。 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもの成長を一番に考え、参加者同士、または地域とのつながりの機会になるように今後も実施していく。また、保育園へ上がる準備期間として、座光寺保育園の未就園児交流を協力して進めていきたい。	
学級・講座	子育て応援講座		市・地	継続	2	10	10	182	実施内容参照 座光寺公民館 他
	子育て世代の保護者を対象に学習会を開催し、子育ての悩みを解消するだけでなく、自主的なグループ策定を目指していく。	現在、母親が抱えている不安や悩みのを解決できるような講座を2回開催。乳幼児学級に参加している0～3歳児親子を対象とし、親子ともに地域の異年齢交流の機会とした。 (実施内容) 第1回 10/9 飯田動物園へ行こう (雨天中止) 第2回 1/14 こどもの救急 いざというときの対処法 講師：高森消防署救急係	市・地	継続	2	10	10	【成果と課題】 学級の母親達との会話から「コロナ禍で家籠りしている」、「歩き出すようになって目が離せない」など多く聞く中で、内容を企画してきた。第2回目は参加人数は少なかったが、真剣に参加する方が多く、不安解消の糸口になったと感じる。 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 保育士の先生方との話題共有を大切に、今後も子育てに必要な講座計画をしていく。	
学級・講座	麻績いきいき大学(一般教養講座)		市・地	継続	4	52	20	4,322	実施内容参照 座光寺公民館他
	高齢者の生涯学習推進を目的に「ともに学び、ともに成長する」場とする。	陶芸部、合唱部、ハーモニカ部、水墨画部、詩吟部、キーボードアンサンブルに入部し、各部署で自主的な運営企画を随時行う。全体活動として一般教養講座を開催。 (実施内容) 第1回：10/22 「座光寺地域の出土遺物を巡る」、開校式 現地見学：飯田市考古資料館(上川路)、飯田市上郷考古博物館(上郷) 参加者：22名 第2回：1/27(延期)⇒3/23「シトラスリボンを作ろう」、閉校式 講師：座光寺地区人権擁護委員、公民館女性委員 参加者：20名	市・地	継続	4	52	20	【成果と課題】 第1回講座は昨年度恒川官衙遺跡を見学した第2弾として、実施し、講座につながりを持てたという意見を多くいただいた。また、座光寺のことを広く知りたいとい新しい会員の方も増えて今後の講座実施を多角的に考える可能性を感じる。 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 高齢者の生涯現役という考えを尊重できるように、積極的に学びたいことを広く集め、ともに学び、ともに成長し、次の世代への足がかりとなる講座を目指したい。	

座光寺公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域学習会		市・地	1	40	40	4,322	9月27日	エス・バード
学級・講座	地区住民を対象に、地域の現状で感じている不安や悩みを解決し、より良いくらしにつなげる学習の機会を提供する。	実施内容	公民館企画委員会が中心となって、地域で不安に感じていることを解消するための学習会を実施。 (実施内容) テーマ:新型コロナウイルスについて正しく知ろう 講師: 桜井一彰さん(飯田市立病院 感染管理認定看護師)						
	目的	目的	【成果と課題】 コロナ禍での生活に不安を抱えていること、また、事業をどう考えていったらいいのかとの意見が多く出され、コロナについて正しい理解を得たいと企画。この企画に携わった企画委員自身が、今感じていること、みんな考えてみたい事について向きあう機会になった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 全国的にも影響を及ぼしたコロナ禍であったので、地域の関心事として分かりやすかった。が、まだまだ地域で学習したいという機運は高いので、各人の関心事を共有できる場を設けて、学習する雰囲気を高めていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ座光寺保育園公演	地区費	継続	2	25	-	4,322	8月7日(中止)	座光寺保育園
文化事業	子どもたちを対象に人形劇を通じて芸術文化の振興を図る。	実施内容	【成果と課題】 収容人数と園児数の調整が課題。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 世界人形劇フェスティバルから公演会場として実施しており3年目。運営体制も定着しつつあるため、園児が身近に人形劇に触れあえる機会として次年度も継続していく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺人形劇まつり	地区費	継続	2	25	-	4,322	8月8日(中止)	座光寺公民館
文化事業	座光寺地域住民を対象に人形劇を通じて芸術文化の振興を図る。	実施内容	【成果と課題】 小学生の人形劇の披露の場にもなっているのですが、その機会としての実施、また、「まつり」として行う本事業の飲食を伴う屋台についてもコロナ対応を重視した検討が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 公民館の建物の中でリレー公演として行ってきたが、3密の回避として公民館周辺の施設の利用も考えての実施を広く考えていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺地域成人式	市・地	継続	11	80	-	48	1月10日(延期)	エス・バード
文化事業	20歳を迎える新成人を対象に地域でお祝いし、地域の一員としての自覚を持ってもらうことを目的に実施する。	実施内容	座光寺地域の新成人代表(6名)と文化部員が中心になって実行委員会を組織し、当日までの計画を一緒に考えていく。座光寺地域単独開催として6年目。 (実施内容) ・8月～12月 成人式実行委員会(7回)(内、1回飯田OIDE長姫高校生と懇談) ・11/15 地域学習「シードルの取り組みについて」 ・1月下旬 成人を祝うメッセージ集、シトラスボン 送付						
	目的	目的	【成果と課題】 文化部の皆さんからアドバイスをもらいながら、新成人が中心となって新型コロナウイルス感染症の対策をした開催を考えてこれた。延期になったが、成人式に寄せられたメッセージを今時点での記念品として編集し送付した。この活動により、実行委員は成人式に同級生と再会したいという思いを強くすることになった。地域学習では、高校生のシードルの取り組みから地元の名産を同級生に伝えられるように準備していた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 現在の新成人実行委員が引き続き担ってくれるので、気持ちが続くように文化部始め地域で支え、ともに活動していきたい。また、地域学習のさらなる取り組みを考えていきたい。						

座光寺公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	麻績の里地域づくり種まき大賞		地区費	1	17	-	4,322	2月7日(中止)	座光寺公民館
	地域に良い種を蒔いてくれた方を表彰することでの新たな芽吹きへとつなげる。		実 施 内 容	【成果と課題】 コロナ禍の影響で活動が自粛されているためか、推薦者がなかなか集まらず本年大賞候補者は2件だけであった。 【次年度の方角性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 選考委員会時に来年度の候補者と合わせた大賞選考となったことで、来年度も活動が維持されているが懸念されるが、コロナ禍だからこそその取り組み、地域にまかれた種に気を配り、受賞候補者を検討していきたい。					
	目的		評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	座光寺地域文化祭		市・地	1	80	-	4,322	2月6日、2月7日(中止)	座光寺公民館 他
	地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る場とする。		実 施 内 容	【成果と課題】 地域住民の発表の機会を一番に考え、できる対策の中での実施について話し合いを重ねてきた。文化祭は中止となったが、地区から意見をいただき、作品展示をする機会を設けることになり、できる可能性を広げることができた。 【次年度の方角性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後は例年通りとはいかない状況の中で、地域の皆さんの文化活動の発表と交流の機会について、部会で話し合い、実施を考えていく。					
	目的		評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	春季・冬季スポーツ大会		地区費	4	51	-	4,322	実施内容参照	座光寺小学校他
	住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地区内のコミュニケーションを図る		実 施 内 容	【成果と課題】 3会場で3種目を行い、年齢や体力に合わせて種目を選べ、老若男女集まり多世代交流の機会となっている。体育部でコロナ禍の開催方法を検討してきたが、地区で人集めをしてもらう期間を考え、早めの中止判断をせざるを得なかった。 【次年度の方角性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 競技性が高いものばかりでなく、ニュースポーツを積極的に取り入れているので、地区に広められそうな種目実施を積極的に検討していく。					
	目的		評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	座おうちde簡単ストレッチ		市・地	6	48	16	4,322	実施内容参照	-
	コロナ禍における住民の健康推進及び体力増強を図る		実 施 内 容	【成果と課題】 コロナ禍と地区からの健康推進の声に応える形で、体育部で考えて企画した。事業を中止せざるを得ない中で、今できることを話し合い、紙面で紹介できたことは他の事業を考慮することの糸口となった。 【次年度の方角性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今まで目を向けにくかった健康推進について地区の中に浸透するように来年度も企画、発信していく。					
	目的		評価						

座光寺公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺地域市民運動会		市・地	1	32	-	4,322	10月11日(中止)	座光寺小学校
体育事業	住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地区内のコミュニケーションを図る	【成果と課題】 「地域の親睦を深め活力を高める」をスローガンに地区対抗で実施している。 (実施内容) 5/8、6/12 体育部会 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 別の事業を行ったことで、地区民が一堂に会せる運動会の大切さを認識した。地区民が集まれる運動会の可能性を今後考えていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ニュースポーツ体験会in座光寺		市・地	4	157	157	4,322	10月11日	水辺の広場他
体育事業	地区毎の交流と親睦を深める機会及び地区交流スポーツ月間の推進を図る	【成果と課題】 運動会開催予定日に地区毎の交流と親睦を図る事業としてニュースポーツ体験会を実施。コロナ対策として、地区を3つ会場の会場に分けて、それぞれの会場でニュースポーツ2種類を時間差で体験した。 (実施内容) 会場：水辺の広場、麻績ひろば、座光寺小学校体育館・校庭 種目：クロリティ、グラウンドゴルフ 参加地区：11地区/16地区 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 この体験会で実施したニュースポーツは、地区交流月間やスポーツ事業の1つとして取り入れていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区交流月間		地区費	1	157	157	4,322	10月11日	水辺の広場他
体育事業	住民のスポーツ交流または、健康推進に関わる事業を通じて地区内の交流を図る	【成果と課題】 実施後アンケートから「いつも同じ種目をしていて新しいスポーツを知れてよかった」「地区の交流会で取り入れたい」という意見があり、地区の交流につなげる機会になった。また、地区ではスポーツの情報を求めていることがわかり、スポーツの紹介を積極的に行う必要性を感じた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 体育部でわかりやすいスポーツの紹介の仕方を検討するとともに地区の交流を引き続き推進していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	広報座光寺		地区費	12	120	10	4,322	実施内容参照	-
広報事業	地域住民を対象に、地域の活動経過や取り組みの紹介、身近な情報や課題を掲載し、状況提供と地区への興味や課題解決に向けた意識の高揚を図る	【成果と課題】 公民館広報部と自治会選出員(5名)で構成されており、公民館事業だけでなく、広く地域事業に関わる内容を掲載。 (実施内容) 発行：年4回(6月、9月、12月、3月) 発行部数：1700部(全戸配布) 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 直接会うことが難しかったのか、取材記事が多くなってしまった。取材の良さは、取材する側が地域へ対する気持ちを育む機会になると考えるため、積極的に取り組むとともに、他地区から学ぶ広報紙の学習会も検討していきたい。							

告報事業の館公民光座

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広	広報座光寺お知らせ版		地区費	12	120	10	4,322	実施内容参照	-
	地区住民を対象に、毎月地区内で行われる地区の情報を一本化し、各戸配布で情報発信すること誰でも網羅的に地区の情報を得られることを図る	実施内容	地区費	継続	12	120	10	4,322	【成果と課題】 情報が集約され、地区のお知らせをすることが目的であり、住民の皆さんにとって地区の情報を得られる媒体として位置付けられ、定着している。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 毎月発行のため、主事が中心に紙面構成をせざるを得ない状況にあるが、地区の皆さんに漏れない情報を提供するため、今後も必要な情報を発信していく。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育	麻績の里体験学校 お茶摘み体験学習		市費	2	32	-	4,322	5月10日(中止)	麻績のひろば
	小中学生とその保護者、地域住民を対象に、お茶の摘み方と加工方法を学び農業のすばらしさを知り、農業への関心を寄せる機会とする。	実施内容	市費	継続	2	32	-	4,322	【成果と課題】 5月中旬まで、小中学校が休校になり、また、その後の見通しが立たない為、安全と安心を考え中止と判断した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 健全育成部が中心に茶葉の管理をし、最近では小学校の家庭科の授業としても派生し、部員が講師を務めてきている。が、目的に沿った子どもたちの地域での学びの機会となっているかどうか、他の事業と合わせて検討していきたい。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育	麻績の里体験学校 ホタルを見る会		市・地	2	32	-	4,322	6月20日(中止)	中河原会所周辺
	小中学生とその保護者、地域住民を対象に、地域様々な人々たちとの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	実施内容	市・地	継続	2	32	-	4,322	【成果と課題】 集まっでの学習ではなく、家族ごとでホタルの生態を知り、生息地を訪ねて郷土への愛着を深めてもらいたいと、ホタルマップを作成し、配布した。健全育成部員が自ら現地を訪れ様子を見たという感想もあり、自分たちが地域への愛着を深める機会になった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 観察会として行うのか、その他として行うのか、リニア整備に関係して土地の景観も変化していくことも含めて、今後の事業実施ついて検討していきたい。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育	麻績の里体験学校 水辺の広場で遊ぼう		市・地	3	30	-	4,322	7月12日(中止)	水辺の広場
	子どもたちを対象に開催し、親子のふれあいや地域内外の様々な人々たちとの交流、を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	実施内容	市・地	継続	3	30	-	4,322	【成果と課題】 事業は中止としたが、それまでの協議を水辺の広場委員会と合同で検討し、事業について話し合いができた。また、水辺の広場委員会と連携し、水辺の広場自体の活用についても考えていく必要を感じる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 実施については、様々な団体に関わる為、早いうちから協議していく。公民館として、本事業について大事にすることの共有を図っていく。

座光寺公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 星空観察会		市・地	4	58	28	4,322	実施内容参照	美術博物館 他
	小中学生とその保護者、地域住民を対象に、星空が見える自然環境の素晴らしさを実感し、自然を守る心を育て、また、宇宙に関心を持ち、広い視野を持つ心を育む。		継続						
	【成果と課題】 星空観察を通じて、科学に親しむ心や自然環境の素晴らしさを実感してもらった。 （実施内容） 1回目：8月29日 第1部 美術博物館でプラネタリウム鑑賞(大人15名、子ども13名) 第2部 夏の星空観察（曇天中止） 2回目：2月20日（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止） 第1部：美術博物館でプラネタリウム鑑賞 第2部：冬の星空観察								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 子ども科学教室		市・地	2	41	41	4,322	10月17日	麻績の館
	身近な環境学習の側面を入れた科学体験教室の実施。 （実施内容） 内容：ソーラーカー作りから感じる自然エネルギー 講師：湯澤眞理子さん（環境わくわく体験スクール） 参加者：子ども17名、大人12名、スタッフ10名		継続						
	【成果と課題】 ソーラーカー作りを通して親子で作る楽しさを感じるとともに、いろいろな発電の原理を学び、身近にある電力について学ぶ機会になった。特に保護者が積極的に実験等に関わってくれ環境に対する意識が高まったのではないかと感じる。 小学校で行う子ども科学教室との調整検討が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 目的、開催時期等、他の事業と合わせて検討していきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 ふるさと体験		市・地	3	64	64	4,322	11月1日	麻績のひろば
	地域の文化や歴史資源から自分たちの地域を感じる事業の実施。 （実施内容） 『火おこし器で火を起そう』 講師：吉川金利さん（上郷考古博物館学芸員）、健全育成部 参加者：子ども29名、大人21名、スタッフ14名 内容：火おこしをしていった時代について、土器の役割・使い方のお話、火おこし体験、焼き芋づくり		継続						
	【成果と課題】 今年度健全育成事業は、親子での学びを重視し、親子での参加を呼び掛けてきた。火おこし体験を通して、「火」そのもののありがたみを感じ、現在の生活の便利さを感じる機会にもなった。地域にある歴史資源を生かす機会になってはいないので、いかに結び付けられるか今後の課題である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の中になる歴史的遺物を活かした学習として、地域への関心・愛着を感じることを重視して来年度取り組んでいきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春書初め会		地区費	2	24	24	4,322	1月4日	座光寺公民館
	健全育成部が中心となり実施。 （実施内容） 内容：書写（毛筆・硬筆） 参加者：子ども11名、保護者7名、スタッフ6名		継続						
	【成果と課題】 公民館事業として2年目。小学生だけでなく、中学生の参加があり、よい緊張感の中でそれぞれ書に向かっていった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者が増えてきているので、冬休みの宿題だけでなく、お正月行事としての書初めについて由来や心持についても感じる機会にしていきたい。								

座光寺公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	座光寺小学校科学実験教室		市・地	継続	1	133	133	11月27日	座光寺小学校
	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。		市・地	継続	1	133	133	11月27日	座光寺小学校
	実施内容 おもしろ科学工房の皆さんに協力いただきながら、小学生へ科学の面白さを感じてもらう機会を学校授業の一環として座光寺小学校と共催実施。 (実施内容) 2年生：空気の実験、ペーパージャイロ作成 3年生：超低温の不思議な世界、リニアのしくみ 6年生：モデルロケット作成・打ち上げ 主催：座光寺小学校、座光寺公民館 講師：おもしろ科学工房、座光寺公民館健全育成部		市・地	継続	1	133	133	11月27日	座光寺小学校
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 まとめの会		地区費	継続	1	16	46	1月23日(中止)	座光寺公民館
	体験学校参加者を対象に一年間の体験の振り返りと感想をまとめ、次年度への展開につなげる。		地区費	継続	1	16	46	1月23日(中止)	座光寺公民館
	実施内容 一年間実施する「麻績の里体験学校」の活動を振り返り、次年度の事業へつなげるまとめの会。(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止) (実施内容) 1/15 健全育成部会		地区費	継続	1	16	46	1月23日(中止)	座光寺公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 子ども桜ガイド		市・地	継続	2	30	4,322	実施内容参照	開催会場
	座光寺が誇る「舞台桜」「舞台校舎」の学習を子ども達が誇る「舞台桜」について学びが深まり、毎年ガイドとして関わることで、年上の子が年下に教えるという異年齢交流の機会にもなっている。しかし、令和3年の桜まつりの中止が決定し、例年の桜ガイドは2年行わないことになり、子どもたちの継続した学びの機会がなくなることを懸念する。		市・地	継続	2	30	4,322	実施内容参照	開催会場
	実施内容 座光寺が誇る「舞台桜」「舞台校舎」の学習を子ども達が誇る「舞台桜」について学びが深まり、毎年ガイドとして関わることで、年上の子が年下に教えるという異年齢交流の機会にもなっている。しかし、令和3年の桜まつりの中止が決定し、例年の桜ガイドは2年行わないことになり、子どもたちの継続した学びの機会がなくなることを懸念する。		市・地	継続	2	30	4,322	実施内容参照	開催会場
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	公民館女性委員会交流会		市・地	継続	1	13	22	12月15日	麻績の館
	女性ならではの柔らかない発想を、地域づくりの活動に活かしてもらえように、委員同士の交流の場を実施。		市・地	継続	1	13	22	12月15日	麻績の館
	実施内容 公民館委員会に所属する女性を対象に、委員会の枠を超えた横のつながりを作る機会とする。		市・地	継続	1	13	22	12月15日	麻績の館

座光寺公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	地域づくりフォーラム	地区費	継続	1	16	-	4,322	2月7日(中止)	座光寺公民館
	実施内容	【成果と課題】 9月に実施した新型コロナウイルス学習から、住民同士で話し合う場を設けたという と、地域づくりフォーラムで計画した。学習したことをお互いに話し合いたいという 機運が高まったと感じる。しかし、実際は中止となってしまう、住民同士の話し合 いの場が持たれないことで今後の地域づくりへ影響することを懸念する。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民が地域を見つめ直し、解決に向けて取り組んでいく機会として企画して いるので、住民同士がお互いに話し合う場がなくならないように積極的に設けて いきたい。							
	実施内容	(実施内容) ・12/9、12/22 運営委員会内容検討 計画内容:新型コロナウイルスで今気をつけたい事 基調講演:松岡裕之さん(飯田保健福祉事務所長) 基調講演後、参加者でのグループ討議							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	座光寺の子どもを語る会推進委員会	地区費	継続	4	96	24	24	実施内容参照	座光寺公民館
	実施内容	【成果と課題】 小学校の学校運営協議会で話題に出た内容をもとに、実際にどのように子ども たちが育ってきたのか三者で話し合った。今年は休校中の子どもたちの様子から 第2波、第3波に向けた子どもと向き合い方について協議した。推進委員の話し 合いをもとに、座光寺の子どもを語る会で、コロナ禍の子どもたちについて話し合 うことに決まった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 現状、座光寺の子どもを語る会の企画・調整が主な実施内容になっているので、 三者が協働して動いて行ける実働を行っていきたい。							
	実施内容	・学校、地域、家庭の三者が、子どもたちを取り巻く現状と課題に対しての取 り組みと報告を行う。 ・座光寺の子どもを語る会の運営に関する企画・調整を行う。 ・コミュニケーションスキルの充実に向けた研究検討。 (実施内容) 日時:6/22、7/7、7/29、3/24 内容:学校運営協議会の議題について、座光寺の子どもを語る会について							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	座光寺の子どもを語る会	市・地	継続	3	100	77	4,322	7月18日	座光寺小学校
	実施内容	【成果と課題】 コロナ禍の影響として、休校をどのように過ごしたかについて学校・地域・家庭の 三者の情報共有を行った。その後、地域の方が校内消毒ボランティアを受けてく れるようになり、保護者も協力し、最終的に6年生が学年の取り組みとして引き継 いだ。子どもたちについて話し合ったことで、家庭・地域ができることを考え実行 し、その姿を見た子どもたち自身がができる取り組みとなっていたのは成果で あった。しかし、保護者の参加が低いことはまだ課題である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度以降も、子どもたちを取り巻く現状について考え、三者の協働活動につな げられる会を開催していく。また、多くの保護者が参加できるように投げかけにつ いても話し合っていきたい。							
	実施内容	座光寺の子ども健全育成について、学校、地域、保・小・中学校の保護者 が一堂に会し、情報共有と意見交換を行う。 (実施内容) テーマ:コロナ第2波・休校に備えて、家庭・学校・地域がどう乗り越えていっ たらよいか 話題提供者:座光寺小PTA会長 今村さん、同副会長 宮崎さん 参加者:77名(保護者、保・小教員、座光寺の子どもを語る会推進委員他) 小学校の教室に1グループ7～8人に分かれて、話題提供後、「コロナ禍で不 安だったこと、困ったこと」「休校中どのように過ごしたか」「第2波に向けて」を グループ毎話し合い、最後に全体共有をした。							

座光寺公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	総合的な学習の支援	市・地	継続	4	80	30	76	実施内容参照	座光寺小学校他
	小学生を対象に、地域のひととのつながりや様々な文化を学習すること、郷土への愛着と誇りをもつ心を育む。	総合的な学習の時間で、地域での学びを支援することで、学校・家庭・地域がつながる取り組みを行う。 (実施内容) 小学4年生 人形劇活動 協力：竹田人形座 小学5年生 米作り 協力：宮澤賢二さん他JA青年部							
その他	実施内容	【成果と課題】 米作りは田植えから収穫発表会まで年間を通じてJA青年部の皆さんに教わり、農業への知見を深められた。また、4年生の人形劇は、地域の皆さんに見てもらいたいと地域の名所を舞台にした創作人形劇を作成した。発表の機会が少ないことが懸念されたが、学校運営協議会で、地域に向けて発表ができ、非常に好評であった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 子どもたちが1年を通して定期的に地域と一緒に活動し、学べる機会であるので、今後も継続していきたい。また、保護者の関わりも大事にしていきたい。							
	評価	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	麻績っ子クラブ(小学校クラブ活動)支援	地区費	継続	1	4	-	168	中止	座光寺小学校
	座光寺小学校生徒を対象に、地域で活動するグループや有志のひとたちの交流を通じて、ふささとへの愛着と誇りを持つ心の醸成を図る。	年に1回の小学校クラブ活動に、地域のグループや個人の方が講師となり子どもたちの活動に関わる。(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止) 【成果と課題】 体校措置で十分な時間の確保ができないことと、コロナ禍における外部講師の制約の為、学校教育がクラブ活動を運営したため、地域の支援は中止となった。来年度も感染症拡大防止の為、中止が決まった。地域と子どもがにつながる活動が、2年後、円滑に関係が作られることに懸念がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 子どもを通じた大人の学びの機会の機会でもあったので、地域でできる活動を来年度実施していきたいと考えている。							
合同事業	高陵地区ニュースポーツ交流会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺・上郷両地区の住民を対象にニュースポーツ交流会を行い、種類の普及と健康への関心を深める	地区費	継続	1	30	-	40	中止	上郷小学校体育館他
合同事業	高陵中学校区の体育部のスポーツ交流会。	【成果と課題】 昨年度より、体育部のニュースポーツ体験と両地区の交流を目的として開催してきたが、今年度はそれぞれの地区事業をまず考えることとし、計画の段階で中止とした。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 老若男女の交流の機会としてニュースポーツは有効であり、まずは体育部がニュースポーツを体験することが大切であると確認した。次年度はニュースポーツの習得研鑽と両地区の交流の機会として実施していく。							
	実施内容	高陵中学校区の体育部のスポーツ交流会。 (実施内容) 両地区ごと体育部会 1回							

松尾公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	松尾サイエンス	市・地	継続	20	1,365	20	12,957	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
学級・講座	住民(特に小中学生)を対象に、科学に対する興味や関心向上を図る	松尾サイエンスが主催し、おもしろ科学工房の協力により、科学実験教室を実施。小学校や児童クラブなどのクラブ活動支援も行った。 9/1、10/13、10/27 松尾小学校クラブ活動支援 11/5、11/17 松尾小学校5、6年生科学実験教室 8/7 児童クラブ科学工作教室 6/16、8/20、10/5、10/27、1/13、2/15 聖クララ幼稚園科学あそび 2/26 伊賀良小学校出張科学実験教室 11/28 松尾サイエンススクール その他地区内PTA支部や分館からの出張科学実験教室の依頼が3件あったが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。							
	目的	【成果と課題】 公民館で行う教室だけでなく、クラブ活動支援や出張教室も行われ、活動が地区内外に広がっている。スタッフも前向きに取り組んでおり、積極的に若い方をスタッフに勧誘し、継続的な活動を可能にしている。また、スタッフを担うことが地域活動の担い手の育成にもつながっている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 公民館の活動の一つとしてスタートし、現在ではスタッフが主体となって企画運営している。この経過を大切に、引き続き公民館はサポートするような体制で活動していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	男踊り教室	市・地	継続	20	260	13	12,957	5月28日～3月25日	松尾公民館ほか
学級・講座	住民を対象に、運動不足の解消と共通の趣味をもつ仲間作りを図る	講師に池田悠貴鳳氏を招き、原則月2回男踊りの練習を実施。中止となったが、例年は松尾地区文化祭や松尾踊ってみよう会に出演している。							
	目的	【成果と課題】 新たな参加者も加入し、年間を通じて踊りの技術を高めるとともに参加者の交流を深めることができた。文化祭や踊ってみよう会の参加により、地区内への周知が図られ参加者が増加するよう考えていきたい。来年度も初心者が増え始めるきっかけとして教室を開催していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 公民館活動の一つとしてスタートし、現在では所属メンバーが主体となって企画運営している。この経過を大切に、引き続き公民館はサポートするような体制で活動していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域いきいきセミナー	市・地	継続	1	21	21	12,957	実施内容参照	城集会所
学級・講座	分館単位の住民を対象に、分館活動の活性化を図る	地区内各分館が主催し本館の協力により講演会や学習会を例年行っている。今年度は城分館のみが以下の内容で実施。 11/27 文化教養講座 テーマ：身近な健康講習会 講師：松尾地区担当保健師							
	目的	【成果と課題】 松尾公民館と分館の共催で行われ、分館活動の活性化に繋がっている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度も分館活動の活性化に繋がるよう、各分館へ開催を積極的に働きかけていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	世代間交流事業「おやすづくり」	市・地	継続	3	150	150	12,957	実施内容参照	久井集会所ほか
学級・講座	分館単位の住民を対象に、分館活動の活性化を図る	地区内各分館やPTA支部が主催し、本館と各地区高齢者クラブが協力し、おやすづくりやしめ飾りづくりを実施。今年度は3地区で行われた。 12/13 久井区、明区 12/20 寺所区							
	目的	【成果と課題】 子どもだけでなく、子育て世代がわらに触れてしめ飾りを作る機会も少なくなっており、伝統行事の継承という面からも貴重な事業となっている。また事業実施を通じて、高齢者クラブやPTA支部といった地区内の各種団体と連携が図れている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度も各分館へ開催を積極的に働きかけていきたい。							

松尾公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
健康教室		市・地	継続	0	0	-	12,957	中止	松尾公民館
学級・講座	地区住民を対象に、健康などに對する関心の向上を図る	保健師と連携して実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。 【成果と課題】 女性の健康に特化した内容で実施している。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 例年参加者も多く、住民の関心が高い。引き続き保健師と連携して実施したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
深秋の探勝会		地区費	継続	0	0	-	12,957	11月(中止)	開催会場
学級・講座	地区住民を対象に、芸術や文化、歴史に触れ、文化意識の向上を図る	名勝や史跡を訪ね学習する日帰り旅行を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 【成果と課題】 この事業の実施によって、地域住民の文化度の向上につながり、文化祭などの出展にもつながっている。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 内容を引き続き協議しながら、地域住民に芸術に触れる機会を提供していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
0歳児学級		市・地	継続	1	34	51	98	10月～3月	松尾公民館
学級・講座	0歳児とその保護者を対象に、親子のふれあい、親同士の交流を図る	開催間隔：毎月1回実施(10月以降の開催) 内容：親子でのふれあい遊び、成長の記録～手型・足型～、歯、食事に関する話など 場所：松尾公民館他 運営：保健師、担当保育士主導 【成果と課題】 登録も、参加者数も多く、毎回の学級を賑やかでき、内容もふれあい遊びなどの親子のふれあいの機会を提供したり充実した内容で行うことができた。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度も保健師、保育士と内容等を検討し充実したものにしていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
1歳児学級		市・地	継続	4	260	96	244	6月～3月	松尾公民館
学級・講座	1歳児とその保護者を対象に、親子のふれあい、親同士の交流を図る	開催間隔：2学級に分け、各学級毎月1回実施 内容：親子でのふれあい遊び、歯、食事に関する話、ベビーマッサージ講習など 場所：松尾公民館他 運営：保健師、担当保育士主導 【成果と課題】 登録も、参加者数も多く、毎回の学級を賑やかでき、内容もふれあい遊びなどの親子のふれあいの機会を提供したり、子育てにおいて必要な知識の学習機会を提供したり充実した内容で行うことができた。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度も保健師、保育士と内容等を検討し充実したものにしていきたい。							

松尾公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
2歳児学級		市・地	継続	5	204	42	234	6月～3月	松尾公民館ほか
学級・講座	2歳児とその保護者を対象に、子どもの集団意識の育成、親子のふれ合い、親同士の交流を図る	開催間隔：2学級に分け、毎月1回実施 内容：親子運動あそび、公園へおでかけなど 場所：松尾公民館他 運営：保健師、担当保育士主導							
	実施内容	【成果と課題】 登録も、参加者数も多く、毎回の学級を賑やかでき、内容もふれあい遊びなどの親子のふれあいの機会を提供したり、子育てにおいて必要な知識の学習機会を提供したり充実した内容で行うことができた。 【次年度の方向性とり組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度も保健師、保育士と内容等を検討し充実したものにしていきたい。							
3歳児学級		市・地	継続	4	38	18	198	6月～3月	松尾公民館ほか
学級・講座	3歳児とその保護者を対象に、子どもの集団意識の育成、親子のふれ合い、親同士の交流を図る	開催間隔：毎月1回実施 内容：親子運動あそび、公園へおでかけなど 場所：松尾公民館他 運営：保健師、担当保育士主導							
	実施内容	【成果と課題】 入園などの理由により登録は2歳に比べてかなり下げてしまいが、毎回の学級を賑やかでき、内容もふれあい遊びなどの親子のふれあいの機会を提供したり、子育てにおいて必要な知識の学習機会を提供したり充実した内容で行うことができた。 【次年度の方向性とり組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度も保健師、保育士と内容等を検討し充実したものにしていきたい。							
親子映画観賞会		地区費	継続	0	0	-	12,957	7月(中止)	松尾公民館
文化事業	親子を対象に、コミュニケーションの機会増加を図る	公民館にて映画の鑑賞を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
	実施内容	【成果と課題】 公民館文化委員会にとっては年度最初の事業であり、公民館を使用した事業における運営のノウハウを学ぶ場にもなっている。 【次年度の方向性とり組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 初夏の文化事業として定着している。来年度も内容を吟味して実施していきたい。							
いいだ人形劇フェスタ2020		他会計	継続	0	0	-	12,957	8月6日～8月10日(中止)	松尾公民館ほか
文化事業	地区住民を対象に、文化意識の向上を図る	松尾地区区内6会場での地区公演を企画していたが、、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
	実施内容	【成果と課題】 感染症対策をした上で、その地区や会場の特色を生かしたの公演をどう運営していくかが今後の課題である。 【次年度の方向性とり組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策をしっかりと行なった上で地区公演が運営できるように、地区実行委員と密に連携しながら準備を進めたい。							

松尾公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第18回松尾踊ってみよう会	地区費	継続	0	0	-	12,957	12月6日(中止)	松尾公民館
	目的 住民を対象に、相互の踊りを見て演じることに よる一層の技術向上を図る		松尾地区踊り連盟が主催し、公民館文化委員会の協力により、地区内の舞踊やダンスなどの踊りに関する団体や個人による発表会を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。						
	実施内容								
文化事業	松尾地区区文化祭	市・地	継続	6	78	19	12,957	2月6日～2月7日(中止)	松尾公民館
	目的 地区住民を対象に、芸術発表や文化展を通じて文化意識の向上を図る		規模を縮小し、展示発表のみの文化祭として企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討過程】 9/11 文化委員会役員会 10/2 文化委員会 10/23 文化委員会役員会 10/30 文化委員会 12/16 文化委員会役員会						
	実施内容								
体育事業	ニュースポーツ講習会	市・地	継続	0	0	-	12,957	5月10日(中止)	松尾小学校体育館
	目的 公民館役員を対象に、ニュースポーツの普及及び分館相互の情報交換を図る		分館役員を対象としたニュースポーツ(ガラッキー、ラダーゲッター、キンボール)の体験会を企画したが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。						
	実施内容								
体育事業	分館交流ニュースポーツ大会	地区費	継続	0	0	-	12,957	6月21日(中止)	松尾小体育館、松尾公民館
	目的 地区住民を対象に、運動機会の提供とニュースポーツ振興を図る		分館単位のチーム対抗によるニュースポーツ(ベタンク、囲碁ボール、キンボール)の大会を企画したが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。						
	実施内容								

松尾公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	松尾地区市民運動会	地区費	継続	0	0	-	12,957	10月11日(中止)	松尾小学校校庭
体育事業	目的 住民を対象に、 軽スポーツを通じて、交 流と親睦、分館内の運 帯意識向上を図る	【成果と課題】 実施可否を検討する中で、単なる感染対策だけでなく、実施目的は何なのか協議し確認した。老若男女問わず多世代が一堂に集い交流することで、地区全体のつながりを育んでいる。一方で人口減や少子高齢化によるチームの実力差が目立ってきている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 より多くの住民が参加できるように、種目のあり方や運営方法などあらゆる切り口で検討していきたい。							
	実施内容	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館交流ふらば〜るバレー大会	地区費	継続	0	0	-	12,957	1月24日(中止)	飯田勤労者体育センター
体育事業	目的 地区住民を対象に、 運動機会の提供とふら ば〜るバレーの普及を 図る	【成果と課題】 分館対抗だけでなく、オーブン参加の対戦ブロックも実施しており、多くの地区内の参加がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 冬場に気軽に参加できる事業として、地区内に定着しつつある。引き続き実施していきたい。							
	実施内容	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ウォーキング教室	市・地	継続	0	0	-	12,957	中止	松尾小学校校庭
体育事業	目的 地区住民を対象に、 健康に対する関心の向 上を図る	【成果と課題】 地区内約5kmのウォーキングを企画したが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 各分館でウォーキングを実施していることから、ウォーキングの普及に一定の効果が見られたことから、来年度は実施しない。							
	実施内容	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報「まっお新聞」の発行	地区費	継続	12	228	19	12,957	10月1日、1月1日、3月31日	松尾公民館
広報事業	目的 住民を対象に、 館報発行を通じて、地域 課題等の掘り起こし、意 識の醸成を図る	【成果と課題】 内容：館報「まっお新聞」の発行(1回発行に付4回会議を実施) 10/1 第251号 1/1 第252号 3/31 第253号 発行部数：4,700部 印刷会社：龍共印刷							
	実施内容	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 館報が地域にとってどういった意味を持つものなのか(記録保存、住民への課題提起など)、常に確認しながら継続して発行したい。							

松尾公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館役員研修会		市・地	0	0	-	36	随時(中止)	松尾公民館
企画事業	目的 分館役員を対象に、 分館活動への理解と質 の向上を図る		市・地	0	0	-	36	随時(中止)	松尾公民館
	実施内容		市・地	0	0	-	36	随時(中止)	松尾公民館
	評価		市・地	0	0	-	36	随時(中止)	松尾公民館
	【成果と課題】 分館事業の実施上の課題や、分館事業のの在り方などに関する意見交換ができ ており、分館活動の活性化につながっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 13,000人の人口を誇る松尾地区においては、住民に最も身近な地域活動の一つ が分館活動である。コロナ禍において様々な制約が地域活動においても求められ る中、住民の暮らしにより近い分館単位での活動の継続性が重要であるため、次 年度は重点的に取り組む。		市・地	0	0	-	36	随時(中止)	松尾公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	公民館役員研修会		市・地	0	0	-	19	随時(中止)	松尾公民館
企画事業	目的 公民館役員を対象に、 公民館活動への理解と 質の向上を図る		市・地	0	0	-	19	随時(中止)	松尾公民館
	実施内容		市・地	0	0	-	19	随時(中止)	松尾公民館
	評価		市・地	0	0	-	19	随時(中止)	松尾公民館
	【成果と課題】 地域の社会教育機関としての公民館が担うべき役割を確認している。各専門委員 会が具体的な事業の実施を通じて、その役割をどう果たしていくか考えている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も地域における公民館の担う役割について研修を開催し、活発な公民館 活動に繋がるようにしていきたい。		市・地	0	0	-	19	随時(中止)	松尾公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	松尾地区学習会		市・地	0	0	-	12,957	随時(中止)	松尾公民館
企画事業	目的 住民を対象に、子どもた ちに地域の素晴らしさを 知ってもらうために、大 人が地域を学び、地域 への愛着心の向上を図 る		市・地	0	0	-	12,957	随時(中止)	松尾公民館
	実施内容		市・地	0	0	-	12,957	随時(中止)	松尾公民館
	評価		市・地	0	0	-	12,957	随時(中止)	松尾公民館
	【成果と課題】 子どもたちを対象にした地域学習を展開するには、まず仕掛ける大人自身が地域 のことを学び理解することが必要だという確認をしている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 住民が何を学びたいか把握し、公民館だけが主導するのではなく、住民も主体と なって進めていきたい。		市・地	0	0	-	12,957	随時(中止)	松尾公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	緑ヶ丘中学校区3地区合同女性バレーボール大会		市・地	0	0	-	12,957	3月(中止)	飯田勤労者体育センター
合同事業	目的 女性住民を対象に、 健康維持、体力増進、 地区を越えた交流を図 る		市・地	0	0	-	12,957	3月(中止)	飯田勤労者体育センター
	実施内容		市・地	0	0	-	12,957	3月(中止)	飯田勤労者体育センター
	評価		市・地	0	0	-	12,957	3月(中止)	飯田勤労者体育センター
	【成果と課題】 バレーボールを通じて地区を超えた交流の場になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 女性のバレーボール人口が減少している中で、それぞれのチームが運営に苦勞 している。そういった課題を共有し励まし合う機会となっていることから、継続して 実施したい。		市・地	0	0	-	12,957	3月(中止)	飯田勤労者体育センター

松尾公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	松尾地区成人式		市・地	継続	5	40	200	1月10日(延期)	シルクホテル
	その 他	新成人を対象に、 式の企画・郷土の学習 を通じて地元への愛着 心の向上を図る	【成果と課題】 1月10日に開催を予定していた成人式は令和3年8月以降に延期となった が、新成人有志、公民館委員等で組織する実行委員会体制で次の内容を 実施。 ・成人式実行委員会を開催し、成人式の企画、準備 ・中学校恩師からのビデオレター撮影 ・新成人実行委員8名による地域学習の実施 (学習テーマ「鳩ヶ嶺八幡宮」) 【実行委員会】 9月から3月までに計5回開催し、延べ40人参加						
			評 価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 令和3年8月以降に延期された成人式に向けて、新成人実行委員のモチベーショ ンが維持できるように、当日の企画をさらに充実したものにしていきたい。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	松尾還暦の会		地区費	継続	6	56	154	6月7日	鳩ヶ嶺八幡宮
	その 他	地区内の還暦になる 方々を対象に、 節目となる機会の式典 実施等を通じて、同年同 士の交流を図る	【成果と課題】 同年代の結びつきを強めることにもつながっている。この会がきっかけで、地区の 行事などの盛り上げに尽力されているという側面もある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 還暦を機に同年代が集まり、再び繋がる良い機会であるので引き続き実行委員 会体制で行っていきたい。						
			評 価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	結い未来プロジェクトwithコロナin緑中2020		市費	継続	8	600	250	11月5日	緑ヶ丘中学校
	その 他	緑ヶ丘中学校区生徒を 対象に、 地域への愛着の醸成と 自己のキャリアプランニ ング能力・人間関係形 成力・社会形成能力を 高めることを図る	【成果と課題】 緑ヶ丘中学校区(松尾、下久堅、竜丘)から15の企業や団体がブースを設 け、生徒が2ヶ所を選び企業説明や地域に根差した生き方やその想いなどを 聞いた。 生徒、教員、PTA、CSコーディネーター、関係企業および団体の実行委員会 を組織し、生徒、教員を中心に全体の内容を検討。CSコーディネーターを中 心に参加企業および団体の選定。保護者も一企業および団体として参加。 9/9 運営委員会(講師の選定) 9/11 生徒実行委員会立ち上げ 9/18 合同実行委員会 10/7 講師説明会 10/15 講師オンライン打ち合わせ 10/21 生徒実行委員会(オープニングセレモニー打ち合わせ) 11/4 前日リハーサル 11/5 当日						
			評 価	【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 □現状維持 □縮小 当日だけの単発事業では物足りない。通年での取組みにする価値があるため、ど のような組み立てができるかを検討したい。また、それぞれの学年で取り組むふるさ と学習やキャリア学習(職業体験など)とどう関連付けるか。今年の内容はそれら のつながりを意識して組み立てたが、中学3年間で体系的に捉え、3年間の一連 の学習が「結い未来プロジェクト」と位置付けられるように整理していきたい。					

下久堅公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級ぽっかぽか(いちごグループ 0・1歳)	市・地	継続	8	74	22	54	実施内容参照	下久堅公民館他
	0・1歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身につけられる事業展開を図る	実施内容	【成果と課題】 子育てが初めてのお母さんが子育て経験の長いお母さんと繋がり、相談し、交流する機会となった。 コロナの影響によって外に出る機会が減ってしまい、部屋の中での活動がほとんどで、閉塞感が出てしまった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍でも講座の内容がマンネリ化しないように参加者の声も聴きながら検討をしていく。年齢に応じた講座内容が出来るように保健師・保育園の先生とも相談しながら組み立てを行う						
		評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級ぽっかぽか(あひるグループ 2・3歳)	市・地	継続	9	40	18	74	実施内容参照	下久堅公民館他
	2・3歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身につけられる事業展開を図る	実施内容	【成果と課題】 子育てが初めてのお母さんが子育て経験の長いお母さんと繋がり、相談し、交流する機会となった。 コロナの影響によって外に出る機会が減ってしまい、部屋の中での活動がほとんどで、閉塞感が出てしまった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 0歳から3歳までが同じ内容なので、0歳よりの内容になってしまいう 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 年齢に応じた講座内容が出来るように保健師・保育園の先生とも相談しながら組み立てを行う						
		評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子体験学習	市・地	継続	-	-	-	320	6月6日(中止)	下久堅小学校
	子どもと親子を対象に、地域の人材や素材の大切さと地域を見つめ直す機会づくりを図る	実施内容	【成果と課題】 親子の触れ合いや親子が地域の方と関わる貴重な機会であるが、講師の関係で内容が毎年似てしまう。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 この事業で親子の時間を大事にしていることの意味を改めて学校とも確認し、活動内容を検討する。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ひさかた未来塾	市・地	継続	18	144	15	2,785	開催概要参照	下久堅公民館他
	地区住民を対象に、地域の将来を語り合い、今できる事・やりたい事を実践することから学習と交流を図る	実施内容	【成果と課題】 これまではひさかた未来塾内での活動で終始していたが、ここでの活動を住民へ伝えるための活動として「通信」を発行するようになり、取材学習が始まった。また、子どもに直接下久堅の魅力を伝えるための活動に挑戦し、火起こし体験を開催したが、どんな体験であったっても、体験通してどんな魅力(自慢の種)を伝えたいのかを確認し、全体で共有することが今後の課題 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 具体的な内容が単なるイベントにとどまらないようみんなで行って取り組むモノ・コトをいかに伝えていくか工夫して取り組む						

下久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ひさかた村塾		市・地	7	84	12	2,785	開催概要参照	下久堅公民館
	地区住民を対象に、地域文化の発掘・保存及び地区住民の文化水準の向上を図る		継続						
	【開催概要】 ①6/10運営委員会 ②7/21運営委員会 ③9/23運営委員会 ④11/30運営委員会 ⑤1/17新年の会講演会(中止) ⑥2/18運営委員会 ⑦3/1～3/14ひさかた百景展示								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								
学級・講座	実施内容								

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさとコンサート		市・地 継続	1	15	15	2,785	7月25日(中止)	下久堅公民館
文化事業	地区住民を対象に、プロの音楽に触れることを通して、文化的教養の充実を図る	実施内容	公民館委員会文化部が企画と連携して毎年実施している事業である。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。 【検討経過】 4月 主催者であるaru企画よりふさとコンサート中止が決定された 6/15 文化部会 ふさとコンサートの中止確認					【成果と課題】 コロナ禍でプロの劇団が演奏に来られない状況も予想されるなか、例年通りの計画だけではなく、別の開催方法の検討が必要 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍であることをふまえて、どのような事業ならコロナ禍でも開催できるかを検討する 小学校・中学校との連携も視野に入れながら、事業計画を行う	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいた人形劇フェスタ2020		市・地 継続	1	15	15	2,785	8月6日～10日(中止)	下久堅公民館他
	地区住民を対象に、人形劇人と交流しながら、共にフェスタをつくり、地域の文化の高まりを図る	実施内容	例年6会場で実施しているが、今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止となった。 【検討経過】 4月 人形劇フェスタの中止が本部で決定され 6/15 文化部会 人形劇フェスタの中止確認					【成果と課題】 コロナ対策をふまえた各会場の運営について確認が必要 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ対策を講じた会場運営を検討する 観劇者数の減少に伴う公演数の拡大も可能な限り検討する	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ひさかたウォーキング		市・地 継続	1	13	15	2,785	9月13日(中止)	下久堅地区区内
	地区住民を対象に、地区内の史跡、自然、文化を知る機会として開催	実施内容	かつての文化委員会で作成した「ひさかたウォーキングマップ」を活用し、世代間交流、健康増進、また地区内の史跡、自然、文化を知る機会として計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった 【検討過程】 8/17 文化部会で開催について検討し、中止決定					【成果と課題】 コロナ禍であっても地区住民に地元への史跡・自然・文化に興味・関心を持っていただくためにウォーキング事業にこだわらない検討が必要 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ウォーキング事業を行う目的を改めて確認し、地域住民が地域の史跡や自然、文化に触れる機会として、コロナ禍でも出来る事業を柔軟に検討する	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	下久堅地区成人式		市・地 継続	6	78	-	36	1月10日(延期)	下久堅小学校体育館
	新成人を対象に、地域として新成人をお祝いすると共に自身を振り返り、これからの生き方を考える機会とする	実施内容	成人式の開催に向けて、実行委員会を組織し、企画の準備運営を行う。 今年度は地域学習としてひさかた未来塾との懇談会を実施し、地域の大人とふるさとについて語りあった。地域の将来について考え実践している地域の大人の思いに触れることから、新成人自身のこれからの生き方を考える機会として実施。 【検討経過】 8/17 文化部会 成人式運営について検討 10/6 成人式実行委員会 成人式までの流れを確認 11/5 成人式実行委員会 成人式準備 11/16 地域学習 未来塾との懇談会 11/25 成人式実行委員会 地域学習振り返り 12/17 成人式実行委員会 成人式延期確認					数量的成果 (項目名と数値) 【成果と課題】 延期を受け、新成人のモチベーションが下がってしまっただ。 未来塾との懇談から地域でのこれからの生活に向けた目を向ける機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 実行委員会のモチベーションを高める働きかけをしていく。成人式が楽しみになるように実行委員会を継続し、当日の組み立てを検討する。	
文化事業									

下久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	下久堅地区文化祭		市・地	3	57	27	2,785	3月7日～13日(中止)	下久堅公民館他
文化事業	目的 日ごろから活動している文化芸術団体の成果発表の機会とする	実施内容 11/27 文化部会 12/16 文化祭実行委員会 2/2 文化祭検討会	コロナ禍での開催で、1週間の展示を中心に参加者が分散できる運営を検討していたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。 【検討経過】 文化祭の運営について検討 文化祭の運営確認 文化祭の中止決定				【成果と課題】 コロナ対策をふまえた運営を検討し、準備してきたが、公民館が休館となり各団体の準備にも遅れが生じてしまったため中止となった。 参加者を分散させる運営と少しでも来ていただきたいという思いが矛盾を生んでしまい、実行委員会でも課題となった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 4年ぶりとなる文化祭の実施に向け、これまで参加予定であった団体とも調整を行い準備を進める		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	常会対抗盆野球大会		地区費	2	25	18	2,758	8月15日(中止)	下久堅運動場他
体育事業	目的 地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容 お盆の時期に帰省をしてくる方も交えて普段は集まらないような方たちが集まり、交流する機会として実施している。 今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。 【検討経過】 6/1 体育部幹事会 7/1 体育部会	開催についての方向性を検討 事業の中止を決定				【成果と課題】 盆野球大会は帰省する方も参加し交流する機会を大事にとらえているため、コロナ禍で参加制限も検討したが、事業を実施する意味が薄れてしまうことから、中止としたが代替として健康増進や交流の機会について検討も必要であった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍で人との関わりがかけられる状況であるが、コロナによる健康被害にも目を向けて、地区住民を対象にできることを検討する		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	下久堅地区運動会		市・地	3	32	20	2,758	10月11日(中止)	下久堅小学校校庭
体育事業	目的 地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容 地区住民が楽しく、気軽に参加することにより、今まで以上に多くの人と人との交流できる機会として、また健康増進の機会として実施する。 今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。 中止を受け、ひさかたふれあいフェスティバルの開催を検討し、実施した。 【検討経過】 6/1 体育部幹事会 7/1 運動会情報交換会 7/6 体育部会	運動会種目の検討 運動会開催に向け運営検討 運動会の中止決定、代替え事業の検討				【成果と課題】 運動会の開催にあたり、分館ごとの人集めが一番の課題であった。コロナ前から課題でもあったが、コロナ禍では顕著な課題である。安心して参加することのできる運動会のあり方について検討が必要。 地域住民の繋がりを作る機会として別の事業の開催に向けて動きだし、実施できたことは一つの成果である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区住民が安心して参加でき、参加したいと思えるような運動会のあり方について改めて検討する。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館対抗ソフトボール大会		地区費	3	35	18	2,758	11月中(中止)	下久堅運動場他
体育事業	目的 地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容 地区恒例の事業で、女性や60歳以上の方の参加をルールとして決めているため、性別年齢問わず交流できる機会となっている。 今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。 【検討経過】 6/1 体育部幹事会 7/1 体育部会 9/14 体育部幹事会	開催についての方向性を検討 事業の延期を決定 事業の中止を決定				【成果と課題】 分館対抗戦としてチームを作ることが難しい状況であった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍でチームを組んで参加する競技には感染リスクが生じ、参加する側も不安になってしまふ。参加者が安心して参加できるような運営を検討する。		

下久堅公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ひさかたふれあいフェスティバル(クッパ体験)	地区費	継続	4	133	90	2,758	11月1日	下久堅小学校校庭
体育事業	目的 ニュースポーツの普及を通じて、子どもから高齢者まで交流を図る。	実施内容 子どもから高齢者まで、気軽に楽しめるスポーツを通して健康増進及び多世代交流を図る。 今年度は運動会の中止を受け、「地域住民が気軽に参加し、交流できる」事業として育成部の事業と合同でひさかたふれあいフェスティバル(ニュースポーツ体験会)を実施 【検討経過】 7/16 体育部幹事会 クッパ大会の開催について検討 9/14 体育部幹事会 育成部との合同事業を計画 10/26 育成部合同会議 当日の運営体制確認 11/1 ひさかたふれあいフェスティバル 開催					評価 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍で分館対抗戦を行うとうしても「人集め」の課題が浮き彫りとなる。参加したい人が安心して参加できる運営について今後も検討し、実施していく		
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	冬季スポーツ大会	地区費	継続	2	15	15	2,758	1月31日(中止)	下久堅小学校校庭
体育事業	目的 地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	実施内容 冬季の健康づくりと交流を目的に開催。 誰でも楽しめる種目として、ワンバウンドふらばーボールを分館対抗で実施する。 今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった 【検討経過】 12/13 体育部会 冬季スポーツ大会開催について検討 1/5 新型コロナウイルス感染状況から中止決定				評価 【成果と課題】 例年多くの参加者が集まる事業となっており、冬季ということから特にコロナ対策が必要となる。そもそもバレーボールではない事業を行うことも検討が必要。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 冬季の室内事業は特にコロナ対策を気を付けて行わなければならない、参加者が安心して参加できる工夫を検討する。			
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報「ひさかた」の発行	地区費	継続	16	108	9	2,758	通年	下久堅公民館
広報事業	目的 地区住民を対象に、地域課題や生活課題の提起をし、地域への関心を高める	実施内容 年間4回発行(1回発行部数:1000部) 地区事業の記録や、その時々々の地域の動きなどを特集として掲載 175号 6月30日発行 176号 9月30日発行 177号 12月28日発行 178号 3月31日発行				評価 【成果と課題】 地域の時事広報として事業の記録や歴史を後世の残すとともに、地域住民の情報交換と文化意識の高揚の役割を果たすべく発行に努めた。近年の掲載が似た内容になっており、地域の状況を捉え、地域課題や生活課題の投げかけについては改めて検討が必要。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の現状を広報部としてとらえ、地域への提起をどのように行うか検討し、記録だけではなく広報の発行に努める。			
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	親子さかなつかみどり体験	市・地	継続	1	12	12	2,758	7月19日(中止)	塩沢川(下虎岩)
育成事業	目的 地区の親子を対象に自然体験を通して、親子の触れ合いを図る	実施内容 親子が体験活動を通じて、ふれあうことを目的に開催する。 今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。 【検討経過】 6/11 育成部会 事業の中止決定				評価 【成果と課題】 さかなのつかみどりでは、自然体験や親子の触れ合いをポイントとしていたが、コロナ禍において実施は難しかった。代替えとしての事業を検討したが、さかなつかみどりではない事業でも自然体験や親子の触れ合いはできるという話も出ていた。次年度もコロナの影響がある中でどのような事業を展開するか、事業目的から見直しが必要 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 育成部の事業が何を目指して行われるものなのか、委員会の方針をしっかりと検討し、活動目標を達成するためにどんな事業が出来るかを検討する。			
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場

下久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	ひさかたふれあいフェスティバル(囲碁ボール体験)	地区費	継続	3	121	90	2,758	11月1日	下久堅小学校体育館
	目的	【成果と課題】 多くの方が参加し交流する機会となった。 コロナ禍で実施した公民館事業として今後の活動につなげる							
	実施内容	【検討経過】 10/1 育成部会 体育部との合同事業を検討 10/26 体育部合同会議 当日の運営確認 11/1 ひさかたふれあいフェスティバル							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	書初め教室	市・地	継続	2	21	15	2,758	1月5日(中止)	下久堅公民館
	目的	毎年実施している正月恒例の行事。 新年を迎え、書初めを通して自身の目標を見つめなおす機会となっている。 今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。							
	実施内容	【検討経過】 6/11 育成部会 事業の中止決定							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	下久堅放課後子ども教室	市・地	継続	週4回	748	26	160	毎週月・火・木・金	下久堅小学校
	目的	心豊かでたくましく子どもを地域全体で育むため、地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを行う。また、地域の人材を活かし月に1～2回程度、読み聞かせやおやつ作りなどの活動を行う。							
	実施内容	【成果と課題】 地域住民のボランティアで運営をしているが、近年ボランティアの減少に伴い、一人ひとりの負担が大きくなっている 【次年度の方向性】 取り組み ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 子育て環境の充実と地域の子どもは地域で育てるという当初の目的を再確認し、協力していただけるスタッフを増やし、継続に努める。							

上久堅公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級「わくわくキッズ」		市・地	4	13	7	32	実施内容参照	上久堅保育園ほか
学級・講座	目的	【成果と課題】 保育園と連携することで、入園前から保育園の環境に慣れるためのよい機会となり、保育園、乳幼児学級の母親ともにより感想をいただいている。また、今年度からは出生数減少と、産休明けから仕事復帰する方の参加者減少から、公民館での開催ではなく、保育園が行う未就園交流として継続する形となったが、参加されるお母さん方と内容を相談しながら、文化展でのパネル展示などコロナ禍においても多様な活動を行えた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 親同士の親睦を深める機会に加え、親たちの憩いの時間になるため今後も支援を行っていききたい。							
	実施内容	保育園、保健師、保育士と連携して実施。 様々な活動を通じて子どもたちの健全育成を図ることはもとより、母親同士のつながりも大切にしながら事業を行った。 (実施内容) ①5/12年計画、茶話会(中止) ②5/27人形劇を楽しもう(中止) ③6/9どろんこ遊び(中止) ④7/18保育園夏まつり(中止) ⑤8/18水遊び(中止) ⑥9/26保育園の運動会(中止) ⑦10/13砂遊び、文化展の作品作り ⑧11/10焼きいも大会 ⑨12/15クリスマス会 ⑩1/13お楽しみ会リトミック ⑪2/18園児と交流お楽しみ会(中止)							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさと自然体験2020		地区費	3	20	10	1,248	7月11日、12日(中止)	上久堅公民館ほか
学級・講座	目的	【学ぶ・遊ぶ・作る・小学生PTA合同企画】の4本柱で企画。小学生を対象とする1泊2日の宿泊事業。日ごろ接する機会が少ない地域の大人と子どもと一緒に活動することで、子ども達にふるさとの良さを感じてもらおう機会としている。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 4/28 小学校・PTA・公民館事前打合せ会 事業の内容検討 5/15 事前打合せ会 事業の内容検討 5/22 打合せ会 事業の中止決定							
	実施内容	地区住民を対象に、地域で育てる子ども像を模索し、次世代を担う人材育成を図る							
学級・講座	目的	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 大人も子どもも上久堅の豊かな自然を通じて楽しみながら学習でき、ふるさとへの愛着を深められるよう感染症対策を講じながら安心して参加してもらえよう内容を企画・検討していきたい。							
	実施内容	【成果と課題】 本年度で7回目の開催となる予定であったが、学ぶ・遊ぶ・作る・小学生PTA合同企画すべてにおいて、感染症対策を十分にとることができないため、中止となった。また、実際には大雨により、地区内で影響がでており、実施できる状況ではなかったが、事業の目的を確認・共有をしたことで、来年度以降のように開催するが考えきつかけとなったように感じる。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小学生への方言人形劇指導		市・地	-	-	-	9	8月～12月(中止)	上久堅小学校
学級・講座	目的	【成果と課題】 今年も上久堅を学ぶ会の方が積極的に関わり郷土学習の一端とする予定であったが、小学校より授業日数などの影響のため厳しいとのことで中止となった。しかし、世代を超えて人形劇を楽しむ機会として取り組みが地域の定番になりつつある事業であるため、方言部会の皆さんとよく話をし、違う形で取り組みが出来たように感じる。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 子ども地域に関わる思いやコミュニケーションの機会として現状の取り組みを継続していきたい。							
	実施内容	小学校3年生を対象に、人形劇フェスタで上演した演目を上久堅の方言版にして、地区のお年寄りの方にも親しみのある言葉で演じる機会とする。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	十三の郷ウォーキング事業		市・地 継続	-	-	-	1,248	実施内容参照	地区内
	地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさと上久堅の素晴しとの再認識・再発見を図る		市・地 継続	-	-	-	1,248	【成果と課題】 桜を愛する会、上久堅保健推進委員会と連携して実施。 地区内の校の名所を始め、上久堅にある自然地形を活かし、各所にある郷土学習資料を学び、地区を再発見したり、地区をPRしたりする機会とする。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	公民館と保健推進委員と連携して7年目の開催となる予定であったが、市外からの参加も多い事業であったため中止を決定した。
学級・講座	目的 地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさと上久堅の素晴しとの再認識・再発見を図る		市・地 継続	-	-	-	1,248	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 三遠南信道の工事が進む中変わりゆく故郷の景色を記憶にとどめる目的で始めたが、工事も一段落した部分もあり、地区の他の魅力を知る事業として内容を検討していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	南信州狼煙りしー		地区費 継続	1	30	30	1,248	8月29日	神之峰
	目的 この地域に数多く残る狼煙台を見直し戦国時代の歴史を考えることにより、ふるさとの再発見・再認識を目指すとともに、南信州各地の連携を深めるとともに、南信州各地の歴史を学ぶことにより、ふるさと上久堅の素晴しとの再認識・再発見を図る		市・地 継続	-	-	-	1,248	【成果と課題】 小学生の代表による点火も恒例となっており、今年も小学生が点火をした。小学生の家族も参加してくれ、賑やかな開催であった。元公民館役員の皆さんが中心となって始めて、元役員同士の交流の場になっているように感じる。	
学級・講座	目的 地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさと上久堅の素晴しとの再認識を図る		市・地 継続	-	-	-	1,248	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 元公民館役員とも連携しながら、親子が参加しやすいよう楽しい内容を含めることも視野に入れながら、感染症対策を講じた上で継続していきたいと考えている。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	上久堅の民俗と村誌を読み語る会		市・地 新規	1	11	11	1,248	3月24日	上久堅公民館
	目的 上久堅の民俗、上久堅村誌を読みながら、今の上久堅と比べて感じたことや気になったことを参加者同士で語る機会とする。 (実施内容) 上久堅の民俗、村誌の読み合わせ		市・地 継続	-	-	-	1,248	【成果と課題】 あまり読んだことがない上久堅の民俗、村誌を皆で読んで読むことで理解が深まったように感じる。また、参加者同士で話をしたこと地域のことを考える機会になった。	
学級・講座	目的 地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさと上久堅の素晴しとの再認識を図る		市・地 継続	-	-	-	1,248	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を講じた上で継続していきたいと考えている。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	男性料理教室「男子厨房に入る」		市・地 継続	-	-	-	1,248	実施内容参照	上久堅公民館
	目的 高齢者男性を対象に、料理の基本や栄養について学び、食生活の改善を図る		市・地 継続	-	-	-	1,248	【成果と課題】 例年、季節の野菜や健康日本食の基本的レシピを中心にやっている。参加者同士で教え合ったり工夫し合ったりする姿もあり、地域に定着している事業なので、来年度の実施が見通せない中で、いかに取り組んでいくかが課題に感じる。	
学級・講座	目的 高齢者男性を対象に、料理の基本や栄養について学び、食生活の改善を図る		市・地 継続	-	-	-	1,248	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 同じ内容になってしまわないように、参加者の声も聴きながら内容を検討していく。	

上久堅公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	リサイクル業者の見学・学習会	市・地	新規	1	14	14	1,248	3月6日	ナカタ商事
	地区住民を対象に、地区内に存在する環境問題より、環境に対する意識と知識の向上を図る	地区内の自然環境にスポットを当て、三遠南信自動車道の建設・国道256号の建設に伴い環境破壊が進まないよう、自らの地域は自らが守るという意識づくりを行う学習・見学を行う機会とした。 (実施内容) ナカタ商事見学・学習会			【成果と課題】 リサイクル業者を見学し、処分方法や処理の仕組みについて話を伺い、施設を見学したことで、正しいごみ分別をしないと環境を害することが実感できたとの感想があり、身近な環境問題について考える機会になった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 興味関心や生活課題などからも内容を検討し、今の状況にあわせて継続実施していきたい。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	上久堅を学ぶ会	市・地	継続	3	71	24	1,248	実施内容参照	上久堅公民館ほか
	地区住民を対象に、「上久堅村誌」を紐解きながら郷土の歴史や文化なを学習し、郷土への愛着と誇りの醸成を図る	隔月1回「上久堅村誌」を中心とした郷土を学ぶ会を開催。座学と現地を歩く見学会を行った。今年度も上久堅だけでなくとどまらず、他の地域へ出向いた学習会を行った。 (実施内容) ①10/24飯田城(長姫城)のすべて ②12/6「南山一揆」を学ぶ ③3/21「超初級古文書学習」江戸時代の上久堅(柏原村)の暮らしが見えて面白い			【成果と課題】 運営委員を担っている会員が当番制で自分自身が学び広めたい内容を計画し、実施している。自主的に学び活動を進めるこの会は上久堅にとって大切な団体であるので公民館として今後とも支援、協力していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 裾野を広げていくための支援と協力を継続して行っていく。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	いっだ人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」	市・地	継続	-	-	-	1,248	8月6日～8月10日(中止)	飯田文化会館ほか
	保育園・小学生の親子を対象に、有料の大型人形劇を観劇する機会を提供する	人形劇フェスタに合わせ図書分館と連携して実施している。夏休み企画として休日開催の有料公演人形劇とブナネタリウムなど飯田市街地の施設の見学も行っている。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			【成果と課題】 例年、小学生は縦割りの班を編成しており、高学年が低学年の世話をしたり、子ども同士で声を掛け合ったりして成長につながっているように感じる。また、図書分館とも目的を共有で再確認することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を取りながら、子どもも大人も楽しめる事業として続けていきたい。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	上久堅小学校PTA・公民館共催講演会	市・地	継続	-	-	-	1,248	10月24日(中止)	上久堅小学校
	小学生とその親・一般を対象に、小学生の基本的な生活習慣の取得を図る	小学校と連携し、学齢期の子どもたちが基本的な生活習慣を身につけること、またその親の悩みを解消するための講演会を開催。PTAと地域住民が学校や地域のことなど、共通のテーマに基づいてお互いの考えを語り合っている。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			【成果と課題】 例年小学校体育館を使い、広い会場ならではの講演会で好評である。今回はコロナ禍により中止となってしまう地域の大人、保護者、子どもが一緒に作業したり発見したりする機会が出来なかった。また、講演会後のPTA、先生、地域の語る会も中止となってしまった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度については感染症対策を考えたいうえでの実施を検討していく。				

上久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	冬のお楽しみ会		市・地	-	-	-	1,248	実施内容参照	上久堅公民館
学級・講座	実施内容 地区の子ども、保護者を対象に、親子の触れ合いや世代間の交流を図る		継続				【成果と課題】 毎年図書分館の方々とどんな交流にしたいか話し合い進めている。今回はコロナ禍により中止となってしまい、親子や大人の参加する機会が無くなってしまった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 感染症対策を考えたうえで、楽しめるような内容を図書館の方々と一緒に検討していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ2020上久堅地区公演		市・地	1	11	11	1,248	8月6日～8月10日(中止)	上久堅公民館ほか
文化事業	実施内容 地区住民を対象に、身近な場所での公演を行なうことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る		継続				【成果と課題】 地区公演の意味について検討していく中で、身近な場所での人形劇を楽しむことや劇団との交流の中で地域の良さに気付けることなど魅力を再確認することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 一緒にフェスタを取り組みたい方への声かけもして、新しい方たちで公演を持てるように継続して検討していきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ学習会		市・地	2	22	11	1,248	6月(中止)	上久堅公民館
文化事業	実施内容 地区住民を対象に、身近な場所での公演を行なうことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る		継続				【成果と課題】 文化委員を中心に公民館委員全員を対象として、毎年地区で行う人形劇フェスタにどう臨むのか、フェスタのおもしろさ、意義など伝えることを目的に開催。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 4/16 文化委員会 事業の内容検討 7/21 文化委員会 事業の中止決定		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上久堅うたの祭典		地区費	2	22	11	1,248	11月22日(中止)	上久堅公民館
文化事業	実施内容 地区住民を対象に、子どもから高齢者までが参加でき、歌を通じて空間を一緒に楽しむ多世代交流を図る		継続				【成果と課題】 地区民が自分達でグループを作り歌で楽しみ、地域を盛り上げたいと4年前に始めた事業である。文化委員が自ら声かけをして出演を依頼したり、この日のためにグループを作ったりと自分たちで作り上げる事業であったが、感染症対策が完全にできないことや、高齢の方も多く参加される内容であることから中止を決定した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 対策を検討しながら、実施できるよう、協議していきたい。		

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	上久堅地区成人式		市・地	4	40	-	12	1月10日(延期)	上久堅公民館	
	新成人を対象に、自分の生まれ育った地域について考える機会とする。また、地区全体で新成人をお祝いし交流を図る	実施内容	新成人代表と文化委員を中心に実行委員を組織し、地域の方の協力をいただきながら内容を検討、実施した。 ・成人式実行委員会を開催し、成人式式典・祝賀会の企画、準備 ・成人式実行委員会による地域学習の実施 テーマ：新成人が上久堅のことを話してみた ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、成人式は令和3年8月以降に延期。 【検討経過】 8/18 成人式実行委員会 9/26 成人式実行委員会 11/21 地域学習 12/26 成人式実行委員会					【成果と課題】 全員が安心して参加しお祝いできる成人式を目指した。文化委員も多く参加した。大きなが検討を重ね、コロナ対策として、リモート参加もできるよう準備をした。地域として新成人のやりたいことを応援、協力をしたいと思えるきっかけになったように感じる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 コロナ禍であることを踏まえ、今後も内容を検討していきたい。成人式が8月以降となったことにより改めて新成人との関りを大事に地域学習等で、地域の魅力や地域の温かさに触れることのできる機会を考えたい。		
	上久堅を知る	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	地域住民を対象に、地域の財産、継承したいものについて関心を高めることを図る	実施内容	市・地	1	31	31	1,248	9月6日	神之峰	
		上久堅のシンボルである神之峰と知久氏について、現地学習を行った。また、現地まではウォーキングで向かうグループも設け、運動不足解消と住民同士の交流も含めての内容となった。 (実施内容) 題名：神之峰と知久氏の歴史					【成果と課題】 知っているようでは実は知らない地区の歴史として、今回は神之峰を現地学習した。参加された方からも大変好評な意見が多かった。また、現地学習といった点からも感染症対策を考ええた結果であり、現状に合わせた取り組み方法ができたように感じる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 引き続き様々な側面で学習をサポートしていきたい、学習方法も現地学習といった方法も今回の内容を踏まえて継続して検討したい。			
文化事業	下栗ふれあい祭りへの参加	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	地区住民を対象に、地区特産品の掘り起こしと他地区との交流や情報交換を目的とする	実施内容	地区費	継続	-	-	-	1,248	11月1日(中止)	上村下栗地区
		隔年で参加し今年で7回目の参加。地区文化祭の未開催年に、特産品の掘り起こしや住民交流、情報交換を目的として、上村下栗地区の下栗ふれあい祭りに参加させていただいている。上久堅の特産品をアピールしている。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。					【成果と課題】 例年、生産者も一緒に参加してもらいよう依頼しており、多くの地区特産物が集まり販売している。上村下栗地区とは峠をはさんだ交流を毎年させていただいており、生産者にとっても役員にとっても良い刺激を受ける機会でもあるため、中止となに残念であるが、目的を再確認する機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 今後も継続して交流を深め、魅力ある地域づくりにつなげていきたい。			

上久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上久堅地区文化展	地区費	継続	1	400	400	1,248	11月15日～11月22日	上久堅公民館
文化事業	地区住民を対象に、日頃の活動の成果発表の機会を提供し、地域住民同士の親睦・交流を図る 【成果と課題】 多くの住民に文化展を楽しんでいただけたよう、開催期間を1週間としている。公民館で活動している団体の作品だけでなく、まちづくりや学級講座の展示も増えている。また、来場者も例年より増加したことからも、楽しみにしてくれている方が多い内容であることが伺えた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 文化展のために楽しみに作品を制作しているという声をきくので、これからとも思考をこらし、多くの方に楽しんでもらえるよう企画していきたい。	地区内	個人と連携して隔年で開催している。地区内で活躍する様々な団体・個人が活躍できる場を提供し、地域の文化度をより一層高める機会とした。地区内の保育園、小学校、中学校の作品の披露も兼ねている。 (開催概要) 展示：20者 出展数：約200点						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	冬季スポーツ大会	地区費	継続	5	72	18	1,248	2月7日(中止)	上久堅小学校
体育事業	地区住民を対象に、冬季の運動不足解消と住民同士の交流と親睦を図る 【検討経過】 10/2 体育委員会 事業の運営検討 11/4 体育委員会 事業の内容検討 11/25 企画委員会 事業の中止決定 12/2 体育委員会 代替事業の内容検討 12/5 企画委員会 代替事業の内容検討 誰もが気軽に参加できるようワンバウンドふらば～るバレー大会を分館対抗で行う。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【成果と課題】 ワンバウンドふらば～るバレーは、運動が苦手な人でも楽しくできるスポーツなので、普段のスポーツ大会では顔を見かけない方の参加もあり好評であるが、室内競技であるため中止となった。代替事業として、来季に向けたスポーツ講習会を検討したが、開催直前に飯田市の警戒レベル引き上げに伴いこちらも中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 冬季の運動不足解消とともに地域の輪の広がりを感ずる事業であるので、引き続き継続できるように検討する。また、代替事業として実施予定だった内容も、競技の一部に加えるなど検討していく。	地区内	個人と連携して隔年で開催している。地区内で活躍する様々な団体・個人が活躍できる場を提供し、地域の文化度をより一層高める機会とした。地区内の保育園、小学校、中学校の作品の披露も兼ねている。 (開催概要) 展示：20者 出展数：約200点						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上久堅地区運動会	地区費	継続	3	44	18	1,248	10月11日(中止)	農村広場
体育事業	地区住民を対象に、住民の運動不足解消と住民同士の交流と親睦を図る 【検討経過】 6/9 正副委員長会 事業の運営検討 7/1 企画委員会 事業の内容検討 8/19 企画委員会 事業の中止決定 上久堅公民館事業の中で最も参加者が多く、住民同士の交流と親睦という目的においてとても有意義な事業である。総合優勝を廃止しているが分館対抗種目は残し、それぞれで順位付けを行い表彰している。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【成果と課題】 感染症対策をしながらの実施について、体育委員会でも企画委員会でも検討した。参加者が多く集まり交流する事、競技性も大事にしていることなどを改めて確認し共有したうえで、実施出来る状況ではないと判断をして中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 来年度についても感染症対策を考えたうえでの実施を検討していく。競技方法や内容の変更なども視野に入れ、実施できるように検討する。	地区内	個人と連携して隔年で開催している。地区内で活躍する様々な団体・個人が活躍できる場を提供し、地域の文化度をより一層高める機会とした。地区内の保育園、小学校、中学校の作品の披露も兼ねている。 (開催概要) 展示：20者 出展数：約200点						

上久堅公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館対抗ソフトボール大会		地区費	2	26	18	1,248	8月23日(中止)	農村広場
体育事業	目的	各分館で1～2チーム出し、2ブロックでソフトボール大会を行っている。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
	実施内容	【検討経過】 6/9 正副委員長会 事業の内容検討 7/1 企画委員会 事業の中止決定							
	評価	【成果と課題】 試合に出る人以外にも応援しに観戦する人が多い行事であり、当時の状況では対策をして実施することが難しいと判断し中止となった。多くの住民が選手として参加でき、またこの大会は中学生から70代までが幅広く参加しており、スポーツを通じた多世代交流の機会となったことを改めて確認し共有することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今年度の検討を活かしながら、どういった機会にしたいのか目的をしっかりと持ち検討したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館対抗女性スポーツ大会		地区費	1	12	12	1,248	6月7日(中止)	上久堅小学校
体育事業	目的	女性のスポーツ活動促進と女性同士の交流・親睦を深めることを目指しソフト・レジャーボール大会を実施している。各分館1チームずつ出し合っている。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
	実施内容	【検討経過】 4/8 体育委員会 事業の中止決定							
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 交流の機会が減少していることにも着目して、現状で出来ることを検討する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報発送サービス事業		地区費	3	105	35	35	実施内容参照	上久堅公民館
広報事業	目的	東京神峰会の方を中心に呼びかけ、生まれ育った上久堅が今どのようになっているか知っていただく機会として行っている。上久堅をPRすることを目指し、様々な地区内チラシを同封してきた。 発送：年3回(館報「かみひさかた」に準じる) 登録者：35名(令和2年現在)							
	実施内容	【成果と課題】 毎回発送されてくるのを楽しみされる方も多く生まれ育った地域の情報を発信する良い機会となっている。東京神峰会を対象に始まった事業であるが、地区外へ出ている出身者の登録も増えてきた。新規購読者を増やすための取り組みも行っており、今後も継続していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き新規購読者を増やすための取り組みやPRを行っていきたい。							
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き新規購読者を増やすための取り組みやPRを行っていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報「かみひさかた」発行		地区費	12	120	10	1,248	実施内容参照	上久堅公民館
広報事業	目的	公民館活動はもちろんのこと、日頃の地域の情報を分かりやすく読みやすく発信できるように心がけた。 (実施内容) ・紙面発行 発行数：3回(6月、11月、2月)、発行部数：650部							
	実施内容	【成果と課題】 広報委員会が分担し取材など全員で関わり、読みやすい紙面、読んで楽しい紙面づくりを心がけた。今年度は、3回の発行であったが様々な企画を行い、読者からも好評であった。今後も館報の意味を大切にして、上久堅の人の顔・存在が感じられるような紙面づくりも取り組んでいきたい。							
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 次年度は4回の発行を目指して、内容を拡充していく。							

上久堅公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上久堅写真展	地区費	継続	1	200	200	1,248	11月15日～11月22日	上久堅公民館
広報事業	地区住民を対象に、地域の魅力再発見・再認識によるふるさと意識向上を目指す 実施内容						【成果と課題】 今年度は応募者を募らず、広報委員の皆さんが持ち寄りで写真を展示した。また、満蒙開拓の写真展示したことにより、多くの方の参加があった。昔の写真を展示したことにより、上久堅の今とを比べて考えるきっかけになったように感じる。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 写真展の在り方を考えとともに写真展が上久堅をPRできる機会として来年は実施するかどうかも含めて検討していきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報編集学習会	市・地	継続	1	10	10	10	3月30日	上久堅公民館
広報事業	広報委員を対象に、基本的な文章の書き方を軸に、写真撮影、取材方法、割付方法などの基本的な技術の向上を図る 実施内容						【成果と課題】 今年度も引続き、新旧広報委員が集い紙面づくりの基礎について学習を行った。地域に根差す館報づくりの為に委員相互の研修の機会となったように感じる。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 委員相互の研修の機会として学習会を継続して行っていきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	世代交流しめ縄飾り講習会	市・地	継続	2	29	20	1,248	12月13日	小野子大昭館ほか
企画事業	地区住民(特に子どもと高齢者)を対象に、大切な伝統文化の子どもたちへの継承と世代間交流を図る 実施内容						【成果と課題】 地区の役員だけでなく、高校生の参加もあった。子どもだけでなく、子育て世代が裏に触れてしめ縄飾りを作る機会も少なくなっており、多世代交流に加えて地域の伝統文化継承の機会になっている。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 来年度も各分館へ開催を積極的に働きかけていきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館自主活動	市・地	継続	2	32	18	1,248	実施内容参照	各区集会所等
企画事業	地区住民を対象に、身近な問題について身近な場所で行い、地域の知識・意識向上や地域住民の交流を図る 実施内容						【成果と課題】 例年、スポーツや伝統的な遊びなどそれぞれの集落の特徴や住民の興味関心に沿った分館活動が展開されている。地域にとって必要な内容を身近な分館単位で企画、実施する意味を改めて考える機会になったように感じる。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 今一度、興味関心や生活課題から内容を検討し、今の状況にあわせて地域のさらなる活性化となるよう推進していきたい。		

上久堅公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	第28回 ひさかたの火まつり	他会計	継続	3	18	6	1,248	8月15日(中止)	北田遺跡公園ほか
	実施内容 地区住民を対象に、手作りのお祭りを作り上げながら交流を深めるとともに、地域の宝である北田遺跡の活用を図る	【成果と課題】 例年火種作り大会を行っていることもあり定着しつつある。また、文化委員も事前に火おこしの研修をしており、積極的に関わっている事業である。しかし、火まつりへの開催が来年も不透明な部分があり、どのように対策をしていくかが課題である。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 火まつりの目的や意味を改めて考え、内容を検討していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	小学校クラブ活動、総合学習の支援	市・地	継続	9	168	29	1,248	実施内容参照	上久堅小学校ほか
	実施内容 小学生を対象に、地域のひととつながり様々な文化を学習すること、郷土への愛着と誇りを活かす取り組みとする	【成果と課題】 年度当初に小学校と打合せを行い、小学校の活動を支援えられる人材の情報の提供、依頼、その他できる限りの支援を行った。地域の子どもは地域で育てる環境作りの一助となることを期待している。 評価 （実施内容） ・クラブ講師支援(6月、9月、10月)・・・スポーツ、写真、木工、生け花 ・総合学習の支援・・・3年生方言人形劇の指導と交流(中止)、5年生米作りへの支援(5月～12月) 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 今後多くの地域の方に関わってもらえるよう、地域と学校をつなぐ取り組みを行っていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会	地区費	継続	1	1	-	92	5月16日(中止)	竜東中学校
	実施内容 小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学予定の小・中学生との交流を図る	【検討経過】 4月16日 4/27に行われる会議を前に、竜東中学校教務主任の先生と協議。感染状況や施設閉鎖の状況から、今年度の大会中止を決定した。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 今年度については新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やむなく中止と判断した。事業自体は、中1ギャップの解消にも寄与するのみならず、子どもを軸とした地域間の交流機会ともなることから、次年度以降も継続して実施していきたい。							

千代公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ちよっ子クラブ(0～3歳児学級)		市・地 継続	13	175	19	55	実施内容参照	千代公民館ほか
学級・講座	0～3歳児とその親を対象に、体を動かして遊ぶ楽しさを知ってもらう事、親同士の仲間づくりを図る		市・地 継続	13	175	19	55	【成果と課題】 ファミリーデーは土曜日に行い、家族の方や保育園に通っている方が参加できるようにし、母親だけでない家族間のつながりを作る機会となった。地域を知ろうの会では、ふれあい農園おおたで五平餅づくりを行い、その場で食べることこそできなかったものの、コロナ禍で数少ない食育体験となった。また、太田さんから「今年度初めて若い方と話ができる機会になった」と言っていた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 コロナ禍で家にこもりがちな家庭も見られ、地域での子育てを通じて繋がりが作りになった。次年度も保育園や他機関、地域の方等と連携し、学級運営をしていきたい。	千代公民館ほか
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人権学習講演会		市費 新規	0	0	0	1,628	7月5日(中止)	千代公民館
学級・講座	地区住民を対象に多様な人権問題を理解する意識の醸成を図る		市費 新規	0	0	0	1,628	7月5日(中止)	千代公民館
	親子料理教室		市・地 継続	0	0	0	160	12月6日(中止)	千代公民館
学級・講座	子育て世代親子を対象に、地域との繋がりをつくる		市・地 継続	0	0	0	160	12月6日(中止)	千代公民館
	地域づくり講演会		市・地 継続	0	0	0	1,628	12月13日(中止)	千代公民館
学級・講座	一般を対象に、他地域での地域づくりを学ぶ機会を通じ、自地区のこれからの方をみんなで考える意識の醸成を図る		市・地 継続	0	0	0	1,628	12月13日(中止)	千代公民館

千代公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	新春書き初め教室		市費	1	1	-	1,628	1月3日(中止)	千代公民館	
	地区住民を対象に、世代間交流を通じて、地育力の向上を図る	実施内容	【成果と課題】 各小学校での周知と、地区内回覧による地区住民への周知を行い、実施する方向で準備をしていた。特に学校内外での行事が減ってしまった小学生が参加できるよう試みたが、12月下旬に市内での感染者が増えたことにより中止となった。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 例年、館長・主事が中心となっている事業であったが、本年度は小学生保護者に指導手伝いを依頼した。次年度についても、地域だけでなく親に関わってもらう機会を作りながら実施したい。							
	千代峠交流会	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	一般を対象に、山の古道を歩き、自然と歴史に触れる	実施内容	市・地	7	56	16	2,910	11月3日	千代地区	
	千代峠交流会	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	千代峠(旧千遠線)整備事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	一般を対象に、山の古道を通じて、歴史や自然に触れてもらう	実施内容	他会計	新規	2	13	-	実施内容参照	千代峠(旧千遠線)	
	千代峠(旧千遠線)整備事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	千代峠(旧千遠線)整備事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場

千代公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代地区文化祭	地区費	継続	7	462	389	1,628	11月15日	千代小体育館
	実施内容	【成果と課題】 当日は、各種団体による成果物の展示、体育委員会によるポッチャ体験、文化委員会による千代ギネス・千代検定、広報委員会によるカフェ、青少年育成委員会による創作教室、各団体による販売コーナー、芸能発表を行った。コロナ対策として、受付を屋外に設置し、検温や名簿記入の呼びかけをする等、文化委員で積極的に対策を行い、安心安全な開催ができた。 【検討経過】 9/2 文化委員会 10/7 文化祭実行委員会 10/7 文化委員会 10/28 文化委員会 11/14 前日準備							
	目的	一般を対象に、文化に触れる機会づくりと地域の交流を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと講演会	0円	継続	4	74	44	1,628	11月29日	千代公民館
	実施内容	〇演題：「安心安全な地域づくりを目指して」 〇講師：千代警察官駐在所・松田巡査長 近年増加している特殊詐欺や窃盗の手口、寒い時期を迎えるにあたっての交通安全について講演いただいた。 当初、新型コロナウイルス感染症についての講演を検討していたが、講師との都合がつかず、内容を変更した。 【検討経過】 9月2日 文化委員会 10月7日 文化委員会 10月28日 文化委員会							
	目的	一般を対象に、千代に関係する講演会を開催し、千代を知る機会とする。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020千代地区公演	市・地	継続	0	0	-	1,628	8月6日～8月10日(中止)	実施内容参照
	実施内容	地域の方が劇人と交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、人形劇に親しむ機会として実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。なお、本来であれば4/13に人形劇フェスタ地区実行委員会を実施する予定であったが、一斉休館のため延期となり、4/28に本部にてフェスタ中止が決定した。 【実施予定】 8/7 19:00 千栄小体育館 8/9 10:00 千代公民館 8/9 19:00 法山地域振興センター							
	目的	一般を対象に、地域の方と小学生が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、地育力の向上を図る。							

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人形劇フェスタかんげきバスツアー	地区費	継続	0	0	-	80	8月6日(中止)	飯田市公民館 他
文化事業	目的 地区内の子どもを対象に、人形劇フェスタを身近に感じる機会とする						【成果と課題】 今年度は、具体的な計画に至らず、フェスタが中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 毎年楽しみにしている小学生にとって質の高い文化に触れられる重要な機会のため、継続していきたい。また、親御さんが安心して児童を送り出せるよう、新型コロナウィルス対策を十分に講じたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	千代地区成人式	市・地	継続	9	81	-	15	1月10日(中止)	千代公民館
文化事業	目的 新成人を対象に、大人として地域社会に迎えられれる儀式として行う						【成果と課題】 新成人および文化委員にて、感染症対策をしながら思い出しに出に残る成人式を実施できるよう検討を重ねた。特に、文化委員会では新成人に対して地域からのメッセージか、メッセージムービーの材料撮影を行った。 成人式は2021年8月以降に延期となったが、成人式実行委員会・文化委員会にて準備を進めた。 【検討経過】 成人式実行委員会 8/13(9人)、9/6(6人)、11/4(5人)、12/20(5人) 地域学習：文化祭りんご販売(11/15) 文化委員会(6/24、9/2、10/28、11/29)		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第11回 ワンふらバレー大会	地区費	継続	1	11	-	1,424	5月24日(中止)	千代小体育館
体育事業	目的 若者から高齢者を対象に、健康増進、交流事業として実施						【成果と課題】 地域の青年層・壮年層の交流機会となっていたが、今年度は新型コロナウィルス感染症の影響により中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度は新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受け中止となった。次年度以降も新型コロナの影響は続くと考えられ、スポーツを通じた交流事業をどのように実施していくか検討していく必要がある。		

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第7回囲碁ボール大会		地区費	3	33	-	1,157	2月7日(中止)	千代小体育館
	40歳以上を対象に、中高年層及び女性を対象に、健康増進、交流事業として実施	実施内容	マスクを着用したままでも競技ができることから、開催に向け感染症対策の協議を重ねた。しかし、複数の分館から選手選考ができないとの意見が上ったこと、人数を限ってしまっは交流会の意義が薄れることに加え、年末年始にかけ感染者が増加したことによりやむやなく中止を決定した。 【検討経過】 10/29 体育委員会 12/12 体育委員会 1/12 体育委員会にて中止を決定。						
体育事業	千代地区市民運動会		事業区分 地区費	開催回数 4	のべ参加数 49	1回参加・登録数 -	対象数 1,628	開催期日 10月11日(中止)	開催会場 千代山村広場
体育事業	地区住民を対象に、交流事業として実施	実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止とした。 【検討経過】 6/12 体育委員会 7/20 体育委員会 8/4 企画委員会にて、実施に対する意見交換 8/24 体育委員会にて協議中止を決定						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	千代マレットゴルフ大会		地区費	3	30	-	1,628	10月11日(中止)	千代山村広場
	地区住民を対象に、交流事業として実施	実施内容	運動会の代替事業として実施を検討したが、雨天により中止となった。 【検討経過】 8/24 体育委員会 9/7 体育委員会 10/10 前日準備にて、雨天により中止を決定。						

千代公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報千代の発行	地区費	継続	24	144	8	-	通年	千代公民館
広報事業	地区住民や広く一般に 対し、情報の提供・課題 の定期・地区の記録とし て発行する	地区の広報や、地域の魅力を発信を目的として年6回発行した。 【発行スケジュール】 310号 企画4/8 編集5/11 校正5/18 発行5/31 311号 企画6/1 編集7/16 校正7/21 発行7/31 312号 企画8/7 編集9/9 校正9/16 発行9/30 313号 企画10/5 編集11/11 校正11/17 発行11/30 314号 企画12/7 編集1/15 校正1/25 発行1/31 315号 企画2/10 編集3/8 校正3/16 発行3/31							
	目的	評価 【成果と課題】 昨年度より始めた「キラリ千代人」のコーナーを継続し、地域の魅力的な人にもスポットを当てた取材を行った。また、コロナ禍で大きな行事の中止が相次いだ。その分、小学校の行事やよこね田んぼの作業等を取り上げた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地区の館報として様々な話題を取り上げることができた一方、取材をもとにした記事や、地域課題を取り上げるような記事にあまり紙面を割くことができなかった。次年度は取材活動にも力を入れつつ、広報委員向けの学習会等を通して、自信をもって紙面作りができるようにしていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	ふるさとの便り発送事業	地区費	継続	6	132	22	-	通年	-
	地区外に住む千代出身者を対象に、ふるさとの情報を伝えるために実施する	千代地区出身者のうち希望者に対して、故郷の情報を伝えるために館報千代を発送している。ふるさと千代会を通じて購読者の申し込みを受け付けている。 実施スケジュール：館報発行時							
育成事業	子どもとその親を対象に、自然に親しみ、地域の再発見と地域への愛着を深める	評価 【成果と課題】 地区外へ転出されても地元への関心が高い方もおり、年度初めの振込の際に、コロナ禍の公民館に対する励ましの言葉もいただいた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 購読者の方には楽しみにしていただいており、複数年にわたって申込みされている方も多い。千代地区にとって地域の魅力を対外的に発信していくことも課題となっており、その足掛かりにもしていきたい。							
	万古溪谷橋の木ツアー	市・地	継続	3	68	51	240	6月27日	万古溪谷
育成事業	子どもとその親を対象に、自然に親しみ、地域の再発見と地域への愛着を深める	評価 【成果と課題】 実施内容のとおり新型コロナウイルス対策を講じたところ、昨年度と同水準の参加申込があり、実施後のアンケートでも久しぶりの外出を楽しめたとの意見が見られた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 当事業は、小学生在が千代固有の自然「万古溪谷」を体験できる貴重な機会であるとともに、万古溪谷会が活躍できる機会にもなっている。安全に配慮しながら継続実施していく。							
	目的	・講師：万古溪谷会(5名) ・行程：公民館発バス→橋の木入口歩き→橋の木(おやつ)→千遠線バス→唐沢の滝(お弁当・水遊び)→公民館着 ・新型コロナウイルス対応のため、受付時の検温実施、体調確認カードの提出、バス移動時のマスク着用、利用するバスの増便を行った。 ・目的地付近にトイレがないことから、今年度は簡易トイレを手配。 【検討経過】 6月5日 青少年育成委員会 6月20日 事前整備作業							

千代公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	第22回千代地区ウォークラリー大会	地区費	継続	5	70	48	1,628	9月12日	下村区・八ノ倉区
	小学生を中心とした一般を対象に、地域の地理や歴史、自然に関心を持つ	下村公会堂を出発し、千代駅、龍東道、つつじ橋、天龍峡SA、そらさんぽを回るコースにて実施し、クイズを解きながらウォークラリーをした。昨年までは千代ウォーキングマップをもとにコース作成していたが、今年度は昨年度開通したそらさんぽや、地区で整備をした古道・龍東道を活用した。 【検討経過】 8/14 実行委員長打合せ 8/20 青少年育成委員会 9/6 青少年育成委員下見 9/8 実行委員長打合せ							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 普段は車での移動が多いため、歩くことで見つけられる地域の魅力があった。地域に誇りを持つこと、魅力を知ることができる貴重な機会であるため、次年度以降も実施をしていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	創作教室	市・地	継続	3	64	50	160	11月15日	千代小学校
	児童とその親を対象に、世代間交流を通して、地育力の向上を図る	小学生を中心に、地区の方を対象とした事業。文化祭に合わせて実施し、カイト、ヒコーク、ビーズ手飾り、プラ板細工を行った。 カイトづくりの講師として地区の方2名（関口兼善さん、野田充夫さん）にお願いしたほか、今年度はヒコーク、ビーズ手飾り、プラ板細工も行い、青少年育成委員が教えた。 【検討経過】 10/2 青少年育成委員会 10/5 正副委員長、役員打ち合わせ・試作会							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 例年に比べ工作の種類を増やしたが、試作会を行う等で実施ができた。次年度も同じぐらいの規模で実施したい。また、正月かざりの要望も多いことが分かり、地域の方の持つ技術伝承にもなるため、次年度は復活させたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	千代の人物伝を活用した古道歩き	地区費	新規	0	0	0	1,628	未定(中止)	千代地区内
	一般を対象に、世に知られていない千代にゆかりのある人物を掘り起こし、後世へ伝える	地区の学習組織「千代の歴史を語る会」と協力し、H29に刊行した『千代の人物伝』を活用した古道歩きを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により「千代の歴史を語る会」が活動再開に至らず、本年度の実施を見送った。							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今年度は活動に至らなかったものの、千代峠交流会の前段で行った千代峠古道整備や、米川区・下村区がそれぞれ米川古道・龍東道の整備を行う等、地区内で古道に着目した動きがみられる。地区の組織と協力をしながら、活動の方向性を探りたい。							

千代公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
その他	どんぐりの会		0円	継続	13	19	16	1,628	10月16日、10月23日	千代小学校
	実施内容 一般を対象に、本の読み聞かせを通して、小学校と地域とを結び、地育力の向上を図る 【活動経過】 10/6 日程調整会議 10/16 読み聞かせ(千代小) 10/23 読み聞かせ(千代小)	かねてよりあった千代小と婦人学級の結びつき、「地域の子どもと自然と挨拶の出来る関係になりたい」想いと千代小からの提案が結びつき、H20に発足・活動を開始した。 例年であれば、4月に総会を行い、千代小学校・千栄小学校で週1回、しゃくなげの郷で月1回の読み聞かせをしていた。今年度は、4月の総会は書面決議のみ。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、千栄小学校・しゃくなげの郷については実施見送り、千代小学校についても2回のみと、大幅な活動縮小となった。 【活動経過】 10/6 日程調整会議 10/16 読み聞かせ(千代小) 10/23 読み聞かせ(千代小)	評価 【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、活動回数が昨年比11分の1に減少した。地域住民が自主的に活動しているものであり、保護者にも広がりを見せていただけに、再開が難しくなることが懸念される。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校運営協議会の中で児童の読解力の向上が課題となっており、活動の重要性は変わらない。一方で、読み聞かせを行うこと・学校等に外部の人間が立ち入ることから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすく、各学校・施設との綿密な打ち合わせを重ねて、可能な限り例年程度の活動に戻したい。							
その他	おたんじょうび本プレゼント事業	地区費	継続	7	78	78	78	実施内容のとおり	千代小・千栄小	
	実施内容 地区内小学生全員を対象に、こどもの居場所づくり、メディア漬けの改善を図る。 【活動経過】 10/6 日程調整会議 10/16 読み聞かせ(千代小) 10/23 読み聞かせ(千代小)	地区費	継続	7	78	78	78	実施内容のとおり	千代小・千栄小	
その他	実施内容 地区内小学生全員を対象に、こどもの居場所づくり、メディア漬けの改善を図る。 【活動経過】 10/6 日程調整会議 10/16 読み聞かせ(千代小) 10/23 読み聞かせ(千代小)	地区費	継続	7	78	78	78	実施内容のとおり	千代小・千栄小	
	実施内容 地区内小学生全員を対象に、こどもの居場所づくり、メディア漬けの改善を図る。 【活動経過】 10/6 日程調整会議 10/16 読み聞かせ(千代小) 10/23 読み聞かせ(千代小)	地区費	継続	7	78	78	78	実施内容のとおり	千代小・千栄小	
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会	地区費	継続	1	1	-	92	5月16日(中止)	竜東中学校	
	実施内容 小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学予定の小学生との交流を図る。 【検討経過】 4月16日 4/27に行われる会議を前に、竜東中学校教務主任の先生と協議。感染状況や施設閉鎖の状況から、今年度の大会中止を決定した。	地区費	継続	1	1	-	92	5月16日(中止)	竜東中学校	
合同事業	実施内容 小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学予定の小学生との交流を図る。 【検討経過】 4月16日 4/27に行われる会議を前に、竜東中学校教務主任の先生と協議。感染状況や施設閉鎖の状況から、今年度の大会中止を決定した。	地区費	継続	1	1	-	92	5月16日(中止)	竜東中学校	
	実施内容 小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学予定の小学生との交流を図る。 【検討経過】 4月16日 4/27に行われる会議を前に、竜東中学校教務主任の先生と協議。感染状況や施設閉鎖の状況から、今年度の大会中止を決定した。	地区費	継続	1	1	-	92	5月16日(中止)	竜東中学校	

龍江公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	乳幼児学級・未就園児交流「さくらんぼ」	市費	継続	11	319	29	98	【成果と課題】 保育士、保健師、保育園と目的の確認や情報共有を行った上で開催することができた。主任児童委員にも参加してもらい、子どもたちの様子を知らることができた。「コロナ禍でなかなか出かけることができないが、学級に参加すると仲間に会えて色々な話ができるので嬉しい」と話をしてくれた母親もあり、親子同士だけでなく母親同士のつながりもつくることができた。	実施内容参照	龍江公民館ほか
	保育園入園前の幼児と親を対象に、子供が心身共に健康でたくましく育つために必要な情報の提供や実践の機会とする。また、親子遊びや子供の社会性や親子の繋がりを育てると共に、親子同士の相互交流の場とする。	実施内容	講師：小木曾嘉子さん（指導者）、吉川保健師（保健指導）、松下典子先生（龍江保育園長） 本年度より保育園の未就園児交流と共催で開催。親子同士または親同士の交流を大切にしながら、季節の行事等様々な活動を行った。 《内容詳細》 6/23開講式、7/8アロマスプレー作り【大雨のため中止】、7/22水遊びをしよう、8/26ハーバリウム作り【感染症拡大防止のため中止】、9/2アロマスプレー作り【感染症拡大防止のため中止】、9/17消防署見学＆公民館で親子遊び、10/10龍江保育園運動会、10/28今田平へお散歩・どんぐり拾い、11/11保育園で親子遊び、11/25ベビーヨガ、12/2保育園へ行こう、12/23クリスマス会＆アロマスプレー作り、1/27サーキット遊び【感染症拡大防止のため中止】、2/3今田平でイチゴ狩り【感染症拡大防止のため中止】、2/24ハーバリウム作り、3/3閉講式＆手形足形をしよう	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も保育園の未就園児交流と共催で開催する。年々参加者が減ってきているため、休日開催をするなど子どもが入園していたり、親が働いていても参加できる機会も検討していく。講座の内容は参加者の声も聞きながら組み立てていく。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	食育体験教室（大豆栽培体験）	市・地	継続	6	112	20	20	実施内容参照	龍江小学校	
	小学生を対象に、食育の一環として大豆を育てる食農体験を行い、食の生産から調理、消費までを体験する機会の提供とする	実施内容	地区在住の方を講師に招き、龍江小学校3年生が大豆の種まきから消費までの工程を体験した。例年は豆腐作りを行っていたが、今年はきなこ作りに挑戦した。 《講師》前澤隆志さん、小林完さん、鳴海和彦さん、 《内容詳細》 6/19大豆種蒔き、10/23大豆収穫、11/26大豆脱穀、2/22きなこ作り、2/26次年度準備	評価	【成果と課題】 コロナ禍はあったが、学校と検討を重ね無事開催することができた。脱穀機を使わずに脱穀をしたり、石臼を使ったりなど子どもたちにとって普段はなかなかできない体験をする機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 講座内容については、学校とも相談しながら子どもたちの希望も取り入れたものを組み立てたい。地元有志スタッフとして若手農家の方にも参加してもらえよう声をかけていく。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	食育体験教室（季節の野菜づくり）	市・地	継続	7	341	51	65	実施内容参照	龍江保育園	
	保育園児を対象に、食農体験を通じて、自然と触れ合い、地域の大人と一緒に栽培から消費までと一緒に学ぶことで、農業や食への関心を作る。	実施内容	地域講師と地元有志スタッフが中心となり、保育園児と一緒に野菜を作る。今年度は収穫した野菜のうち大根を竜峡調理場へお願いし、学校給食として提供した。 《講師》 前澤 隆志さん、鳴海和彦さん、有志スタッフ3名 《内容詳細》 4/10じゃがいも植え付け、6/4玉ねぎ収穫、さつまいも植え付け、8/5じゃがいもの収穫、9/7大根種蒔き、10/27さつまいも収穫、11/20大根収穫、たまねぎ植え付け、3/5次年度準備：追肥、耕作	評価	【成果と課題】 講座を通じて子どもたちと育成会の皆さんも回数を重ねるごとに顔見知りになり、地区内で見かけると子どもたちが声をかけてくれることもあるようで、世代が違っても農業を通じて人同士が繋がっていることを実感した。参加した子どもたちも笑顔があふれ、楽しみながら食物の栽培、収穫、消費が出来たと思う。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもたちの農業や食への関心を作ることや世代間交流を大切に実施していきたい。地元有志スタッフとして地元の若手農家の方にも参加してもらえよう声をかけていく。					

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	和紙作り			市・地	9	243	23	23	実施内容参照	龍江公民館ほか
	小学6年生を対象に、龍江でも以前行われていた紙漉を体験すること、龍江の伝統文化や生活への関心をつくる。	実施内容		講師：鳴海和彦さん、小林完さん 《実施内容》 1/15事前学習会、1/20脱皮、1/27脱皮、1/28脱皮、2/3白皮煮、打解、2/4・打解、2/9紙漉き、2/12まとめの会	【成果と課題】 コロナ禍ではあったが、屋外で感染症対策を行った上で実施した。和紙を作るだけでなく、事前学習会を行うことで、昔の生活や地域が大切にしていたことを学ぶきっかけとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年は保護者に参加してもらったことができなかった。コロナ禍でも多くの方に参加してもらえよう、学校と連携しながら内容の充実を図りたい。					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子人形劇の会			市費	-	-	-	95	12月2日(中止)	龍江保育園
	保育園児、乳幼児の親子を対象に人形劇を観賞し親子の絆、人形劇の温かさに触れる機会とする。	実施内容		飯田文化会館、龍江保育園と連携し、親子で人形劇に触れあう機会を提供するため実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	【成果と課題】 より多くの親子に観劇してもらえよう感染症対策を行いながら開催することを検討していたが、公立保育園全体の中で今年の巡回公演について開催しないことが決まったため中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 人形劇フェスタ地区公演の感染症対策を参考にし、地区内の親子に安心して参加してもらえよう保育園と連携しながら準備を進める。質の高い人形劇に触れる機会や親子同士の繋がりを深める機会にもなるので、来年度以降は実施の方向で進めたい。					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学校お助け隊			市・地	5	509	119	119	実施内容参照	龍江小学校
	龍江の子ども達に対して、地域と学校が連携して教育活動に関わることでにより龍江を愛する心を育む。	実施内容		感染症対策を行った上で、地域のボランティアスタッフが学校授業の支援をした。 《内容詳細》 ○読書(読み聞かせ) 12/1、12/3、12/4、12/8 計4回 (全学年) ○総合(おやす作り) 12/21 計1回(1、2年生)	【成果と課題】 子どもと地域住民の間に繋がりが増え、両者にとっても良い活動になった。より多くの地域住民の参加を促し地域全体で子どもを育てることに取り組んでいきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校と連携しながら、保護者も参加し子どもの様子見ることができる機会を設けた。					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	図書館お楽しみ会			地区費	5	51	17	2,718	実施内容参照	龍江公民館
	子ども達を中心に本に親しんでもらう為に実施。各種イベントを設け図書館利用を促進する。	実施内容		図書分館と共催し、感染症対策を行いながら内容を例年より一部変更して開催した。 《内容詳細》 ①7/18～8/29スタンブラリー ②12/5クリスマス会 ③2/27～3/27絵本でしりとリチャレンジ	【成果と課題】 新しい利用者の開拓にはなかなか繋がらなかったが、いつも利用していたいている方の利用が増えた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 親子の利用は減少傾向にあるが、シニア世代の利用が増えている。大人向けのお楽しみ企画も検討していく。					

龍江公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小学校クラブ活動		市・地	4	292	66	66	実施内容参照	龍江小学校
学級・講座	龍江の子ども達に対して、地域と学校が連携して教育活動に関わることににより龍江を愛する心を育む。 実施内容 ①伝統と文化：前澤隆志さん、小林むつゑさん、大平茂子さん ②お茶・お花：大原豊代子さん ③陶芸：三輪俊子さん ④今田人形：澤柳太門さん、吉澤健さん 《実施内容》 9/3 第1回目（各クラブ顔合わせ、担当決めなど） 10/8第2回目①火おこし、②生け花、③素焼き、④人形練習） 11/2第3回目①竹細工、②生け花、③釉薬かけ、本焼き、④人形通し練習） 12/1クラブ感謝の会		継続	1	23	21	2718	3月18日	龍江公民館
学級・講座	一般を対象にエアロビクス体操を通して交流を図る。 実施内容 講師：村沢由美子氏（健康運動指導士） 一般を対象にストレッチャ体操を実施。昼間の時間帯で設定をし中高年の方をターゲットに実施。		市費	3	38	18	2718	3月18日（木）、3月25日（木）	龍江公民館
学級・講座	一般を対象にエアロビクス体操を通して交流を図る。 実施内容 講師：片桐みどり氏（健康運動指導士） 一般を対象にエアロビクス体操を実施。夜間の時間帯で設定をしより参加しやすい環境で実施。 《内容詳細》 2/15教室打ち合わせ 3/18体操教室①（エアロビクス） 3/25体操教室②（ストレッチャ体操）		市費	1	45	42	2718	11月20日	龍江公民館
学級・講座	一般を対象に、龍江の歴史について学習し、郷土の歴史を後世に伝える機会とする。 実施内容 《テーマ》雲母の里人が伝える祭と高森山 《講師》大原千和喜さん（郷土研究家）		市費	1	45	42	2718	11月20日	龍江公民館

【成果と課題】
 今年度も珍しい資料や当時の地区内の写真等を用いながら、わかりやすく、また、楽しく学ぶことが出来る機会となった。一方で高齢者からは夜間開催のため直接会場で先生の話を聞きたいが参加できないといった声も挙がっていることが課題である。

【次年度の方向性と取り組み】
☒現状維持 ☐縮小
 郷土料理クラブも含め、感染症対策を行った上で、学校及び地域講師と連携しながら、子どもたちが龍江に改めて愛着の持てる機会としていきたい。

【成果と課題】
 引き続きサークル活動として活発に活動していくきっかけとなった。コロナ禍ではあるが、みんなで一緒に体を動かし心と体の健康につながる機会にもなった。

【次年度の方向性と取り組み】
☒現状維持 ☐縮小
 感染症対策を講じた上で今後も多くの方に参加してもらえよう検討していく。

【成果と課題】
 引き続きサークル活動として活発に活動していくきっかけとなった。コロナ禍ではあるが、みんなで一緒に体を動かし心と体の健康につながる機会にもなった。

【次年度の方向性と取り組み】
☒現状維持 ☐縮小
 感染症対策を講じた上で今後も多くの方に参加してもらえよう検討していく。若い世代を対象とした健康教室との連携も視野に入れながら準備を進めたい。

【成果と課題】
 今年も珍しい資料や当時の地区内の写真等を用いながら、わかりやすく、また、楽しく学ぶことが出来る機会となった。一方で高齢者からは夜間開催のため直接会場で先生の話を聞きたいが参加できないといった声も挙がっていることが課題である。

【次年度の方向性と取り組み】
☒現状維持 ☐縮小
 来年度は公演回数を昼間と夜間両方に設定し、幅広い層が参加できるよう検討していく。参加者が楽しく学習できるよう講師と相談しながら進めたい。

龍江公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020 龍江地区公演	他会計	継続	1	8	-	2,718	8月6日～8月10日(中止)	龍江公民館ほか
	一般を対象に、人形劇を通じて文化活動の活性化を図るとともに住民同士の交流を図る。 実施内容	文化部、各分館役員、保育園保護者会などが中心となり地区内6会場での公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	《検討過程》 4/8地区実行委員会(リモート)	【成果と課題】 感染症対策を講じた上での地区公演について検討していく中で、身近な場所での形劇を楽しむことや劇団との交流の中で改めて地域の良さに気付けるなど地区公演の良さや大切にしたいことを確認することができた。 評価 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 感染症対策を講じた上で、地区公演の良さを大切にし運営スタッフや劇団、観劇者が安心して地区公演に参加できるよう実行委員会等で検討し準備を進めていく。					
文化事業	人形劇フェスタ観劇バスツアー	他会計	継続	1	8	-	119	8月7日(中止)	飯田市公民館ほか
	児童を対象に中心市街地で過ごしている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。 実施内容	図書分館係員を中心としたボランティアスタッフと協力し、地区内の小学生が飯田の人形劇の祭典であるフェスタの雰囲気に触れる機会として実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	《検討過程》 4/9地区実行委員会及び図書分館係会	【成果と課題】 昨年度参加した小学生の保護者の話を踏まえ検討する中で、子どもたちにとって楽しいだけでなく社会勉強の場にもなっていることを改めて感じた。 評価 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 感染症対策を行った上での企画運営ができるよう地区実行委員会等で検討を進めたい。					
文化事業	龍江地区文化祭・芸能祭	市・地	継続	2	14	-	2,718	11月8日(中止)	龍江公民館
	地区住民を対象に、各種団体の活動成果の発表の機会、将来における地区への愛着を養う機会とする。 実施内容	各種団体グループの展示や活動成果の発表の機会として実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	《検討過程》 8/3文化部会 9/16文化部会、代替事業として作品展実施を決定	【成果と課題】 人が集まることや飲食が伴うことに対する不安の声が大きく、芸能祭が中止となったが、日頃の成果を発表する機会として、新たに作品展の実施に繋がった。 評価 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 開催時期が果樹繁忙期のため、時期の変更や作品の展示期間を長くするなど、感染症対策と合わせ、多くの地区住民が参加できるように内容の見直しを検討していく。					
文化事業	龍江地区文化作品展	市・地	継続	3	89	-	2,718	11月7日～11月15日	龍江公民館
	地区住民を対象に、各種団体の活動成果を知れる機会とする。 実施内容	文化祭の代替事業として、作品展を開催。地区内の団体や保育園児、小学生などの作品や団体の活動成果を公民館内に展示した。また、同期間に図書分館の古本市を開催し、図書館利用の促進を行った。体調確認シートの記入や供用箇所消毒等感染症対策を十分に行った上で開催した。	《参加団体》 龍江保育園、龍江小学校、竜東FC、多文化共生を進める会、民生児童委員協議会、コーラルハイツ、龍江の盛土を考える会 計7団体 作品 計178点	【成果と課題】 展示期間を長く設けたことで、いつもは文化祭に参加できない青壮年層の方が多く展示を観来られた。また、例年の展示団体の参加は少なかったが、今年から新たに展示に参加した団体もあり、予想以上にたくさんの作品を展示することができた。 評価 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 文化祭・芸能祭が実施できれば作品展としては実施しない。文化祭・芸能祭の開催の中で、作品展の開催期間を長くすることを検討していく。					

龍江公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	パタンク大会	地区費	継続	1	8	-	2,718	4月26日(中止)	今田平農村広場
	実施内容	【成果と課題】 交流することを目的として事業実施を目指したが、当時の状況では安心安全に楽しく交流することが難しいと判断し中止となった。検討する中で、事業の目的や大切にすることを改めて確認し共有することができた。							
	目的	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 さくら祭りの規模が年々拡大されパタンク大会の参加者が減少傾向にあることと、また、各分館のスポーツ月間と時期が重複することから、来年度は公民館単独事業として別日開催又は事業の廃止を視野に入れて検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	龍江地区市民運動会	地区費	継続	8	103	-	2,718	10月11日(中止)	龍江小学校
	実施内容	【成果と課題】 体育部を中心とした実行委員会を組織し、「絆 ～みんなの心をひとつに～」をテーマに添え、今のご時世だからこそ、地域の活力創出とコミュニティの再構築を目指し、地区民の創意工夫で運動会を子どもからお年寄りまで楽しく交流できる場とし、地域全体の絆を深め、新たな生活様式での自信に繋げる運動会を目指し開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
	目的	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度の検討を活かしながら、感染症対策を講じた上で負担感が無くみんなが楽しめる運動会を目指して開催を目指す。運動会の隔年開催を希望する声もある。運動会をどういう機会とするか慎重に検討していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	龍江絆駅伝	市・地	継続	5	135	100	2,718	12月6日	今田平農村広場
	実施内容	【成果と課題】 本館体育部を中心に「復興 ～タスキにチームの絆をのせて～」をテーマに添え、地域の交流と団結により、地域の活性化や地域づくりにつなげる目的も持たせる事業として実施。また、今年度は感染症対策の一環として、当日は無観客で大会を行い、競技中の様子はホームページ運営委員会がYouTubeでライブ配信した。							
	目的	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度は参加範囲を限定した開催だったため、来年度以降はより多くの地区内外住民に参加してもらえよう開催方法や周知方法等について検討していきたい。引き続きライブ配信も併用して開催していく。							

龍江公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	龍江新聞	地区費	継続	48	432	12	2,718	通年	龍江公民館
広報事業	地域住民を対象に、新聞発行を通じて地区内情報発信と地域を考えるきっかけ作りを目指す。	年間12回、1回1,200部を発行。 公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域の抱える問題を取り上げ、住民が地域を考えるきっかけづくりを目的として実施。1号発行につき3回の会議を行った。地区内各所へ部員自ら足を運び、取材をして記事を執筆し紙面に掲載するスタイルをとっている。							
	目的	実施内容	評価 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 歴史を絶やすことのないよう毎月発行を目指しながら、引き続き部員が主体的に紙面づくりに参加できるようにする。また、来年度以降も地区内の様々な情報を取り上げ、住民が地域を考えるきっかけとなる新聞を目指したい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	龍江ホームページ運営	地区費	継続	74	144	4	2,718	通年	龍江公民館
	地域住民を対象に、ホームページを通じて地区内情報発信と地域の魅力を地区内外に伝えるきっかけとする。	ホームページ運営委員会(専門委員会)により公民館事業に限らず地域の様々な情報を取り上げ発信することで龍江地区の魅力を広く周知することを目的として実施。月3回を目安に定例会議を行い、公民館休館中はHangOutを使用しリモートで会議を行った。 《内容詳細》 龍江地区区内における情報の発信(アドレス:tatue.jp)。ブログ掲載数計35回。 12/6龍江絆駅伝ライブ配信 1/10龍江地区成人式リモート配信(感染症拡大防止のため延期)							
広報事業	目的	実施内容	評価 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 ホームページの運営だけでなくライブ配信の運営など活動の範囲が広がってきている。活動内容は委員の負担にならないようその都度委員会内で検討しながら進めていきたい。次年度以降コンテンツ整理を行い、今以上にしやすいホームページとする。						
	目的	実施内容	評価 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 コースの中には子どもが歩くのには難しい道もある。一度役員全員でコースを下見した上で、コースの再検討を行いたい。感染症対策を講じながら多くの親子に安心して参加してもらえよう実施方法を検討したい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	ふるさと探検	市・地	継続	2	10	-	2,718	7月4日(中止)	龍江三区
	保育園、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に愛着と誇りを持つため地域について学習理解を深める機会とする。	育成部と小学校PTA合同で企画し、地区内の旧跡や自然・文化を歩いて巡り、龍江の歴史・文化を学ぶ機会とする予定であったが、新型コロナウイルス感染症と大雨の影響で中止。 《検討経過》 4/17育成部長とコース下見、打ち合わせ 5/16ふるさと探訪合同打合せ会							

龍江公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	水辺の楽校魚釣りつかみ取り大会	地区費	継続	1	12	-	2,718	9月5日(中止)	水辺の楽校
	目的 保育園児、小学生と親、地区住民を対象に、親子団らんの場の提供、児童が川に親しみ、自然を大切にすることを育む機会として実施。		実施内容 《検討過程》 8/4魚釣りつかみ取り大会合同打合せ会議				【成果と課題】 感染症対策を行った上での開催を目指したが、屋外であっても人同士が密になる状況避けられないことから中止となった。育成部と検討する中で、交流することも大切にしながら親子団らんの場やつかみ取りを通して子どもたちが生き物の命について考える場にもなることを改めて確認・共有することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学習面を厚くした事業としての開催や振興委員会主催のアウトドアフェス関連事業との併催も視野に入れながら、より多くの親子に参加してもらえよう開催時期や内容の見直しを検討をしていきたい。		
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	百人一首大会・龍江かるた会	市・地	継続	1	8	-	2,718	1月23日(中止)	龍江公民館
	目的 保育園 小学生、地区住民を対象に、百人一首大会、龍江かるた会を実施。日本文化を学ぶ機会とする。		実施内容 青少年健全育成部と図書分館共催で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 《検討経過》 12/15百人一首・龍江かるた大会合同打合せ会議				【成果と課題】 何とか開催できなかったか検討したが、競技中のソーシャルダンスダンスの確保が難しかったため中止とした。検討の中で、子どもたちからは人気の事業であり、龍江かるたを通じて地区内の史跡や名所等について友達と楽しく学べることができていることを確認することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き図書分館と連携しながら、今年度の検討を踏まえ開催方法や開催時期の見直しも視野に入れながら、何とか開催に繋げたい。		
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	アップルキッズの森	地区費	継続	5	635	114	119	実施内容参照	龍江小学校りんご園
	目的 小学校児童を対象に、りんごの生産を通して、食育や地区の産業を知る機会とする		実施内容 《実施内容》 4/24摘花作業(感染症拡大防止のため中止) 5/25摘果作業① 5/26摘果作業② 10/23収穫作業① 11/11収穫作業②				【成果と課題】 感染症の影響により、年度当初は作業が中止になったり、全員で作業ができなかったりなど思うように活動できなかったが、各団体の協力により収穫まで行うことができた。収穫したりんごは小学生から自治振興センター等に届けられ、来庁者に持ち帰ってもらうことで多くの地区住民へ届けられることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後も伝統あるりんご園が継続して運営できるよう、小学校と後援会、PTAと一緒に今後のりんご園の在り方や関わり方、小学校150周年事業との連携も視野に入れながら検討していきたい。		
	評価								

龍江公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	武田信玄狼煙リレー	地区費	継続	1	23	21	2,718	8月29日	龍江一区 兎城跡
	実施内容	飯田下伊那から諏訪までつながる武田信玄の濾紙リレーに参加し先人の文化を感じるため実施。地元在住の方を講師を招き、兎城跡にて狼煙や武田信玄、兎城跡について学んだ。							
	目的	一般を対象に、かつて情報伝達として用いられた狼煙を通じ、先人の文化を学ぶと共に地域を考える機会とする。							
その他	実施内容	《講師》 吉澤健さん、沢柳徳次さん							
	目的	龍江地区在住の新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場とする。また、地域の新成人を地域を挙げてお祝いする機会とする。							
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 文化部や育成部、地域づくり委員会等とも連携しながら、親子が参加しやすいようなイベント性を持たせることも視野に入れながら、感染症対策を講じた上での開催を検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	龍江地区成人式	他会計	継続	12	57	-	21	1月10日(延期)	龍江公民館
	実施内容	成人式は令和3年8月以降に延期となったが、新成人有志で組織する実行委員会体制で次の内容を検討、実施した。 ・成人式実行委員会を開催し、成人式祝賀会の企画、準備 ・成人実行委員会による地域学習の実施 (テーマ「天竜川ライン下り」) 《検討経過》 9/14、9/25、10/7、10/30、11/26、12/13、12/27、2/21、3/18 10/14公民館部長会 11/7地域学習							
	目的	龍江地区在住の新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場とする。また、地域の新成人を地域を挙げてお祝いする機会とする。							
合同事業	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍であることを踏まえ、今後も参加の選択肢の1つとしてリモート参加ができるよう準備を進めたい。また、成人式が8月以降となったことにより地域学習等が実施可能であるため、地域の魅力や地元の温かさに触れることのできる学習機会を検討したい。							
	目的	小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学生予定の小学生との交流を図る。							
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今年度については新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やむなく中止と判断した。事業自体は、中1ギャップの解消にも寄与するのみならず、子どもを軸とした地域間の交流機会ともなることから、次年度以降も継続して実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会	地区費	継続	1	1	-	92	5月16日(中止)	竜東中学校
	実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止。 【検討経過】 4月16日 4/27に行われる会議を前に、竜東中学校教務主任の先生と協議。感染状況や施設閉鎖の状況から、今年度の大会中止を決定した。							
	目的	小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学生予定の小学生との交流を図る。							

竜丘公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	大人の学校		市・地	継続	2	115	102	通年	竜丘公民館	
	60歳以上の住民を対象に、高齢者層のまとまりと生きがい、地域参画を図る	実施内容	【成果と課題】 運営委員会を中心に、月1回の定例講座を企画し開催する。テーマは、生活を取り巻く様々な課題を取り上げる。クラブ活動など必要な生涯学習の支援を行う。 運営委員会・班長会・定例会(講座)・クラブ長会などを随時開催している。 10/22「新型コロナウイルス感染症を正しく恐れるための知識の整理」講師：元飯田信金 参加者60名 12/10「これからの地域・安心安全に生活するために」講師：森山和幸氏 参加者55名 また、休講中も学習機会の提供とつながりの継続を目的に、「大人の学校通信」を創刊し、3回発行した。							
	中国帰国者支援事業「好友会」(日本語教室)	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	中国帰国者を中心に、生活に困らない程度の日本語、習慣、文化の理解、情報交換、交流の場とする。	実施内容	【成果と課題】 講師を中心に、週1回のペースで日本語教室を開き、地域で暮らす仲間として互いの生活習慣や考え方を学びあう。 講師：西川和憲、善本勝、片町國臣、安藤信貴、佐々木拓美、小澤以衣、磯村裕子							
	若者を中心とした地域住民を対象に、お互いの交流を通し、この地区の独自性を見つめ直し、地元に誇りをもってもらう。	実施内容	【成果と課題】 令和元年度の成人式実行委員会を中心に、竜丘の20代の若者が交流を通して仲間をつくりながら、自らの視点で考え学んでいく。 5月：開校式 興味関心のテーマ出し 7月：「結婚」について、地域の先輩(公民館委員)から話を聞く 8月：竜丘地域に関する興味関心のテーマ出し 11月：地域を知る「竜丘地域の現状、各分館の特色」【コロナの影響により延期】							
	青年学級	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0歳児学級		市・地	継続	4	16	5	6,796	通年	竜丘公民館
	0歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいを図る	実施内容	【成果と課題】 乳児の成長発達や育児法、離乳食などについて学習する。 育児相談、情報相談の場とする。 育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。 栄養士に離乳食相談をお願いする。							
	学級・講座	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場

竜丘公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	1歳児学級	他会計	継続	8	220	25	106	8/6～3/12	竜丘公民館他
	実施内容	乳児の成長発達や育児法などについて学習する。 育児相談・情報相談の場とする。 講師に保健師、保育士等をお願いし育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。 福祉健康委員に支援に入ってもらうことで、相談し合える関係を構築する。							
学級・講座	2歳3歳児学級	他会計	継続	9	270	12	114	7/15～3/17	竜丘公民館他
	実施内容	講師に保健師、保育士等をお願いし、乳児の成長発達や育児法などについて学習すると共に、親の個人相談等を保健師に依頼する。 【成果と課題】 育児の悩みを出し合い、母親同士のつながりを作る機会になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域の中でのつながりを作っていく最初の入り口となるよう実施していく。							
学級・講座	家庭教育講演会	市費	継続	1	24	37	220	11月24日	竜丘公民館
	実施内容	竜丘保育園との共催で、保育園児、乳幼児の親子を対象に行う。 親子での人形劇の観劇を通して、親子のふれあいを図るとともに、その後の保護者を対象に家庭教育についての講演会を行う。 劇団：獅子を舞う男 わたちやん 講演：園長先生からのお話 【成果と課題】 竜丘保育園との合同で開催。園児やその保護者、未就園児の親子に人形劇を観劇することで、異年齢交流や人形劇のまちづくりにつながる機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 観劇後の講演は内容やタイミングを検討するなど充実させていく。							
文化事業	竜丘市民大学講座	市・地	継続	2	48	27	6,796	10月25日、3月7日	竜丘公民館
	実施内容	竜丘を学び今後の地域づくりに生かしていくことを目的に開催。竜丘の自然や文化、歴史の掘り起こしと将来展望を学習する。 第1講 市美術館企画展「竜丘児童自由画100周年展」の鑑賞 講師：市美術館 榎村氏 参加者：27名 第2講 竜丘の風景を題材に自由画を描く 講師：竜丘児童自由画保存顕彰委員会 参加者：21名 【成果と課題】 第1講では市美術館の企画展を鑑賞し、また木下紫水の教育観について学び、竜丘の自由教育の見識を深める機会となった。第2講では、竜丘の自然を感じながら実際に目田画を描き、体験型で自由画教育について考える機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域の現状を見つめ、取り上げたいテーマを考え、講座を組み立てていく。							
文化事業	ふるさとコンサート	市・地	継続	1	20	-	6,796	7月26日【中止】	竜丘公民館
	実施内容	普段ふれる機会の少ない、生のクラシック音楽にふれる機会として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 4/8 文化委員会 (20名) 【成果と課題】 一流の音楽に触れ、音楽を通じた住民の交流の場として大切にしている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 音楽を通じた交流について考え、実施できるように検討を進める。							

竜丘公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020竜丘地区公演	他会計	継続	1	20	-	6,796	8/6～10【中止】	竜丘公民館他
	一般を対象に、人形劇を通じて文化活動の活性化を図るとともに住民の交流を図る。	本館4公演と分館5公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 4/8 文化委員会(20名)							
文化事業	目的	【成果と課題】 コロナ禍における運営方法について課題が挙げられている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 人形劇のまち いろいろの意義や理念を確認しつつ、感染症対策を講じた運営を考え実施したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	竜丘地区文化作品展	地区費	継続	10	680	-	6,796	11月7日、8日	竜丘公民館他
	目的	コロナ禍でもできることを検討し、文化作品展として開催。 (1) 地区内団体、グループ、企業、個人が日頃の活動や成果を発表、交流する (2) 地域における文化活動を活性化させ、地区民の親睦を図る。 (3) 公民館と参加団体による実行委員会を組織して企画、運営にあたる。 (4) 分館による展示を行い、地域学習と発表の場とする。 【検討経過】 7/13 文化スタッフ会、8/4 企画委員会、9/4 文化スタッフ会、9/25 文化スタッフ会、10/2 文化祭実行委員会、10/9 企画委員会、10/19 文化委員会、							
文化事業	目的	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地区住民同士の交流や親睦の機会について検討が必要。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ニューイヤークンサート2021online	地区費	継続	4	90	-	6,796	1月15日、20日	竜丘公民館
	目的	今年はコロナ禍により、小中学校の発表の機会として、演奏を動画で撮影し、竜丘HP等で配信した。 【撮影】竜丘小ブラスバンド(1/20)、鈴岡太鼓子供連(1/15)、緑ヶ丘中学校吹奏楽部・合唱部 【検討経過】 文化スタッフ会(12/21、1/7)							
文化事業	目的	【成果と課題】 今年度、小中学生は練習成果を発表する機会がなかなか持てずにいたが、撮影に向けて練習に取り組み、素晴らしい演奏ができた。 地域にとっては交流することはできなかったが、子どもたちが演奏する姿を見る良い機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 時期と方法を検討し、文化祭などと併せて交流の機会を検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	夏季スポーツ大会	地区費	継続	1	24	-	6,796	5月17日【中止】	竜丘小学校校庭
	目的	スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力ある地域づくりにつなげる。 今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 3/25 体育委員会							
体育事業	目的	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を講じた住民同士の交流を継続していく。							

竜丘公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
体育事業	竜丘市民運動会		地区費	5	80	-	6,796	10月11日【中止】	竜丘小学校校庭	
	目的	竜丘住民を対象に、運動会を通して住民同士、世代間の交流を図る				【成果と課題】 感染症対策を講じた内容での開催を模索したが、コロナの収束が見えない中で、「世代を越えて多くの人が交流する」機会にはならないと判断し、中止とした。 運動会は中止となったが、体育委員で新種目の検討を実施。 【検討経過】 6/8 企画委員会、6/17 体育スタッフ会、6/24 体育委員会 【種目検討】 体育スタッフ会(9/30、10/11)				評価
	実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 運動会の目的や意義を確認しながら、検討した新種目を披露するなど、交流の機会として企画していきたい。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
体育事業	冬季スポーツフェスティバル		地区費	3	120	-	6,796	12月6日	竜丘小学校体育館	
	目的	竜丘住民を対象に、スポーツを通して健康維持と住民の交流を図る				【成果と課題】 多くの方に気軽に参加してもらえよう複数の種目を取り入れ、子どもから大人までスポーツを通して交流を深める。コロナ禍においても安心して気楽に体を動かし住民同士の親睦が深められるよう新たな種目を取り入れ実施。 種目：ポッチャ 【検討経過】 9/30 体育スタッフ会、10/8 体育委員会				評価
	実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 感染症対策を講じた内容を検討し、スポーツを通じた住民同士の交流を継続していく。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
広報事業	館報たつおか発行		地区費	25	120	2,200	2,200	通年	竜丘公民館	
	目的	竜丘住民を対象に、情報の提供と記録を目的とする。				【成果と課題】 紙面を通じて、地域の現況を伝達するとともに、記録としての役割を果たす。 また、地域課題・生活課題について問題提起を行う。 ・読みやすく親しまれる館報づくり ・館報「たつおか」354号～358号の発行 ・竜丘地域自治会のHPを活用した広報活動を推進				評価
	実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 各委員さんが企画を出し合い、特集を組みながら、特色ある紙面作りを行う。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
民俗資料保存	民俗資料保存事業		地区費	4	30	10	6,796	通年	竜丘公民館他	
	目的	竜丘地区を対象に、民俗資料の保存活動の推進を図る				【成果と課題】 竜丘独自の委員会である民俗資料保存委員会が中心となり、地域の民俗資料の収集、整理、保存にあたる。地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行うとともに、それを広く公開していく。 ・民俗資料館の維持管理及び資料館の今後についての検討 ・収蔵品の虫干し ・竜丘自由画保存委員会への参画				評価
	実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 民俗資料を小学生に伝承する体験活動の企画など、地域資源を有効に活用していきたい。				

竜丘公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	古墳まつり(埴輪の野焼き)	地区費	継続	4	150	-	6,796	6月7日【中止】、7月29日、9月13日	塚原二子塚古墳他
	目的 竜丘地区を対象に、古墳についての知識の習得と保存活動の機運を高める	【成果と課題】 竜丘の誇る文化遺産を会場に、竜丘全体のまつりとして位置づけている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、古墳まつりは中止としたが、小学生が作った埴輪の野焼きは実施。 【検討経過】 4/9 育成委員会、4/14 竜丘古墳の会 【小学生の埴輪作りと野焼き】 埴輪作り(7/29)、野焼き(9/13)							
	評価	【次年度の方向性】 次年度の方向性として、子どもたちを対象に古墳に触れる機会として開催する。 【現状維持】 現状維持							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	竜丘あいさつ運動	地区費	継続	6	200	200	6,796	8月26日ほか	竜丘地区
	目的 竜丘住民を対象に、地域と学校が連携し、あいさつ運動を通して住民の交流を図る	【成果と課題】 今年度は「人とのふれあい～つながり～」をテーマに標語の募集を行い303通の応募があった。8月26日を統一行動日として地域全体であいさつ運動を展開した。小学校でもあいさつについての話をさせていただき、あいさつの大切さについて深める機会がとれた。 【次年度の方向性】 次年度の方向性として、登下校見守りの団体と連携しながら実施していく。							
	評価	【現状維持】 現状維持							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	川で遊ぶ	地区費	継続	2	30	-	386	8月23日【中止】	久米川
	目的 自然体験をしながら、子どものたくましさを育む	【成果と課題】 公民館企画委員会、PTAと共催事業として計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 6/8 企画委員会、7/19 育成委員会							
	評価	【次年度の方向性】 次年度の方向性として、水辺の楽校を整備し、活用していくように進めていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	竜丘古墳の会	地区費	継続	20	80	-	6,796	実施内容参照	竜丘地区他
	目的 竜丘地区を対象に、古墳についての知識の習得と保存活動の機運を高める	【学習部会】 11/8 古墳学習部会・見学会 【古墳公園推進部会】 花法師の会、カタバミの会活動、埴輪づくり指導、除草作業 【検討経過】 役員会(4/14、7/27)							
	評価	【次年度の方向性】 次年度の方向性として、今後は、定期的な学習会・見学会を実施していくことと、古墳案内者の養成が必要。							

竜丘公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	竜丘児童自由画保存顕彰委員会	地区費	継続	5	40	10	6,796	実施内容参照	竜丘公民館他
	目的 竜丘住民を対象に、自由画についての理解を深め、地域に誇りを感じ、地域に誇りを感じるよう意識の向上を図る		小学校と連携し、竜丘に現存している自由画の保存と、その活用方法の研究、地域住民への理解を深めてもらうための活動を行う。併せて自由画の背景にある自由教育の研究について検討する。 ・市美術博物館企画展への協力 ・竜丘小に原画の展示 ・木下紫水に関連する資料の整理 ・上田市神川地区との交流会					【成果と課題】 自由画の整理や市美術博物館で開催された100周年企画展への協力や鑑賞し学習会を実施。竜丘小開校150周年記念に向けた準備として自由画教育をテーマに小学校との打合せを実施した。また上田市神川地区との交流も継続しながら、竜丘の自由教育への理解を深めていけると良い。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 竜丘小開校150周年記念に向け、小学生向けの副読本作成を進めていく。	
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	放課後子ども教室	市・地	継続	22	1,000	46	385	毎週水曜日	竜丘小学校他
	目的 小学生を対象に、放課後の居場所作りと、体験活動の充実を図る		地域の人材、資源を活かしたさまざまなスポーツ活動、文化活動、体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通して、自主性や社会性、創造性を育む。				【成果と課題】 子供たちの社会性や想像力を育てる点で、重要な事業である。コロナ禍で活動日が限られていたが、楽しく遊び、学ぶことができた。保護者にも参加してもらったなど、より多くの人が関わる体制づくりができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 子どもの育ちと地域の関わりを大切にして、メニューの工夫や新たなスタッフ募集など、充実させていく。		
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	地域人教育	市・地	継続	24	180	7	6,796	実施内容参照	竜丘地区他
	目的 高校生及び地域住民を対象に、より豊かな生活、より良い地域に向けて、共に学び育つ機会とする。		飯田OIDE長姫高校商業科「地域人教育」実施(高校・松本大学・市のパートナーシップ協定による) 活動時間：毎週金曜日13:30～15:20 ・「竜丘の魅力発信」をテーマにカレンダー制作販売を実施。				【成果と課題】 竜丘地区としては5年目の取り組み。高校生の生きる力を育むと共に、人材サイクル構築の一環として取り組まれている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 地域にとっても高校生にとってもより豊かな暮らしにつながる機会としたい。		
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	ぶらきよろ隊	地区費	継続	200	500	55	6,796	通年	竜丘地区
	目的 竜丘住民を対象に、地域の子どもは地域で育てる機運の醸成を図る		無理の無い範囲で小学生の登下校の見守り活動をしようという呼びかけを行う。また有事の際は学校からの一斉メールにより集団下校に同行する。				【成果と課題】 しっかりと組織体制や活動ではないが、地域で子供を見守る機運を高める活動として見守り活動が実施できている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 他団体へ協力するなど、できる範囲で活動を充実させていきたい。		
	実施内容								

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「すくすく学級」	市・地	継続	8	150	15	120	実施内容参照	川路公民館ほか
	実施内容	【成果と課題】 同世代の子どもと親が集い交流する場となった。親同士が子育てに関する情報交換をしたり、地域に関する情報を得る機会となった。親子数、参加者数の減少が課題。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区外から転入してきた参加者も増え、乳幼児の数が増加しているが、コロナ禍で参加を控える親子も少なくない。地域とのつながりを作っていく場にもなっている。参加しやすい、親同士の繋がりをさらに深められるような事業組み立てを継続して考えていきたい。							
	目的	講師：小木曾嘉子先生(保育士) 6/22(月)「手形足型をしよう」、7/20(木)「七夕飾りをつくろう」、8/11(火)「保育園へ行こう！水遊び」(中止)、9/28(月)「わらべうたあそび」、10/26(月)「天龍峡大橋へお出かけしよう」、11/16(月)「自己紹介カードづくり」、12/21(月)「クリスマス会」、1/8(木)「保育園へ遊びに行こう！(保育園と合同)」(中止)、2/22(月)「手形足型をしよう」、3/22(月)「文集作り・おわりの会」							
学級・講座	川路さわやか会	市・地	継続	8	96	15	1,984	実施内容参照	川路公民館ほか
学級・講座	実施内容	6/19(金)かわらんべ周辺をウォーキング＆年度初め総会、7/17(金)健康体操(講師：斉藤たせ子先生)、9/18(金)ニューススポーツ体験、10/16(金)電車でお出かけ(千人塚公園：飯島町)、11/20(金)雨天のため囲碁ボール、12/18(金)神之峰に登る、2/19(金)囲碁ボール、3/19(金)かわらんべ周辺をウォーキング＆年度末総会							
	目的	地区内の中高年を対象に、ウォーキングをはじめとする各種活動を通じて健康づくりについて学習する							
学級・講座	第68回天龍峡夏期大学	市・地	継続	5	40	-	1,984	7月13日(月)～22日(水)(中止)	川路公民館
学級・講座	実施内容	主催：飯田市公民館 主管：川路公民館 目的：各界の著名人、第一線で活躍をされている方を講師として招き、その話をお聞きすることで川路住民、飯田市民の教養を高めるとともに、現代的な課題を考える契機とする。また、「伝統ある川路における夏期大学講座」を継続して開催し、川路住民の地域への誇りや愛着を高める。 【検討過程】 前年度2/10文化部会：日程決定 前年度3/10文化部会：テーマ案、講師案の検討 4/23文化部会(書面開催)：延期を決定 6/11正副部長会：延期先、催事中止条件等を決定 6/30文化部会：中止を決定							
	目的	川路地区民を中心とする参加者を対象に、教養を高め現代的な課題を考えるきっかけ作りおよび川路地区住民の地域への誇りを高める							

川路公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	歴史文化セミナー		市・地	継続	11	120	10	毎月1～2回(実施内容参照)	川路公民館ほか
学級・講座	川路地区民を対象に、大型事業が進み変貌していく地域において、後の世に残していくべきものの調査・記録・保存を図る		6/17(水)今年度の研究テーマ決め、7/21(火)市歴史研究所視察、8/19(水)「旧豊川海軍工廠」について現地踏査、9/3(木)地区文化祭展示発表準備①、9/23(水)地区文化祭展示発表準備②、10/5(月)地区文化祭展示発表準備③、10/20(火)地区文化祭展示発表準備④、11/13(金)地区文化祭展示発表準備⑤、11/18(水)地区文化祭展示発表準備⑥、12/22(水)歴史的建造物調査、3/10(水)1年間のまとめ及び来年度の事業計画検討				【成果と課題】 今年度は川路地区にある戦争遺構「旧豊川海軍工廠」をテーマに、現地での調査や歴史研究所へ出向いた調査、当時を知る方への聞き取り等、意欲的な学習に取り組むことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 メンバーの減少及び高齢化が進んでいるため、新規会員の加入促進、これまでの研究成果の利活用が課題となっている。地区文化祭等のイベントの時だけでなく、本会の活動をPRできる場を設けられるよう支援していきたい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路通学合宿		市・地	継続	2	20	-	6月10日(水)～13日(土)(中止)	川路公民館ほか
学級・講座	川路地区区内の住民・保護者・子どもを対象に、地域で子どもを育てる環境づくりに向けて協働で取り組み		7年目を迎え、学校や地域に定着してきた通学合宿だが、コロナ禍のため中止。 【検討過程】 前年度12/4(水)実行委員会:目的・趣旨の再確認、日程決定 前年度1/27(月)実行委員会:行程組み立て、参加者説明会、スタッフ研修会に向けた準備 4/14:中止を決定 (次年度の実施に向けて) 2/18実行委員会:次年度について検討				【成果と課題】 ・子どもの参加者数は例年増え、川路小学校5～6年生という対象者ほぼ全員が参加する事業となってきた。今年で7回目の実施となるはずだったが、中止を残念がる声が各方面から多く聞かれた。 ・実行委員メンバー、学校の先生方が変わっていく中で、関係者同士、特に保護者との連携が難しくなってきたため、地域・家庭・学校の連携を強められるよう工夫していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 2/18に実行委員会を開催し、次年度の開催に向けた方向性について協議した。コロナ禍の現状と見通しから、通学合宿はもう1年我慢することとした。ただしこのまま火を絶やすことはせず、安心して実施できる状況になったら必ず開催することを確認した。 また、代替事業を6月に実施することとし、開催に向けた検討を引き続き進めていく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	火起こし&かまどご飯づくり体験		市費	新規	3	55	39	11月14日(日)	川路公民館
学級・講座	川路地区区内の住民・保護者・子どもを対象に、地域で子どもを育てる環境づくりに向けて協働で取り組み		主催:まちづくり委員会教育育成委員会 共催:川路公民館 場所:川路公民館駐車場 入浴場所:コスモスの湯(水曜日)、天龍峡温泉交流館ご湯づくり(木、金曜日) 参加者:川路小5～6年生25名、保護者・地域のスタッフ13名 内容:火起こし器で火起こし体験(講師:上郷考古博物館 吉川秋利先生)かまどでご飯を炊く、焼き芋を作る 【検討過程】 9/28(月)大人スタッフとの打ち合わせ 10/7(水)小学校運営協議会 11/9(月)大人スタッフとの打ち合わせ				【成果と課題】 通学合宿の中止を残念がる声が各方面から多く聞かれたため、代替事業として実施。一部の保護者や地域の大人の「宿泊はできなくても、なんらかの形で子どもたちのためにやってあげたい!」という子どもへの想いを形にすることができた。参加した子どもたちからも大好評の事業だった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 2/18に実行委員会を開催し、次年度の通学合宿の開催に向けた方向性について協議した結果、コロナ禍の現状と見通しから、通学合宿はもう1年我慢することとした。ただし代替事業を6月に実施することとしたため、開催に向けた検討を引き続き進めていく。		

川路公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	走り方講習会		市・地 新規	1	(未実施)	(未実施)	1,984	3月27日(日)	天竜川総合学習館
	川路地区区内の小中学生を対象に、正しい食事と走りを身に付けることを目的とする		主催：川路AC(アスリートクラブ) 共催：川路公民館 講師：重見高好さん(24時間チャレンジマラソン国内最高記録保持者) 内容：友達とふれあいが楽しく走ることを通じて、川路地区の小中学生に体を動かすことの楽しさや大切さを学んでもらう。1,500メートル走の記録会も実施。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020川路地区公演		他会計 継続	0	0	0	1,984	8月6日～10日(中止)	川路公民館ほか
	参加者を対象に、楽しみながら芸術に親しんでもらう		【成果と課題】 フェスタ自体の中止により、川路地区公演の企画運営について考え、意見を出し合う場を作れなかった。人形劇文化やフェスタへの想いをつないでいくことが課題。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度に向けて人形劇文化やフェスタへの関心を高め、十分な感染症対策を実施した上で運営できるよう準備を進めていく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
川路地区文化祭			市・地 継続	10	130	-	1,984	12月6日(日)(中止)	川路小学校
		【成果と課題】 文化部会の中にもコロナに対する多様な意見がある中で、「子どもの想い出に残る文化祭」を目指して部員同士が意見を交わし合い、これまでにない文化祭の開催が目前となっていただけに、県のコロナ感染警戒レベルの引き上げによる中止の判断は非常に辛いものがあった。部員からも「ここまで準備してきたのに開催できなくて悔しい」という声が聞かれた。最終的には中止となったが、事業の開催に向けて全員で工夫して知恵を出し合うという学びの過程は次年度以降にも引き継いでいきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 現状は運動会と交互の隔年開催となっているが、文化祭の毎年開催について検討するため参加団体に意向調査を実施した。この結果を踏まえながら、文化祭のあり方について次年度も引き続き検討していく。							
文化事業	川路地区民を対象に、文化活動の発表の場を設け、さらなる活動の推進を図る		催しは展示発表・芸能発表・グルメエリアの3部門で構成。 【今年度の特徴的な取組】 ①例年の各分館からの出店を、地区内飲食店からの出店を中心としたグルメエリアに変更。プロの飲食店によるテイクアウトをメインに据えて、地元飲食店のPR・応援とコロナ対策を両立 ②川路フォーラムの併催：まちづくり委員会と連携。今年度7月の豪雨災害と、来年の36災害60周年をきっかけに、水害と地域づくりについて考えるフォーラムを計画 ③特別企画：OIDE長姫高校のテックレンジャーショー、サンタさんから子どもたちへのプレゼント配布 【検討過程】 前年度3/10文化部会：日程決定 6/11正副部長会：目的、内容の骨子検討 6/30文化部会：企画検討 7/22文化部会：企画検討 8/31文化祭説明会：参加予定団体へ概要説明、意見交換 10/2文化部会：企画検討、部門別打ち合わせ 10/23企画会議：検討経過、概要説明、意見交換 10/26文化部会：部門別打ち合わせ、コロナ対策検討 11/11文化祭参加団体代表者会議：参加団体との詳細打ち合わせ 11/25文化部会：コロナ感染拡大により中止を決定、代替事業の開催を決定 【代替事業】 文化祭の中止に伴い、公民館を会場とした週替わりの作品展示を企画し準備を進めていたが、飯田市内での急速な新型コロナウイルス感染症拡大による公民館休館等の影響を受け、中止となった。						

川路公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館対抗バレーボール大会		地区費	1	23	-	1,984	9月13日(日) (中止)	竜峡中学校体育館
体育事業	実施内容 川路地区の女性を対象に、体を動かす機会を設けるとともに親睦を深めるを図る		継続			女性中心の体育事業という位置づけで実施。例年では中学生、高校生、大学生など10代～20代の参加が多く、今まで区の代表選手として活躍してきた往年の選手たちと交流する様子が見られる。また、新しく引越してきた方の参加もあり、若者や新居者が地域に入るきっかけになっている。 【検討過程】 7/21企画会議:コロナ禍のため中止を決定	【成果と課題】 年間を通して練習する分館もあり、競技性が高まってきている。コロナ禍の中では、バレーボールという密になりやすく接触しやすい競技性からすると次年度も開催が難しいことが想定される。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を十分にとったうえで、コロナ禍でも安心して参加できる種目への変更を検討しながら実施していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館対抗ソフトボール大会		地区費	1	10	-	1,984	5月24日(日) (中止)	竜峡中学校校庭
体育事業	実施内容 川路地区の男性を主な対象に、体を動かす機会を設けるとともに親睦を深めるを図る		継続			男性中心の体育事業という位置づけで実施。例年では普段地域活動に参加しない方や若者の参加が多くあり、幅広い年代の方が交流できる大会となる。 【検討過程】 4/13体育部会:コロナ禍のため中止を決定	【成果と課題】 コロナ禍の中では、ソフトボールというソーシャルディスタンスが保ちにくい競技性からすると次年度も開催が難しいことが想定される。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を十分にとったうえで、コロナ禍でも安心して参加できる種目への変更を検討しながら実施していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路ワンふら大会		地区費	2	18	-	1,984	1月31日(日) (中止)	竜峡中学校体育館
体育事業	実施内容 川路地区民を対象に、ニューススポーツに親しんでもらい、交流を深めるを図る		継続			老若男女年齢問わず楽しめるニューススポーツとしてワンバウンドふらばーるバレー大会の実施を予定していたが、密になったり接触しやすい競技性のため、コロナ禍でも安心してプレーできる種目に変更しての実施を検討していたが、中止となった。そのため、会議後に体育部員のみでニューススポーツ(ボッチャ、ラダーゲッター)を体験した。 【検討過程】 11/19体育部会:ワンふらではなく、コロナ禍でもできるニューススポーツに種目を変更して実施することを決定 12/16体育部会:新型コロナウイルス感染症の急速な拡大を受けて、中止の方針に。会議後に体育部員でニューススポーツを体験 12/23企画会議:中止を決定	【成果と課題】 コロナ禍の中では、ワンバウンドふらばーるバレーという密になりやすく接触しやすい競技性からすると、次年度も開催が難しいことが想定される。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を十分にとったうえで、コロナ禍でも安心して参加できる種目への変更を検討しながら実施していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	カルタ会		地区費	1	10	-	1,984	1月11日(祝) (中止)	川路公民館
その他	実施内容 川路地区の子どもを対象に、伝統的な遊びであるカルタを通じ、異年齢の子どもと交流を図る		継続			まちづくり委員会教育育成員会、図書館川路分館との共催。例年では細芝居の読み聞かせの後、かるたと百人一首を楽しんでいる。 【検討過程】 市中央図書館の方針も考慮し、11/30の会議で中止を決定	【成果と課題】 例年は保育園児、小学生、中学生、大人までの幅広い年代の参加があり、小学生対中学生や、中学生対大人など、年代を超えてみんなでかるたを楽しむ姿が見られる。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍では、密になりやすい競技性であるカルタは開催が難しいことも想定される。代替となる日本の伝統的な遊びへの代替も視野に、次年度以降も幅広い年代の人が楽しめる内容を検討していきたい。		

川路公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	世代間交流事業	地区費	継続	1	20	20	154	12月20日(日)	2区公民館
	目的 川路地区民を対象に、多世代の交流と伝統文化の継承を図る	【成果と課題】 各分館で実施する「しめ縄・おやす作り講習会」を支援している。各分館の高齢者クラブやPTA、子ども会と共催で行っている。例年は多くの分館で開催されているが、今年はコロナ禍により第2分館のみが実施した。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍により、本館よりさらに身近なコミュニティである分館活動の重要性が高まっている。次年度以降は実施できる分館が増えるよう、本館として積極的な支援を行っていく。							
広報事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報「かわじ」発行	地区費	継続	14	95	9	1,984	通年	川路公民館
広報事業	目的 公民館事業報告や地域のイベント紹介だけでなく、地域課題を取り上げ、住民が自分たちの地域について知り、考える機会を提供する。	・年間発行回数3回(9月、12月、3月)、1回あたり発行部数900部 ・通年：館報縮刷版第2号を編集、発刊 140部 ・3/4(木)南信州新聞社視察研修(まちづくり委員会と共催) 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 完成した館報縮刷版第2号を活用した学習を展開したい。 また、まちづくり委員会発行「広報かわじ」と公民館報を統合する動きがある。「広報」と「館報」の役割の違いやあり方を踏まえながら、地域に情報をどうやって発信し、伝えていくかをまちづくり委員会と一緒に考えたい。							
その他	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路地区成人式	市・地	継続	5	47	-	20	1月10日(延期)	川路公民館
その他	目的 新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を知り、その良さを発掘・再認識する機会となることを目的とし、地域をあげてお祝いする。	主催：まちづくり委員会 企画運営は公民館企画会議が行う。 今年度はコロナ禍のため、参加者の削減、時間短縮の感染症対策をとりながらの実施に向けて準備を進めていたが、次年度へ延期となった。 【検討過程】 8/27実行委員会：顔合わせ会 成人式、地域学習について 9/24実行委員会：式典の内容検討、地域学習について 10/23公民館企画会議：成人式の運営方法について 10/24地域学習(ご案内人といっしょに天龍峡散策) 11/15実行委員会：成人式実行委員会企画の内容検討、準備作業 12月：延期が決定 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 R3年度の成人式に向けて実行委員のモチベーションを高める働きかけをしていく。成人式が楽しみになるように実行委員会を継続し、当日の組み立てを再度検討する。							
	実施内容 新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を知り、その良さを発掘・再認識する機会となることを目的とし、地域をあげてお祝いする。	【成果と課題】 地域学習では、中学校の授業のときに散策して以来の天龍峡を二十歳になって久しぶりに再度散策することで、改めて天龍峡の良さを感じるとともに、地元をよりよくするために情熱を持って活動している地域の大人がいることに触れる機会となった。一方で、式典の延期をうけ、新成人の式典へのモチベーションが下がってしまっていた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 R3年度の成人式に向けて実行委員のモチベーションを高める働きかけをしていく。成人式が楽しみになるように実行委員会を継続し、当日の組み立てを再度検討する。							

三穂公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級		市・地	7	82	33	33	実施内容参照	三穂公民館ほか
学級・講座	0～3歳児とその親を対象に、子育てについての学習、遊びの機会を提供するほか、参加者同士の交流の場とする 【成果と課題】 母親同士の情報交換の場になりつつあるが、参加者への意識付けが必要。参加者と話す中で、父親にも同じような学級があると良いという声もあるため、父親へのアプローチを検討していく必要がある。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍で、子どもと一緒に過ごす時間が多い分、保護者が子育てに疲弊しているような雰囲気があり、保護者が少し休めるような時間を取り入れたい。 また、父親向けの回も内容から検討していきたい。	市・地	継続	7	82	33	33		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高齢者学級		市・地	2	32	32	1,370	12月19日、12月21日	三穂公民館・三穂保育園
学級・講座	高齢者と保育園児、小学生、若者を対象に、学習と交流の機会の提供、生きがいづくりや知恵、技術を地域の中で活かしていく場とする 自分たちの知恵や技術を子どもたちに伝えようと2回実施。 12/19 正月飾りを作ろう(子ども育成委員会と共催) 12/21 おやす作り(保育園と共催)	市・地	継続	2	32	32	1,370	12月19日、12月21日	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	三穂お試し駄菓子屋		地区費	1	55	55	1,370	9月20日	三穂地区お下屋敷
学級・講座	三穂地区の小中学生を対象に、コロナ禍で制限された学習の機会を与え、ともに、コミュニケーション能力の醸成を図る 保護者有志と協働で実施。地区内のコミュニティスペースで、車に駄菓子を陳列し販売した。 レジ係や店員は小中学生にお願いし、お釣りの計算やお客さんへの対応などを通して算数やコミュニケーション能力を醸成した。	地区費	新規	1	55	55	1,370	9月20日	
学級・講座	【成果と課題】 開催後、保護者有志から引き続き行いたいとの話があり、今後は保護者有志による運営となった。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度以降は保護者有志による運営となった。公民館としても協力できる部分は協力しながら、継続して運営ができていくようにサポートしていく。								

三穂公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサートin三穂	市・地	継続	1	4	-	1,370	7月23日(中止)	三穂公民館
	目的 地区住民を対象に 本物の音楽にふれ ることで、音楽を身 近に感じ、芸術文化 に対する興味関心 を高める機会とする	コロナ禍により、演奏家が都市圏より来られなくなり、中止。 【検討過程】 4/10 文化委員会役員会にて協議							
	実施内容	【成果と課題】 地区の中で楽しみにしていた方もおり、中止が残念という声が聞こえた。役員会でも来年度も開催を計画する事で、地区住民が文化活動に意欲的になるのではないかとという意見もあった。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 より多くの住民が音楽に触れられるように、会場の検討や工夫を行い来年度も開催する予定で計画を立てていく。							
文化事業	三穂地区3会場での地区公演	市・地	継続	1	15	-	1,370	8月6日～8月10日(中止)	開催会場 三穂公民館ほか
	目的 地区住民を対象に いい人形劇フェス タをみる・演じる・さ さえることを通じて 人形劇文化や地域 文化への理解を高 める機会とする	三穂地区3会場での地区公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討過程】 4/10 文化委員会役員会にて協議							
	実施内容	【成果と課題】 会場を屋外で行うなどの感染症対策を考えながら、準備を進めてきた。地区内でも人形劇を楽しむにしていた親子もあり、改めて地区公演の良さを運営する公民館委員の存在などを地域で再認識することができた。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を行った上で、公演ができる様に、地区実行委員と協議しながら準備を進めていく。							
文化事業	文化セミナー	地区費	継続	1	15	-	1,370	中止	開催会場 -
	目的 地区住民を対象に、 地域に関連した話 題を学び、知り、関 心を高めてもらう機 会とする。	年1回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討過程】 4/10 文化委員会役員会にて協議							
	実施内容	【成果と課題】 毎年、文化委員会で開催して、地域の歴史や文化を学ぶために行っている。今年度はコロナ禍で中止となったが、協議の際に話題のあった地域の歴史や文化に詳しい地域の方から館報へ寄稿いただくことで、誌面上で行う事になった。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 誌面上で行われることになったものを文化委員会でも話題にし、もっと気になるところや知りたいところを話し合うことで内容を検討していきたい。							

三穂公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふれあい夏祭り	地区費	継続	1	15	-	1,370	8月9日(中止)	三穂公民館周辺
	地区住民を対象に、地域の連帯意識を高め、住民同士の交流を図る	【成果と課題】 感染症対策のしながらの開催を計画していたが、中止となった。来年度以降も感染症対策をしての開催を計画していくが、飲食物の提供や参加者が密にならないような運営について検討していく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を行った上で、地域住民同士の交流が図れるような運営ができる様に、運営方法などを協議しながら準備を進めていく。							
	実施内容								
区分	三穂文化祭	地区費	継続	3	45	-	1,370	2月7日(中止)	三穂公民館
文化事業	地区住民を対象に、地域の連帯意識を高め、住民同士の交流を図る	【成果と課題】 地区の行事の多くが中止となっている中で、文化祭だけは何とかが行えないかと文化委員会や文化祭実行委員会でも協議を進めてきた。日頃の活動の発表を楽しみにしている団体の姿やそれを何とか形に出来ないかと考えた文化委員会の姿が見え、地域の連帯意識を高める事にはつながった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 感染症対策を行った上で、各種団体による成果発表を多くの地域住民が安心して見に来られるような運営や開催方法について協議しながら来年度に向けて準備していきたい。							
	実施内容								
	目的								
区分	三穂地区打ち上げ花火	地区費	新規	1	15	-	1,370	8月9日	三穂地区2カ所
文化事業	地区住民を対象に、コロナ禍でも家族との繋がりを意識し、地域での思い出を作り、地域への愛着を高める機会とする	【成果と課題】 ふれあい夏祭りが中止となり、地域で子ども達が家族との思い出を作る機会が少なくなってしまうという声から実施。 当日は多くの地域住民が花火を見てくれ、家族の思い出になったという声も聞えた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度は夏祭りを行う予定で準備を進めており、代替事業となった場合は花火ではないものを行えないか検討中。							
	実施内容								
	目的								

三穂公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとめぐり三穂		市・地	2	23	-	1,370	10月17日(中止)	三穂地区
	実施内容		【成果と課題】 3者の打合せの中で、来年度は公民館が主管となる事が正式に決まったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中止となった。						
	目的		住民、小学生を対象に、三穂の歴史や文化、自然を学ぶことで地域を知り、愛する心を醸成するとともに、ウォーキングによる健康増進の機会とする						
評価								【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 今まであやふやだったそれぞれの役割や子ども達につけさせたい力などを3者で話し合いながら、内容を組み立てていきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会	地区費	継続	1	16	-	1,370	-	三穂小学校体育館
	実施内容	【成果と課題】 体育委員会で協議し、人と人との密な状態であることから今回は中止となった。							
	目的	地区住民を対象に、ワンバウンドふらば～るバレーを通じ、運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る							
評価								【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 地区内でもワンバウンドふらば～る大会が浸透しており、楽しみにしていた住民もいた。来年度は他のニュースポーツも体験できるような1日として、地区住民が多くのニュースポーツに触れられる機会となるように検討していく。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	お盆ソフトボール大会	地区費	継続	1	16	-	1,370	8月15日(中止)	三日市場運動公園
	実施内容	【成果と課題】 体育委員会で協議したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って中止。							
	目的	地区住民や帰省者を対象に、ソフトボールを通じ運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の交流を図る							
評価								【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 ソフトボールという競技だと参加者が集まりにくく、けがの可能性もあるため、競技を見直し、より多くの地区住民が参加できるように検討していく。	

三穂公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	三穂市民運動会	地区費	継続	2	26	-	1,370	10月11日(中止)	三穂小学校校庭
体 育 事 業	目 的	地区住民を対象に地域の運営意識を養うと共に健康への感心を高め、住民相互の親睦を図る							
	実 施 内 容	体育委員会、まちづくり委員会で協議したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って中止。 【成果と課題】 地区住民が一堂に会する貴重な機会とし、開催に向け検討した。実施については体育委員会のみならずまちづくり委員会にも協力してもらいながら準備を行うため、体育委員会だけで判断はせずにまちづくり委員会とも一緒に協議を行った。今年度は、コロナ禍でもできる運動会のあり方を検討する年として、行わない判断となった。組合員数の減少により、組合によっては参加できない競技がある課題が見えてきた。 【次年度の方向性を取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 組合対抗などの競技で組合員数の差によって参加できない競技が無いように、競技の見直しを行っていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ニュースポーツ大会	地区費	継続	1	16	-	1,370	-	三穂小学校体育館
体 育 事 業	目 的	地区住民を対象にニュースポーツを通じて運動不足解消、身体を動かすことの楽しさを実感してもらい、住民同士の親睦、交流を図る							
	実 施 内 容	体育委員会で協議したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って中止。 【成果と課題】 ニュースポーツを行い、地区民の運動不足解消や新しい運動に触れてもらえる様に実施している。今年度は囲碁ボールを行う予定であったが、中止となった。 【次年度の方向性を取り組み】 ☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 お盆ソフトボール大会やワンバウンドふらば～るバレー大会などの事業があり、ニュースポーツを多く体験できる事業を1つ作るよう検討している。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	体育施設整備作業	地区費	継続	1	16	-	23	-	三穂小学校体育館
体 育 事 業	目 的	地区内の体育関係施設を対象に、整備、維持管理を行い体育振興につなげる							
	実 施 内 容	体育委員会で協議したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って中止。 【成果と課題】 今年度は業者の手によってワックスがけが行われ、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する目的で中止とした。 【次年度の方向性を取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 自分たちが使用する体育館を、自分たちの手で整備することで、施設をきれいに使用しようという気持ちを育てるため継続して計画していく。							

三穂公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報「みほ」の発行	地区費	継続	24	192	8	1,370	通年	三穂地区
広報事業	目的	2カ月に1号発行。発行部数500部 267号(5月31日)、268号(7月31日)、269号(9月30日)、270号(11月30日)、 271号(1月31日)、272号(3月31日) 運動会や地区で盛んだったスポーツなど今までの館報を委員が読み返し、歴史や当時の想いを掲載した。過去の写真も掲載するにあたって、写真から歴史が分かる様にカラーで発行した。							
	実施内容	【成果と課題】 コロナ禍で事業が無く、誌面を作成するのに苦労していたが、過去の館報を読み返し記事にするという新しい動きが出来た。楽しく記事作りができ、また、せつかなカラーで出したという館報への想いも高まった。 【次年度の方向性との取り組み】 ☒拡充 ☒現状維持 ☐縮小 今年度と同じく2カ月に1回の発行予定。コロナ禍であるが、読者が地域に関心を向けられるような館報の発行を目指したい。							
区分	新春秋談会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		地区費	継続	1	8	-	1,370	1月10日(中止)	三穂公民館
広報事業	目的	広報委員会で協議したが、中止となった。 【成果と課題】 毎年、幅広い年齢層の方をお呼びし、それぞれの考えなどを聞き合い、自由に話す場として行っていた。 参加者が年々減少しているため、より多くの参加者が集まるように検討していく必要がある。 【次年度の方向性との取り組み】 ☒拡充 ☒現状維持 ☐縮小 対象者を幅広く募り、より多くの方が自由に地域への想いなどを話し合えるように内容を検討していく。							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ぽっとけない茶習会	地区費	継続	1	15	-	1,370	中止	三穂公民館ほか
女性委員会	目的	年3回の実施を予定していたが、女性委員会で協議し中止。 【成果と課題】 女性委員会で協議したが、コロナ禍であり、女性という立場からもしコロナに感染しまったらという不安があり、中止となった。 しかし、コロナ禍ということで日々の生活の悩みや困りごとを聞き合う機会となった。 【次年度の方向性との取り組み】 ☒拡充 ☒現状維持 ☐縮小 まずは、コロナ禍で何に困っているのかを委員同士で共有し、そこから見えてくるものを解決できる内容となるように委員会での話し合う時間を大切に組み立てていく。							
	実施内容								

三穂公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	女性交流スポーツ大会	地区費	継続	1	15	-	685	-	三穂小学校体育館
女性委員会	目的 三穂地区の女性を対象に女性同士の交流を深め、組合内、他の組合との親睦を図る 実施内容	女性委員会が協議したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って中止。 【成果と課題】 女性でも楽しめるスポーツとして、地区内の女性にも浸透している。体育委員会で行われる大会とは異なり、女性のみの大会という事で、参加者も参加しやすいとの事。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 女性でも楽しめるスポーツでもあり、ほどよい運動量であることから継続して取り組んでいく							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ)	市・地	継続	20	180	9	1,370	実施内容参照	三穂公民館
その他	目的 地区住民を対象に、伊豆木人形の保存、継承を図るとともに、地域の伝統文化への理解を高める 実施内容	いいだ人形劇フェスタ、三穂地区成人式、三穂地区文化祭で公演を行う予定で練習を行った。発表の機会はコロナ禍で中止となってしまったが、練習を重ねる事で上達し、クラブ員のやる気につながったと思う。 今年度、新たに小学生が加入し、人数の不足が解消された。 練習日 6/24 7/8 7/22 8/26 9/9 9/30 10/14 10/28 11/18 11/25 【成果と課題】 今年度は発表の機会がなく、クラブ員、指導者共にさみしい思いをした。練習の後になるべくクラブ員と話すことで積極的に参加してもらう事ができた。 3人遣いの人形劇の練習を通して、集合力や1つの動作を行うために周りとの協力の大切さを身に着ける機会となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 他の小学生にも三穂地区に伝わる伝統をまずは知ってもらえるように、小学校での体験会などの興味を持ってもらえるような仕掛けを行う。 クラブ員が小学生や中学生なので、練習に積極的に参加してもらえるように取り組む							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	三穂地区成人式	地区費	継続	1	31	-	10	1月10日(延期)	三穂小学校体育館
その他	目的 新成人を対象に、成人としての自覚と責任を自覚する機会とするとともに、郷土への愛着を持ち、地域への関心を高める機会とする 実施内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和3年8月以降に延期。 新成人実行委員会によって地域学習として以下の事を行った。 ・子供のころにお世話になった地域の人の話を聞こう ・地域への恩返しをしてみよう(駐車場のライン引き) 会議開催日 10/10 10/24 11/14 11/29 【成果と課題】 会場の変更や来賓の見直しなどの感染症対策を検討し、実施に向けて準備していた。延期が決定し、新成人たちの気持ちが落ちているが、引き続き新成人と関わっていくことで、より良い成人式となるようにしたい。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 延期先の成人式に向けて、新成人や地域の方たちが関わり合いながら、モチベーションを高めていくように取り組んでいく。							

山本公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級(おたまっこ学級)		事業区分 市費	継続	12	186	21	実施内容参照	山本公民館ほか
学級・講座	0～3歳児とその親を対象に①子育てに必要な知識の習得、②親子のふれあい・運動 ③母親同士の交流・仲間づくりを図る		【成果と課題】 〇講師：篠田恵子さん(保育士) 〇内容及び開催日：①開講式6/24 ②手形足型を取るう7/8(中止) ③散歩・栄養相談7/22 ④図書館探索8/26(中止) ⑤ぶどう狩り9/9(中止) ⑥散歩・栄養相談9/23 ⑦消防署見学10/14 ⑧運動会10/28 ⑨動物園見学11/11 ⑩散歩・栄養相談11/25 ⑪クリスマスエス工作12/9 ⑫クリスマス会12/15 ⑬顔分ごっこ1/27(中止) ⑭リトミック2/10(中止) ⑮手形足型を取ろう2/24 ⑯リトミック3/3 ⑰開校式3/10						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	育MIEN学級		市費	新規	2	15	11	実施内容参照	山本公民館ほか
学級・講座	0～3歳児とその親を対象に①子育てに必要な知識の習得、②父子のふれあい・運動、③父親同士の交流・仲間づくり④父親の育児参加や育児への苦手意識の克服を図る		〇内容…基本的に乳幼児学級(おたまっこ学級)と同じ。普段子育てになかなか参加できない父親向けの内容にしている。 〇開催日 ①11/7…絵本読み聞かせ、自己紹介、情報交換、JAPパークへ買い物、散歩 ②3/7…絵本読み聞かせ、自己紹介、情報交換、リズム遊び						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ニッ山国際サロン		市・地	継続	7	46	12	実施内容参照	ニッ山市宮住宅集会所
学級・講座	地区在住外国人を対象に日本の文化や生活について学習したり、生活するうえでの悩みや不安を話ができる場を作ることで国籍関係なく地域住民がお互い尊重しあえるように開催する。		〇協力：NOP(法人共に歩む会(多田清司さん、半崎ひろみさん)) 〇内容及び開催日 ①茶話会6/24 ②餃子作り・軽スポーツ7/24 ③羽根つ子ゲーム・茶話会8/28 ④囲碁ボール・茶話会9/25 ⑤羽根つ子ゲーム・お弁当10/23 ⑥囲碁ボール・茶話会11/27 ⑦クリスマス会12/25 ⑧囲碁ボール・茶話会1/22(中止) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月以降は開催中止。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	満蒙開拓平和記念館見学&マレットゴルフ大会		地区費	新規	1	20	—	11月22日	満蒙開拓平和記念館ほか
文化事業	公民館委員を対象に、分館での事業の参考にするため、近隣にある施設の見学・体験会を開催する。		〇主催：公民館文化委員会 〇内容 ・満蒙開拓平和記念館見学 講話、DVD鑑賞 ・マレットゴルフ大会(今年度ホール増設工事完了)						

山本公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	国際ふれあい交流会		市・地	1	21	—	4,668	2月7日	山本公民館
文化事業	実施内容	【成果と課題】 例年、参加者の多くが料理交流を楽しみにしており、料理交流が難しい状況で、内容の検討に苦慮したが、結果的に、どのようなことをすれば交流や相互理解が深まるのかを考える良い機会となった。一方で、関係者以外の参加者が少ないという課題も上がった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 例年、参加いただいた方には好評な事業であり、外国出身者が多く暮らす山本地区にとって非常に重要な事業である。今後、さらに多文化交流を深めていくために、一般住民の参加者も増やす方法などを検討していきたい。							
	目的	○主催：公民館文化委員会、山本地区婦人会、外国出身代表者 ○内容 例年、各国の料理交流を実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度は料理交流をやめ、交流の内容を手芸(水引きなど)や伝統の遊びなどの紹介・体験にする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討経過】 12/9 文化委員会							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	花の木オーブンスクール		市・地	1	15	—	105	実施内容参照	山本小学校
	実施内容	・例年、花の木オーブンスクールの「国際交流」の講座を担当し、地区内の講師の方と小学生が知りたい、学びたいことを実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を伺いながら開催を検討していたが、具体的な内容を組み立てる前に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 ○開催日：①はじめの会5/29(中止) ②7/3(中止) ③10/2(中止) ④10/30(中止) ⑤11/13(中止) ⑥花の本発表会12/23(中止) ○対象：山本小学校児童4,5,6年生							
その他	実施内容	地区在住外国出身者及び地域住民を対象に、誰もが安心して地域の中で暮らしていけるよう、に交流を通じて相互理解を図ることを図る。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 講座に関わる地域の大人側への説明や投げかけなどを工夫していきたい。また、児童は勿論、関わった大人の様子にも目を向けながら取り組みたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	飯田人形劇フェスタ2020山本地区公演		地区費	1	18	—	4,668	8月6日～8月10日(中止)	山本公民館
	実施内容	・山本地区内2会場(3公演)での地区公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討過程】 4/2 文化委員会							
文化事業	実施内容	一般を対象に、①子どもの想像力や感受性を磨く、②大人が実行委員となつて支え手にまわり、観劇の環境づくりに携わることを図る。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来場した方が安心・安全に鑑賞できる人形劇フェスタの開催を目指すとともに、コロナ禍でも楽しめるような企画も検討していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	キッズ山本コミュニティスクール音楽フェスタ		市・地	1	16	—	4,668	7月11日(中止)	山本小学校体育館
	実施内容	例年、キッズ山本コミュニティスクールの委員と共催で、小学校児童や地区住民を対象に、山本地区内やゆかりのある団体による音楽フェスタを開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【成果と課題】 子どもの地域への愛着を育むこと、地域住民に学校(子ども)への関心を深めてもらうなどの狙いがあるが、事業の規模や負担も大きく、PTA三役も毎年変わってしまつたため、趣旨や思いをつないでいくのが難しいという課題がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 上記の課題や、コロナ禍で屋内に人が密集するイベントの開催が難しい状況なども踏まえ、事業の内容や開催方法の検討も行っていきたい。							

山本公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	山本地区文化祭		地区費	継続	1	18	—	4,668	11月15日(中止)	山本公民館
	実施内容	・例年、文化サークル等の発表や展示を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討経過】 8/4 文化委員会						【成果と課題】 具体的な感染防止対策を検討する前に中止が決定したため、感染防止対策について十分な議論ができていない。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 感染防止対策について、十分に議論し、来場した方が安心・安全に参加できる文化祭の開催を目指すとともに、コロナ禍でも楽しめるような企画も検討していきたい。		
	目的	一般を対象に、①各種団体、サークル、個人の活動発表の場の提供、②発表者および観客との情報交流を図る。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	高齢者学級	市費	継続	0	0	—	4,668	1月22日(中止)	山本老人福祉センター	
	実施内容	・NPO法人よつばと連携しながら、山本老人福祉センターに集まる高齢者を対象に学級を企画・運営している。例年、座学だけでなく、夏祭りや文化祭にも招待し、踊りや手芸品を披露いただいている。 ・平成30年度に実施した当学級では、宮下康広氏を講師に招き、笑いがら頭や体を動かすことの大切さを伝えていただき、参加者からも好評であったため、今年度も講師をお願いしたいと、NPO法人よつばの代表から依頼があり、宮下氏へ講師を依頼していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。					【成果と課題】 老人福祉センターでは、通所者の皆さんが元気に笑ったり、体を動かしており、そこへ通う方々の生きがいといえる場所である。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により施設自体も休館するなどしたため、通所する方々の生きがいや外へ出る意欲が失われているか心配である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 例年、参加者から好評であり、今後も継続していきたい。高齢化は地域全体が抱える課題なので、今後は、よつば以外にも、ふれあいサロンなどの連携もはかり、地域の高齢者の居場所や生きがいを創出する場や機会を増やしていきたい。			
	目的	高齢者を対象に、①高齢者の学びの意欲の引き出し、②受講者同士の交流を図る								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	マンズクッキング	市費	継続	3	21	15	4,668	実施内容参照	山本公民館	
	実施内容	○内容及び開催日 ①ハンバーグ作り7/18 ②パエリア作り11/21 ③キムチ作り2/20(延期) ※③については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催見合わせ。					【成果と課題】 令和元年度から、参加者が参加しやすい土曜日の夕方に開催し、徐々に参加者が定着してきている。今年度は、新規の参加者も加わり、中高年層の交流の場としての需要もあると感じている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後は、料理教室を通じた仲間づくりからさらに発展させ、参加者の興味のある分野などに焦点をあてた講座などを、参加者と一緒に企画していきたい。			
	目的	男性を対象に、①家庭料理をすることの楽しさを知ってもらうこと、②日常の健康への意識を高めてもらうことを図る								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
体育事業	分館対抗スポーツ大会	地区費	継続	1	20	—	4,668	5月31日(中止)	実施内容参照	
	実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ○種目：テニスボール ○会場：杵原グラウンド、山本小学校グラウンド 【検討経過】 4/3 体育委員会					【成果と課題】 例年、ソフトバレーと野球を行っていたが、ソフトバレーは接触が多いため感染防止対策のため競技から外した。野球についても、以前から参加者の高齢化や固定化が反省に上がっていたため、今年度は、女性や子どもがより参加しやすいよう「ティーボール」を種目とすることとした。中止となったが、コロナ禍をきっかけに、種目の見直しを行うことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 分館対抗で開催する意味などを考えながら、みんなが楽しく参加できる開催方法や種目を検討していきたい。			
	目的	分館を対象に、①分館事業の一環として取り入れ、②地区住民の体力増進と交流機会の提供を図る。								

山本公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	山本地区市民大運動会	地区費	継続	2	40	—	4,668	10月25日(中止)	杵原グラウンド
体育事業	目的 一般、分館を対象に、①地区全体から人が集まることによる一体感や活力の認識、②地区住民の体力増進と交流機会の提供を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 7/10 体育委員会 … 協議するも結論出ず。地区内へアンケートを実施。 7/31 体育委員会 … アンケート結果などを基に話し合いを行い、中止決定。							
	実施内容	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 運動会そのものについての検討を継続しながら、コロナ禍でも安心・安全に住民の方が交流できる機会の提供を行いたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	軽スポーツ体験会	地区費	継続	2	19	—	20	11月8日	山本小学校体育館
	目的 体育委員、分館長、分館主事を対象に、年明けに開催する軽スポーツフェスティバルに向け、新種目の検討やルールの確認のため実施する。	【成果と課題】 運動会中止を受け、代替事業を検討するなかで、年明けの軽スポーツフェスティバルに向けて取り組みもうということを実施した。新たな種目を知ることができたという成果もあるが、本事業を通して役員の皆さんに前向きな気持ちを持ってもらうことができた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 今年度は、運動会の代替として開催したため、来年度の開催は予定していないが、事業前にルールなどの確認は必要なので、状況に応じて、同様の体験会を開催する可能性もある。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	軽スポーツフェスティバル	地区費	継続	1	20	—	4,668	1月31日(中止)	実施内容参照
	目的 一般、分館を対象に、①軽スポーツの普及、②冬季における運動機会の提供を図る。	【成果と課題】 中止となってしまったが、開催に向けて前向きに取り組むことができた。種目についても、バリンピック正式種目であるボッチャを採用し、事前の体験会を通じて、障害者スポーツへの関心もわずかながら深まった。感染防止対策についても、軍手を着用し、それを参加賞として渡すといったアイデアも生まれた。一方、近年この事業への参加チーム数は増加傾向であったが、参加受付を開始してもなかなか申込が増えなかった。コロナ禍ということもあり、仕方ないと思う反面、コロナ収束後に住民の方の地域行事への参加のモチベーションが回復するか不安を感じる。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍でも安心・安全に住民の方が交流できる機会の提供を目指したい。							

山本公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	山本夏祭り	地区費	継続	1	10	—	4,668	7月中旬(中止)	杵原グラウンド
企画事業	一般を対象に、①地区全体から人が集まることによる一体感や活力の認識、②獅子舞や山本音頭など地域芸能の継承を図る。 実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 3/26 夏祭り準備会 4/26 夏祭り準備会(中止)	【成果と課題】 例年、公民館が中心となって各種団体に呼びかけを行ってきたが、「誰のため」「何のため」に開催するかを改めて考え、山本地域づくり員会の組織の見直しに伴い、地域づくり委員会の地域振興部会の主管となり、開催について検討をしていくこととなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 公民館の主管では無くなるが、地域をあげて開催するお祭りなので、開催する場合には協力をしていきたい。	評価					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	武田信玄狼煙リレー	地区費	継続	1	10	10	4,668	8月22日	城山公園
企画事業	一般を対象に、①城山ほか地域の歴史学習、②飯田下伊那の一体感の引き出しを図る。 実施内容	○主催：公民館企画委員会 ○内容：「武田信玄狼煙リレー」に参加 ※感染防止対策のため、公民館企画委員のみで実施	【成果と課題】 現状は、狼煙を上げるのみの事業であり、地区住民にとつての学び、交流にはつなげられていないため、開催方法等について検討が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 まずは、役員の間で事前に学習会などを行い、事業の在り方や意義について検討していきたい。	評価					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伊賀良地区との公民館委員交流会	市・地	継続	1	3	—	74	実施内容参照	実施内容参照
企画事業	公民館委員を対象に、①ニュースポーツの普及・浸透、②他地区との交流、を目的に参加する。 実施内容	例年9月頃に開催しており、スポーツ推進委員が中心となり、公民館委員を対象に参加者を募集し、両地区住民同士で交流をしているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討経過】 ・7/1 スポーツ推進委員と打ち合わせ … 年内の開催は厳しいと判断以降、新型コロナウイルス感染症の感染状況を伺っていたが、今年度の開催は断念。	【成果と課題】 両地区の公民館委員が交流できる貴重な機会であり、お互いの地区事業の参考にもなっている。新型コロナウイルス感染症がいつ収束するか分らない中、こうした交流の機会を確保するため、コロナ禍でも開催できる内容や運営方法を検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍でも開催できる内容や運営方法を検討していく。	評価					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	山本地区区成人式	他会計	継続	6	51	13	70	1月10日(延期)	山本公民館
企画事業	新成人を対象に、①実行委員の活動を通して地域に愛着と誇りを持つことを図る 実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月以降に開催延期。 【検討経過】 ・10/7 成人式実行委員会 … 内容検討 ・10/20 成人式実行委員会 … 地区役員との顔合わせ、内容検討 ・10/28 成人式実行委員会 … 記念品検討 ・11/12 成人式実行委員会 … 記念品検討 ・11/14 地域学習 … 山本の食材で0円食堂！？ ・12/17 成人式実行委員会 … 延期決定の連絡、延期に向けての取り組み検討	【成果と課題】 成人式は延期となってしまったが、地域学習では、地域の農畜産業に携わる方にインタビューを行い、地域の産業を知ることができた。また、地元の食材の美味しさや新成人に知ってもらうため、インタビューした農家の方から食材も提供していただいた。地域を知る良い機会になり、地域の方の温かさにも触れることのできる企画でもあった。延期までに、新成人や地域のモチベーションをどう上げていくかが課題である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 誰もが安心・安全に参加できる成人式を目指して、感染防止対策等を検討していくとともに、成人式に向けてのモチベーションを上げていく取り組みも検討したい。	評価					

山本公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	山本学講座		市・地 継続	2	23	20	4,668	実施内容参照	杵原学校
	実施内容	・山本の住民に愛着のある、杵原学校を会場に、地元の方が話し手となり、地区の歴史や文化を学ぶ講座を開催する。 ○内容及び開催日 ①高須藩・竹佐陣屋、近藤領・山本陣屋 について12/12 ②山本小学校について2/13(中止) 講師3名と打ち合わせを行うも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。							
	目的	一般を対象に、①地域の歴史や文化等の魅力再発見、②住民の地域に対する誇りや愛着心の引き出しを図る。							
学級・講座	実施内容	【成果と課題】 昨年に比べ、多くの方に参加していただいた。山本の地域の歴史や文化を学ぶ貴重な機会であり継続していきたい。一方で、参加者の大半は、共催している杵原学校応援団の関係者で、一般住民の参加者は少ない。 【次年度の方向性】 ①拡充 ②現状維持 ③縮小 「どんな方を対象にするか」「どんな内容にするか」を講師と話し合いを行い、今後は、新たに山本に住むようになった方や、山本の歴史や文化をあまり知らない方向けの講座にしていこうとを確認している。また、年5回程度の講座を通じて、歴史や文化、自然などの幅広い知識を身に付けることができるような講座にしたい。							
文化事業	実施内容	【成果と課題】 山本の文化や自然に触れることができ、毎年参加者の多い事業であるため、感染防止対策を講じた上での開催を目指したい。 【次年度の方向性】 ①拡充 ②現状維持 ③縮小 事前学習の機会として、山本学講座との連携も検討していきたい。また、ウォーキングには「健康」という側面もあるので、地域づくり委員会の健康福祉部会との共催なども視野に入れていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ウォーキングで山本地域を学ぼう！！	地区費	継続	1	18	—	4,668	6月21日	実施内容参照
	実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ○コース：米川大滝 【検討経過】 ・4/2 文化委員会 ・5/18 文化委員会 … 下見を予定していたが中止							
	目的	一般を対象にウォーキングに地域の歴史や自然を学ぶといった要素を取り入れ、地域住民が地域資源の大切さに気付いてもらうことを図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ふるさとクッキング	市・地	継続	1	5	5	4,668	11月1日	山本公民館
	実施内容	○講師：食改山本支部のみなさん ○内容：郷土料理（地元野菜を使ったおやき作り）							
	目的	一般を対象に飯田下伊那に伝わる郷土料理教室を行うことで地域の先人の想いに触れ、愛着が持てるような講座として開催する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	体力促進会	地区費	継続	1	20	—	4,668	7月中旬(中止)	杵原多目的ホール
	実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 4/3 体育委員会							
	目的	一般を対象に健康で明るく元気に生きていくために体力測定の手法を知り、今後の生活の中で効果的に活用していくことを図る。							
体育事業	実施内容	【次年度の方向性】 ①拡充 ②現状維持 ③縮小 以前から上がっている反省点を見直すとともに、地域住民の健康のためにどんな取り組みが必要なのかを、健康福祉部会との連携を図るなどしながら検討していきたい。							

山本公民館の事業報告

No.7

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	杵原広場整備作業		地区費	継続	2	182	121	4,668	実施内容参照	杵原学校周辺
	目的	各組合単位を対象に、山本地区の象徴である杵原広場の整備を行い、景観を保全するとともに愛着を深める。	〇日時：①5/10(中止) ②7/19 ③10/4 〇内容：杵原学校校舎周辺の清掃、草刈り	【成果と課題】 数年前から、各組合への依頼するように変更したが、地区住民の方にも理解を頂いており、多くの方に清掃に参加いただいている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 山本地区づくり委員会の組織見直しに伴い、来年度より地域振興部会へ主管が移行するが、公民館として協力できることがあれば協力していきたい。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	山本公民館清掃		地区費	継続	3	110	49	4,668	実施内容参照	山本公民館
	目的	山本地区の女団連が中心となり日頃公民館を利用する団体が定期的に公民館の清掃を行い、地域住民のための公民館であるという意識を高める。	対象：公民館施設利用団体 開催日：年5回 内容：公民館施設内の清掃 また年1回里山整備に公民館に周囲の植栽の手入れ 1回目5/10(中止) 2回目7/19 3回目9/6 4回目11/8 5回目2/14(中止)	【成果と課題】 平成30年度まで、地区の女団連の皆さんが中心となって指揮してくれていたが、負担の声から昨年度から公民館から各団体へ清掃を依頼する形式に変更した。特に大きな混乱もなく、参加いただいている団体の皆さんも「自分たちが使う公民館だから自分たちで掃除しよう」という意識をもって協力いただいている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 公民館を大切に、愛着を持ってもらうために重要な取り組みであるため、今後も継続していく。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子de自然体験		市・地	継続	1	31	31	610	8月8日、8月9日	杵原学校
	目的	保育園児・小学生の親子を対象に、地域の自然を体験してもらい、環境への関心を深めるとともに、親子の絆、地域への愛着を深めてもらう。	〇協力：山本地区づくり委員会 環境緑化部会、育成部会 〇対象：保育園児・小学校の親子 〇内容：ペットボトルラップを使ったカブトムシ捕り 飯田御月見天文同好会を講師に招き、天体望遠鏡での星空観察	【成果と課題】 当日、カブトムシを捕ることはできなかったが、昔との環境の変化や自然の厳しさを学ぶ機会となった。今回は、主事が独学で調べた方法で仕掛けを作ったが、ペットボトルの仕掛けづくりは子どもには難しいという声もあった。星空観察はとても好評で、特に大人が喜んでおり、親子で自然に触れてもらう良い機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 夏の地区行事が中止となったことに伴い開催した事業であったが、親子で参加でき、自然や地域の魅力に関心を持ってもらう良い機会になるので、次年度以降の開催も検討したい。親子deクッキングなどの事業との組み合わせも検討していきたい。						
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子deクッキング		市・地	継続	1	6	12	4,668	12月6日	山本公民館
	目的	小学生とその親または家族を対象に、①家族間の会話・ふれあい、②親から子への技術・知識の継承、②親の子に對する気づきを図る。	・親子を対象とした料理教室を実施する。 〇講師：食生活改善推進協議会山本支部 〇内容：クリスマスパンケーキ作り(持ち帰り)	【成果と課題】 毎年開催している講座であり、参加者には好評である。一方、参加者を募集しても申込みが少なく、料理教室単独での開催はあまり需要が無いのではないかと感じている。また、参加する保護者は全て母親であり、父親の参加は無い。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度以降は、単なる料理教室ではなく、今年度開催した「親子de自然体験」のような他事業と組み合わせさせて開催するなどしたい。また、父親も参加しやすい講座内容にしたい。						

伊賀良公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児0－1歳児学級	市・地	継続	26	360	90	300	通年	伊賀良公民館
学級・講座	【成果と課題】 歩行できるようになったら0歳児から1歳児へ学級を変更する方法から、1歳児を年齢で前半後半に分け学級を実施。当初、学年を分けたが0歳児学級対象者が早期から参加できたこと、動きに合った内容でできた。年度途中からは、今後の活動を考慮し学年での学級にできたことはよかった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 0歳児学級は10月から実施のところも多いが、早い時期から参加を希望される親子がいる場合は、状況に合わせたかたちでの学級を検討していきたい。	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	かさまつ大学	市・地	継続	5	130	48	14,350	通年	伊賀良公民館
学級・講座	中高年層を対象に、交流・学習の場の提供をし、今まで得てきた知識を相互に交換しあい、深め、家族や地域へ伝え広めながら自らの健康維持にも繋げる機会とする 【成果と課題】 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開講の時期が遅くなり、例年よりも開催回数が減少した。近年登録人数が減ってきてしまっているが、毎回の組合回覧や多様なジャンルの講座を開催したことにより、新たな参加者も加わり交流を深めながら進めることができた。参加者の意図を取り入れながら参加者のニーズにあった講座の開催やかさまつ大学の情報が届くように広報の方法も工夫していきたい。 かさまつの風は第16号となったが、寄稿者が決まってきたままでいるのが現状である。気軽に書いていただけるような声掛けが必要だと感じる。 受講生の中には光る知識や技術を持った方が多くいらっしゃる方で、相互に学び合う時間をさらに作っていただければと考える。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 来年度も多くの住民の皆さんに興味を持っていただけるよう、多様なジャンルの講座を検討し、参加者アンケートなどからもテーマを探っていただきたい。	評価							

伊賀良公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伊賀良を学ぼう ～歴史・文化・自然～	市・地	継続	3	160	42	14,350	9月18日、10月31日、1月12日	市内
	『伊賀良に前から住んでいた方も、新しく住み始めた方も、もっと伊賀良を知り、もっと伊賀良を好きになる』を合言葉に、活動を実施した。昨年度作成したふるさと学習副教材「伊賀良を学ぼう」を活用しながら講座を展開した。 ＜活動内容＞ 9月18日 中馬街道の歴史と地名Ⅱ山本～伊賀良～県 10月31日 水戸浪士の通った道(現地学習) 1月12日 伊賀良小学校4年生を対象とした校歌の授業								
学級・講座	伊賀良に住む人たちが、郷土に興味を持ち、愛着が増すことを目指す	実施内容							
	目的	実施内容	評価	-	-	-	14,350	通年(中止)	伊賀良公民館
	男性の料理教室								
学級・講座	成人男性を対象に、料理技術習得と食を見直すことを目指す	実施内容							
	目的	実施内容	評価	-	-	-	14,350	通年(中止)	伊賀良公民館
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 組合回覧等で呼びかけをして、参加者を募集。参加者の意見を取り入れ、次のメニューを決定する。 料理実習が実施できなかったため、広報いながら第81号にて「命は食にあり」というテーマで健康的な食生活を送るための記事を掲載した。また、自宅で簡単にできる料理のレシピを掲載した。 常任講師：伊賀良地区食生活改善推進協議会								
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調理実習ができなかったが、広報を活用し、啓発活動を行うことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 感染症対策をしつかりと行い、できることを検討していきたい。								
学級・講座	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座があまり実施できなかった。講座は実施できなかったが、受講生の有志で歴史研究所に足を運び、伊賀良地区の明治時代の地図を見学し、今後の講座の参考にした。次年度取り組みでいきたいことの意見を出し合うことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者からは現地を歩き、楽しみながら学習をしたいとの意見が多数寄せられている。次年度も座学と現地学習を組み合わせ実施していきたい。また伊賀良に関する書物の読書会をしたいとの要望もあるため、図書分館と連携しながら検討していきたい。								
	成果と課題 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座があまり実施できなかった。講座は実施できなかったが、受講生の有志で歴史研究所に足を運び、伊賀良地区の明治時代の地図を見学し、今後の講座の参考にした。次年度取り組みでいきたいことの意見を出し合うことができた。								
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020伊賀良地区公演	市・地	新規	3	50	-	14,350	8月6日～8月10日(中止)	伊賀良公民館
	地区内の5会場で上演を行い、「みる・演じる・支える」の視点からフェスタのまつ意味を考え、フェスタの盛り上げを目指す。	伊賀良地区内5会場での地区公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討過程】 4/6(月)、4/16(木)							
	目的	実施内容	評価	-	-	-	14,350	8月6日～8月10日(中止)	伊賀良公民館
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区実行委員、公民館役員と検討する中で、海外、日本全国から劇人が訪れるため、安心して観劇できる環境を整えることへの不安の声が多数であった。 【次年度への方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 感染症対策をしつかり行っただうえで、地区公演が運営できるように地区実行委員会の準備を進めていく。また、フェスタだけでなく人形劇に触れる機会をつくっていくことも検討する。								

伊賀良公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	「だっぴみだん」だもん」まじゅ&Keiが伊賀良のみんなに会いに来るよ	市・地	新規	3	80	65	14,350	11月21日	伊賀良公民館
文化事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響でお祭りや運動会などの催し物を縮小・自粛するという状況の中、伊賀良地区住民に夢と希望をあたえるため、人形劇を楽しむ機会とする。 実施内容	伊賀良地区の住民を対象に人形劇公演を楽しむ機会をつくった。文化部長、旭ヶ丘中学校生徒等のボランティアで運営し、コロナ対策を講じて実施した。 主催 2020☆伊賀良で人形劇を楽しむ隊 共催 伊賀良公民館 協賛 肉のいちのせ、酒のメガテン本店、(株)中村、エルボン飯店、沢村屋、小林建築板金、梅花園、学研北方教室、飯田造園、伊賀良郵便局、イーカンジ、伊賀良寄宿有志、しなの路 【打合せ】 10/2(水)、11/5(水) 量的成果 (項目名と数値) 【成果と課題】 久しぶりに声を出して笑った、とても楽しいひと時だった、コロナ対策もしっかりされ ていて安心だった等の意見を多数いただき、多くの親子に公演を楽しんでもらうことができた。企画段階では、このような社会状況のなかで公演を実施することに様々な意見があったが、発起人の想いと地区内企業の賛同によりコロナ対策を講じての実施が決まった。コロナ対策として事前に整理券、健康チェックシートの配布を郵送で行ったり、会場も整理券番号により全席指定、社会的距離の確保、当日受付用の座席も用意するなど工夫して実施した。換気、手指消毒も徹底して実施した。 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍での人形劇公演の参考となったため、来年度のフェスタにも活かしていきたい。また、フェスタ以外でも芸術に親しむ機会としてプロの公演を企画することを検討もしていきたい。							
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伊賀良地区成人式	地区費	継続	10	80	-	200	1月10日(中止)	シルクブラザ
文化事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月以降に延期。 新成人有志、分館長、文化部、広報部で実行委員会を組織して企画・運営している。今年度も実行委員会体制で以下の内容を実施した。 ・成人式実行委員会を開催し、成人式の企画、準備 ・新成人実行委員会による地域学習 三和観光農園でりんご狩りとアップルパイ作りを体験した。(10/19、11/1、11/15) 【実行委員会】 9/4 成人式の内容検討 9/24 地域学習について内容検討 10/15 成人式の内容検討 10/28 記念品検討 11/12 記念品検討 12/10 成人式実行委員会地区役員との顔合わせ 12/22 延期に向けての取り組み検討	【成果と課題】 新成人実行委員会と文化部を中心に成人式実施に向けて活動を行った。地域学習では、地元へ暮らしながらも、行く機会の少なかった三和観光農園に訪れ、地元のりんごや風景を楽しむとともに、コロナ禍でも工夫をしながら頑張っている地域の大人に触れる機会になった。地区としても、会場を伊賀良公民館からシルクブラザに変更し、コロナ対策も検討しながら開催に向けてしっかりと取り組むことができた。 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 令和3年8月以降に延期された成人式に向けて、新成人実行委員会、地区役員等のモチベーションが維持できるように、コロナ対策をしっかりと行い、成人式に関する画を充実したものにしていきたい。							
	目的	評価							

伊賀良公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	伊賀良地区文化祭			市・地	継続	6	450	350	14,350	11月15日	伊賀良公民館
	目的	地区住民を対象に、活動の成果発表の機会と地域の文化を学ぶことで、文化活動の推進を図る。							数量的成果 大変満足13、満足56、ふつつ28、不満1、非常に不満1 (項目名と数値) (回答数106)		
	実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ対策をして展示のみ実施した。また、例年は2日間の開催だが、1日のみとした。 特別企画「飯田市美術館出張展示」 各分館、社教団体、公民館の講座、まちづくり協議会の専門委員会等が日頃の活動内容を発表した。今年度は特別企画として飯田市美術館が「伊那谷の自然と文化」というテーマで出張展示を実施した。コロナ対策として、入場時の検温、健康チェックシートの記入、手指消毒を実施。館内も経路を定め、一方通行とし、スムーズに移動していただくように努めた。また、こまめに換気や手の触れる場所の消毒を実施した。 参加団体：14団体。						【成果と課題】 コロナ対策のため、今年度は展示のみ実施した。来場者からは、展示だけでも開催してくれてよかった、地域の方々の作品が見れてよかった、地域の自然や歴史についてもっと知りたい、感染予防への配慮がすばしかった、などの感想が寄せられた。一方で、コロナで仕方ないとはいえ、展示物が少なくてさびしい、例年通りの活動発表を期待する等の不満の声もあった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 次年度は、コロナの状況によるが例年通り音楽祭、催し物、展示を実施したい。また、展示のみとなった場合でも、2日間の開催であれば展示したいという団体もあったため参加者、来場者の意見を取り入れながら企画していきたい。			
区分	ふるさとゲームウォーキング ～中村の巻～		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 担当分館：中村分館（会場を交代して毎年実施している） 親子数組でチームを作り、コースを歩きながらその地域に関わるクイズを解いてゴールを目指す。文化部員及び分館役員が中心となり、コース作りを行う。 伊賀良小学校4年生の親子レクとして、保護者と協力して実施している。 【実行委員会】 4月10日（金）			市・地	継続	1	15	14,350	6月16日（中止）	伊賀良地区区内	
	目的	小学生親子や一般を対象に、地域の良さを歩きながら体験することで郷土を知る機会とし、地域をより好きになることを目指す							【成果と課題】 地域を知ることほもちろん、親子での貴重な交流の機会となっている。分館で主体的に準備し、文化部と連携して実施している。親子レクとしての参加者は多いが一般の参加は少数となっている。伊賀良を知る機会として、広く一般の人たちにも参加いただけるような工夫をしていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 感染症対策をしっかりと行った上で、参加人数にこだわらず、地域の魅力を再発見する機会として実施していきたい。		
	実施内容										
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
体育事業	分館対抗夏季スポーツ交流会			地区費	継続	1	15	-	14,350	6月28日（中止）	伊賀良小学校校庭他
	目的	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 種目：ペタンク（伊賀良小学校庭）、ワンバウンドふらばーる（伊賀良小体育館）							【成果と課題】 より気軽に参加していただけるように、昨年度まで実施していたティールをベタにクに変更した。また冬季スポーツ交流会で実施していたワンバウンドふらばーるバレーをケガが少なくなるように夏季スポーツ交流会で実施することとした。		
	実施内容	一般の方を対象に、スポーツを通じて親子や交流を目指す							【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 新型コロナウイルス感染症により残念ながら、中止となってしまったが、今後も住民の皆さんに楽しんで参加いただける交流会を企画していく。		

伊賀良公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体 育 事 業	伊賀良地区大運動会	地区費	継続	2	30	-	14,350	10月25日(中止)	伊賀良小学校校庭
	実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 伊賀良地区住民が一堂に会する貴重な機会として開催している。例年、中学校と連携し、中学生が企画した種目を1つ作り、実施している。 【検討経過】 6/2 体育部会 7/16 企画会議							
	目的	地区全域を対象に、一堂に会する機会を設け、交流を目指す							
評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、実施できそうな企画、運営方法を検討していく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体 育 事 業	山本地区との公民館委員交流会	市・地	継続	1	3	-	96	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容	例年9月頃に開催しており、スポーツ推進委員が中心となり、公民館委員を対象に参加者を募集し、両地区住民同士で交流をしているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討経過】 ・7/1 スポーツ推進委員と打ち合わせ … 年内の開催は厳しいと判断以降、新型コロナウイルス感染症の感染状況を伺っていたが、今年度の開催はできないと判断。							
	目的	公民館委員を対象に、①ニュースポーツの普及・浸透、②他地区との交流、を目的に参加する。							
評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 コロナ禍でも開催できる内容や運営方法を検討していく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体 育 事 業	冬季スポーツ交流会(伊賀良地区囲基ボール交流会)	地区費	継続	2	40	-	14,350	2月7日(中止)	伊賀良小学校体育館
	実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 今年度からワンバウンドふらばーハレーボールから囲基ボールに変更した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、分館対抗ではなく、有志の参加を募り、伊賀良地区囲基ボール交流会として企画した。 【検討経過】 11/4体育部会 12/3企画会議							
	目的	一般を対象に、スポーツを通じて、健康増進・地域住民の交流を目指す							
評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 住民の皆さんが気軽に参加でき、楽しめるスポーツ交流会を検討していく。								

伊賀良公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	広報いがら 発行	地区費	継続	24	250	21	14,350	通年	伊賀良公民館
	年間6回発行 第79号から第84号までを発行。 発行数：6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月) 発行部数：4,800部 地区外発送：20件 地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えしている。 あなたにタッチ、けやきのめ、我が家のアイドルの連載記事を継続している。 今年度は、新型コロナウイルス関連の記事、各種学級講座が中止になってい ることから、自宅にいながら地域のことを学ぶ一助となるよう誌上講座も企画 した。 ・誌上講座内容 第79号 南信州の獅子舞について 第80号 八月の空と「伝統的七夕」 第81号 古道・伊那街道について 第82号 大江礪舌の生き方を考える 第83号 伊賀良小学校創立150周年に寄せて。 ・Googleフォームを活用し、毎号読者アンケートを実施した。 ・第8回全国公民館報コンクール奨励賞受賞。								
広 報 事 業	目的 地域の方を対象に、 地域の情報を伝え、 地域の課題を提起 し、考えてもらう機 会を図る。	実施 内容	【成果と課題】 伊賀良地区の広報紙として、大きな予算を盛り力を入れて発行している。まちづくり 協議会各委員会から各1名広報部会に出席し、地区内のあらゆるニュースを拾い 伝えている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止と なってしまった。そのため、広報部会で知恵を出し合い、誌面の企画を行ってきた。 新型コロナウイルス関連の記事、地区内の飲食店のテイクアウト情報、誌上講座、 地区内の小中学校に関する記事などたくさんの方の企画が生まれ、例年以上に充実し た誌面になった。また、より多くの方に読んでいただける広報にするため、試験的に 全編カラーでの発行なども行ったところ、とても見やすい、読む気になる等の意見を いただき好評であった。 第8回全国公民館報コンクールでは応募総数148館の中から選ばれ、奨励賞を 受賞した。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 例年以上に広報部員の創意工夫から多くの企画が生まれ、取材に出向き執筆 する活動が増えたことで、やりがいを感じられる活動になったと感じる。次年度も、 広報部の「こんな広報誌をつくりたい」という想いを大切にしながら、地域の情報誌 としてだけでなく、館報の役割や伊賀良としての広報誌のあり方を考え、企画、発行 していきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	米寿記念写真撮影・贈呈	地区費	継続	2	120	50	80	9月27日、11月15日	かさまつのさと、伊賀良公民館
広 報 事 業	目的 88歳高齢者を対象 に、 地域でお祝いする。	実施 内容	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた8月29日から日程を変 更し、コロナ対策を行って、実施した。毎年恒例の行事として、対象者およびそのご 家族が楽しみにしている。事前に撮影時間帯の希望を取り、割り振りをしたためス ムーズに行うことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 例年は、撮影待ちの時間にお茶等を提供し、参加者同士の交流の機会としていた が、今年度は実施できなかった。広報部会の反省から、この事業は記念写真の撮 影だけでなく、参加者同士の交流の機会も大切にしたいとの意見が多く出された。 次年度、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら企画や運営方法について検討 していく。						

伊賀良公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	学校開放運営委員会・調整会議		地区費	8	460	-	14,350	通年	伊賀良公民館
その他	利用団体を対象に、学校施設の有効利用を目指す	実施内容	【成果と課題】 限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ち良く有効に活用できるように調整している。年々反省を元に運営方法、調整資料が充実されてきている。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度も、地区内の団体が譲り合い、気持ちよく利用できるようルールの整備、調整を行っていききたい。						
			評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	展示コーナー運営委員会		地区費	1	-	-	14,350	4月27日	書面にて実施
	公民館利用団体及び公民館利用者を対象に、利用者への活動の発表の場を提供するとともに、公民館利用者が文化芸術に触れる機会を提供することを目指す	実施内容	【成果と課題】 年度当初に年間の展示団体および展示期間を決定し運営している。 展示団体は、文化祭に向けて製作を進めるとともに、ロビーへの展示作品にも力が入る機会となっている。また、公民館へ訪れた地域住民が足を止め鑑賞することが多く、展示団体に関心を持つ方もいる。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今年度は、新型コロナウイルス感染症により、活動ができず、展示する作品がないという団体も多数あった。これまでの団体に加えて、様々な団体に声をかけながら、充実した展示コーナーにしてい。今後も成果発表の場として継続する。						
			評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
戦争資料の展示			市費	新規	1	-	14,350	7月12日～8月15日	伊賀良公民館
	戦争の記憶が風化しつつある中、戦争の悲惨さ、命の尊さを学ぶ機会とする	実施内容	【成果と課題】 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、伊賀良地区では8月末まで地域活動が自粛となった。それに伴い、例年8月に実施していた伊賀良地区「戦没者を追悼し平和を記念する日」式典での平和学習も中止となってしまった。そのため、上記の期間に館内に戦争資料を展示することで来館者に「平和とは何か、そのために何をすべきか」といったことを問いかけた。来館者の多くが足を止め、千人針や特攻隊員の写真などの展示資料に見入っていた。なかには感想を公民館まで伝えてくださる方もいた。また、様子を「広報いがら」に掲載し、地区内に周知した。講座の開催はできなかったが、違う形での平和学習をすることができた。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度以降も時期を見て展示することを検討していきたい。						
			評価						
その他		実施内容	【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度以降も時期を見て展示することを検討していきたい。						
			評価						

伊賀良公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田OIDE長姫高校地域人教育	市・地	新規	25	350	10	14,350	通年	伊賀良地区内
その他	その他の 目的 地域住民や高校生を対象に、多様な人との交流を通して地域を知り愛着を深めることを目指す。	主に地域人教育の授業時間(毎週金曜日4、5、6時間目)に活動した。伊賀良地区内でのフィールドワークや聞き取り調査から、「伊賀良の魅力発信」というテーマで実施した。試行錯誤する中で、伊賀良の景観とアップルロードのりんごに焦点を絞った。 ・伊賀良地区写真展 12月13日～12月28日 伊賀良地区の景観をテーマとした写真・絵画展を実施することで、暮らしているてもなかなか気付かない伊賀良地区の美しさを発信することを目的とした。 伊賀良公民館ロビーにて実施。応募数：写真部門23作品、絵画部門16作品。 ・伊賀良小学校6年1組との交流会 12月18日 アップルロードの歴史等について、地元の人もまだまだ知らないことがあるのではないかと考えから、まずは小学生に理解してもらいたいという目的で実施した。「アップルロードすごろく」を企画し、サイコロをふって、クイズに答えることで、楽しみながら学習することができた。							
		【成果と課題】 今年度から伊賀良地区は新規の地区として加わった。地域の方に活動に携わっていただくことで、次第に地域内の認知度が高まり、興味や理解を示してくださる方も増えていった。高校生にとっては、地域の中で、年齢、職業、考え方が異なる方たちから学ぶんだり、自分たちが考えたことを実践する機会となり、体験の伴った学習をすることができた。 地域住民にとっては、高校生と関わることで、自身の取り組みを振り返ったり、新しい視点や活力を得たり、自分の地区の若者に目が向くきっかけとなった。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 高校生、先生と意見交換し、目的を共有しながら進めていく。また、地域の方ともこの活動について話し合い、意見を出し合いながら取り組んでいくことで、地域、高校が連携し、相互に高め合っている活動にしていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	図書館での企画展示(中央図書館伊賀良分館)	市・地	新規	2	-	-	14,350	7～8月、10～12月	伊賀良図書館
その他	その他の 目的 保育園児、小学生、一般を対象に、図書館利用者の拡大させ、読書の大切さを感じる機会とする	伊賀良図書館とを連携して実施し、結いタイムの増加、本を読むことの楽しさを知ってもらうことを目指す。 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、お楽しみ会が実施できなかったため、図書館内におすすめ本や伊賀良を学ぶことができるような展示等を実施した。 ■7～8月 童話「虹いろ図書館のへびおとこ」をテーマに子ども向けの本を展示した。 ■10～11月 「伊賀良ってどんなところ？～コロナ禍の今、ふるさとをみつめよう～」と題し、伊賀良に関する大人向けの本を中心に展示を行った。伊賀良地区文化祭の際には、この展示を見るために初めて図書館に来館する人もいた。また、「地域に関する本が一堂に並べてあることで、全容が見やすかった」という感想や、昔の地図や写真を懐かしそうに見入る方もおり、郷土への思いを深める機会になった。							
		【成果と課題】 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、お楽しみ会が実施できないとの指示があったため、分館職員の皆さんと趣向を凝らし、読書の啓発、郷土を学ぶ機会とすることができた。図書館への来館者のみならず、公民館の講座に参加した方に帰りがけに寄っていただくことで、より多くの方に見ていただくことができた。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度も図書館と公民館と連携しながら活動を進めていく。また、共催の講座なども検討していく。コロナ禍で、みんながどこかで不安を感じていると思うので、図書館や公民館が温かい感じを持っていただけられるような場所になるよう心掛けていきたい。							

県公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	さくらんぼ学級(0歳児学級)		市・地	継続	4	70	32	下半期毎月1回実施	県公民館ほか
学級・講座	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子での様々な体験、親同士の交流の場とすることで、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	0歳の子どもとその親を対象に、親が子どもの成長を見る機会とする。また、母親が孤獨な育児をしないよう、仲間作りの場となるよう、交流の場を設ける。 ▼第1回(10/9) ▼第2回(11/20) ▼第3回(12/7) ▼第4回(中止) ▼第5回(中止) ▼第6回(3/12)						
	目的		【成果と課題】 子どもの様子を通して主に親を対象に実施している。子育ての楽しいこと、うれし いことを親同士が共有し、心配なことや不安なこと、困っていることを気軽に相談で きる場となっている。 また、相談できる関係性を築くことで、子育てを楽しみ、その後の地域のつながり 作りの貴重な機会となっている。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き保健師を中心に親子の様子を見つつ、相談できる関係性を築き、育児を 楽しめる環境整備を進めていく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いちご学級・りんご学級(1歳児学級)		市・地	継続	14	462	47	毎月1～2回実施	県公民館ほか
学級・講座	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子での様々な体験、親同士の交流の場とすることで、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	1歳児の子どもとその親を対象に、離乳食や歯の健康等の学習の他、おも ちゃ作りやクリスマス会など、家庭ではなかなかできない体験の機会を設け ている。成長・発達の違いから、子どもの状況や親の悩みなども異なるため、 月齢で学級を2グループに分けている。コロナ禍により保育園との交流など ができなかった。 いちご学級 ▼第1回(中止) ▼第2回(6/26) ▼第3回(7/28) ▼第4回(中止) ▼第5回 (9/25) ▼第6回(10/20) ▼第7回(11/6) ▼第8回(12/16) ▼第9回(1/13) ▼ 第10回(中止) ▼第11回(3/5) りんご学級 ▼第1回(中止) ▼第2回(6/23) ▼第3回(中止) ▼第4回(中止) ▼第5回 (9/29) ▼第6回(10/20) ▼第7回(11/24) ▼第8回(12/16) ▼第9回(中止) ▼ 第10回(中止) ▼第11回(3/11)						
	目的		【成果と課題】 幼児にとつての体験の場、同年代の子との関わり方を学ぶ場であると同時に、親 同士の仲間づくり、悩み相談の場であることが、その後に向けた地域のつながり 作りの重要な機会となっている。食事や歯について学習する機会も設けると同時 に、日常ではなかなか体験できない、県体育館での活動や工作など、親が子ども の成長を確認できるよう工夫した。親が心から健康であることが、子の成長過程に おいて大切であるため、母親の孤立や悩みを一人で抱えこむことを防ぐ、相談でき る場・発散できる場としていきたい。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き保健師を中心に親子の様子を見つつ、親子の仲間作りや、地域の育児 支援者、公民館との交流を通じ、地域で育児を楽しめる環境整備を進めていく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	たんぽぽ学級(2歳児学級)		市・地	継続	11	232	38	毎月2回実施	県公民館ほか
学級・講座	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子での様々な体験、親同士の交流の場とすることで、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	2歳の子どもとその親を対象に、季節の遊びや、地区内外へのお出かけな ど、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。しかし、コロナ禍に より、下伊那農業高校や保育園との交流、体験等が実施できなかった。 ▼第1回(中止) ▼第2回(中止) ▼第3回(6/16) ▼第4回(7/7) ▼第5回(7/21) ▼ 第6回(中止) ▼第7回(中止) ▼第8回(9/24) ▼第9回(10/6) ▼第10回(10/22) ▼ 第11回(11/17) ▼第12回(12/1) ▼第13回(12/16) ▼第14回(中止) ▼第15回 (2/18) ▼第16回(3/2)						
	目的		【成果と課題】 幼児にとつての体験の場、同年代の子との関わり方を学ぶ場であると同時に、親 同士の仲間づくり、悩み相談の場であることが、その後に向けた地域のつながり 作りの重要な機会となっている。日常ではなかなかできない下伊那農業高校や保 育園との交流は、コロナ禍で中止となってしまったが、県体育館を使うなど、工夫し て親子の体験の時間をつくった。親が心から健康であることが、子の成長過程に おいて大切であるため、母親の孤立や悩みを一人で抱えこむことを防ぐ、相談でき る場・発散できる場としていきたい。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き保健師を中心に親子の様子を見つつ、親子の仲間作りや、地域の育児 支援者、公民館との交流を通じ、地域で育児を楽しめる環境整備を進めていく。						

県公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	県小中PTA公民館合同講演会		地区費	1	221	-	13,150	11月20日	県小中学校
学級・講座	小中学校PTAを中心 に、保護者の立場で感 じている悩みや課題を 基にテーマを設定し、講 演会を開催することで、 子どもの豊かな育ちに つなげる		【成果と課題】 県小中学校PTAと県公民館の合同公演会。小中学校PTAと課題意識を共有し、学校と共に組み立て、より良い地域や子どもの将来を考える講演会とする。 今年度は小学校PTAが中心となり企画した。コロナ禍のため、事前の打ち合わせは役員のみの少数で3回実施。 講師：日本連合教育会会長 後藤正幸氏 演題：『子どもの心』 参加者：約200名 【検討過程】 9/2 県小中PTA公民館合同講演会打ち合わせ(7名) 10/22 県小中PTA公民館合同講演会(7名) 11/16 県小中PTA公民館合同講演会打ち合わせ(7名)						
	目的	評価	【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 PTAと公民館の交流を図り、保護者の立場に立った講演テーマの設定を図ると同時に、学校運営協議会などで、学校側の意識へのアプローチを行う。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	保育園・小学校との連携による子育て支援事業		地区費	100	3,000	-	1,478	実施内容参照	県小中学校ほか
学級・講座	保育園・小学校と連携 することで、より多く の人々の子育てを支援し、 子どもの豊かな成長を 図る。		【成果と課題】 コロナ禍により、保育園や小中学校と、地域住民の交流が困難となった。子どもの学びや育ちを中心に、学校運営協議会などの場で協議し、県地区としての子育て支援と子どもの豊かな成長の充実をさせていく必要がある。また、学校の理解や意識が「学習支援」に偏っているため、まずは学習支援を丁寧にサポートするとこちらから関係性を築く必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域資源リストの作成を行い、学習支援の充実を見える化する。						
	目的	評価	【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域資源リストの作成を行い、学習支援の充実を見える化する。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地育力向上講座「ずんずんずん隊」		市・地	24	166	-	13,150	実施内容参照	県公民館ほか
学級・講座	ふるさと学習の一環とし て、小学生親子を対象 に、遊休農地での農業 体験を通して、環境学 習、食育及び親子の時 間の充実につなげると 同時に、人格形成の基 盤となる体験や感性を 育む機会とする。 併せて中学生ポランテ アの参画、下伊那農業 高等学校の課題研究と 連携することで、小・中・ 高校生と地域の相互の 学び、それを支える地域 の学びや子どもを育む 意識の醸成を図る。		新型コロナウイルス感染症により例年の上茶屋分館との共同事業ではなく、本館単独で実施。 夢かなえ隊の方々、近藤肥料店、下伊那農業高校の指導・協力と、県中学生ポランティアの協力を得て、稲作と野菜(ミニトマト、大豆)作りの体験を行った。また、12/6の加工体験の際には、名古熊の遊休農地でそばの栽培を行った下農生によるそばの加工品の提供も行った。 小・中・高校生と地域の方々が一室に会し、収穫祭を実施し、振り返りの機会を模索したが、コロナ禍により実施できず、収穫したお米を3kgずつ参加者に配布した。 第1回(6/7) 田植えとミニトマト作り 参加者18名、中学生ポランティア9名 第2回(7/5) 大豆種まき 参加者15名、中学生ポランティア2名 第3回(10/4) 稲刈り 参加者18名、中学生ポランティア4名 第4回(11/22) 大豆収穫 参加者16名、下農生3名 第5回(12/6) 大豆加工 参加者17名、下農生2名+そば加工の高校生2名 【検討過程】 随時 下農先生・生徒、美博四方学芸員、近藤肥料店近藤さん、夢かなえ隊木下さん、県OS学校運営協議会員村澤さんとの打ち合わせ(20回・60人)						
	目的	評価	【成果と課題】 宅地化が進む県地区において、農業体験ができる貴重な機会である。特に、親子同士が交流しながら食育物を育てることで、親子のつながり、家族同士のつながり、地域とのつながりが生まれと共に、食育や環境を考える機会ともなっている。今年度は、下農との連携も構築し、小・中・高校の一連の流れと、農業の種まきから収穫・加工までの一連の流れを組み合わせた取り組みとすることができた。地域側で主体的に関わる方々が増えていくように取り組む必要がある。 また、一連の活動後に、関わったすべての方が一室に会する収穫祭を行い、全体の振り返りの会を行う必要がある。						

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学区・講座	華甲大学(高齢者学級)	市・地	継続	6	196	-	13,150	実施内容参照	鼎文化センターホール
	生涯学習の一環として、高齢者を対象にした学級として開催。テーマは「生涯青春・生涯学習」とし、高齢者の学びの場、生きがい作りの機会とする	華甲大学運営委員会と協議し、企画運営を行う。5月～1月第3金曜日の午後開催。体操、歌、健康講座、飯田下伊那の歴史・文化、小中学生の学習成果発表等多面的に学習すると共に、学習内容に関わる研修旅行も行う予定であったが、コロナ禍により、鼎文化センターホールを会場として、10月～12月に3回のみ「健康」を共通テーマに実施。対象が高齢者の為、実施に当たっては運営員会を3回開催し、開催方法や内容を協議し、感染予防徹底に配慮した。また、本年度は年間を通しての登録者は募集せず、前年度までの登録者を中心に、その都度募集し実施した。	10/16 開校式・「笑いのヨガ」で笑って健康アップ！ 講師：松村接骨院長 松村秀樹氏 参加者60名 11/27 足首・バタフライ運動～骨格から健康に～ 講師：菅沼病院副院長 菅沼加奈子氏 参加者72名 12/18 からだダイキキ体操～介護予防運動～ 講師：健康運動指導士 小林新一氏 参加者64名 また、体講中も学習機会の提供とつながりの継続を目的に、「華甲大学通信かがやき」を創刊し、10回発行した。	【成果と課題】 徐々に運営委員による主体的な企画運営につながってきている。「華甲大学通信かがやき」は好評で、様々な制限がある中でも、貴重な学びやつながりの機会をつくることができた。実施した講演は当初の予定から変更し、健康に特化した内容とした。受講者が減少傾向にあるが、地域や受講者の要求課題・必要課題を捉えることが必要。					
学区・講座	世代間交流事業	市・地	継続	3	12	-	13,150	12月6日～1月3日(中止)	下山区民センターほかに
学区・講座	子どもを対象に、高齢者クラブの方々から伝統文化を学ぶことで、地域文化を学ぶことで、地域への愛着を育むとともに、世代間のつながりや思いやりの心を育む。	高齢者クラブの協力を得、分館単位で子どもが伝統文化を学ぶ。伝統文化を学ぶだけでなくとどまらず、地域のつながり作りや、子どもの豊かな育ちにつながる交流の機会として実施する。 例年は、年末年始に下山、中平、上山で実施している。 新型コロナウイルス感染症により中止。 【検討過程】 各区高齢者クラブと分館で協議し、決定。	【成果と課題】 子どもたちの伝統文化に触れる機会と、高齢者クラブの方々が地域の子どもと交流し、知識や技術を伝える機会が失われてしまった。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 各高齢者クラブの方々の声を聞きながら、また、分館主体で行っている地区の状況も聞きながら、継続させていく。					
	学区・講座	学区・講座	市・地	継続	2	40	-	60	9月23日
学区・講座	鼎公民館役員研究集会	市・地	継続	2	40	-	60	9月23日	鼎公民館
	公民館役員を対象に、その時々の課題意識に応じた学習会を、中間反省会に合わせ開催し、下半期の活動の充実につなげる	9月末の中間反省会に合わせ実施。企画委員会や分館長会などで地域や社会の現状を踏まえ、課題を出し合う中で、研究集会のテーマを決定し実施する。 前半事業の反省・・・新型コロナウイルス感染症により中止 研究集会・・・ZOOM講習会(参加人数を制限) 【検討過程】 9/9 企画委員会・分館長会合同会議(21人)	【成果と課題】 研究集会では、新しい生活様式下の地域活動のあり方を見据え、ZOOM講習会を開催し、オンライン会議など、社会の動きを捉え、触れてみる機会となった。公民館としては、直接ひざを突き合わせるの議論が大事だという認識は持ちつつも、社会の情勢も捉えていくことが必要となっている。 ZOOMというツールを使い、各分館で地域社会の現状や、今後のあり方を語り合う機会としたかったが、技術の習得に終始してしまった。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 既存の公民館事業の中間反省と合わせて、公民館として社会を見る機会、そこからの学習への展開を模索していく。					

県公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	あんじゃあない会		市・地	新規	22	280	-	実施内容参照	県公民館ほか
	目的	30代～50代の方々に声をかけ、オンライン会議なども活用し、地域社会の現状と課題、今やるべきこと等を話し合った。その中から、休校中の子どもや家族に向けて、家庭の時間を充実させられる動画を撮影し、ZOOM等で配信した。樹マルマンの協力を得て、味噌づくりのオンライン講座も実施。また、感染症対策に配慮してのZOOM体験会の開催など、新しい生活様式を見据えた活動も心掛けた。							
	実施内容	活動だけでなく、地域社会の現状把握・分析をし、課題発見からの実践を描ける場として、打合せなどを実施している。 5月15日(金)～7月21日(火) 動画配信Vol.1～10: ZOOM参加者のべ約70名、Facebook・YouTube閲覧総数約2,300回 5月24日(日)ZOOM体験会 参加者約70名 2月28日(日) 家庭で行う「味噌作り体験」(動画配信) 参加者50名 【検討過程】 4/15、5/1、5/13、6/24、11/16、1/30 あんじゃあない会(40人) 5月～7月 動画撮影計10回(50人)							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	料理教室		市・地	継続	3	34	-	10月17日、10月24日	県公民館
	目的	食生活改善推進協議会県支部、保健課栄養士の協力のもと、減塩や様々な旬の食材などを使った献立で実施。新型コロナウイルス感染症のため、開催内容を検討し、親子を対象とした料理教室を、感染防止対策を徹底の上、開催日を2回に分けて実施。作った料理は持ち帰る形とした。 10月17日(土) 参加者15名 10月24日(土) 参加者13名 【検討過程】 6/24 食改との打ち合わせ(6名)							
	実施内容	普段家庭で料理をする機会が少ない、子どもや男性、高齢者の方を対象に、旬の食材を用いた料理実技を習得すると共に、食を通じた健康学習の推進を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	県地区成人式(延期)		市・地	継続	7	50	-	1月10日(延期)	県文化センターホール
	目的	新成人が20年間を振り返り、家族や友人、恩師、地域への感謝の気持ちをもち、大人としての自覚を持つ機会とする。また地域としては、新成人をこれからの県や社会を担う仲間として、祝福し、激励する場とする							
	実施内容	県地区まちづくり委員会をはじめ地区内の各種団体と連携協力を行う。新成人で組織する実行委員会(新成人11名)を立ち上げ、自ら企画運営に携わることで「自分たちで作る成人式」として進めてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、延期となった。 記念式典(中平獅子舞保存会による祝舞、新成人代表挨拶、家族からのメッセージ、クイズ等)、交流会(二十歳の思い出アルバム、ゲーム)、記念リーフレット「若鮎たちよ」作成ほか 該当者数:169名(男性82名・女性87名) 実行委員会による地域学習は、県駅周辺散策と「夢『かなえ』で『桜』咲く」のゼン担ぎがある、飯田線へ乗車をした。 【実行委員会】 9/15、10/1、10/20、11/12、11/19、12/8、2/9 (延べ50名)							

県公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさと再発見ワンデーマーチ	市・地	継続	1	46	-	13,150	5月3日(中止)	県地区内ほか
文化事業	地域の歴史や文化について学びながら県地区を巡り、また家族で一日を楽しく歩き、地域学習・健康づくり・家族の絆を深める機会とする	実施内容	【成果と課題】 事業の目的を確認した。しかし、感染リスクを踏まえ、当時の状況では実施は不可能であった。目的を踏まえて、次年度にどうすれば実施できるかを考えられるきっかけとなった。また、分館内・分館間での交流に重点を置きたいという、委員長の思いが共有される機会ともなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 形を変え、分館ごとにコースを考え、検討を進める。分館の主体性と本館の役割の関係性が整理され、新しい可能性も感じられる。感染症の状況によるが、実施できる方法を工夫し、実施したい。						
		評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	かなえ景観写真コンテスト	市・地	継続	1	300	300	13,150	11月7日～12月18日	県公民館
文化事業	地域住民が、地域の自然・文化・人に着目した写真展示を通じ、県地区の良さを共有する	実施内容	県の景観を写真におさめ、ふるさとの再発見と、地域への愛着を高める取り組み。審査員は、県在住の写真家などへ依頼。併せて実施している文化祭がコロナ禍により中止となったが、その時々の地域の記録ともなることから、景観写真を募集し、公民館ロビーに11月7日(土)～12月18日(金)まで展示を行った。通常は文化祭で行っている出展者の表彰は、県公民館年度末総会で実施。 量的成果 (項目名と数値) 応募点数22点(13人) 【成果と課題】 文化祭と同時に開催をしていたが、文化祭はコロナ禍により中止となった。しかし、その時々の地域の記録ともなることから、表彰・展示方法を変更し、実施した。応募数はやはり大幅に減ったが、コロナ禍を反映する写真と共に、コロナ終息への願いも感じられるものとなった。 出展者が固定化してきていることと、以前は子どもに応募も多数あったことから、表彰や発表方法の工夫だけではなく、この取り組み自体の意義や可能性、あり方を検討する時期に来ている。						
		評価							
文化事業	県地区文化活動ロビー展示	市・地	新規	6	200	-	13,150	11月7日～12月18日	県公民館
	各団体の活動意欲を高めるとともに、県地区の文化活動の発展、文化への関心向上を図る	実施内容	文化祭の中止を判断する過程で実施したアンケート調査から、活動発表の機会を求める声が多く聞かれた。そのため、文化祭に代わる活動発表の機会として実施。 3～4団体ずつ、11月7日(土)～12月18日(金)の期間に、週替わりでロビーに展示を行った。 ロビー展示出展団体数:20団体 量的成果 (項目名と数値) 応募点数22点(13人) 【成果と課題】 文化祭中止の判断に伴い、本来の目的を振り返ると同時に、この状況下でどのような意見が聞かれ、何ができるかを考え、協議した結果、各団体の文化活動発表の機会をつくることができた。できる範囲で県地区の文化活動の維持・発展を図ることができた。文化活動・学習成果の発表と、それを通して文化の学習について、オンラインなど文化祭以外の手法に目を向ける機会ともなったが、環境整備と発信・受信双方の知識など、ハードルの高さも感じた。今後の社会を考えると、オンラインでの可能性に視野を向けていく必要がある。						
		評価							
文化事業		【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 文化祭が実施できれば、当事業は実施しない。文化活動発表の機会として、様々な手法は検討していく。							
		評価							

県公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020	市・地	継続	1	31	-	13,150	8月6日～8月10日(中止)	県公民館ほか
	地域住民がフェスタを通じて文化の向上を図り、フェスタを通じた地域づくりを行う。	地区内11会場での地区公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 【検討過程】 4/9 企画委員会・分館長会・分館主事会合同会議(31人)							
	目的	【成果と課題】 「意義は分かるが実施は困難」という意見が大半を占め、さらに、各分館の夏祭りなどと重なってくることから、人形劇フェスタへの負担感が顕著に示された。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 各会場の状況や意見が様々であり、コロナ禍で人形劇フェスタが持つ機能と、人形劇が持つ魅力や可能性を感じる機会が作れるのか。まずは例年に近い形で、多くの笑顔が見られるよう、感染症対策の徹底と事業の検討・実施をしたい。							
文化事業	ふるさと県ふれあい広場・文化祭	市・地	継続	4	42	15	13,150	11月7日～8日(中止)	県公民館・県体育館
	各分館やサークル等、地域住民の日頃の学習成果発表の場として実施すると共に、地域全体の交流を図る	健康福祉委員会の「ふれあい広場」と合同開催する、県地区最大の地区事業だが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討過程】 7/2 正副文化委員長・健康福祉委員長打ち合わせ(7名) 7/13 文化委員会(15名) 7/16 正副文化委員長・健康福祉委員長打ち合わせ(7名) 8/5 文化祭四役会(8名)							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍の状況に左右されるが、まずは多様な学習成果発表の場や交流の場として実施を目指したい。同時に、感染症との共生も見据えた形を模索していく。							
文化事業	ふるさと県コミューナル	市・地	継続	2	40	20	13,150	11月7日(中止)	県公民館
	ふるさと県の自慢・自然・文化・歴史・伝統・生活・産業・人物等を地区(分館)単位で掘り起し、県全体で1本のコミューナルにまとめると地域の良いさを共有し地域づくりに役立てる	ふるさと県コミューナル制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。制作にあたっては、テーマに関する学習会を開催し、制作委員自身が学びながら制作を行うが、コロナ禍により年度当初に制作委員会を立ち上げることができなかった。 例年通りのスケジュールでは進められなかったため、企画委員会で協議し、10月と3月に制作委員会を実施し、次年度の制作を目指す。							
	目的	評価 【成果と課題】 コロナ禍により、制作に向けた動き出しができず、今年度の制作は断念した。制作委員会では、地域のあり方やつながりの大切さを再確認する中で、「県の良いところ・好きなところ(仮)」をテーマの方向性とした。改めて地域を見つめ直す機会となったが、コロナ禍での積極的な取材や資料集めが困難。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 例年よりは制作期間が長く取れるため、感染状況等を見ながら、時間をかけてじっくり資料を集めていく。また、学習会の開催も積極的に検討する。							
文化事業	県打ち水大作戦	地区費	継続	1	31	-	13,150	8月6日～8月10日(中止)	県公民館ほか
	いいだ人形劇フェスタの際に県地区全会場で「みる・えんじる・ささえる」全ての人が打ち水を実施し放射線を測定する。開演前のアナウンスで結果を報告し環境意識の醸成を図るが、新型コロナウイルス感染症により中止。	【検討過程】 4/9 企画委員会・分館長会・分館主事会合同会議(31人)							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 県地区に張り巡らされた井水と関連付け、環境問題に関心を持つきっかけとして継続していく。							

県公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	県地区体育祭(ペタンク大会)	地区費	継続	1	31	-	13,150	6月7日(中止)	失高グラウンド
体育事業	目的	【成果と課題】 実施に向けて検討・準備を進めたが、目的である「健康増進」と「交流・親睦」に対して、新型コロナウイルスの感染リスクや、参加者の制限や意識の面からも、達成困難と判断した。検討時期にあたる4月は、体育委員会の開催さえ困難な状況であったため、目的や意識の確認もできなかったが、年度末に、次年度に向けて目的等の確認を行った。コロナ禍において全分館が足並みを揃えて実践する困難さを感じると同時に、分館による動員を伴わない、体育委員会の役割を考える機会もなっている。							
	実施内容	【次年度の方向性との取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 規模を縮小し、できる形で実施を検討していく。同時に、感染症対策や実施方法が、各分館での体育事業に応用できるよう、モデル的な意味合いを持って実施したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	県地区縦断駅伝大会	地区費	継続	5	60	-	13,150	9月6日(中止)	県地区区内
体育事業	目的	【成果と課題】 実施に向けて検討・準備を進めたが、目的である「健康増進」と「交流・親睦」に対して、新型コロナウイルスの感染リスクや、参加者の制限や意識の面からも、達成困難と判断した。検討の過程で、目的や意識の確認ができたが、コロナ禍において全分館が足並みを揃えて実践する困難さを感じた。							
	実施内容	【次年度の方向性との取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 今年度の検討や経験を踏まえ、来年度はコロナ禍に対応した内容ややり方を検討し、実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ニュースポーツ講習会	地区費	継続	2	34	-	13,150	8月20日(中止)	県小学校体育館
体育事業	目的	【成果と課題】 実施に向けて検討・準備を進めたが、目的である「健康増進」と「交流・親睦」に対して、新型コロナウイルスの感染リスクや、参加者の制限や意識の面からも、達成困難と判断した。検討の過程で、目的や意識の確認ができたが、分館の動員を伴わない当事業においても、実施の理解が得られなかった。駅伝大会中止と整合性を取った側面もあるが、リスクへの過剰反応もあり、無理に事業を推進する状況はなかった。							
	実施内容	【次年度の方向性との取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 今年度の検討や経験を踏まえ、来年度はコロナ禍に対応した内容ややり方を検討し、実施していきたい。							

県公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	体育委員・役員向けニュースポーツ講習会	地区費	新規	1	18	-	13,150	9月18日	県小学校体育館
	分館など小規模での体育事業の実施を促し、健康増進や交流・親睦の機会の創造を図る	【成果と課題】 ニュースポーツ講習会の代替事業として実施。コロナ禍で各事業が実施できない中、できることを模索する声も聞かえ始めたため、正副体育委員長とスポーツ推進委員の方々と協議し、体育委員と分館役員を対象に、「ポッチャ」の講習会を実施した。 【検討過程】 7月下旬にスポーツ推進委員より提案。正副体育委員長と電話やメールで連絡を取り合い、実施。							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 事業としては、従来の一般向けのニュースポーツ講習会に戻す。本事業で生まれた機運を、次年度の体育事業全般へつなげていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	県地区女性バレーボール大会	地区費	継続	3	41	-	13,150	9月20日(日)	県中学校体育館
	この大会に向けて女性同士が集まり、バレーボールを通して交流を深め、女性の健康保持、体力増進につなげる。併せて、参加チーム同士の親睦とバレーボールに親しむ女性の底辺を拡大を図る	【成果と課題】 県地区内の分館を単位とした女性バレーボールチームの交流として、ママさんバレーボール連盟の方々はじめとした、各チームの主将と協議して開催。参加条件なども柔軟に変更しながら、参加チームが主体的に企画・運営を行う。 優勝チームは飯田市女性バレーボール大会に出場する。 新型コロナウイルス感染症により中止。 【検討過程】 6/4 正副体育委員長・スポーツ推進委員打ち合わせ(7名) 6/24 体育委員会(17名) 7/5 体育委員会(17名)							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度の検討や経験を踏まえ、ママさんバレーボール連盟の方々と相談しながら、来年度はコロナ禍に対応した内容ややり方を検討し、実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば〜るバレーボール)	地区費	継続	2	30	-	13,150	2月7日(中止)	県体育館
	県地区内の分館を単位とした大会として、男女混成の一般や小学生チームの参加により、参加者及び分館同士の親睦と交流を深めると共に健康増進を図る	【成果と課題】 競技種目は恒例となっているワンバウンドふらば〜るバレーボール。分館を単位として、男女混成の一般と、小学生チームの参加により、参加者及び分館同士の親睦と交流を深めることを中心に実施するが、新型コロナウイルス感染症により中止。 【検討過程】 12/9 正副体育委員長・スポーツ推進委員打ち合わせ(体育委員会代替)(7名) 11/26 企画委員会・分館主事会合同会議(23名)							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度の検討や経験を踏まえ、来年度はコロナ禍に対応した内容ややり方を検討し、実施していきたい。							

県公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「公民館報かなえ」の発行		地区費	20	228	12	13,150	通年	県公民館ほか
	地域住民を対象に、地域の情報を伝え、課題提起などを通して、地域に関心をもってもらう	年間4回、各回4,400部を発行。まちづくり委員会の「広報県」と合同発行。地域住民を対象に、地域の情報を伝え、課題提起などを通して、地域に関心をもってもらうことを目的に作成。公民館活動の記録として正確かつ公平な記事を作成。また、住民の皆さんが「県」により深く関心をもってもらえるような紙面展開を図った。 新型コロナウイルス感染症により様々な事業が中止となる中、412・413号ではコロナ禍での地域の状況、住民の暮らしの様子、分館活動など、地域の記録を、414号では成人式の延期をうけ、地域から新成人へお祝いの声を届ける紙面とした。 1号発行につき、広報委員会(14名)を原則3回、まちづくり委員会の広報編集委員会(15名)を1回開催。 ▼仕様 A4版、4頁～6頁 ▼館報かなえ411号(6/24発行)、412号(9/23発行)、413号(12/16発行)、414号(3/24発行)	評価	【成果と課題】 コロナ禍の地域の様子やメッセージなど、できる限りの情報発信を行った。特集記事として、委員長を中心に企画を出して検討しているが、委員会全体で意見を出し合う状況にはなっていない。委員さん個々の関心や課題意識を引き出し、「みんなで作り上げる館報」となるような環境作りが必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 各委員さんが企画を出し合い、特集を組みながら、特色ある紙面作りを行う。					
	高校生の学習活動支援		地区費	継続	82	1,330	-	13,150	6月～12月
その他	高校生と地域住民が、活動を通じて共に学び育つことで、より良い地域をつくる	(ア) 地域人教育(飯田OIDE長姫高校との連携) 飯田OIDE長姫高校商業科の授業の一環として、今年度は2グループ16名の生徒が県地区をフィールドとして活動した。 グループ1(8名): 商工会支所にある豊栄稲荷神社に着目し、歴史を学びながら、水引を使ったお守りを作成し、地域の魅力の発信を行った。 地域での活動6回(授業回数含む) グループ2(8名): 子ども食堂の取り組みに着目し、県地区内の2つの子ども食堂と協力し、自分たちなりの子ども食堂を実施。健康福祉委員会のフードドライブと同時開催した。 地域での活動10回(授業回数含む) 授業を含め、2グループで延べ65回開催、約1,200名参加 (イ) 遊休農地を活用したそばの栽培(下伊那農業高校との連携) 課題研究に取り組み生徒の活動支援として、昨年度に引き続きそばの栽培を支援。夢かなえ隊の協力を得ながら、遊休農地で栽培。そば粉を活用した加工を研究しており、ずんずんずんずん隊で研究成果を披露。 地域での活動は6月～12月に10回活動し、約50名参加 (ウ) 遊休農地を活用した大豆栽培と加工(下伊那農業高校との連携)※地育力向上講座ずんずんずんずん隊 下山の遊休農地について、下伊那農業高校の食品化学科3年生に協力を仰ぎ、大豆の栽培から加工までの過程を、「ずんずんずんずん隊」として実施。コロナ禍により、種まきは高校生がビデオで栽培方法を説明する形となった。収穫と加工は、高校生の指導の下、一緒に作り、高校生が自身の研究を深め、また、地域の人々との関わりを通して生き方を考える機会とした。小中学生にとっても、高校生の姿勢から将来を考える機会となった。 ずんずんずんずん隊の実施・打ち合わせで7回活動し、約80名参加	評価	【成果と課題】 地域人教育に加え、下伊那農業高校生の課題研究の支援をし、地域が関わることで高校生にどのような学びや育ちが生まれるかを検証しつつ、双方の学びの質の向上につながっている。また、学びの質の担保となる資料整理を行うことができた。多様な方が高校生と関り、より双方の学びが充実するよう、組織化や仕組化を進める必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校運営協議会員の村澤氏に相談し、学習の要素を押さえながら、仕組みとして整えていく。					

県公民館の事業報告

No.11

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	社会教育関係団体の活動支援	地区費	継続	2	-	-	13,150	通年	県公民館
その他	社会教育関係団体の活動支援	社会教育関係団体の会員募集について、公民館掲示板や文化祭などで周知、支援する。 年度当初に、団体一覧を組合覧すると共に、ロビーに配置している。 また、掲示板を会員募集用に開放し、希望団体は掲示ができる。							
	実施内容	数量的成果 (項目名と数値) 【成果と課題】 社会教育関係団体紹介チラシの配布に加え、文化祭を活動発表の場と捉え、社会教育関係団体登録申請時から文化祭の案内をした。これにより、文化祭に向けた活動の活性化や、新規出展希望団体も現れた。しかし、新型コロナウイルス感染症により文化祭が中止となり、各団体の活動も停滞傾向となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 目標となる文化祭実施の可否にもよるが、各団体の声を聞きながら活動の支援をしていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	県の子どもを語る会	地区費	継続	2	18	-	13,150	2月5日(中止)	県公民館
その他	小中学校の先生方、保護者、地域の方々が集い、県の子どもの現状や、目指す子ども像を語り合うことで、三者の連携を深め、子どもの豊かな育ちにつなげる	学校運営協議会を中心に内容を検討し、企画・運営を行う。 新型コロナウイルス感染症により中止。 【検討過程】 10/26 学校運営協議会(14名) 1/6 小中教頭先生打ち合わせ(4名)							
	実施内容	【成果と課題】 先生、親、地域住民が子どもについて語り合う重要な機会だが、その認識自体が欠如している。学校運営協議会等で、必要性を確認すると同時に、子どもの現状を多様な視点から捉えることも必要である。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 年度当初から学校運営協議会などで「子どもの現状」について語り合い、捉え、整理していきたい。							

上郷公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級		市・地	継続	544	544	13,592	通年	上郷公民館
学級・講座	乳幼児とその親を対象に、子供が健やかに育つため、又、知識を身に付けることにより安心して子育てができるよう支援する。 実施内容 ○開催日 1回／月 10:00～11:30 ○場所 上郷公民館101和室など ○内容…3歳：小麦粉粘土で遊ぼう、栄養の話、ミニ運動会ほか 2歳：食事の話、新聞紙で遊ぼう、ミニ運動会、クリスマス会ほか 1歳：歯の健康講座、親子体操、食事の話、クリスマス会ほか 0歳：母乳の話、わらべうた遊び、離乳食ほか		市・地	33	544	544	13,592	通年	【成果と課題】 感染症拡大の懸念から休講せざるを得ない回もあったが、感染症対策の上可能な限り実施した。コロナ禍で外出したり、人とふれあう時間が限られる中、家庭以外での親子のふれあいの時間としてまた育児に大切なあそびや情報等を得られる機会として開催し、多くの親子に参加いただいた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 母と子の学級に加えて、次年度は父と子を対象とした学級を計画する。父親は日頃、子供と過ごす時間が持ちづらく、育児の悩み、疑問など相談する相手が周りにいないことが多いため、日頃思うことを情報交換し学べる場として開催する。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高齢者学級		市・地	継続	551	551	13,592	通年	上郷公民館
学級・講座	定例活動、クラブ活動等学級参加者が自主的に企画運営を行う。 ○定例活動 ・講演会（日赤奉仕団による紙芝居） ・レク（加藤美恵子さんによる体操教室） ・上郷地区文化祭への参加 ○高齢者学級文集作成 ○役員会 ○クラブ活動 大正琴、書道、歌、雑学、民謡、綴り方、織物、健康と川柳と笑い、絵手紙 ○学級会報 毎月「伝諸鳩」を発行し、活動の様子やクラブ予定、お知らせなどを掲載。地区長が配布。		市・地	84	551	551	13,592	通年	【成果と課題】 公民館休館等で活動ができない期間もあったが、何とか集まろうと各クラブ工夫しながら活動することができた。 全体で集まって懇親を深める時間をなかなか設けることはできなかったが、各クラブ先生やクラブ長を中心にコロナ禍の中でも顔を見せ合い、話をして充実した活動ができた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き学級に参加するみなさんが活動したい、してよかったと思える内容を検討していく。
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	農作業体験教室		地区費	継続	84	84	561	4月～11月	黒田研修センターほか
学級・講座	地区内の小学生を対象に、農作業を通じて食の大切さや安全性を学び、収穫の喜びを体験する場とする。 実施内容 ネギ、ジャガイモ、大根を植えるところから収穫まで約半年間の農作業を通して自分自身で農作物を作る大変さと楽しさを感じる機会として実施した。 ○講師 … 下北農園の会		地区費	12	84	84	561	4月～11月	【成果と課題】 なかなか外出することもままならない今年度において汗を流して農作業をする経験は参加者にとって貴重な時間になったと感じる。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も引き続き計画する。

上郷公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	子ども料理教室			市・地	継続	6	120	120	773	7月4日・18日,9月12日・26日,12月5・19日	上郷公民館
学級・講座	目的	地区内の小学生を対象に、料理という実体験を通じて、たくましい成長を促すとともに、家庭での親子のふれあいを推進する。	実施内容	料理に必要な基礎知識を身に着けるとともに、料理する楽しさ、食への興味を持つてもらうため開催した。 コロナ禍ということもあり、作った料理は家へ持ち帰る、各回定員を25人から20人に変更し2週間に分けて同じ内容を行う等実施他昨年度から変更し実施した。 ○メニュー 第1,2回 かんたんピザ、ミートボールのタルタルソースがけほか 第3,4回 レタスチャーマン、豚肉のチーズピカタほか 第5,6回 簡単ミニピザ、ふわふわチキンナゲット ○講師 …ひまわりの会							
	評価	【成果と課題】 毎回多くの参加申し込みがありまたリピーターも多く、子どもたちが料理作りの楽しさを感じられる機会になっている。 5班に分かれて4人ずつ、高学年から低学年まで入るようにして高学年の子が低学年の子の面倒を見たり異年齢の交流の機会にもなっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもたちが料理作りに興味を持つ機会、また異年齢の交流の機会として継続していく。									
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	女子高校調理クラブとの交流会			地区費	継続	1	15	15	20	10月31日	上郷公民館
学級・講座	目的	女子高校調理クラブ生徒を対象に郷土料理を作ることを通じて飯田女子生徒が自分たちの暮らし、地域の文化に目を向けたり、公民館の施設（調理室）を使ってもらったり、地域の団体と交流する機会として実施した。 ○メニュー …五平餅、クレープ ○講師 …ひまわりの会	実施内容	郷土料理を作ることを通じて飯田女子高校調理クラブの生徒が自分たちの暮らし、地域の文化に目を向けたり、公民館の施設（調理室）を使ってもらったり、地域の団体と交流する機会として実施した。 ○メニュー …五平餅、クレープ ○講師 …ひまわりの会 【成果と課題】 焼き機で本格的な五平餅づくりに挑戦した。参加した生徒から「五平餅を初めて作った」、「家でも作ってみたい」といった感想が聞かれた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度は実施できなかったが、女子高調理クラブはさくら祭り等で公民館部員と共同出店する等連携した取り組みを行っているので地域住民との交流の機会として関係を継続していくようにしたい。							
	評価										
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	郷土料理教室			市・地	継続	-	-	13,592	1月24日（中止）	上郷公民館	
学級・講座	目的	親子を対象に、郷土料理を知り、作り、親しむ体験を提供する。	実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、公民館が休館となり中止とした。 【成果と課題】 公民館休館に伴い、中止とした。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 親子で郷土の料理作りを通して、自分たちの暮らす地域に目を向ける機会として企画する。							
	評価										

上郷公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	子どもそば打ち教室	市・地	継続	-	-	-	773	2月14日(中止)	上郷公民館
学級・講座	地区内の小学生を対象に、料理という実体験を通じて、伝統的な食文化に対する見識を深め、家庭での親子のふれあいを推進する。 実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、公民館が休館となり中止とした。 【成果と課題】 公民館休館に伴い、中止とした。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 小学生が自分でそばを打つという貴重な経験の機会として検討する。 評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演	市・地	継続	1	10	-	13,592	8月6日～10日(中止)	上郷公民館ほか
文化事業	一般を対象に、公演を盛り上げるとともに、企画を通じて、様々な立場の人々の交流を促進する。 実施内容	地区実行委員会を組織し、企画運営を図る。 本館、各分館、保育園保護者会がそれぞれ地区公演を開催する計画をしたが中止となった。 【検討経過】 4月20日 いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演実行委員会 【成果と課題】 いいだ人形劇フェスタ2020が中止となったため、地区公演も中止となった。しかし、本館公演を企画する公民館委員で代わりに何かできないか検討し、「今年限りの夏の音楽フェスタ」(別途記載)を企画した。 また中止となったが、初めて地区公演を企画する会場(下黒田南分館)があった。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 今年度できなかった分子どもたちのためにという思いで、来年度の公演を計画している会場が多い。 感染症対策の上、安心して地区公演が開催できるよう計画していきたい。 評価							

上郷公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
上郷地区文化祭		市・地	継続	11	1,056	877	13,592	11月14日,15日	上郷公民館
		【成果と課題】 コロナ禍にも関わらず多くの参加団体、参加者があった。 特に芸能祭、ふれあいさわやか音楽祭においては企画当初感染症対策の面で心配の声の配の望が活動も含め、例年並みの参加団体があり、多くの団体が発表機会を求めた。文化展、活動報告、音楽祭、芸能祭それぞれにおいて日頃の活動の成果発表の機会の大切さをあらためて感じる文化祭となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ふれあいさわやか音楽祭、芸能祭の参加者が多く、文化展に来場する方が少ないという状況があり、あらためて文化部主催の文化祭としてありかたを検討していく。 来年度ふれあいさわやか音楽祭は別日に開催し、文化展の中で体験活動等より充実させていきたい。							
評価									
文化事業	目的	地区内個人、グループを対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、また住民が交流できる場として実施する。							
	実施内容	○文化展 …公民館で活動する団体・クラブ等による作品展示 日程：14日(土)13:00～15日(日)16:00 参加団体：高齢者学級、陶芸クラブ、日本画クラブ、婦人会、ポルトガル語を楽しむ会ほか13団体参加 ○活動報告 …公民館で活動する団体・クラブの紹介の活動報告展示 日程：14日(土)13:00～15日(日)16:00 参加団体：飯田サブニユマ、上郷史学会、もみじの会、地域を育む委員会ほか11団体 ○ふれあいさわやか音楽祭 …上郷地域の小学校、中学校、高校の音楽系クラブ、子ども・社会人の有志による音楽祭 日程：14日(土)11:00～16:00 参加団体：上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校、飯田高校、上郷コーラスほか8団体 ○第41回芸能祭 公民館を利用するサークルによる活動の成果発表会 日程：15日(日)10:00～16:00 参加団体：上郷小学校4年2組、どんぐり、ハミングココ、絆の会、アンサンブル・ヴァリルトウオーゾ吹奏楽団ほか13団体 ○その他 ・14日PM 地震体験車コーナー ・15日11:00～ 五平餅販売(下北農園の会)による五平餅の提供。 ・15日AM ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催) ・15日PM 茶道体験(茶道会) ・いっだ地域包括支援センターによる出張相談会 ・水引によるシトラスリボン製作コーナー 【検討過程】 7月28日 文化祭幹事会 8月18日 文化祭幹事会 8月27日 クラブ代表者会 9月18日 文化部会 9月23日 文化祭幹事会 9月25日 文化祭実行委員会 10月5日 芸能祭・音楽祭プログラム打ち合わせ 10月29日 文化部会 11月4日 文化祭幹事会							

上郷公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	スポーツ交流会(春、夏、冬)	地区費	継続	7	214	149	13,592	6月28日(中止)・8月23日・11月22日	高陵中学校グラウンド、上郷体育館
	【成果と課題】 これまで分館単位でチームを募り、分館対抗の交流会として開催していたが、今年度は感染症拡大の懸念から分館ごとでチーム集めに対する温度差があり、本館でチランを地区内、学校へ配布し地区全体で参加を募った。 夏季交流会は正副部長から提案という形で部員に協力いただきながら実施したが、冬季は夏季の経験も踏まえ「あの形なら楽しんで参加できる」、「分館でも声をかけてみる」等部員からも前向きな意見が見られ2月に予定していた交流会を前倒しして実施した。 両交流会とも参加チームは例年と比べると少なかったが、小学校の子どもの友人家族同士での参加、高校生の部活動の仲間での参加等これまでとは違った形で参加チームが増えた。 種目も簡単に親しめる軽スポーツとし、老若男女楽しみながら地域住民が交流する機会となった。								
								【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 今年度の実施方法を踏まえ、様々な形でのチーム募集を行い、地域住民がコロナ禍でも気軽に参加できるスポーツ交流会として検討する。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	上郷地区大運動会	地区費	継続	1	38	-	13,592	10月25日(中止)	高陵中学校グラウンド
		【成果と課題】 まずスポーツ部正副部長を中心とした公民館役員で今年度運動会の開催に向けて検討。分館対抗種目で選手を集めるということは今年は難しいのではないかと参加希望者で行えるような形を検討したいという話し合いがなされた。その後、まちづくり委員会役員、分館長などから意見を伺った。分館対抗種目が上郷地区の運動会の重要な部分(声をかけて参加のきっかけを作る。普段知り合わない人とつながる。)であり、それができないのであれば今年の運動会は中止した方がいいのではないかという意見が出された。 それまでの意見を踏まえ、8/17スポーツ部会にて今年度の運動会の中止を決定。							
								【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 中止にはなったが、検討の過程で今後の運動会のあり方を見つめなおす機会に安んじて参加できる運動会の実施に向けて関係する公民館部員を中心に検討する。	

【成果と課題】

これまで分館単位でチームを募り、分館対抗の交流会として開催していたが、今年度は感染症拡大の懸念から分館ごとでチーム集めに対する温度差があり、本館でチランを地区内、学校へ配布し地区全体で参加を募った。

夏季交流会は正副部長から提案という形で部員に協力いただきながら実施したが、冬季は夏季の経験も踏まえ「あの形なら楽しんで参加できる」、「分館でも声をかけてみる」等部員からも前向きな意見が出され2月に予定していた交流会を前倒して実施した。

両交流会とも参加チームは例年と比べると少なかったが、小学校の子どもの家族同士での参加、高校生の部活動の仲間での参加等これまでは違った形で参加チームが増えた。

種目も簡単に親しめる軽スポーツとし、老若男女楽しみながら地域住民が交流する機会となった。

【次年度の方向性と取り組み】

□拡充 ☒現状維持 □縮小

今年度の実施方法を踏まえ、様々な形でのチーム募集を行い、地域住民がコロナ禍でも気軽に参加できるスポーツ交流会として検討する。

【成果と課題】

まずスポーツ部正副部長を中心とした公民館役員で今年度運動会の開催に向けて検討。分館対抗種目で選手を集めるということは今年は難しいのではないかと参加希望者で行えるような形を検討したいという話し合いがなされた。その後、まちづくり委員会役員、分館長などから意見を伺った。分館対抗種目が上郷地区の運動会の重要な部分(声をかけて参加のきっかけを作る。普段知り合わない人となつながら。)であり、それができないのであれば今年の運動会は中止した方がいいのではないかと意見が出された。

それまでの意見を踏まえ、8/17スポーツ部会にて今年度の運動会の中止を決定。

【次年度の方向性と取り組み】

□拡充 ☒現状維持 □縮小

中止にはなったが、検討の過程で今後の運動会のあり方を見つめなおす機会に安んじて参加できる運動会の実施に向けて関係する公民館部員を中心に検討する。

上郷公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	「広報かみさと」発刊事業		市・地	継続	48	396	11	13,592	通年
		年刊発行回数	…12回	1回当たり発行部数	…4,800部				
広 報 事 業	目的	○内容:「今の上郷」の事業や住民の思い、風景写真などの記録、発信、地域の課題提起等を毎月発行し行う。また、まちづくり委員会発足時より、まちづくり委員会広報紙としての機能も併せ発刊している。 ○号数:157～168号(館報通算842号～853号) ○紙面:B4タブロイド判 ○掲載記事(一部) ○掲載記事(一部) 「上郷の今昔」…上郷の様々な歴史について上郷史学会の中島正韶さんに執筆いただいた。 「紙上演説会」…櫻井弘人さんに「黒田人形について」、北川原温さんに「いだりニア駅前空間デザイン」について執筆いただいた。 「上郷地区内小中高校の児童生徒に聞く今年の抱負」…小中高校生にコロナ禍において新年の抱負を書いてもらった。 「私の思うこと」…地域住民や地区内団体の関係者から自由な思いや意見を書いてもらう 「瀬音」…広報部員が地域、行政、社会に対する意見や問題点、季節の話題に触れる。							
	実施内容	【成果と課題】 今年度は様々な事業が中止となり、これまで地区内の出来事を主に掲載していた広報かみさとにとっては記事の企画に頭を悩ませる1年だった。 そんな中あらためて上郷の歴史について知ろうと上郷史学会の中島さんをお願いしたり、中止となった講演会の内容を紙上演説会として掲載したりとこれまでにない記事の形を模索し、なんとか1年間発行を続けることができた。 また「私の思うこと」はこれまで各分館で持ち回りで地区住民に依頼し書いてもらっていたが、今年度はコロナ禍で地区住民、また地区内団体の関係者がどのような思いを持って活動しているか書いてもらった。(人権擁護委員、小中学校校長、スポーツ部員、初めての選挙に行った高校生等) 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も毎月「今の上郷」を地域住民に届けられるような紙面を考え、発行する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	あいさつ運動		0円	継続	3	150	150	4月7・8日,8月25～28日,1月7・8日	上郷地区内
育 成 事 業	目的	【成果と課題】 新学期開始に合わせ、各分館青少年健全育成部員が中心となりあいさつ運動をした。帽子やたすきなどであいさつ運動実施中であることをPRし子どもとの顔見知りの関係を築くために育成部員の方から積極的にあいさつをした。 朝7時15分～7時45分 実施場所:上郷小学校前、廣源前横断歩道、信金上郷支店前など							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き各学期の始まりにあいさつ運動を計画する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高松の丘音楽会		市・地	継続	1	15	-	5月5日(中止)	上郷公民館
育 成 事 業	目的	【成果と課題】 プロの演奏者を招待し、一流の音楽を地元で聴く機会をつくるという趣旨で企画した。 しかしオーケストラと友に音楽祭出演者の皆さんにご出演いただくため、オケ友の中止に伴い一旦延期とした。 その後も今年度中の開催を検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とした。 【検討過程】 4月3日 地域を育む委員会							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区住民が一流の音楽にふれる機会として企画する。							

上郷公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小学校音楽鑑賞教室	地区費	継続	1	15	-	122	5月13日(中止)	上郷公民館
育成事業	目的	上郷小学校6年生児童を対象にプロのピアノist岩崎洵奈さんによる鑑賞教室を企画したが新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とした。 【検討過程】 4月3日 地域を育む委員会							
	実施内容	希望者だけでなく上郷小学校6年生全員を対象として、一流の音楽に触れてもらう機会を提供する。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 子どもたちが一流の音楽にふれる機会として企画する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	今年限りの夏の音楽フェスタ	地区費	新規	1	350	300	13,592	8月9日	上郷公民館
育成事業	目的	公民館地域を育む委員会が主催し、運営委員会、育成部会が協力した。高陵中学校、飯田高校、飯田女子高校の音楽系クラブ・部活動に参加いただいた。 ○参加団体 ・高陵中学校吹奏楽部 ・飯田高校軽音班 ・飯田女子高校合唱同好会 ・飯田女子高校邦楽クラブ ・飯田女子高校ギターマンドリンクラブ 【検討経過】 7月9日 地域を育む委員会 7月16日 運営委員会 7月22日 地域を育む委員会 8月5日 地域を育む委員会							
	実施内容	中止となつたいい大人形劇フェスタの代替事業として地区住民の夏の思い出になるよう、また中高校生の音楽系クラブ・部活動の発表の場として開催する。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 コロナ禍の「今年限り」と銘打って開催したので次年度は開催を予定しない。しかし学生の発表の場という趣旨は文化祭内で開催していた「ふれあいさわやか音楽祭」を文化祭と別事業として切り離し、実施する形で継続していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺・上郷ニューススポーツ交流会	地区費	継続	1	30	-	40	中止	上郷小学校体育館他
合同事業	目的	座光寺・上郷両地区の住民を対象にニューススポーツ交流会を行い、種目の普及と健康への関心を深める							
	実施内容	高陵中学校区の体育部のスポーツ交流会。 (実施内容) 両地区ごと体育部会 1回 【成果と課題】 昨年度より、体育部のニューススポーツ体験と両地区の交流を目的として開催してきたが、今年度はそれぞれの地区事業をまず考えることとし、計画の段階で中止とした。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 老若男女の交流の機会としてニューススポーツは有効であり、まずは体育部がニューススポーツを体験することが大切であると確認した。次年度はニューススポーツの習得研鑽と両地区の交流の機会として実施していく。							

上郷公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企 画 事 業	地域づくりフォーラム	市・地	継続	2	100	75	13,592	2月27日	上郷公民館
	目 的	上郷全体の課題は何か、それを上郷に暮らしている皆で考え、改善に向けて行動していくためのきっかけづくりの場として、上郷地区地域づくりフォーラムを毎年開催している。まちづくり委員会、女団連、小中PTA、日赤等地域内の様々な団体の代表で実行委員会を組織し企画運営している。 今年度は「新型コロナウイルス感染症の特性と対策」と題して飯田保健所長の松岡さんにお越しいただき新型コロナウイルス感染症について正しい知識や現在分かっていることをお聞きした。 【検討過程】 2月18日 地域づくりフォーラム実行委員会							
	実 施 内 容	上郷全体の方向性と取り組み □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 引き続き上郷の課題を実行委員で検討し、住民に投げかけけるようなテーマを企画する。							
そ の 他	上郷歩こう会	市・地	継続	1	30	30	13,592	5月17日	上郷地区内ほか
	目 的	5月17日を統一施日として計画したが、すべての分館で中止もしくは延期とした。 延期後、下黒田南分館は天竜峡「そらさんぼ」へのコースで開催した。							
	実 施 内 容	【成果と課題】 多くの分館で中止となったが、実施した分館もあった。 分館が主体となり身近な地域資源に目を向け、コースを企画運営する貴重な機会である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 分館ごと企画し、住民同士の親睦の機会でもあるため継続して企画する。							
そ の 他	地域を知る会	市・地	継続	3	40	15	20	9月27日	開催会場 大鹿村
	目 的	昨年度に引き続き、今年度は上郷地域外の大鹿村への現地学習会を企画したが、感染症拡大に伴い、企画した地域を育む委員会の学習会として行った。 実施内容は上郷地区文化祭にて活動報告として模造紙にまとめ発表した。 ○内容 大鹿村中央構造線博物館、ろくべん館、福德寺、大頂神社舞台ほか 【検討過程】 8月21日 地域を育む委員会 9月4日 地域を育む委員会にて事前学習会							
	実 施 内 容	【成果と課題】 昨年度の上村に続き、中央構造線を辿るルートとして大鹿村について学んだ。 上郷に限らず身近な地域の歴史や文化、自然等学習する機会となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 次年度は地域住民に広く参加者を募って身近な地域を学ぶ機会を検討する。							

上郷公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館役員研修会	市・地	継続	1	60	60	110	11月10日	上郷公民館
その他	目的	分館活動の意義、役員の心構えについて学ぶ。 今年度はCS推進活動としてもテーマとした地域の伝統行事について考える機会として「どんど焼きの当地域における歴史や意義」について考える研修会とした。どんど焼きは小学校PTAと各分館が連携して取り組む事業のため、PTA正副会長、支会長にも参加を募った。 講師：櫻井弘人さん 内容：「飯田下伊那地域に伝わる正月の伝統行事の歴史や意味について」							
	実施内容	【成果と課題】 地区によってはPTA任せの現状から地域全体で守っていく伝統行事であるという思いを広げていくべく開催した。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 研修会としてもそれ以外の場面でも分館の活動を促進するための企画、話し合いの場等を検討していく。							
その他	目的	評価 上郷地区文化祭にて参加者を対象として飯田市の水引を使ったシトラスリボン運動の普及啓発を行った。 事前に市の担当課職員から講習を受け、当日の作り方の指導は公民館部員が担当した。							
	実施内容	【検討過程】 11月4日 公民館部員講習会 11月8日 公民館部員、文化祭参加団体講習会							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	シトラスリボン運動の取り組み	市・地	新規	4	220	220	13,592	11月14日、15日	上郷公民館
その他	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き次年度も人権について考える機会を設けていきたい。							
	実施内容	【成果と課題】 コロナウィルス感染症感染者への誹謗中傷、偏見等が話題になる中、成人式を前に地域の中で理解の輪を広めたいとの思いで実施した。 参加者へ作り方を指導しながら趣旨を伝え、用意した200個を作成し終えた。 その後参加者や公民館部員で興味を持った方から、地区の分館でも広めたいという話や学校の授業でもやってみたい等の相談もあり広まりを見せた。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上郷地区成人式	市・地	継続	11	137	-	143	1月10日(延期)	上郷公民館
その他	目的	実施に向けて感染症対策、実施方法等検討したが、1月の時点では地域住民や参加者が安心して成人式を迎えられる状況にないと判断し延期とした。 【検討過程】 9月10日 成人式幹事会 10月7日 企画委員会 10月14日 成人式実行委員会 10月15日 新成人実行委員会 11月2日 新成人実行委員会 11月21日 新成人地域学習 11月26日 新成人実行委員会 12月3日 成人式幹事会 12月9日 成人式実行委員会 12月17日 臨時運営委員会 12月22日 新成人実行委員会							
	実施内容	地域として新成人を祝福するとともに地域の一員としての責任と理解を深める機会とする。							

上村公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(ひよこちゃん)	市・地	継続	6	20	6	6	実施内容のとおり	上村保育園ほか
	入園前の乳幼児とその親を対象として、子育てに関する学び、体験を通じての親子のふれあい、こども同士の交流、親同士の情報交換による子育て不安の解消やつながり作りを目的に実施。	市・地	継続	6	20	6	6	【成果と課題】 対象人数が少ないため、上村保育園、南信濃地区の乳幼児学級及び和田保育園とも合同開催を継続して実施している。地区や年齢の枠を越えた交流、親子の成長を感じられる場として組み立てることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 対象人数の増加は見込めないが、人数が少ない中でもそのつながりを大切に、次年度も継続して2地区の連携を図りながら、実施していく。	上村保育園ほか
	目的	市・地	継続	6	20	6	6	【成果と課題】 対象人数が少ないため、上村保育園、南信濃地区の乳幼児学級及び和田保育園とも合同開催を継続して実施している。地区や年齢の枠を越えた交流、親子の成長を感じられる場として組み立てることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 対象人数の増加は見込めないが、人数が少ない中でもそのつながりを大切に、次年度も継続して2地区の連携を図りながら、実施していく。	上村保育園ほか
学級・講座	子育てクラブ チロル	市・地	継続	4	21	6	6	8/27、10/30、12/24、3/12	上村公民館
	保育園保護者と入園前の親を対象とした座談会を定期的に開催。参加者の状況や意見などに合わせて内容を工夫しながら、気軽に話せる場を基本的な方針として、親同士の情報交換を実施。	市・地	継続	4	21	6	6	【成果と課題】 親が気軽に立ち寄って話し合える場になることができおり、来年度出席を控える方も参加し、アドバイスを受けるなど、お互いの状況や悩みを相談し合うことができている。コロナ禍ではSNSを通じて子どもの情報交換をするなど、親同士がゆるいつながりの中でお互いを支え合う関係性ができてきている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 対象が減少してしまうため、気軽に話せる場を意識しながら、小学校保護者の参加や、南信濃地区との交流など、段階的に対象範囲を広げていく。	上村公民館
	目的	市・地	継続	4	21	6	6	【成果と課題】 親が気軽に立ち寄って話し合える場になることができおり、来年度出席を控える方も参加し、アドバイスを受けるなど、お互いの状況や悩みを相談し合うことができている。コロナ禍ではSNSを通じて子どもの情報交換をするなど、親同士がゆるいつながりの中でお互いを支え合う関係性ができてきている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 対象が減少してしまうため、気軽に話せる場を意識しながら、小学校保護者の参加や、南信濃地区との交流など、段階的に対象範囲を広げていく。	上村公民館
学級・講座	若い衆で地域を語らまいか！(若者学習会)	市・地	継続	7	43	7	384	実施内容のとおり	上村公民館ほか
	地域活動と仲間づくりに取り組む地域の若者達の情報交換や、研修の機会を要望に応じて開催する。今年度は「上村青年会議」及び「まいか娘」で、コロナ禍で開催される霜月祭をきっかけに、自分たちでできることを話し合い、今年度の霜月祭を保存継承、地区内外への発信、自らの学習素材とするために、映像や記録で残す活動を実施。 10/6、10/29 青年会議幹事会 11/26 青年会議withまいか娘全体会 11/29～12/28 霜月祭映像資料作成、情報交換	市・地	継続	7	43	7	384	【成果と課題】 しゃくなげ祭での霜月祭りの舞披露に向けた活動がメインになっていた中で、コロナ禍でそれが中止となり、改めて活動を見つめ直すきっかけとなり、祭存続のために自分たちができていることを考え行動することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 上村青年会議のメンバー内で、改めて霜月祭の所作や舞等の意味や役割を学び直す必要性に対する意識が高まってきているため、聞き取り調査等の学習活動の面ですさらに拡充を図っていく。	上村公民館ほか
	目的	市・地	継続	7	43	7	384	【成果と課題】 しゃくなげ祭での霜月祭りの舞披露に向けた活動がメインになっていた中で、コロナ禍でそれが中止となり、改めて活動を見つめ直すきっかけとなり、祭存続のために自分たちができていることを考え行動することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 上村青年会議のメンバー内で、改めて霜月祭の所作や舞等の意味や役割を学び直す必要性に対する意識が高まってきているため、聞き取り調査等の学習活動の面ですさらに拡充を図っていく。	上村公民館ほか

上村公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学生霜月祭(横笛)教室	市・地	継続	1	8	8	30	11月30日	上村小学校
	霜月祭に対する関心を高め、実際に祭りの担い手として参加することによりふるさと意識の醸成を図る								
	実施内容		平成21年度から取り組んでいる「小学生霜月祭横笛教室」を継続し、小中学生の霜月祭への関心を高め、参加促進を図れる機会として開催。新型コロナウイルス感染症対策のため、霜月祭当日の参加は辞退となった。				【成果と課題】 コロナ禍でも子どもが霜月祭に触れる機会をつくりたいという上村遠山霜月祭保存会、上村青年会議のみなさんの教え手の思いと、今年も笛が上手になりたいという児童の思いをつなげ、1回でもできたことで来年度への児童の意欲がより具体的にいった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 小学生にとっても、成長を感じられる機会となっており、霜月祭当日の参加も含め、地域の中で子どもたちが霜月祭に触れる大切さを共有しながら、計画していく。		
評価									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	世代間交流事業	地区費	継続	3	82	25	40	実施内容のとおり	上村小学校・保育園
	郷土に伝わる伝統文化にふれ、自分たちの住む地域を見つめ直すきっかけとする								
	実施内容		高齢者クラブと連携し、保育園児・小学生を対象に、おやすやしめ縄飾り作りなど、地域の伝統文化にふれる機会を提供する。 12/17 上村保育園おやす作り 1/8 上村小学校小正月飾り 1/15 上村小学校松送り			【成果と課題】 地域の伝統文化とそれに込められた意味を高齢者クラブの方から教えていただき、子どもたちが今の暮らしの便利さや大切さへの関心を高める機会となった。コロナの影響で、昨年度双方の希望で始めた交流の時間が確保できなかったため、来年度は感染症対策をふまえて、これをどう確保するかを検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 高齢者クラブの活動の継続が難しくなっていく状況もありながら、子どもに対する事業には意欲的であり、実施可能な内容を検討しながら計画していく。			
評価									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学校PTA共催講演会	市・地	継続	1	7	-	386	1月24日(中止)	上村小学校
	家庭と地域の方を対象として地域が一体になって子どもの教育について考える機会とする								
	実施内容		小学校PTAと連絡調整を図り、コミュニティースクール体制の充実にむけて、小学校保護者を中心とした小学校関係者の子育てに関する課題解決や意識向上に向けた講座を展開する。 外部講師を検討したが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、地域住民が講師となり「昔の上村の暮らしを学ぶ」という組み立てで再度計画するも、感染症警戒レベル上昇により中止となった。			【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、内容変更を余儀なくされてしまったが、その中でもできる形として地域住民が講師となる新しい形を見出すきっかけとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 コロナ禍の影響もあり、地区外の保護者と地区内の保護者が顔を合わす機会が少なくなっているため、保護者との連携を密にとりながら保護者が主体的に考えられるよう意識して取り組む。			
評価									

上村公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ2020 上村地区公演	市・地	継続	1	10	-	384	8月9日(中止)	上村コミュニティセンター
	地区住民を対象に、身近な場所で行われる人形劇に親しむ機会の提供と、地区独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。								
	目的						【成果と課題】 計画の中でフェスタ自体やそれに伴う企画が、地域内外の人々に根付いたものとなっており、それが交流のきっかけになっていることを確認した。感染症対策をした上で、その交流をどう作っていくかは次年度に向けた課題である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 魚のかみどりも含め、次年度は開催してほしいという声が地区内外の住民から挙がっており、感染症対策をしたうえで、できる限りのことを計画、準備していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	遠山2地区合同人形劇フェスタ市内観劇バスツアー2020	市・地	継続	1	7	-	19	8月6日(中止)	フェスタセントラルパークほか
	親子を対象に、子どもだけでは参加できない市内中心部で行われる公演を鑑賞する機会の提供と集団での社会性を身につけることを目的に実施						【成果と課題】 中止となったことから改めて当事業の意味を考える機会となり、図書分館サービス係のみなさんと参加する子どもや、その親とのつながりを深める場としても大切な事業であることが共有できた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもの成長が感じられる機会として、保護者からも好評のため、小学校のスクールバスでの対応などを参考に、感染症対策をたうえで、開催できる方法を検討し、準備を進める。		
	目的								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	地区文化祭(しゃくなげ祭)	市・地	継続	1	6	-	384	11月8日(中止)	上村小学校体育館
	地区住民を対象に、身近な場所で芸術文化に親しむことを、また地区の文化活動の成果発表の場を通じて住民の交流を図る。						【成果と課題】 毎年共催の小学校や保育園も含め、地域住民がお互いの活動や様子を分かち合う場として大切な場であることを確認し、代替事業へつなげることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 みんなが集まってお互いの様子を分かち合える場とするためにどうすべきかを、小学校や保育園も含め、感染症対策を考え、計画していく。		
	目的								

上村公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	上村地区作品展覧会	市・地 継続	1	150	-	384	11月7日～11月18日	山村ふるさと保存館ねぎや
	地区住民を対象に、自身の活動の成果発表の場を提供すること、身近な場所で芸術文化に親しむことを通じて、住民の交流を図る。	しゃくげ祭の代替事業として、地区住民の活動の成果発表を展示物で行う場として、地区住民から展示作品を募集して開催した。また、隣接するまつり伝承館天伯も含め、地区住民が身近にある文化施設を利用するきっかけとするために、会場を山村ふるさと保存館ねぎやとした。 保育園、小中学校の学習成果、地域の団体活動紹介や個人の作品展示を実施。コロナに関連付けて、100年前に疫病が流行った際の古文書の個人展示もあった。						【成果と課題】 コロナ禍において、日々の活動ができていない団体もあり、作品数は例年のしゃくげ祭よりも若干少なくなったが、こういときだからこそ自分の作品で地域を元気づけたいという思いのある作品が集まり、コロナ禍でも地域のつながりを意識できる機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 例年とおりのしゃくげ祭での作品展示を基本に検討を進めていき、万が一それができない場合に、今回のような方法での対応を計画する。
	目的	評価						
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	遠山地区成人式	市・地 新規	3	39	10	10	1月10日(延期)	南信濃地域交流センター
	新成人を対象に、地域が新成人を祝福し、新成人が家族・地域への感謝を表す場、改めて地域とのつながりを考えるきっかけとする。	統合遠山中学校区となり、2地区公民館合同開催。今年度の地域学習のテーマは「遠山郷にある3つの店舗のジンギスを学ぶ(三種のジンギス)」となり、取り組んだ。新成人、文化委員会、企画委員会で実行委員会を組織して、企画・運営を行った。 新成人実行委員の活動:地域学習(遠山郷三種のジンギス) 8/15...新成人との打合せ 10/11...地域学習(三種のジンギスを食す会) 11/12...地域学習(三種のジンギスを考える会)						【成果と課題】 両地区の公民館委員も新成人とともに、ジンギスを学び直す機会となった。また、新成人がその活動の内容から、両地区がつながることで、課題解決や新たな価値を見出せる可能性を考えるきっかけとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 延期先に向けて、一部の新成人から両地区の魅力を活かした具体的な活動案が出てきているため、それを地域や他の新成人にも共有しながら取り組んでいく。
	目的	評価						
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	マレットゴルフ大会	市・地 継続	1	34	34	386	10月4日	中山スカイパークアマレットゴルフ場
	地区住民を対象に、競技による健康増進と、参加者同士の交流と親睦を図る	例年は分館対抗戦を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、分館毎の選手選出が難しい状況となったため、分館対抗戦は行わず、個人戦のみでの開催とした。						【成果と課題】 かみむら大運動会の中止決定もあり、コロナ禍で体を動かす機会が減少してしまっただ地域住民のためにできる形を模索して開催することができた。賞品についても、地区内の店舗から調達するように見直しをかけるなど、地域の状況に目を向けながら事業を計画することができた。
	目的	評価						【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 分館対抗戦を再開するかどうかも含め、開催に向けて計画していく。

上村公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	地区運動会(かみむら大運動会)		地区費	5	49	-	386	10月11日(中止)	
		平成15年度から小学校運動会と合同で、平成21年度からは保育園運動会も合同で開催。3者合同で内容や目的を検討し、学校・地域との連携を図り計画を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 6/12企画委員会 6/26三者(公民館・保育園・小学校)事前打合せ 7/17企画委員会 7/22企画委員、分館長打ち合わせ 7/29三者打ち合わせ	地区費	継続	5	49	-	386	10月11日(中止)
	地区住民を対象に、住民が運動会を通じて住民相互の交流と親睦、健康増進を図る	実施内容	地区費	継続	5	49	-	386	10月11日(中止)
評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 継続して地域、学校、保育園で連携をとり、感染症対策をしたうえでの運動会の実施を検討していく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	公民館卓球大会・第27回小学生卓球大会		市・地	1	26	26	386	2月27日	上村小学校
	小学生と地区住民を対象に、地域に根ざしたスポーツ活動(卓球)の普及と住民交流を図る	実施内容	市・地	継続	1	26	386	2月27日	
		上村卓球クラブとの共催、上村小学校、遠山中学校卓球部の協力を得て、小学生と一般の部で行う。南信濃地区の和田小学校にも声を掛け、参加者の増加を図る。 ■ジュニアカップ争奪戦(小学生全学年による総当たりリーグ戦) ■一般の部(男性・女性シングルス戦)※新型コロナウイルス感染症蔓延対策のため、例年のダブルス交流戦は中止。	市・地	継続	1	26	26	386	2月27日
評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 小学生の状況もふまえながら、中学生・一般を中心にしながら小学生の活躍の場を確保するなど開催方法を検討する。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	春季スポーツ大会		地区費	1	40	40	386	3月6日	上村小学校体育館
		健康福祉委員会と共催し、囲碁ボールの大会とあわせて健康講座も同時開催して交流と健康づくりの機会として開催している。今年度は南信濃地区健康福祉委員会とも連携し、介護に関する講演会も同時開催する。新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるためより広い会場の上村小学校体育館にて開催。	地区費	継続	1	40	40	386	3月6日
	地区住民を対象に、身体を動かすことが少ない冬季の運動の機会の提供と、健康づくりへの意識向上を図る	実施内容	地区費	継続	1	40	40	386	3月6日
評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 高齢者の参加が多くなっている状況もふまえ、感染症対策を徹底しながら、健康づくりや運動の必要性を考ええた組み立てを検討する。								

上村公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かみむら」発行	地区費	継続	年4回	-	-	386	6月30日、10月30日、1月31日、3月31日	上村公民館
	地区住民を対象に、地域の情報発信、将来への記録等を目的に発行			地域をとりまく話題や課題に対し、地区住民の関心を高めるため年4回発行。 第192号 遠山郷助っ人名鑑(2地区合同企画)、入学式 他 第193号 かみむ大運動会特集 第194号 コロナ禍の霜月祭、かみっコスマイルフェスティバル 他 第195号 遠山郷フォーラム、各地区年明け行事 他			【成果と課題】 コロナ禍で事業が少なくな中、館報で取り上げる内容に苦慮する面もあったが、それを機会にさらに地域に伝えたいことを考え、アイデアを共有しながら館報づくりを進めることができた。		
	評価						【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍の経験で、より柔軟にアイデアを出し合いながら館報づくりができるようになってきている。記録としての役割も大切にしながら、皆で意見や情報を出し合いつくり上げる館報を意識して取り組んでいく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間	市・地	継続	8	299	37	84	実施内容のとおり	南信濃学習交流センターほか
	小学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元を愛着が持てる人づくりを目指す。			南信濃公民館と共催で、長期休暇を利用し、地域資源を活用した体験型学習を展開。また、長期休暇中の受け皿づくりのモデルケースを検討する。保護者・地域ボランティア及び学校が連携し地域ぐるみで子どもを育む実践活動として行う。 日ごとの主な体験学習内容:8/4藍染め体験、8/5スイミングスクール、8/6ニューススポーツ体験会(ポツチャ)・陶芸教室、8/7旧宿場町上町フットロゲイング、8/11旧木沢小学校体験入学・科学の力、8/12プール、8/19魚のつかみどり、8/20お楽しみ会 ※春休み子ども見守り事業自磨の時間は3/22～3/31に実施予定(3/28ユネスコスクール登録への意識共有のため、遠山森林鉄道子どもスクールの実施予定)。			【成果と課題】 コロナ禍で外部講師は控え、地元住民が講師となるかたちで組み立て、様々な体験学習を展開でき、地元住民と子どもが接する機会をつくれた。これにより、改めて子どもから大人までが学び合い、地域の魅力を再発見しながら、郷土愛を育む機会になった。地域の中いかに組織化していくかは今後の課題である。		
	評価						【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民同士で子どもの育ちを考える機会と捉え、上村・南信濃両地区が一体となったふるさと学習への展開を図る。そのうえで、関係人口創出に向けて外とのつながりも組み込んだ事業へと拡充していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	自磨の時間 -遠山郷ESD塾-	市・地	継続	2	90	45	84	8月17日、8月18日	南信濃学習交流センターほか
	遠山三校の小・中学生を対象に、大学生による補修学習で学習意欲の向上や大学生との交流や、自然等の体験学習から地域資源の価値の再認識を図る			大学生による補修学習(学習塾)と自然などの地域資源に触れる体験学習を実施。今年度はコロナ禍のため、大学関係者はオンラインで参加し、体験活動などの現場は地域住民が連携するハイブリット形式で実施した。 8/17 ESD学習、自然体験(裾谷川の生き物観察・川流れ体験) 8/18 ESD学習、成果発表会 共催:南信濃公民館、立教大学ESD研究所			【成果と課題】 子どもたちが全く異なる環境で生まれ育った学生に対してふるさとの魅力を発信し、生の反応を見ることができ、郷土愛を自覚するとともに、将来像を思い描きかけとなる活動ができた。同じ空間で同じものを共有する体験ができないもどかしさはあったが、オンラインならではのコミュニケーション方法などオンラインを活用する場面が見られ、新しい形でのお互いの交流、学習ができた。		
	評価						【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 運営面はもちろん、児童や生徒たち、大学生にとっても、同じ現実の空間で体験が最も効果的であるため、計画段階ではオンラインを活用しながら、実際に大学関係者にも現場に来ていただくことを想定して、感染症対策をふまえて計画していく。		

上村公民館の事業報告

No.7

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	遠山郷フォーラム		市・地	新規	2	83	83	1,666	2月28日、3月14日(予定)	上村小学校体育館ほか
合同事業	目的	上村・南信濃地区住民及び学校・保育園関係者を対象に、両地区の様々な取り組み、繋がりや連携の必要性を考える機会をつくる	【成果と課題】 人口減少が顕著な当地域の中で、住み続けられる地域づくりを進めていくうえで、地域を支える人材育成が重要となっており、地域に愛着を持った地域の担い手を育成していくために、両地区で活動している若者を話題提供者に迎え、同じ目的に向かって連携する意識を醸成し、活動のつながり、保育園、小中学校、地域のつながり、遠山郷内外とのつながり等、様々なつながりから遠山郷が一丸となり、さらに推進力をもって動き出せる機会としてフォーラムを開催する。 主催：上村、南信濃両地区まちづくり委員会及び公民館、共催：企画課、ムトスまちづくり推進課、立教大学ESD研究所 ※3/14に遠山GO未来フォーラムとして、中学生と地域の若者が具体的に話し合う機会を予定。							
	実施内容		評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☐現状維持 ☐縮小 今回のフォーラムで遠山郷がひとつになることへの意識づくりができたため、この意識を大切にし、具体的な活動へつなげていく。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	遠山郷いぜんとあそぼうプロジェクト		市・地	継続	13	151	11	384	実施内容のとおり	上村公民館ほか
その他	目的	地域住民を対象に、地域資源の掘り起こしや魅力発見、仲間づくりをしていくことで、地元への愛着を持って行動できる人づくりを目指す。	【成果と課題】 ウッドデッキ制作では、制作過程で地元の大工の方にアドバイザーとして参加してもらい、園児にも簡単な作業に参加してもらおうなど、様々な人が関わりウッドデッキが多くの人に愛着を持ってもらうように取り組めた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☐縮小 自然体験事業を展開していこうとする中で、自分たち自身が技術や知識が足りていないことに気づき、学習や技術習得の意欲が高まってきているため、研修会等で自己研鑽できる機会も検討しながら活動を組み立てていく。							
	実施内容		評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☐縮小 上村保育園裏山整備(ウッドデッキづくり)：4/12、4/19、4/17、4/31、6/21、6/28、7/26、8/2、8/23、8/30) とちの木整備：11/28、12/5、2/14							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	KGC(かみっこグリーンクラブ)自然体験		市・地	新規	1	37	37	19	8月8日	上村小学校ほか
その他	目的	上村小学校児童を対象に「上村・飯田」のよさを実感し愛着を持つとともに、自ら進んで学ぶ子どもを育て、学校・家庭・地域の三者が協働して、支え合い、みんなで子どもを育てる意識の醸成を図る	【成果と課題】 3者で実行委員会を組織し、地域の達人から地域資源を学び、交流できる自然体験活動を実施。地域・学校・保護者で作る会報を発行し、事業の様子や参加者の思いなどを共有し、3者のつながりをさらに深める。当初の予定では1泊2日のキャンプの予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、日帰りでできる内容に変更して実施。 主な内容：中央構造線学習、下果の里ガイド学習、木工体験、下果いもほり体験、山探検、通信発行							
	実施内容		評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☐現状維持 ☐縮小 新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながらではあるが、今年度の当初予定していた1泊2日の組み立てを計画し、保護者の関わりをさらに増やせるように取り組んでいく。							

南信濃公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級「すこやか学級」		市・地	継続	10	13	2	実施内容参照	和田保育園ほか
学級・講座	遠山2地区の保健師・保育士・公民館で計画し、年間を通して講座を実施。事業企画にあたっては親の意見も取り入れながら、主体的な活動となるようにしていく。対象者が保育園への未満児保育を利用しているため、保育園と連携を図る。 【実施内容】 ①5/8はじめて！みんなで遊ぼう(中止)②6/11泥んこ遊びを楽しむ③7/7わらべ歌遊び・上村及び南信濃合同(中止)④7/17夏祭り⑤8/6いいだ人形劇フェスタ2020保育園公演(中止)⑥9/3リトミック・上・村及び南信濃合同⑦10/3和田保育園運動会⑧人形劇巡回公演「わたちゃん」・上村及び南信濃合同⑨11/2焼き芋大会⑩リトミック・上村及び南信濃合同⑪クリスマス会&サブコミュニティ・上村及び南信濃合同⑫2/16 1日入園⑬3/5 閉講式・パン作り		市・地	継続	10	13	2	【成果と課題】 2家庭2名でスタートしたが年度途中に1名が未満児入所となり対象が1名となったが、お母さんの子育ての悩みに園長先生と保健師が親身に寄り添い、孤立して悩まない環境づくりを意識した。 年度を通して、少しずつ親離れする姿にお母さんと共に成長を喜ぶことができた。 一方で、恒常的に親同士の交流をつくるのが困難ななかでも親御さんが少しでも有用な取り組みになるよう努める。	和田保育園ほか
学級・講座	未就園児とその親を対象に、子どもの成長策の確認、子育てに関する知識の習得、親同士の仲間作り、子どもの社会性の育成を図る		市・地	継続	3	35	12	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 可能な限り上村公民館との合同事業を組み立て、遠山2地区における乳幼児学級を推進していく。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
女性学級		市・地	継続	3	35	12	686	実施内容参照	せせらぎの里陶芸館ほか
学級・講座	女性(18歳以上)を対象に学習と交流の機会を図る。 ①10/8, 11「陶芸教室」講師：せせらぎの里陶芸館 松沢准さん 12名 ②12/26「フラワーアレンジメント講座」講師：ラブリ 伊藤篤さん 23名 会場：南信濃学習交流センター		市・地	継続	3	35	12	【成果と課題】 体験を通して、女性が地域活動へ参加しやすい環境づくりを設定し、日常会話から近況の状況を捉え、女性目線で見方について話し合う場となっている。20代の参加も見られ、世代を越えた交流事業である。 参加の固定化や学習要素の希薄などは事業組み立ての課題である。	せせらぎの里陶芸館ほか
学級・講座	地域の女性を対象に、地域の課題に目を向けた、学習・交流の機会の提供を図る		市・地	継続	3	35	12	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学級参加者以外にも、日常的にここに書らす女性の声を拾い上げ、充実した事業化を図る。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
図書分館との合同事業		市・地	継続	39	683	17	1,282	実施内容参照	南信濃学習交流センターほか
学級・講座	年度当初から休館となったものの、①本を読む機会をつくり、より親しみをもってもらうために、スタンブラリーを実施する。②親子読書講座を開催し、読み聞かせを通じて家庭内における親子の時間をつくる。③興味を持ちそうな本を掲示して興味関心を持ってもらい、本を身近に感じてもらう。以上3項目を年間目標に掲げた。 ○夏休み期間中(8/4,6,8,17,18)に園児と児童対象に読書スタンブラリー実施。(157冊貸出)10冊読破した子どもに賞状や手作りアマビエマスコットを贈呈(9/16 和田保育園3名、和田小学校5名) ○10/30ハロウィンと和田保育園訪問読み聞かせ ○11月から毎週火曜日9時～10時まで和田小学校図書館勤務(読み聞かせと本の貸出業務) ○月1回出張貸出(高齢者アパート、デイサービス及び作業所)		市・地	継続	39	683	17	【成果と課題】 コロナ禍で子ども達に会えない日々が続くなか、できることを考え、マスクを寄贈するなどつながりを堅持していた。夏休みの読書スタンブラリーはスタンブカードの表紙の絵を児童たちに依頼し、それぞれが思い描くアマビエのイラストを集めた、言わば子どもと係員との協同製作が実現し、新規登録者やばら利用がなかった子どもの再登録など、図書館に足を運び、本を読む機会が増えた。また、この取り組みに和田小学校の先生方が感化され、2年生の地域学習で図書館を訪れたり、学校図書運営への協力依頼もあり、係員の皆さんのやりがいにつながった。	南信濃学習交流センターほか
学級・講座	小学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元へ愛着が持てる人づくりを図る		市・地	継続	39	683	17	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 たくさん本に出会い、心を豊かにする機会や親子読書事業の取り組みを強化し、希薄化している親子の時間を創り上げていく。 中央図書館や上村図書分館と連携し、読み聞かせ技術向上を図る。	南信濃学習交流センターほか

南信濃公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	クリスマス会	市・地	新規	1	46	46	63	12月29日	かぐらの湯
学級・講座	地区住民を対象に、特に地元中学生及び高校生が主体的な企画運営に携わることで、地域活動参画への意識の醸成を図る。 実施内容 地区住民を対象に、特に地元中学生及び高校生が主体的な企画運営に携わることで、地域活動参画への意識の醸成を図る。	市・地	新規	1	46	46	63	12月29日	かぐらの湯
							【成果と課題】 地元高校生が実行委員長を務め、子どもたちが楽しめる企画に創意工夫を凝らした。読み聞かせ、松ぼっくりクリスマスツリーの製作、ジェスチャーゲームなど、子どもからお年寄りまで笑顔が絶えない時間であった。 高校生に対しては、あくまで自発的な参画或いは参加を求め、地域へ飛び出せる環境づくりが必要。		
							【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 高校生に対しては、HPやSNSを活用した発信で声かけを行っていく。 中学生においては、地域活動を通して多様な人々との出会いから、自己形成していくにあたっての自分なりの考えを持てる時間として有用な場にしていく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	書き初めの宿題をやる会	市・地	新規	1	19	19	63	12月29日	南信濃学習交流センター
学級・講座	別件で実施した和田小学校の先生に対する、南信濃の子どもたちにつけて欲しい力として、「粘り強く、やり抜く力」というキーワードが挙げられたことから、子どもたちに習字のコツを掴むことや、集中力及びやり抜く力を育む機会として実施した。 実施内容 小学生及び中学生を対象に、習字を通して基礎習得や集中力を養い、学習する意欲向上を図る。	市・地	新規	1	19	19	63	12月29日	南信濃学習交流センター
							【成果と課題】 社会教育関係団体で関わりのある先生を講師に招き、指導を依頼した。「これでいいか。」「まあいいか。」というような声に、先生から「納得いく字を書いてみよう」と粘り強い指導があり、子どもたちが気を取り直して取り組み姿勢が見られた。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 字と向き合うということは己と向き合うことでもある。自己研鑽できる場として継続したい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	遠山郷フォーラム	市・地	新規	2	83	83	1,666	2月28日、3月14日(予定)	上村小学校体育館ほか
学級・講座	上村・南信濃地区住民及び学校・保育園関係者を対象に、両地区の様々な取り組みをお互いに知り合い、繋がりや連携の必要性を考慮する機会をつくる 実施内容 人口減少が顕著な当地域の中で、住み続けられる地域づくりを進めていくうえで、地域を支える人材育成が重要となっており、地域に愛着を持った地域の担い手を育成していくために、両地区で活動している若者を話題提供者に迎え、同じ目的に向かって連携する意識を醸成し、活動のつながり、保育園、小中学校、地域のつながり、遠山郷内外とのつながり等、様々なつながりから遠山郷が一丸となり、さらに推進力をもって動き出せる機会としてフォーラムを開催する。 主催：上村、南信濃両地区まちづくり委員会及び公民館、共催：企画課、ムトスまちづくり推進課、立教大学ESD研究所 ※3/14に遠山GO未来フォーラムとして、中学生と地域の若者が具体的に話し合う機会を予定。	市・地	新規	2	83	83	1,666	2月28日、3月14日(予定)	上村小学校体育館ほか
							【成果と課題】 同じ目的を持って両地区住民が一堂に会し、若者が地域の中で活動している思いを共有する初めての機会となった。参加者が若者の活動自体や郷土愛を知ることとなり、子どもの頃の地域とつながる経験が今の若者の原動力となっていることを共有した。外部からの視点も取り入れることで、ここで暮らすことへの自己肯定に結び付けることができた。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 今回のフォーラムで遠山郷がひとつになることへの意識づくりができたため、この意識を大切に、具体的な活動へつなげていく。		

南信濃公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	夏・春休み子ども見守り事業 自磨の時間		市・地	継続	8	299	37	84	実施内容参照	南信濃学習交流センターほか
	【成果と課題】 コロナ禍で外部講師は控え、地元住民が講師となるかたちで組み立て、様々な体験学習を展開でき、地元住民と子どもが接する機会をつくれた。これにより、改めて子どもから大人までが学び合い、地域の魅力を再発見しながら、郷土愛を育む機会になった。地域の中いかに組織化していくかは今後の課題である。									
学級・講座	目的	小学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元に着目し、人づくりを目指す。	実施内容		評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☑縮小 地域住民同士で子どもの育ちを考える機会と捉え、上村・南信濃両地区が一体となったふさと学習への展開を図る。そのうえで、関係人口創出に向けて外とのつながりも組み込んだ事業へと拡充していく。					
			千代峠交流会		【成果と課題】 本年度は、令和元年に開通したそらさんぽや、下村地区の方により整備された下村広場をめぐり、互いの地域資源を学ぶ機会となった。また、天龍峡案内人の方と同行いただいたことで、今まで着目していなかった観光資源についても知ることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☑縮小 参加者の高齢化や旧千遠線の寸断があり、平成29年度より千代峠を介さない交流を行っている。一方で、旧千遠線の古道としての文化的価値を残す意味でも、可能な形で千代峠を活用した交流会にしたいとの意見も出ている。自動車で乗り入れ可能な林道千遠線も延伸したことから、徒歩ルートの変更も視野に入れて計画していきたい。					
学級・講座	目的	一般を対象に、山の古道を歩き、自然と歴史に触れる	実施内容		評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☑縮小 参加者の高齢化や旧千遠線の寸断があり、平成29年度より千代峠を介さない交流を行っている。一方で、旧千遠線の古道としての文化的価値を残す意味でも、可能な形で千代峠を活用した交流会にしたいとの意見も出ている。自動車で乗り入れ可能な林道千遠線も延伸したことから、徒歩ルートの変更も視野に入れて計画していきたい。					
			和田小学校学校運営協議会を軸に、地域で子どもを育む実践活動推進を図る。		【成果と課題】 昔の暮らしのどのような場面でもわらを使ったかあるいはどんな使い方をしたのかを学んだ。子どもたちがしめ縄やおやすづくりを習得するスピードは凄まじく早く、小さい手を駆使して一生懸命作りあげることができた。 正月飾りの風習については先生方も知らないことが多かったようで、子どもから大人までが学び合う機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☑現状維持 ☑縮小 児童数減少に伴い、田んぼ管理は不可能に近い。持続可能な取り組みにするにはどうすればよいか学校運営協議会を通じて議論していきたい。					

南信濃公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ブッポウソウ保護活動と環境保全学習			市・地	継続	1	9	1,282	4月25日	南信濃地区内
	目的	地域住民を対象に自然保護に対する意識の向上とその環境保全学習で共生の意義を学ぶ						【成果と課題】 ブッポウソウは県の天然記念物に指定されていて、県内では20つがいほどしかない貴重な鳥で、その保護活動を通じて自然を理解し、自然を保護する気持ちを育てる機会を醸成する。 また、環境保全学習を通じて、陸の豊かさを守る意識と住み続けられるまちづくりへの意識を醸成する。		
体育事業	実施内容							【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 陸の豊かさを守るうえで、大切な保護活動として位置付いている。持続可能な取り組みにするため、住民周知特に子どもたちの関わりを意識した事業展開を図る。		
	評価									
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	健康増進事業 毎週月曜日はみなみしなの健康の日			地区費	継続	1	10	1,282	中止	—
	目的	日常的な健康づくりを啓発するため、ウォーキングを中心に健康づくりの機会をつくる。		【新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止】 昨年度、新規事業として南信濃まちづくり委員会健康福祉委員会と共催で立ち上げた。 主たる内容(昨年度) 開催日：毎週月曜日19:00～20:00 ウォーキングが主となり、地区内を各自のペースで周遊。 雨天時は体育委員指導によるニュースポーツや体幹トレーニングを実施。				【成果と課題】 コロナの状況が安定せず、「集う」ことへの住民の不安を煽らないよう配慮した。会議の中で、週1の負担感、広域的な地理特性から、出張をウォーキング(案)が出るなど、いかにして、楽しく全住民の皆さんに参加してもらうかを検討する機会になった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 昨年度の結果から、地元住民に限らず隣地区や、学校の先生方の参加もあることから、需要があることを前提に、さらなる充実化を図る。		
体育事業	実施内容									
	評価									
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	南信濃健康まつり			地区費	継続	1	2	1,282	中止	—
	目的	地域の住民を対象に健康や食に対する関心を高め、自身で行う健康づくりのきっかけの場を提供する。		【新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止】 健康福祉委員会と体育委員会合同で実施。 ニュースポーツ交流会 クッパ・囲基ボール・クロリティ				【成果と課題】 例年、2月下旬に開催する関係で会議を1月上旬に行っていたが、コロナ感染警戒レベルが高い状態が続いたため、健康福祉委員長、体育委員長及び館長のご意見を集約し、企画会議をすることも困難な中で準備が整わないことから、中止の判断となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 健康福祉委員会による健康学習と体育委員会によるニュースポーツ体験は学習と交流の場を創出しており、これまでの事業実績からも参加者の満足度は高いことから、感染症対策を講じた実施を検討していく。		

南信濃公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第40回南信濃地区ソフトボール大会	地区費	継続	3	26	-	1,282	8/25(中止)	-
	目的	【新型コロナウィルス感染症蔓延のため中止】 遠山中学校、橋北、夜川瀬、南和田、南部・木沢、本町の6チームが参加。1チーム2試合のリーグ戦及び決勝戦。御射山ソフトとして親しまれ、恒例の行事である。地区ごとや中学生チームの参加で7チームが熱戦を繰り広げた。1チーム最低2試合できるように、変則トーナメント方式で開催している。							
	実施内容	【成果と課題】 会議を重ね、従来の野球大会は帰省中の地縁者も参加し、地区内外の重要な交流事業となっていたが、コロナ禍を鑑みて地区内完結型に切り替えた新たなカタチをつくった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 比較적、野球大会より参加しやすい環境で、中学生チームがあるなど異年齢交流の場にもなっていることから、継続事業として取り組みたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	南信濃地区運動の集い	地区費	新規	8	401	-	1,282	11月1日	南信濃運動場
	目的	新しい運動の様式として、一から事業を組立てた。 テーマ「みんなで楽しく元気に体を動かしまいか」 ①ラジオ体操第1②ウルトラストレッチ③南信濃大じゃんけん大会④ラッキー抽選会⑤南信濃村発足30年記念 タイムカプセルお披露目							
	実施内容	【成果と課題】 コロナ禍による住民の健康状態を気にかけながら、運動会で大切にしてきたことを保持しつつ、体育委員会にできることを委員全員で考え出した、分館役員、公民館臨時総会、そしてまちづくり委員会に丁寧な説明を重ね、実現できた。 中学生のボランティアスタッフから、コロナでもこうして皆さんがつながれる場所をつくりあげることがはずいことだし、とても楽しかった。と感想をいただいた。 当初、100人程度の参加見込みだったが、3倍以上の参加があり、大盛況で閉じた。しばらく余韻があり、委員さんに「とてもよかったよ」と声をかけてくれる住民が多かったとのこと。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 園児数及び児童数減少から、それぞれ単独開催は難しいとの声が拳がり、令和3年度に向けた保育園、小学校及び地区合同運動会のあり方検討協議会を進行中である。 少子高齢化問題を真摯に受け止め、有用性のある事業展開を図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	コロナ退散！盆野球大会	地区費	新規	3	25	-	1,282	8/15(中止)	-
	目的	【新型コロナウィルス感染症蔓延のため中止】 これまで、南和田・本町・木沢・八重河内、西部及び新町チームの編成だったが、受付時にぐじ引きを行い、最大3チームの混成チームを編成するシステムをとる。 競争というよりは地区内住民の親睦を主たる目的とする。							
	実施内容	【成果と課題】 会議を重ね、従来の野球大会は帰省中の地縁者も参加し、地区内外の重要な交流事業となっていたが、コロナ禍を鑑みて地区内完結型に切り替えた新たなカタチをつくった。 伝統ある野球大会ではあるものの、例年野球人口は減り、参加者が固定化されているのが実情である。そのようななかで、野球大会のあり方についても考える機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 若者の意見も取り入れながら、現状把握に努め、創意工夫を考ええるとともに、事業の在り方を検討実施していく。							

南信濃公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	リラックスヨガ講座2020		地区費	継続	2	20	1,282	実施内容参照	南信濃学習交流センター
体 育 事 業	目 的	例年、年度を通して10回程度開催していたが、コロナ対策をとれるであろう期間のみ実施した。 ヨガを通じた健康づくり、仲間づくりが目的である。 11/19 第1回、11/29 第2回 講師：中村陽子先生							
	実 施 内 容	【成果と課題】 若年層に好評な事業であり、楽しみに参加していただく方が多い。先生から十分なコロナ対策を講じていただき、安心して参加できる環境づくりができた。これまで、参加したいけど都合が合わない。との声があったことから、事前集約を行いなるべくご希望に沿う形で開催した。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 ヨガ=女性というイメージが強いが、本事業は誰でも気軽にできるヨガであることから、参加周知を図りたい。							
文 化 事 業	目 的	住民を対象に天体観測を通して環境問題への意識と自然保護活動について学ぶ							
	実 施 内 容	南信濃B&G海洋センター敷地内にある天体望遠鏡を有効活用し、ここに暮らす住民の皆さんが、自然豊かな遠山郷を具体的に体感する事業として、天体又は星空観察会を企画する。 また、天体や星空の学習を深めると天体望遠鏡の利活用を推進すること、で、ふと見上げる夜空がより、心の癒しや豊かさにつながる事業とする。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 学芸員さんと連携し、既存の望遠鏡を有効活用した事業展開を図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	天体観測会		地区費	継続	1	28	1,282	10月8日	南信濃B&G海洋センター
文 化 事 業	目 的	統合遠山中学校区となり、2地区公民館合同開催。今年度の地域学習のテーマは「遠山郷にある3つの店舗のジンギスを学ぶ(三種のジンギス)」となり、取り組んだ。新成人、文化委員会、企画委員会で実行委員会を組織して、企画・運営を行った。 新成人実行委員の活動：地域学習(遠山郷三種のジンギス) 8/15…新成人との打合せ 10/11…地域学習(三種のジンギスを食す会) 11/12…地域学習(三種のジンギスを考える会) ※3月…地域学習(三種のジンギスをまとめる会)							
	実 施 内 容	新成人を対象に、地域が新成人を祝福し、新成人が家族・地域への感謝を表す場、改めて地域とのつながりを考えるきっかけとする。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	遠山地区成人式		市・地	継続	3	39	10	1月10日(延期)	南信濃地域交流センターほか
文 化 事 業	目 的	【成果と課題】 両地区の公民館委員も新成人とともに、ジンギスを学び直す機会となった。また、新成人がその活動の内容から、両地区がつながること、課題解決や新たな価値を見出せる可能性を考えるきっかけとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 延期先に向けて、一部の新成人から両地区の魅力を活かした具体的な活動案が出てきているため、それを地域や他の新成人にも共有しながら取り組んでいく。							
	実 施 内 容								

南信濃公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2020		市・地	継続	1	8	1,282	8月6日～9日（中止）	—
	地域資源を最大限活用した特色あるフェスタの企画・運営を通して、実行委員の皆さんが学び、演じる人見る人、そして支える人が楽しめる地区公演の展開を図る。 【検討経過】 7/22 文化委員会 中止連絡		市・地	継続	1	8	1,282	8月6日～9日（中止）	—
	地域住民を対象に、人形劇を通じた、地域づくりを図る。		市・地	継続	1	8	1,282	8月6日～9日（中止）	—
文化事業	ふるさとコンサートin遠山郷		市・地	継続	1	8	1,282	6月（中止）	かぐらの湯
文化事業	市民を対象に、音楽を楽しむ機会とする。子どもたちに優れた音楽に親しんでもらうことを目指す		市・地	継続	1	8	1,282	6月（中止）	かぐらの湯
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報「やまなみ」発行		地区費	継続	4	25	1,282	通年	—
	年間4回発行 発行部数800冊 地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えする。 第193号6月30日発行 遠山郷助っ人名鑑 ※上村公民館広報委員会合同発行 第194号10月31日発行、第195号2月12日発行、第196号4月2日発行予定 シリーズ:「匠人シリーズ」「こんにちば赤ちゃん」「ファミリーアルバム」「熱線カッパブル」「てんぐのくしゃみ」「こんばすらいふ」「4コマ ヤマナミ戦隊トオヤマジャー」 9/17公民館情報交換会(3名参加) 3/4第8回全国公民館コンクール奨励賞受賞に伴う市長及び教育長表敬訪問(2名出席予定)、印刷会社龍共印刷表敬訪問(2名出席予定)		地区費	継続	4	25	6	1,282	通年
	地域の方を対象に、情報を発信、地域の情報の共有を目指す		地区費	継続	4	25	6	1,282	通年

【成果と課題】	・コロナ禍においても、委員さん自身の生活や地区の実情を話し合い、今発信することについて議論し様々なネタが飛び出してきた。 公民館情報交換会で話題提供をしたり、他地区の委員さんの話を受けて、より一層やまなみ作成の意欲がわき、会議はいつも賑やか楽しく楽しいものである。 ・第8回全国公民館コンクール奨励賞受賞は委員さんの意欲を掻き立てるきっかけとなり、誇りと自信を育む機会となった。
【次年度の方向性と取り組み】	□拡充 □現状維持 □縮小
住民の皆さんが読みたいと期待する館報づくり継続して取り組む。	

南信濃公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第23回南信濃芸術祭		市・地	継続	1	486	121	11月19日から22日	南信濃地域交流センターほか
その他	目的	地域住民の芸術文化を深めるきっかけとすとともに、各種手芸団体の皆様の日頃作成してきた作品を地域の方々に鑑賞してもらうといった成果発表、そしてお互いの研鑽の場として開催する。先人の想いを受け継ぐとともに、次世代に引き継いでいくため、住民誰もが親しみをもち、持続可能な芸術祭を創りあげていく機会とする。							
	実施内容	今年は2度の実行委員会を経て、新たな形式で実行した。サブタイトル～アートを前にビックな笑顔～を据えて、目的意識の共有を図りながら取り組んだ。コロナ感染症対策として、会場を分散型展示とした。 【特別企画】11/21①遠山キッズ太鼓囃子の太鼓披露②和中小学校4年生人形劇 和田レインボー劇団公演③南信濃図書館紙芝居披露④ものづくり講座(折り紙でお花をつくろう&多肉植物寄せ植え) その他、より多くの住民参加を得られるように、事前告知で「遠山郷のV字谷【逆さ富士】を撮って飾ろう」と題して、当地区の深い谷あい撮影した逆さ富士の写真を撮り集め、ひとつの山を製作するアート事業を実施。							
その他	目的	多様な団体(人)が関わりながら、霜月祭学習を軸に地元児童及び都会の高校生(学校法人郁文館夢学園郁文館グローバル高等学校)が地域学習を展開し、異文化交流のなかで、伝統文化の価値化を図る。 ①4/23 第1回オンライン講座「遠山郷の紹介」 ②6/2 第2回オンライン講座「遠山郷の地域史について」 ③7/21 第3回オンライン講座「遠山の霜月祭」 ④11/10 第1回オンライン講座「舞の練習」(高校生) ⑤12/21 第1回オンライン講座「舞の練習」(高校生) 最終目標は10年前に休止となった遠山天満宮での舞の奉納であったが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止とした。 代わりに絵馬を作成し、奉納することで疫病退散と舞の奉納実現に向けた願いを共有することとする。							
	実施内容	地区住民と都会の高校生が協働し、関係人口づくりを通して、持続可能なまちづくり推進を図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	関係人口創出事業 霜月祭プロジェクト		地区費	継続	7	398	13	実施内容参照	実施内容参照
その他	目的	【成果と課題】 児童たちは当たり前のように関わってきた霜月祭について、ソトからの視点でその価値を評価され、自分たちの取り組みに肯定感と有用感を持つことができた。都会の高校生たちも、これほどまでに奥深い祭りを他に知らない。遠山に暮らす人々にとて欠かせないものであり、伝統文化の重要性を感じた。 さらに、学校教育に本事業を取り入れていただき、オンライン英会話授業を実施するなど、実用的なコミュニケーション形成の場として活用していただいた。							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 鑑賞と観賞の融合で充実した事業を展開する。							
その他	目的	【成果と課題】 ・2度の実行委員会の中で、目的を整理して共有するとともに、コロナ禍で可能な取り組みについて委員さんから多くのアイデアが出され実現することができた。集客は前年比1.7倍増であったことから、住民同士が集いの場を求めていると察する。当日は賑やかで人々に笑顔が戻った瞬間であった。 ・実行委員会の高齢化により、当日の展示会場準備が大変であると訴えられており、構成員の方から若い衆の参画を強く求めている傾向である。 ・開催の可否を年度当初に確定させ、出展者の皆さんが意欲をもって製作に取り組めるよう段取りする。							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 鑑賞と観賞の融合で充実した事業を展開する。							

Aブロック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	旧市5地区野球大会	地区費	継続	2	28	-	16,467	5月10日(中止)	押洞運動場
ブロック事業	実施内容 旧市5地区の市民を対象に野球を通じての交流を目指す。	各地区とも既存の野球チームがないため、体育委員が声をかけをすることでチームを編成し計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【検討過程】 4/6(月)、4/24(金)							
	目的	評価 【次年度の方向性を取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 準備・審判等も参加チームによる自主的な運営が定着してきている。5地区の若年層が集まる貴重な交流の場となっているので、来年度も引き続き開催していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Aブロック広報・館報研修会	他会計	継続	2	12	-	48	1月27日(中止)	東野公民館
ブロック事業	実施内容 旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	毎年1回研修を開催している。今年度は新型コロナウイルス禍での館報広報作成の実践や悩みについての意見交換会を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 内容:「今年度を振り返えろう～コロナ禍における館報・広報誌の発行についての悩みについて～」 【検討過程】 12/23(水)、1月12日(火)							
	目的	評価 【次年度の方向性を取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度以降広報紙を作る意義などを学ぶと同時に、お互いの変革を話し合うなど交流という部分も大切にしながら継続して実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Aブロックシニア・レディースソフトボール大会	他会計	継続	2	5	80	5チーム	5月17日(中止)、11月3日(中止)	押洞運動場
ブロック事業	実施内容 旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	OBソフト、レディースソフトのチームの試合を通じての交流と親睦を目的に実施を検討したが、春季は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 秋季は雨天のため、中止となった。 春季大会:5月17日 秋季大会:11月3日							
	目的	評価 【次年度の方向性を取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 5地区ともにシニアソフトボールの団体があり、運営などは担当チームが自主的に行っている。参加者の生き甲斐にもなっており、次年度も引き続き実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丘の上スポーツ大会	他会計	継続	4	110	80	16,467	3月7日	丸山小学校校庭
ブロック事業	実施内容 旧市5地区の住民を対象に、ニューススポーツの普及のための講習と交流を目指す。	5地区体育部長、スポーツ推進委員、主事を中心となって企画・運営。例年「囲碁ボール」を行っていたが、コロナ対策のため屋外競技の「クッパ」へ変更した。各地区で大会または講習会を開催し、ルールを理解してから参加してもらう。 参加チーム:20チーム(各地区より4チーム) 総合優勝:東野D 体育部長・スポ推・主事打合せ 9/3、12/3、3/2							
	目的	評価 【次年度の方向性を取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 5地区の交流機会となっているため、引き続き開催したい。							

Aブロック公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	フェスタスタンプラリー	他会計	新規	1	100	-	16,467	8月3日～8月31日	実施内容参照
	旧市5地区の住民を対象に、人形劇に関する展示に触れることでフェスタへの思いをつなぐ	5地区それぞれで人形劇に関する展示を行い、スタンプラリーを実施。99通の応募があった。 橋北・・・公民館(橋北公民館公演、歴代ワッペンについて) 橋南・・・りんご庁舎(追手町小公演、わいわいパレードについて) 羽場・・・公民館(西中人形劇部、羽場公民館公演について) 丸山・・・公民館(丸山小人形劇クラブ「つばさ」、丸山公民館公演について) 東野・・・飯田駅待合室(人形劇団「あかね」について)							
	目的	【成果と課題】 各地区の特色ある展示により、人形劇フェスタに触れてもらうことができた。地区を超えた展示を行うことで、普段行かない施設を知る機会ともなった。また、参加者からフェスタについて話を聞いたり、展示準備をする中で思いを聞くこともできた。 評価 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 人形劇フェスタ中止に伴う代替事業として実施。次年度の開催についてはフェスタ開催の有無などを踏まえて検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	Aブロック女性バレーボール大会	他会計	継続	1	6	6	5チーム	6月(中止)、10月(中止)	丸山小学校体育館
	旧市5地区公民館に所属するバレーボールチームを対象にバレーボールを通じての交流を目指す。	各館所属のバレーボール団体のリーグ戦による交流試合。 例年、春季大会(6月)と秋季大会(10月)を開催していたが、今年度は中止となった。 【検討結果】 代表者会 8/31 評価 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 昨年度羽場地区が脱退し、今年度は橋北「ミント」チームが脱退した。来年度は4チームでの開催となるため試合方法についての検討が必要。							

Bブロック公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Bブロック館長・主事学習会		0円	継続	1	12	12	21	実施内容参照	実施内容参照
ブ ロ ッ ク 事 業	目的		今年度は、Bブロック公民館が当番で研修会を実施した。 期日：3月9日（火） 会場：B公民館 内容：各地区の子どもを取り巻く現状や取り組みについて情報交換 ①話題提供「力強くずんずん歩む子どもと地域」 B公民館 小西 盛登館長 県CS学校運営協議会員・下伊那教育会事務局長 村澤 資憲さん ②意見交換会 「子どもに関わる課題や、事業の検討・実施における悩みなど」 「村澤先生に聞く」 「公民館で取り組む課題と実践を考える」							
	実施内容		【成果と課題】 今年度は、小学生親子を対象としていた事業に、中学・高校との連携の視点を加えることで、小・中・高校生の学びや育ちを一貫してみていくと共に、地域との関りによる子どもたちの学びと大人の学びの構築を試みた、県公民館の「地育力向上講座 ずんずん歩む隊」を話題提供とし、情報交換を行った。 この事業を推進するにあたり相談した、県地区在住の村澤先生をお招きし、各地区で感じている、子どもを取り巻く現状・課題や取り組みを踏まえ、相談しながら次年度の活動を展望する機会となった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 Bブロック公民館の持ち回りで実施しており、特徴的な取り組みの実践者から話を聞くことができ、充実した研修となっている。研修内容もブロック内で相談しながら、より各館の実践につながるよう、開催していきたい。							

Cブロック公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Cブロック情報交換会		地区費	継続	-	-	-	231	6月27日（中止）	上村地区内
ブ ロ ッ ク 事 業	目的		【成果と課題】 外で実施する全体会のみとする方法も検討したが、密閉を防げたとしても、例年の50人以上が集まって密集・密接を防ぐことは難しいこと、また、情報交換や他地区の様子を知り自主的な活動への発展につなげるという目的に対して、委員のみなさんの不安が残ったままでは十分な内容にできず、内容の充実を図れないと判断し、中止となった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 前年度は当番地区の様子を見学体験することに重点を置く形で開催したが、情報交換が十分にできなかったという意見も挙げられているため、各専門委員会ごとでテーマ設定して行う方向で組み立てを行う。							
	実施内容		Cブロック公民館委員（文化・体育・広報・育成等）を対象に、情報交換会を当番地区の持ち回りで上村地区を開催会場として計画するも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 5/14 Cブロック主事会にて各地区館長及び委員のみなさんの意見を持ち寄り中止を決定。							

Dブロック公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック文化部会情報交換会		0円	新規	1	5	12	8月26日	龍江公民館
	Dブロック5地区の文化正副委員長(部長)を対象に、文化事業について情報交換の場を設け、意識の向上を図る	実施内容	【成果と課題】 当初は正副委員長を対象としていたが、感染リスクを考慮して委員長のみの参加となった。5地区公民館の文化委員長(部長)が、各地区の文化祭を中心に文化事業について情報交換を行った。 《内容詳細》 ①各地区の文化祭概要やパンフレットを比較 ②情報交換会(事業を実施する上で大切にしていること、悩みごとなど)						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック小学生交流会		地区費	継続	-	-	200	-	龍江公民館ほか
	Dブロック内6小学校の児童を対象に、中学校進学前の交流を図りつつ、利息の特色や施設を知る機会とする	実施内容	【成果と課題】 例年中学校進学前の交流の場として開催していたが、地区を超えた事業であること、また、感染リスクや安全面を考慮して中止となった。毎年この事業を楽しみにしてくれている小学生がたくさんおり、6小学校の児童が交流できる貴重な機会でもあるため、次年度は実施の方向で検討したい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 夏休み後半など小学生が参加しやすい日程を考慮しながら、5地区公民館で検討していきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロックバドミントン大会		地区費	継続	1	6	8,948	9月13日(中止)	竜峡中学校体育館
	Dブロック5地区で活動するバドミントンチームを対象に、地区を超えた交流と健康増進を図る	実施内容	【成果と課題】 代表者会では、できるならやりたいという意欲的な姿勢であった。コロナ禍での練習や現状をお互いに聞き合い、参考にしてにしている様子もあった。5地区のクラブ同士が協力し合い、自主的な大会運営となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 5地区のバドミントンクラブの交流の機会でもあり、これを目標に練習しているクラブもいる。次年度になってから代表者を集め、内容や日程の検討・決定を行っている。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック交流スポーツ大会		地区費	継続	2	10	8,948	2月28日(延期)	龍江小学校体育館
	スポーツを通じてDブロック公民館委員及び住民同士の交流を行い、各地区の情報交換の場とする	実施内容	【成果と課題】 種目をワンバウンドふらば〜るバレーからクッパとポッチャへ変更し、感染症対策を行った上で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月28日の開催は中止とし次年度へ延期となった。 《検討経過》 12/11スポーツ推進委員＆主事合同打合せ会 2/8スポーツ推進委員＆主事合同打合せ会						

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
昭和 22以前				21.7公民館設置次官通牒 憲法・教育基本法・自治法
23	飯田市公民館設置 (館長は市長兼務)	講演会等さかん ナトコ巡回映画 青年補習学校(7)	生活合理化展共催	教育委員会法
24	社会教育法公布		スクエアダンス普及	
25			青年演劇 コンクール(郡公)	図書館法 文化財保護法
26				博物館法(学芸員設置) 下伊那公民館主事会発足
27	市営球場建設			下伊那公運協脱会
28		青年学級(8) 天龍峡夏期大学	館建設基金 バレエ公演	青年学級振興法施行
29	中央公民館落成	婦人学級始まる		
30		婦人文集活動興る		
31	地区公民館8館並立 (専任主事8人) 公民館条例制定			第1回町村合併1市7ヶ村 市図書館条例制定 市連合青年団結成 地方教育行政の組織及び運 営に関する法律制定
32	市公民館処務規則			市図書館分館規則
33		通信教育学級開設		体育施設条例
34	告示「公民館の設置運営 に関する基準」 社会教育法一部改正	ラジオ婦人学級 開設		
35	市民プール落成	政治学習興る		
36	公民館9館並立となる (社教主事1人公民館 主事9人) 使用料条例			4月川路村編入合併 6月梅雨前線集中豪雨災害 過疎地域の人口流出目立つ スポーツ振興法 テレビ普及
37			第1回公民館大会	農村部人口流出続く
38	松尾公民館使用料条例 社教主事設置1	商業青年学級開設 国庫補助事業で家庭教育学 級始まる	第2回公民館大会	地域開発の声おこる 文部省：進展する社会と公 民館
39	地区公民館12館並立 地区公民館使用規則	青年学級(6)	県公民館大会飯田開催 (市公大会合流)	上久堅、千代、龍江の3ヶ 村、市に合併
40		青年学級(11) 母親文庫(14グループ)	歩こう会始まる	下伊那ターゼ「公民館主事の 性格と役割」発表
41			母親バレーボールさかん	文化財保護条例制定 市、地財法準用
42	下久堅虎岩分館設置	松尾学童クラブ開設		全公連「公民館のあるべき 姿・今日的指標」発表
43	旧市、5地区館設置で 16館並立となる (公民館主事14人)	青年学級減少(5)	成人式8月実施 早起き野球、体操祭さ かん	体育指導委員設置規則
44			青年文化祭(市連青)	
45		文部省嘱託で婦人学級		旧小笠原書院条例制定
46	公民館主事に社教主事 を補職 1人 青年学級規則 松尾水城分館設置		文部省委嘱事業「公民 館運営基準研究」始まる 地区市民運動会さかん	社会教育審議会答申「急激な 社会構造の変化に対処する社 会教育のあり方について」

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
47	県民運動広場管理 社会教育指導員設置 松尾明分館設置	青年セミナー開設	公民館芸能祭始まる	飯田文化会館開所
48	飯田市公民館運営基準 研究報告書作成（4つの運営原則を打ち出す）	高齢者教室開設（2） 市民セミナー開始 主事会報創刊10月	県民体育飯伊大会	
49	山本公民館建設 松尾新井分館設置	市民セミナー全地区で実施 竜丘でモデル婦人学級	地区文化祭さかん	社会体育係長設置 社会教育課に青少年係設置 少年補導センター設置 考古資料館開所
50	市公民館改築工事始まる 竜丘公民館建設	龍江でモデル婦人学級 高齢者教室（6）	青年スポーツ祭始まる 母親バレーボール大会、社会教育課から公民館へ	市財政悪化 夜間照明施設9ヶ所 学校夜間無人化 公民館支所宿直廃止 スポーツ主事設置 社会教育課に国体準備事務局設置
51	飯田市公民館竣工 竜丘公民館竣工 公民館が社会教育機関として独立（副館長制となり、市公に管理係、指導係を設置）	松尾でモデルセミナー 座光寺でモデル婦人学級 母と子の公民館活動はじまる（旧市5館）	趣味の教室さかん 市公民館開館記念行事として郷土日本画家遺作展及び遺作集刊行 OB野球大会	学校施設開放始まる
52	下久堅公民館竣工	セミナー学習活発となり、各地で地域課題への取り組みが広がる。 市民大学講座、乳幼児学級始まる。	優良公民館として文部大臣表彰受賞	市民憲章制定 第3次全国総合開発計画策定
53	旧市ではじめての単独館羽場公民館竣工	健康学習広がる 運営委員会方式の学級運営	県公民館大会が飯田市で開催	やまびこ国体 市制40周年 第2次基本構想・基本計画策定 教育委員会に教育次長を設置
54	丸山公民館竣工 千代公民館竣工	地区公民館でも地域に根ざした大学講座開設の動き	人形劇カーニバル始まる	地方の時代、文化の時代 ビデオ機器が普及 社会教育委員設置 社会教育功労者表彰規定設置 飯伊がモデル定住圏に指定される 中教審「地域社会と文化について」答申
55	上久堅公民館竣工	セミナー学習が発展し、地域計画づくりの動きも表われる	健康学習がブームに	
56	川路公民館竣工	福祉テーマの学習活動が始まる	高齢者の文集づくりさかん	中教審答申「生涯教育について」 新飯田市立図書館竣工
57	龍江公民館竣工	天竜峡夏期大学30周年 成人男性を対象とした学習も ビデオ利用の放送利用学習		
58	三穂公民館竣工	少年対象の学習始まる		国土庁定住構想推進調査 「地域文化の振興に関する調査」が行なわれる
59	東野公民館竣工	「ふるさと再発見」をテーマにいくつかのプロジェクト事業を実施	人形劇グループの育成 飯田線教室 風越百景児童絵画展	鼎町と合併 風越山麓研修センター開所 飯田市が非核平和都市宣言

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
60	橋北、橋南公民館独立 市公主事配置 座光寺公民館竣工 公民館予算2億に	明日の親の学級をはじめ、 各地で家庭教育学級さかん 市民大学講座「伊那谷の自然と文化シリーズ」始まる 天文教室各地で実施	カーニバル事務局が公民館に 綱引き大会広がる	学校開放夜間照明有料化
61		親子対象の学習活動さかん 平和を考える婦人の集い開催 ハレー彗星観測会	放送利用中南地区研修会開催 ビデオ機器が充実 市民ギャラリー設置 郷土日本画家遺作展	
62	伊賀良公民館竣工 社会教育主事7人	主婦の再就職準備 セミナー、高校生講座始まる	松下財団の視聴覚教育研究事業 世界フェス事務局設置	第4次全国総合開発計画策定 第3次基本構想、基本計画策定 体育課設置 美術博物館建設始まる 人形劇場建設始まる
63		家庭教育地域交流事業を受けて全地区で家庭教育に取り組む 情報活用能力育成講座	世界フェス開催 主事全員がフェス事務局を兼務 フェス終了後カーニバル事務局が文化会館へ移行	人形劇場竣工 文化会館竣工 生涯学習モデル市町村の指定を受け「生涯学習のまちづくり推進本部」設置
平成 元	松尾公民館竣工	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業始まる (むこう3ヶ年)	郷土日本画家6人遺作展 成人式1月開催に変更	飯田市美術博物館が開館
2			地域文化フォーラム企画課から事務局移管 人形劇サークル創設 育成事業 飯田市公民館大会学習交流都市構想の発表集会を兼ねて開催	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律制定
3		マップづくりさかん	県主事総会飯田市で開催	婦人行動計画策定作業始まる
4	公民館使用料金改定	平和学習事業費が予算化され、平和学習の内容強化が図られる 主事会に事業別プロジェクト体制	県公民館大会、飯田市で開催	新市立病院竣工 信州飯田女性プラン策定 生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」
5	新山本公民館竣工	補助事業で「青年塾」「男女共同参画塾」実施	成人式を青年塾の活動発表の場に模様替え 飯田市公民館活動史刊行 体制研究委員会で分館活動の研究	上郷町と合併 飯伊地域が地方拠点都市に指定される 浜松とのりんご交流始まる 女性室設置
6		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」 「青年塾」 「地域課題発見」 「学習グループネットワーク」 で研究と実践が行なわれる	「はたち」のイメージソングづくり、成人式で発表	21飯田まちづくり会議、基本構想のたたき台がつくられる シャルルヴィルメジェール市などへ主事2人視察研修参加 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実について」

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
7		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」 「地域課題発見」「市民ネットワーク」「分館補助金制度」「委員報酬」「市民参加とワークショップ」 「公民館建設」で実践と研究が行なわれる	戦後50年で、平和を祈念した一連の行事「満州移民の集い」「平和フォーラム」などを開催 青年塾韓国扶余へ	基本構想、基本計画策定 全庁業務革新(キックオフ)に基づき、機構改革論議に阪神大震災、主事からもボランティアに参加
8		主事会プロジェクト「条件整備」が加わる 人事課と共催し、地域活動家の話を聞く研修会実施(月1度ペース)	青年塾のテーマを国際交流とし、マレーシアに訪問。 異文化セミナー開講 郷土日本画家遺作展開催、遺作集発行	機構改革により生涯学習課市公に配置 基本計画スタート 女性室独立配置 起業家支援セミナー実施
9		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」に加え「中心市街地活性化」が行われる。 「情報研究」が始まる	異文化セミナー「わいわいサロン」開設 狭間壮「心のうたコンサート」(公民館発足50年記念) 青年塾マレーシア、三遠南信、飯田(りんご)の交流を体験	公民館制度発足50周年 多くの公民館で50周年記念事業やその準備が始まる 東大教育学部ゼミが飯田市の教育文化活動を調査
10		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」で研究と実践が行われる	青年塾マレーシア、アウトドア体験(上久堅、大平)、こだわり体験(上久堅風土舎、下久堅大原さわやか三穂生活改善グループ、浜松はたちの講座)	分館事業補助金を全分館に交付 人形劇カーニバルが20回で終了し「新たな人形劇の祭典」としてスタート
11		主事会プロジェクト「人形劇フェスタ」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」	新たな人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」が盛大に開催。地区企画公演という新たな試みも	旧市公民館へiMAC配置 インターネットを活用した情報交換開始
12	社会教育法改正(公運審が任意設置制になるも飯田市は継続設置)	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「地域課題」「情報研究」	学社連携・融合の推進が課題	国のIT政策 全国的に荒れた成人式が話題に
13	新竜丘公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「情報ネットワーク」「地域課題」	成人式地域開催	各公民館でIT講習会開催 社会教育法の一部改正
14		主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「情報研究」「市民ネットワーク」「条件整備」「自然環境学習」「青年塾OB」 体制研究委員会で「分館事業補助金」「運営審議会のあり方」について見直し検討はじまる	第40回記念飯田市民公民館大会開催 天竜峡夏期大学講座開講50周年	完全学校週5日制スタート。 飯田市民公民館HPがリニューアルされ、(財)高度映像情報センターの公共HP運動でgoodsiteに選ばれる
15	公民館の設置及び運営に関する基準改正 勤労青少年ホーム公民館の組織内へ	主事会プロジェクト 「分館活動」「自治研究」「条件整備」「情報研究」 研究プロジェクト 「地域自治組織研究」	人形劇フェスタ50周年 今田人形発祥300周年	1市3村による任意合併協議会設立。併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が行われる 飯田市歴史研究所開設 飯田市文化芸術振興基本方針策定準備会スタート

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
16	公民館条例改正 (運審任期2年, 使用料 改定) -4月施行- 公民館主事の支所職員 兼務 -4月発令-	主事会プロジェクト 共通テーマ:「住民自治を 前提としたこれからの公民 館活動」 館長会 「飯田市公民館の基本原則 と今後の方向」についてま とめ教育委員会へ提出	県公民館大会、下伊那 (阿智村)で開催。飯 田市も実行委員会へ参 画。 各地区で地域づく フォーラム等開催し、 自立への動き始まる	10/28牧野光朗市長就任。文 化経済自立都市を目指す 1市2村(上・南信濃村)に よる法定合併協議会設立、併 せて「地域自治組織」導入に 伴う研究が市内プロジェクトで 進められる わがまちの“憲法”を考え る市民会議が発足
17	上村・南信濃合併に伴 い、20地区公民館、106 分館体制に 体制研究委員会を中心 に、地域自治組織発足 に向けて集中的に検討 し、新たな公民館ビ ジョンを方向付けする	主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育ネットワーク」 「次世代支援」 「情報研究」	県公民館運営協議会主 催公民館ステップアップ研修 会を飯田市で開催	10/1上村、南信濃村と合併 地育力向上連携システム整 備事業PJ発足 「公民館は、地育力向上の 主要な拠点として、まちづく り委員会の中で他の委員会の 活動と積極的に連携して活動 していく。」とする市の基本 方針が出る
18	地域自治組織の発足に 向けて、飯田市公民館 条例を一部改正(地区 公民館の運営審議会を 廃止するとともに、同 施行規則の一部を改正 し、専門委員会の名 称、委員の人数、役 職、任期などは公民館 長が定め、専門委員は 公民館長の委嘱に)	主事会プロジェクト 「人形劇」 「総合教育支援」 「青年活動」 「情報研究」「食育」 館長会 定例館長会において、年間 を通して、各地区の地域自 治組織の検討状況や事例の 研修、市長を始め関係機関 との意見交換の場を設けた	「飯田の子どもを考え る市民のつどい」を、 市民の皆さんや専門知 識のある方々による実 行委員会を組織して開 催	「地育力向上連携システム 推進計画」を飯田市教育委員 会が策定 教育基本法の改正
19	地域自治組織発足によ り、公民館がまちづく り委員会の公民館専門 委員会として位置づけ られる(飯田市教育委 員会の社会教育機関と しての位置づけも継 続)	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「これからの公民館を考え る」「地域活性化」	原田泰治と子どものふ れあい絵画教室in飯 田、第5回郷土日本画 家遺作展を開催、遺作集 を発行	地域自治区、地域協議会、 まちづくり委員会からなる新 しい地域自治組織が発足
20	社会教育法の改正	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「公民館の旨味」	人形劇のまち30周年記 念の世界人形劇フェス ティバル、最後のア フィニス夏の音楽祭を 開催	
21		主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育関係団体」 「公民館の役割」	アフィニス夏の音楽祭 に代わり、新たに 「オーケストラと友に 音楽祭」が開催する。	飯田市教育振興基本計画が スタート

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
22		主事会プロジェクト 「人形劇」 「PLSD」 「公民館の役割」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「これからの地域づくりのあり方と公民館の役割」に関する共同学習を実施する。また、各公民館の役員を対象に公民館の役割や主事に関する意識調査を実施	県公民館運営協議会主催「長野県公民館館報関係者研修会」が飯田市で開催	館長会及び主事会での検証、東京大学との共同学習などを踏まえ、「持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割」についてまとめる 第1次飯田市教育振興基本計画がスタート
23		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域資源活用」 「多様な主体との連携」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「飯田市の公民館分館の役割と位置付け」に関する共同学習を実施する。川路、龍江、鼎、上郷、橋南地区の分館や団体の活動状況を調査	完全復元伊能図全国巡回フロア展in南信州 飯田を、第25回の節目を迎える「飯田やまびこマーチ」に併せた記念行事として開催	
24	地方分権一括法の施行により、公民館運営審議会の委員の任命委嘱基準を公民館条例に規定した。	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「青年活動」 東京大学との共同学習 分館活動のさらなる掘り下げのための調査と、昨年の調査でまとめられた報告書をもとに報告会(分館役員研修会)を実施		公民館貸館マニュアル改訂 日本公民館学会飯田集会開催 未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す飯田研究集会開催
25		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「地域と学校を結ぶ」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において住民アンケートを実施	小中連携・一貫教育が全中学校区で始まる アジア人形劇フェスティバル開催 第51回飯田市公民館大会記録的豪雪により中止	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」が始まる フィリピンレガスピプロジェクト始まる（3年間）
26	新千代公民館竣工 新下久堅公民館竣工 丸山公民館耐震化工事竣工 上久堅公民館耐震化工事竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「環境」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において実施した住民アンケート結果報告会を実施	小中連携・一貫教育2年目	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」2年目の受託 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会開催

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
27	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（教育委員会制度の改革）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「新成人」 「役割研究」 「地域×高校生共育」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	県公民館運営協議会主催「長野県公民館主事会研修・総会」を飯田市で開催 戦後70年記念事業として市公及び各地区で展開	下伊那テーズ50周年記念フォーラムを阿智村で開催 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市公民館大会に合わせて開催
28	新上村公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「高齢者」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	第64回長野県公民館大会（飯田・下伊那）を飯田市で開催 市内全小中学校に学校運営協議会が設置され「飯田コミュニティスクール」となる	解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市公民館大会に合わせて開催
29	社会教育法改正(地域学校協働活動の推進を位置づけ)	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	地域学校協働活動の充実に向けた取組が本格的にはじまる	市制施行80周年記念事業が開催される 「飯田未来デザイン2028」がスタート 「第2次飯田市教育振興基本計画」がスタート 「文部科学省の組織再編案に関する請願書」を文部大臣と文科省に提出
30	新上郷公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	いいだ人形劇フェスタ20周年（カーニバルから通算40周年） 世界人形劇フェスティバル開催	民法の一部改正 2020.4.1より成人年齢が18歳となる AVIAMA総会が飯田市で開催される
令和元		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「若者」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる		新元号「令和」となる
2		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「次世代育成」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	コロナ禍により、中止又は延期した事業が多い。飯田市成人式も史上初の延期となった。一方、これまでの活動を見直し、新たな活動への展開も見られた。	第8回全国公民館報コンクール特別賞受賞：伊賀良公民館、南信濃公民館 長野県公民館アワード受賞：飯田市公民館（多文化共生事業）

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
1	37年	11月13日	飯田市公民館	公民館と学習活動	立正大学 藤田秀雄
	主な内容： 公民館活動の充実のために地域の人たちの知恵を結集しよう。				
2	38年	12月1日	飯田市役所	暮らしにくさをどうきりぬけるか	生活科学調査会 田辺信一
	主な内容： 学習の相談相手になれる公民館にしよう。				
3	39年	8月7～8日	飯田東中学校	山と農村の問題	前都立大教授 戒能通孝
	主な内容： この年は飯田で開催の第13回長野県公民館大会に集中。				
4	40年	11月28日	飯田市役所	アジア情勢と日本	信大助教授 山岡利七
	主な内容： 生活に役立つ学習活動に答える公民館にしよう。				
5	41	12月11日	飯田市役所	公民館の現状と問題点	県社教主事 桜井彦郎
	主な内容： 地域課題の増加、活動の反省公民館の姿勢の確認のための事例交換。				
6	42	12月10日	市役所勤福センター	地域の変貌と公民館	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 生活課題の学習、施設の確保、市民の自主学習のために公民館の機能を活性化しよう。				
7	43	12月8日	市役所勤福センター	地域の文化活動	農文協 山田民雄
	主な内容： 前年と同じ				
8	44	12月14日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農文協 浪江虎
	主な内容： 前年と同じ				
9	45	12月6日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農協短大教授 美土路達雄
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化。				
10	46	12月5日	市役所勤福センター	社会教育行政と公民館活動	飯田女子短大 高坂詢
	主な内容： 前年と同じ				
11	47	12月3日	文化会館	これからの公民館活動	国立市公民館長 徳永功
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化、施設の充実公民館3階建論。				
12	48	12月2日	市役所勤福センター	学習文化活動をどう発展させるか	名大教授 小川利夫
	主な内容： 社会教育機関としての公民館職制の改善(体制の問題点)施設の充実。				
13	49	12月8日	市役所勤福センター	これからの公民館活動	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立、地域と生活課題に根ざす学習活動の定着。				
14	50	12月7日	市役所勤福センター	公民館のあり方を考える	市議会代表 市老連代表 市連婦代表 市連青代表
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立。				
15	51	12月12日	飯田市公民館	公民館の歴史30年を反省する社会教育機関としての充実を図る	中大助教授 島田修一
	主な内容： 主体者である住民と、援助者である教育機関(公民館)の関わりあい。教育機関としての行財政充実。				
16	52	7月24日	飯田市公民館	住民要望と公民館の役割	名大教授 小川利夫
	主な内容： 公民館活動の見直し。住民の求める社会教育活動と公民館の関わり。				
17	53	12月10日	飯田市公民館	なし	なし
	主な内容： 教育機関として充実させていくためのリーダー養成県公民館大会が開催されたため半日で修了。				
18	54	7月29日	飯田市公民館	まちづくりと公民館	名大教授 室井力
	主な内容： 基本構想に基づく基本計画をどう進めていくか。住民参加の意義。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
18	55	7月27日	飯田市公民館	民衆と学問	明治大学教授 後藤総一郎
	主な内容： 地域づくりをする上での公民館の独自性。地方の時代、文化の時代といわれる中での公民館活動のあり方。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
19	56	7月26日	飯田市公民館	海外援助について考える ～ネパールで伝染病と闘った 20年の体験から～	神戸大医学部国際協力センター 専任教授 岩村昇
	主な内容： 地域課題を解決していくためには諸団体バラバラでは解決できない。その連携の可能性についてと、行政の役割。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
20	57	7月25日	飯田市公民館	公民館発足当初の理念と これからの公民館のあり方	元文部省社会教育局長 寺中作雄
	主な内容： 前年と同じ				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
21	58	7月24日	飯田市公民館	伊那谷の民俗芸能	東京国立文化財研究所芸能部長 三隅治雄
	主な内容： 芸能文化の歴史的意義と伝承の重要性。地域づくりとしての芸能。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
22	59	7月29日	飯田市公民館	教育・文化の側面から地域の活性化を図る公共施設の専門化類似化に公民館が教育機関としてどう対処していくか	静岡県掛川市長 榛村純一
	主な内容： ニューメディア(理念)の地域づくり人づくり。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
23	60	7月7日	飯田市公民館	教育活動の実践方策の研究討議 個性 的で魅力ある地域づくりの ために	立教大学教授 室俊司
	主な内容： 夜明け前の暮らしの文化。文化創造の学習の広場。地域の文化と自治体社会教育。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
24	61	9月7日	飯田市公民館	地域課題、生活課題を解決するために、自治能力の向上と共同体づくりに努める。私にとっての公民館	立命館大教授 木津川計
	主な内容： 「地域を耕す、心を耕す」日本人ふるさと意識の再構築魅力ある地域とは。都市にとっての文化と人間にとっての文化。生きる喜びを何に求めるか。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
25	62	3月6日	飯田市公民館	「私にとっての公民館」「地域にとっての公民館」とは何か地方からの国際化を考える	国際化シンポジウム 五十嵐富英 竹田扇之助 本間俊太郎 横田盛廣 松澤太郎
	主な内容： 行政の主催する、地域づくりを考える集いを併催し、ムトス飯田賞の表彰も行う「私にとって」「地域にとって」の公民館について、公民館委員、分館役員、講座受講生、地域代表、ムトス受賞者などの立場から実践発表を行う。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
26	63	3月5日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりを考える家庭教育地域交流事業の実践発表	地域文化とまちづくり 国土庁地方振興局地方都市整備課長 一杉 喜朗
	主な内容： 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う「魅力ある地域づくり」にむけて公民館は何ができるか、分科会別に研究。別に家庭教育学級などの参加者の分科会も設営する。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
27	平成元	3月4日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業について自然と人間を結ぶ	農工商が結びつく町調査報告 農文協 清水悟
	主な内容： 公民館のプロジェクト事業としてはじめて魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業の発表。農文協の「農工商が結びつく町」を題材に分科会。助言者に調査に入った農文協職員を迎える。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
28	2	2月24日	飯田市公民館	学習交流の活性化と 人づくり、まちづくり	シンポジスト： 玉井袈裟男、井上講四、 今牧英世、奥村頼人 司会：長谷部三弘
	主な内容： 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う学習交流都市構想の発表集会として位置付け、構想についてのシンポジウムと先進事例の発表会、地域の特色ある活動の展示発表を行う。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
29	3	3月1日	鼎公民館	生涯学習時代の公民館活動	愛知大学教授 小川利夫
	主な内容： 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う公民館委員、学級講座参加者グループ活動など公民館との関わり別の分科会を設ける。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
30	4	3月7日	鼎公民館	足元から今日の課題を考える	元松川町社教主事 松下 拓
	主な内容： これからの公民館活動が、時代に即した活動になるために「環境」「国際化」「男女共生」「高齢化」「子ども」の5つの今日の課題をテーマとした分科会を設ける。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
31	5	2月27日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	動物写真家 宮崎学
	主な内容： 公民館活動が常に時代の流れを見据えたものとなるよう「高齢化」「国際化」「環境」の3つの今日の課題をテーマとした分科会を設ける。公民館活動の刊行を記念して公民館の歩みをスライド化して発表する。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
32	6	2月26日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	元日本モンキーセンター所長 河合雅雄
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて3年目。分科会は地域での実践活動の紹介を中心に構成した「子育て」「国際化」「環境」の3つで構成した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
33	7	2月25日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	地域計画プランナー 佐野章二
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて4年目。分科会は「自然環境と人間」「知縁でつくる豊かな地域」という今日の課題の分科会を今井信五(しろま自然の会)岡田芳子(高山 PANTS)座光寺良子(和楽)を講師に行なったほか「委員会活動」「分館活動」の実践に基づく分科会に竜丘、下久堅鼎、上郷から事例を発表した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
34	8	2月23日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	写真家 ジョニー・ハイマス
	主な内容： 置付けて5年目。分科会は「地域に生きるということ」「違いを楽しみ、地域を拓く」というテーマで地域での私たちににとって大切なものは何か開かれた地域のあり方は、について考え、また「分館活動」「委員会活動」の実践に基づく分科会に竜丘、東野、下久堅山本から事例を発表した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
35	9	2月22日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	お茶の水女子大学教授 藤原 正彦
	主な内容： 昨年までの実績を尊重しながらも新しい視点で実施した。交流会を1部、2部として、活動の実践発表を行った。1部では、鼎名古熊演芸クラブ2部では、「食」に関する活動を取上げ、市公の「わいわいサロン」、伊賀良公民館の「食塾」、丸山公民館の「食のふれ あい工房」の発表。地区公民館報の掲示と感想の集約。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
36	10	2月21日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	登山家 田部井 淳子
	主な内容： 公民館活動の実践交流と地域課題についての学習、研究の場として位置付け。活動の実践発表は、千代不動太鼓。分科会は、市民に運営を任せ「新たな人形劇の祭典への地域の関わり方を考える」「歩くからはじまる地域づくり」「異文化交流、外国人から見た飯田市」「冬の街なか 自然体験」「ネットワークゆい いどばた会議」「暗くを共に歩む分館活動」の6つ。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
37	11	2月20日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	哲学者 内山 節
	主な内容： 2000年という節目を迎え、地道な地域における活動、取り組みを通して、来るべく21世紀の地域活動、公民館活動の方向性を探る。分科会「地域住民による企画・運営から学ぶ公民館」「人形劇の能性を求めて」「学社融合連携」「五感を使って異文化交流」「風土に根ざした文化活動」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
38	12	2月28日	飯田市公民館	21世紀にどう入っていくか	国立民族学博物館教授 端 信行
	主な内容： 新世紀第1回の公民館大会としてこれからの公民館の在り方を研究 実践する場と開催。分科会「ウォーキング事業を通じた和の広がり」「地域子ども達を考える」「多文化共生を考える」「地域に在る文化の魅力語り合う」「エコマネーって何？」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
39	13	2月17日	飯田市公民館	明日への展望 ～地域づくりの拠点公民館～	北海道大学教育学部 鈴木敏正、姉崎洋一 宮崎隆志
	主な内容： 社会教育学会のメンバーによる地域社会教育実践研究会の先生の飯田調査報告を兼ねたシンポジウムなど。分科会「これからの公民館を考える」「地区運動会を通して地域を考える」「分館活動のあり方を考える」「読者が創る情報誌・ネットワークゆいを考える」「子どもを健やかに」「地域における多文化共生の道」				

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
40	14	2月16日	飯田市公民館	テーマ:「公民館活動と地域づくり」 講 師:NPO法人自然環境アカデミー理事 伊東 静一 貝塚子育てネットワーク 梅原 直子 舞鶴市まちづくり新聞編集長 新治 徹 元松本市なんなん広場館長 手塚 英男	
				主な内容:「飯田市公民館の歩み」を映像で振り返る。地域づくり実践者を招いた実践発表、地元の実践者による事例発表を通して、地域づくりに果たす公民館活動の姿を探る。分科会「環境と共生した豊かな地域づくりを考える」「子育てと地域ネットワーク」「広報活動と地域づくりを考える」「魅力ある分館活動をすすめる秘訣を考える」	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
41	15	2月15日	飯田市公民館	今、心を結ぶふるさとづくりを	全体会講師なし
				主な内容:これまでの公民館活動を振り返り、原点に立ち返って地域の未来やこれからの公民館活動を考える機会とする。全体会の記念講演は行わず、分科会のみとした。分科会「文化・体育事業を通して、これからの公民館活動を考える」「公民館報研修会」「住民自治を育てる公民館」「地域の自治活動と公民館」「足元を見つめ、地域の財産を知る」「里山の活用から地域ぐるみの環境学習へ」「子どもが伸びる地域の力」「ゲームや交流体験を通して異なる文化に生きる人たちとの共生について考える」	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
42	16	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「新しい公民館の創造」 講 師:市長講演 牧野 光朗 「地育力の向上と公民館」 基調講演:東京大学大学院教育学研究科教授 佐藤 一子 「これからの公民館の果た役割」	
				主な内容:地域自治組織と公民館との関係が問われている状況をふまえてこれからの時代に対応した新しい公民館のあり方を議論する大会とした。市長講演、基調講演からつながる分科会を構成。分科会「住民自治力を培う公民館」「これからの子育て」「安全安心のまちづくり」「これからの文化事業を考える」「公民館報の意義と役割」「地域スポーツと公民館」	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
43	17	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「新たな公民館ビジョンの構築に向けて」 講 師:和歌山大学生涯学習教育研究センター助教授 堀内秀雄 「地域自治組織とこれからの公民館の役割」	
				主な内容:地域自治組織の導入等を控え時代の変化に対応した「新たな公民館ビジョン」づくりを進めており、これからの新たな役割を共に考える機会として実施。高坂詢氏をコーディネーターに迎え、新井優氏、増田綾子氏、柳澤竜太郎氏、山田安世氏によるパネルディスカッションを実施。	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
44	18	2月25日	飯田市公民館	テーマ:「新しい地域づくりの時代に向けて」 ～地域自治組織における公民館活動～ 講 師:東京学芸大学名誉教授・日本公民館学会前会長 小林文人 「新しい自治の時代に」ー公民館創造の原点から学ぶものー	
				主な内容:地域自治組織のスタートに伴い、新しい自治の時代に公民館は何かできるのか、考えあう機会として、全体会を始め、基調提案、基調講演、各地区での実践を発表する分科会を開催した。分科会「考えよう地域の子育て」「多文化共生と公民館」「地域の芸術文化活動を考える」「地域に活かす郷土学習」「魅力あるスポーツ事業と健康づくりのこれから」「身近な取り組みから、みんなで考える環境」「館報から始まる情報発信」	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
45	19	2月24日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動のあり方」 ーまちづくり委員会における公民館の主体性と連携の立場からー コーディネーター:長谷部三弘(ひさかた風土舎代表)、 パネリスト:小市昭夫(信濃毎日新聞社編集局報道部次長) 下平隆司(前竜丘自治協議会長) 菅沼輝美(橋南地区主任児童委員)	
				主な内容:1年間の活動の成果を確認し、課題を明確にすることにより、今後、より地域の中で役立つ公民館として、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的としてパネルディスカッション及び分科会を実施した。分科会は、「子どもは地域で育てよう」「公民館報と地域広報の役割」「学社連携の取り組みについて」「自然・歴史・文化などの地域資源をどのように活用するか」「地域における分館活動の位置づけと実践」「高齢者の知恵や経験を地域に活かす～仲間づくりから始まる地域貢献とそれを支える公民館のあり方～」の6分科会を開催。	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
46	20	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動」 講 師:基調講演「これからの公民館のあるべき姿」 飯田女子短期大学講師・元松川町社会教育主事 松下 拓 ※基調講演は、従来公民館が果たしてきた役割や大切にしてきた理念を再確認することにより、今後の公民館活動のあり方を考える礎とした。	
				主な内容:今後、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的として基調講演及び分科会を実施した。分科会においては、実践事例をとりあげ、これからの公民館活動に活かしていけるように活発な意見交換を行った。分科会は「地域コミュニティを見直してみよう」「公民館報・広報等による情報の発信と共有」「地域と子どもがどう関わるか」「地域資源を地域づくりにどう活かすか」「住民にとって最も身近な分館や地区単位の活動をどう推進するか」の5分科会を開催。	

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
47	21	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「明日から何をするか」 講師:松本大学総合経営学部観光 ホスピタリティー学科教授 白戸 洋 ※住民主体の地域自治が期待されるなか、公民館の活動が地域を担う人づくりにどのように貢献しているのか確認し、今後の公民館活動のあり方を考える。
	主な内容: 公民館を取り巻く課題を明確にし、公民館が担うべき役割や方向性を確認することを目的に開催する。基調講演は、松本大学の白戸洋先生にご講演いただく。分科会では、各地区の実践事例をとりあげ、今後の公民館活動に活かすべく情報や意見交換を行った。なお分科会は、「生き生きとした地域における文化祭づくりに向けて」「心身の健康とスポーツで地域づくり・人づくり」「親しんで読んでもらえる、魅力ある広報・館報づくり」「連携して取り組む、子どもの健全育成」「地域を元気にする活動を考える」の5つのテーマで開催。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
48	22	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「分権と自治の時代の公民館の役割」 講師:東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤
	主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、東京大学との調査・学習の結果から見えてきた課題などを共有することで、今後の公民館活動をより有意義なものにすることを目的に開催する。基調講演は、東京大学大学院の牧野教授を講師に迎え、飯田市公民館との共同学習から見えてきたこれからの公民館の役割について、全国的な事例を交えながら提言いただく。分科会は「公民館とはどんなところ?」「歩くことを通じた地域の魅力再発見」「運動会が地域に果たす役割」「さまざまな情報媒体を生かした広報活動」「もっとも身近な分館活動」の5つのテーマで開催。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
49	23	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「感動と感謝が紡ぐ地域・集落の絆」 講師:豊重哲郎氏 (鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館長) パネルディスカッション 「学びと交流から活力ある地域にするには」 パネラー 豊重哲郎氏(基調講演講師) 牧野 篤氏(東京大学大学院教授) 長谷部三弘氏(ひさかた風土舎代表) コーディネーター 荻野亮吾氏(東京大学大学院特任助教)
	主な内容: 生活に一番身近なコミュニティとして「分館活動や分館が無い地区の分館的な活動」の重要性を再確認することで、公民館の学びと交流から地域の絆を育み、心豊かで暮らしやすい地域づくりの実践に結びつけることを目的に開催する。基調講演には、全国的に注目される鹿児島県鹿屋市の通称「やねだん」、柳谷自治公民館の館長(町内会長)である豊重哲郎氏をお招きして、自立した地域づくりの実践と人材育成の哲学に学んだ。パネルディスカッションは、基調講演への会場からの質問票と事前に設定する意見交換テーマで組み立てた。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
50	24	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「今、公民館を問い直す ～住民自治を育む公民館の新たな挑戦～」 実践発表会 ①「東日本大震災復興から学んだもの」 石井山竜平氏(東北大学大学院教育学研究科 准教授) ②「これからの地域と学校の連携」 長谷部豊子氏(東京都国分寺市立本多公民館運営審議会 元委員長) 中森美都子氏(同 本多公民館 元館長) ③魅力ある分館活動の秘訣 三村伊津子氏(松本市町内公民館会長 元会長) ④公民館学習から始まる住民主体の地域づくり 井原岩江氏(阿智村伍和公民館 館長)
	主な内容: 第50回目の節目の大会で、初めてムス飯田交流会と併催で開催した。全体会では、これまでの公民館の歩みを振り返るDVDの上映と、各地の実践者による実践発表を行った。その後行われた分科会では、実践発表の講師が助言者等として関わり、実践発表の内容を深める組み立てのものも設定した。分科会は「震災復興を通じたまちづくりと公民館」「地域と学校をつなげる公民館の役割」「魅力ある分館活動」「地域づくりの意識を育む公民館」「公民館活動に込められた願い」「ムスで広がる市民活動」の6つのテーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
51	25	2月16日	飯田市公民館	観測史上初となる豪雪により中止 テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師:吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
	主な内容: 第50回の昨年度に引き続き、ムス飯田学習会を併催。リニア中央新幹線ルート・駅位置確定や三遠南信自動車全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を創るために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有することを目的に計画した。基調講演は水俣市在住で地元学ネットワーク主宰の吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「将来を見据えた地域づくり」「人形劇フェスタを通じた地域づくり」「地域で育てた子どもの姿」「環境を学び、生かす」「次代を担う若者の地域参加」「ムスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の6つのテーマを計画した。			

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
52	26	2月17日	飯田市公民館 りんご庁舎(分科会)	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師: 吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
	主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。リニア中央新幹線ルート・駅位置決定や三遠南信自動車道全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を確立する上で公民館が果たす役割や、これからの地域づくりに重要となる視点を共有した。基調講演は地元学を提唱した吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「“人”が支える地域づくり」「次世代につながる地域文化」「子どもを育む地域の力」「環境を学び、守り、生かす」「明日の地域に若者の視点を!」「ムトス飯田30周年記念パネルディスカッション」の6つのテーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
53	27	2月21日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地域みがき」のすすめ ～これからの地域づくりを考える～』 講師: 小田切徳美氏(明治大学農学部 教授)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、公民館を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の全線開通を見据えた地域の将来像を考える上で、持続可能な地域をめざすために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「若いみなさん! 私たちと一緒にやろうよ!」「想いをつなぐ地域文化」「支え合う、心豊かな暮らしのススメ」「誰もがお互いを大切にしよう!」「身近な自然に目を向けよう」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
54	28	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『地元を創り直す ～田園回帰の時代～』 講師: 藤山浩氏(島根県中山間地域研究センター研究統括監)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、自分たちの暮らしや生き方を見つめる機会として、また現代社会を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、人口減少、リニア時代を迎え、大きな社会変貌が予想される中においても、心豊かな暮らしを実現できる持続可能な地域をめざすために、今公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「未来へのバトンパス」「育もう! いきいきとした子ども」「次世代に想いをつなぐ地域文化」「高齢期を支え合いと生きがいを持って」「私と地域にとっての公民館」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
55	29	2月18日	飯田市公民館	テーマ:「地域づくりを担う人づくりの拠点としての公民館活動のあり方を考える」 ～人形劇による地域づくりと人づくり～ 全体会 内容・講師 実践発表 三穂伊豆木人形クラブ 実践報告 長谷部三弘氏(元飯田市公民館副館長) 渡邊義昭氏(上郷公民館館長) 基調講演 佐藤一子氏(東京大学名誉教授)
	主な内容: 来年度人形劇カーニバルから通算40周年の節目を迎えるにあたり、飯田市の公民館のしくみと私たちの主体的な活動が支えてきた人形劇によるまちづくりについて、地域づくり・人づくりの視点から振り返り、これまでの成果とこれからの可能性について考えるとともに、そのことを通して心豊かな暮らしの実現をめざした地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「もっと楽しもう人形劇フェスタ」「地域の子ども達について語ろう」「ふるさと学習」「公民館を見つめ直す」「地域課題に迫る館報・広報」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
56	30	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～これからの社会に求められる公民館とは～ 基調講演 『“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして ～地域づくりというけれど～』 講師: 白戸洋氏(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認するとともに、私たちのくらしや生き方を見つめ直し、互いの考えを深め合う場として、また地域を取り巻く課題を共有し、公民館が担う役割や今後の活動の方向性について考える機会として開催。今年度は、この地域においてより良い暮らしや豊かな人生を実現するために求められるものは何かを考え、地域での日々の活動を改めて捉え直すための視点を共有した。分科会は、「人形劇フェスタの可能性」「成人式のあり方について考えてみよう」「スポーツが地域にもたらす力」「あなたにとって分館とは。」「いってみよう・やってみよう そこからつながる」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
57	令和元	2月16日	飯田市公民館	テーマ：「”関わり つながり 学びあう”心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～今、改めて自治を考える～ 基調講演 「地域の未来を担う人づくり ～子どもと大人の学びを考える～」 講師：岩本悠氏（地域・教育魅力化プラットフォーム 共同代表）
	主な内容：令和の幕開けとなる本大会では、大きく変貌しようとしている当地域において、私たちがより良い暮らしや豊かな人生を実現し未来を切り拓くための学びについて考えるとともに、この地域が大事にしてきた自治の精神について、今一度考え合うことを目的とした。基調講演では、高校と地域をつなぎ、互いの学び合いから次世代を担う人材を育む島根県の取組みから、地域の子どもの関わる大人の姿勢について考えた。 分科会は、「子どもに関わる私たちについて語ろう」「高校生や若者に対して、私たち大人はどうありたいか」「あなたにとっての人形劇フェスタって何ですか？」「思いやりにあふれた社会を目指して」「地域住民が楽しく集う公民館（分館）活動」「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう！」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
58	新型コロナウイルスの影響により中止			テーマ：「公民館の今とこれからを考える」 ～コロナ禍の経験から見えてきた「つながり」について語り合おう 基調講演 「未来に託せる地域を目指す公民館」 講師：石井山竜平氏（東北大学大学院教育学研究科）
	2	2月21日	飯田市公民館 鼎公民館 上郷公民館 飯田市役所	
主な内容：新型コロナウイルス感染症の発生により、「集い」や「学び合い」の機会が制限され、公民館がこれまで培ってきた「住民自治」意識の希薄化が懸念される状況が続いている。 公民館活動による「つながり」が地域づくりや人材育成にどのような効果や影響を与えていたのか、各公民館が悩みながら取り組んだ今年1年の活動や課題を基に、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の公民館活動をどのように考え繋げていくのかを考え合う機会として計画した。 分科会は、「文化」「体育」「広報」「育成」「分館」の5つをテーマに、コロナ禍における専門委員会や分館の活動を考える機会として計画した。				

令和 2 年度 飯田市公民館活動記録

発行 令和 3 年 3 月 3 1 日

編集 飯田市公民館

〒395-0085 飯田市吾妻町 1 3 9 番地

☎ 2 2 - 1 1 3 2 FAX 2 2 - 1 0 2 2

E-mail: iccc01@city.iida.nagano.jp